

北斗市 館 野 遺 跡 (2)

— 高規格幹線道路函館江差自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

第 5 分冊

分析・まとめ編

平成23年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

凡 例

- 1 遺構について、本文及び図表中では次のように略号を使用した。遺構名のアルファベットを発掘区名と区別するため「-」ハイフンを番号（確認した順番）との間に挿入している。（*記号についての詳細は次頁に示す。）

- 2 実測図、拓影図の縮尺は、原則として次のとおりで、図中にスケールをつけてある。

遺 構 1 : 40

復元土器 1 : 3 破片土器 1 : 3

剥片石器 1 : 2 磨製石器 1 : 3 礫石器 1 : 3（石製品 1 : 2）

- 3 掲載遺物の写真の縮尺は任意である。

- 4 本文及び図表中で、遺構の規模については次の要領で示した。なお、一部破壊されているもの等については、現存長を（丸括弧）を用いて示した。

「確認面の長径×短径／床面・坑底面の長径×短径／確認面からの最大深（m）」

焼土等は次のように示した。

「長径×短径／最大厚（m）」

柱穴のようなはは円形で、小型のものは次のように示した。

「確認面の直径／確認面からの最大深（m）」

- 5 土層の表記は、基本層序についてはローマ数字で、遺構覆土等の部分的な層位についてはアラビア数字で示した。土層の色調表現は『新版標準土色帳』（1998年版）に従った。

土層注記は①層位名②土色③土性④粘り⑤堅密度（固さ）⑥その他の順で示している。

Ⅲ > Ⅳ：Ⅲが多い Ⅲ < Ⅳ：Ⅳが多い Ⅲ + Ⅳ：等量

Ⅲ < Ⅳ：Ⅲがより多い Ⅲ > Ⅳ：Ⅳがより多い

土性の区分の略号

砂土：S 砂壤土：SL 壤土：L シルト質壤土：Sil 埴壤土：CL 埴土：C

粘着性の区分について

粘着性：なし、弱、中、強。

堅密度の区分について

触感による：すこぶるしろう、しろう、軟、堅、すこぶる堅、固結。

- 6 石器の黒色物質付着は網掛け、土器の「赤彩」部分は赤色の網掛け、「黒彩」部分はグレーの網掛け、「白彩」部分は青色の網掛けにて範囲を示した。

- 7 表は原則として、章あるいは節ごとにまとめ、それらを末尾に掲載した。図、表に関して章ごとに通し番号とした。

* 記号の説明

1 の遺構表記の略式記号の詳細について、本報告書の図・図版・表中において遺構の便宜上の呼称として以下の記号を用いた。

H	: 竪穴式・平地式住居跡
P	: 土坑
TP	: 落とし穴
Sa	: 石組
Fs	: 石囲炉 (屋外炉)
F	: 焼土
SP	: 小柱穴状ビット
D	: 溝状遺構
NM	: 北盛土
SM	: 南盛土
CSS	: 中央配石遺構
NSS	: 北配石遺構
SSS	: 南配石遺構
CSSP	: 中央配石抜け石痕
UP	: 配石下ビット
CP	: 中央広場小ビット
Cs	: 小礫 (遺物) 集中
X	: 竪穴状遺構
Po	: 埋設土器

Csとした小礫については富川層内の砂利層から抜き出された小礫が盛土中に意図的に散布されている為、遺物として取り扱ったので、本文中では小礫 (遺物) 集中として示している。

遺構内の施設については以下の略号を用いた。上記の遺構記号と区別するためにハイフンを用いていない。

HF	: 地床炉
HF _s	: 石囲炉
HP	: 住居跡の土坑

分冊項目

第1分冊

- I 調査の概要
 - 1 調査要項
 - 2 調査体制
 - 3 調査の経緯
 - 4 調査日誌（抄）
 - 5 調査結果の概要
- II 遺跡の位置と環境
 - 1 遺跡の位置
 - 2 周辺の遺跡
- III 調査の方法
 - 1 発掘区の設定
 - 2 土層
 - 3 調査の方法
 - 4 整理の方法
 - 5 遺物の分類
- IV 遺構の概要
- V 北盛土編
 - 1 北盛土の概要
 - 2 北盛土の遺物

第2分冊

- VI 南盛土編
 - 1 南盛土の概要
 - 2 南盛土の遺物

第3分冊

- VII 中央広場・配石遺構編
 - 1 中央広場・配石遺構周辺と南側調査区の遺構
 - 2 貼土・整地の遺物
 - 3 畝状遺構（中世）

第4分冊

- VIII 遺物編
 - 1 遺構の遺物
 - 2 包含層の遺物

- 3 土製品
- 4 赤彩土器
- 5 追加報告（＊平成15年度調査区出土遺物）
- 6 土器の接合関係

＊平成15年度に出土した遺物を、平成16年度の接合状況をみてから本報告に掲載した。

第5分冊

IX 自然科学的手法による分析結果

- 1 放射性炭素年代測定
- 2 館野遺跡における放射性炭素年代（AMS法）
- 3 館野遺跡の古環境について
- 4 館野遺跡出土黒曜石の産地推定
- 5 北斗市館野遺跡出土の種実遺体・動物遺存体

X まとめ

- 1 堅穴式住居跡の分布と変遷について
- 2 フラスコ状ピットの分布と変遷について
- 3 盛土遺構の範囲
- 4 縄文時代後期初頭の配石・盛土遺構について
- 5 館野遺跡出土のⅢ群・Ⅳ群土器について
- 6 館野遺跡出土の縄文時代早期前半「川汲式」について
- 7 館野遺跡出土の石刃鏃とアルトリ式
- 8 館野遺跡の土偶と土偶土器片について
- 9 「双角状土製品」について
- 10 石器のまとめ
- 11 館野遺跡の自然科学的分析・鑑定結果について
- 12 館野遺跡の活断層について

XI 一覧表など

報告書抄録

第6分冊

XII 写真図版編

目次 (第5分冊)

凡例

分冊項目

挿図目次

表目次

図版目次

IX章 自然科学的手法による分析結果

1	放射性炭素年代測定 (パレオ・ラボAMS年代測定グループ)	1
2	館野遺跡における放射性炭素年代 (AMS測定) (株加速器分析研究所)	7
3	館野遺跡の古環境について (パリノ・サーヴェイ株式会社)	11
4	館野遺跡出土黒曜石の産地推定 (竹原弘展 (パレオ・ラボ))	23
5	北斗市館野遺跡出土の種実遺体・動物遺存体 (パリノ・サーヴェイ株式会社)	27

X章 まとめ

(1)	地区割りと分冊について	77
(2)	遺構と遺物	77
(3)	地形の造成	77
(4)	盛土遺構 (NM・SM)	77
(5)	竪穴式住居跡 (H)	78
(6)	土坑 (P)	79
(7)	落とし穴 (TP)	80
(8)	石囲炉 (Fs)	80
(9)	焼土 (F)	80
(10)	小柱穴状ピット (SP)	80
(11)	埋設土器 (Po)	80
(12)	小礫 (遺物) 集中 (Cs)	81
(13)	中央配石遺構 (CSS)	81
(14)	中央配石抜け石痕 (CSSP)	81
(15)	配石下ピット (UP)	81
(16)	中央広場	81
(17)	貼土層	82
(18)	中央広場小ピット (CP)	82
(19)	溝状遺構 (D)	82
(20)	石組状遺構	82
1	竪穴式住居跡の分布と位置の変遷について	86
2	フラスコ状ピットの分布と位置の変遷について	98

3	盛土遺構の範囲	106
4	縄文時代後期初頭の配石・盛土遺構について	115
5	館野遺跡出土のⅢ群・Ⅳ群土器について	119
6	館野遺跡出土の縄文時代早期前半「川汲式」について	141
7	館野遺跡出土の石刃鏃とアルトリ式	143
8	館野遺跡の土偶と土偶土器片について	145
9	「双角状土製品」について	147
10	石器のまとめ	151
11	館野遺跡の自然科学分析・鑑定結果について	159
12	館野遺跡の活断層について	161
XI章 一覧表など		165

報告書抄録

挿図目次 (第5分冊)

図IX-1	暦年代較正結果(1)	4	図X-23	出土遺物等量図(6)	114
図IX-2	暦年代較正結果(2)	5	図X-24	館野周辺の盛土のある遺跡	118
図IX-3	暦年代較正年代グラフ	10	図X-25	Ⅲ群a類土器集成	125
図IX-4	植物珪酸体群集	17	図X-26	Ⅲ群b1類土器集成	126
図IX-5	花粉分析サンプル採取地点(1)	20	図X-27	Ⅲ群b2類土器集成	127
図IX-6	花粉分析サンプル採取地点(2)	21	図X-28	Ⅳ群a2A類①abc土器集成	128
図IX-7	北海道・東北地方黒曜石原石採取 エリア	24	図X-29	Ⅳ群a2A類①d土器集成	129
図IX-8	黒曜石産地推定判別図(1)(2)	26	図X-30	Ⅳ群a2A類①e土器集成	130
図X-1	フラスコ状ピット分布図	83	図X-31	Ⅳ群a2A類①g土器集成	131
図X-2	石囲炉(Fs)分布図	84	図X-32	Ⅳ群a2A類②a土器集成	132
図X-3	礫群分布範囲	85	図X-33	Ⅳ群a2A類②bc土器集成	133
図X-4	H16年度竪穴式住居跡変遷図(1)	88	図X-34	Ⅳ群a2A類②df土器集成	134
図X-5	H16年度竪穴式住居跡変遷図(2)	89	図X-35	Ⅳ群a2A類②e土器集成	135
図X-6	H16年度竪穴式住居跡変遷図(3)	90	図X-36	Ⅳ群a2A類②e土器集成	136
図X-7	Ⅲ群a類竪穴式住居分布変遷図	91	図X-37	Ⅳ群a2B類2B①'②土器集成	137
図X-8	Ⅲ群b1類竪穴式住居分布変遷図	92	図X-38	Ⅳ群a2B類2B③③'④土器集成	138
図X-9	Ⅲ群b2類竪穴式住居分布変遷図	93	図X-39	Ⅳ群a3類3①②土器集成	139
図X-10	Ⅳ群a2A類竪穴式住居分布変遷図	94	図X-40	Ⅳ群a3類3③④土器集成	140
図X-11	Ⅳ群a2B類竪穴式住居分布変遷図	95	図X-41	日計式土器出土地点	142
図X-12	Ⅳ群a3類竪穴式住居分布変遷図	96	図X-42	石刃鎌・アルトリ式 土器出土地点	144
図X-13	Ⅲ群土坑分布変遷図	101	図X-43	土偶・土偶文様を持つ土器	146
図X-14	Ⅳ群a2A類土坑分布変遷図	102	図X-44	双角状土製品出土地点	149
図X-15	Ⅳ群a2B類土坑分布変遷図	103	図X-45	類似品の集成図	150
図X-16	Ⅳ群a3類土坑分布変遷図	104	図X-46	板状石製品のグリッド別分布(1)	155
図X-17	盛土測量図	108	図X-47	板状石製品のグリッド別分布(2)	156
図X-18	出土遺物等量図(1)	109	図X-48	遺構出土の板状石製品	157
図X-19	出土遺物等量図(2)	110	図X-49	V層最終面の地形図	162
図X-20	出土遺物等量図(3)	111	図X-50	活断層の位置	163
図X-21	出土遺物等量図(4)	112	図X-51	活断層付近の土層	164
図X-22	出土遺物等量図(5)	113			

表目次 (第5分冊)

IX章 自然科学的手法による分析結果

表IX-1	測定試料及び処理	2
表IX-2	放射性炭素年代測定及び暦年代校正の結果	3
表IX-3	測定結果	8
表IX-4	測定結果	8
表IX-5	測定結果	9
表IX-6	分析試料一覧表	14
表IX-7	花粉分析結果	15
表IX-8	植物珪酸体分析結果	16
表IX-9	微細物分析結果	18
表IX-10	北海道・東北地方黒曜石産地の判別群	23
表IX-11	分析対象遺物及び測定値・産地推定結果	25
表IX-12	館野遺跡の種実同定結果	28
表IX-13	遺構別炭化種実出土状況	32
表IX-14	検出動物分類群の一覧	34
表IX-15	骨同定結果	38
表IX-16	魚類最小個体数	56
表IX-17	サメ・エイ類、ニシン科 (ニシン・マイワシ含む)、サケ属を除く 魚類最小個体数	61
表IX-18	鳥類・獣類の骨片数	62
表IX-19	土壌サンプル遺構別一覧表	70
表IX-20	フローテーションサンプル選別結果一覧表	71
表IX-21	水洗選別結果一覧表	75

X章 まとめ

表X-1	平成15年度調査区竪穴式住居跡変遷表	97
表X-2	平成16年度調査区竪穴式住居跡変遷表	97
表X-3	平成15年度工事立会地区竪穴式住居跡変遷表	97
表X-4	平成15年度調査区フラスコ状ピットの変遷表 (30ライン以北)	105
表X-5	平成15年度調査区フラスコ状ピットの変遷表 (30ライン以南)	105
表X-6	平成16年度調査区フラスコ状ピットの変遷表	105

表X-7	石器等点数一覧表	153
表X-8	剥片石器等分類別点数一覧表	153
表X-9	板状石製品の形態別点数一覧表	154
表X-10	遺構出土の板状石製品一覧表	158

XI章 一覧表など

表XI-1	遺構規模一覧表 (H)	166
表XI-2	遺構規模一覧表 (P)	167
表XI-3	遺構規模一覧表 (TP)	170
表XI-4	遺構規模一覧表 (Po)	170
表XI-5	遺構規模一覧表 (X)	170
表XI-6	遺構規模一覧表 (粘土)	171
表XI-7	遺構規模一覧表 (Fs)	171
表XI-8	遺構規模一覧表 (F)	172
表XI-9	出土遺物点数一覧表 (遺構)	176
表XI-10	小柱穴状ピットの土層一覧表 (第2分冊分)	218
表XI-11	出土遺物点数一覧表 (包含層)	252

図版目次 (第5分冊)

IX章 自然科学的手法による分析結果

図版IX-1	植物珪酸体・花粉化石・炭化種実	19
図版IX-2	館野遺跡の種実遺体	67
図版IX-3	出土骨 (1)	68
図版IX-4	出土骨 (2)	69

IX章 自然科学的手法による分析結果

1 放射性炭素年代測定

パレオ・ラボAMS年代測定グループ

1 はじめに

館野遺跡より検出された試料について、加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。

2 試料と方法

測定試料の情報、調整データは表1のとおりである。試料は調整後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクトAMS：NEC製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3 結果

表2に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}\text{C}$ ）、同位体分別効果の補正を行った ^{14}C 年代、 ^{14}C 年代を暦年代に較正した年代を、図1に暦年代較正結果をそれぞれ示す。

^{14}C 年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代（yrBP）の算出には、 ^{14}C の半減期としてLibbyの半減期5568年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示すものである。

なお、暦年代較正の詳細は以下の通りである。

暦年代較正

暦年代較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が5568年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い（ ^{14}C の半減期5730 $\pm$ 40年）を較正することである。

^{14}C 年代の暦年代較正にはOxCal3.9を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年代較正曲線を示す。それぞれの暦年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については、表中に下線で示してある。

4 考察

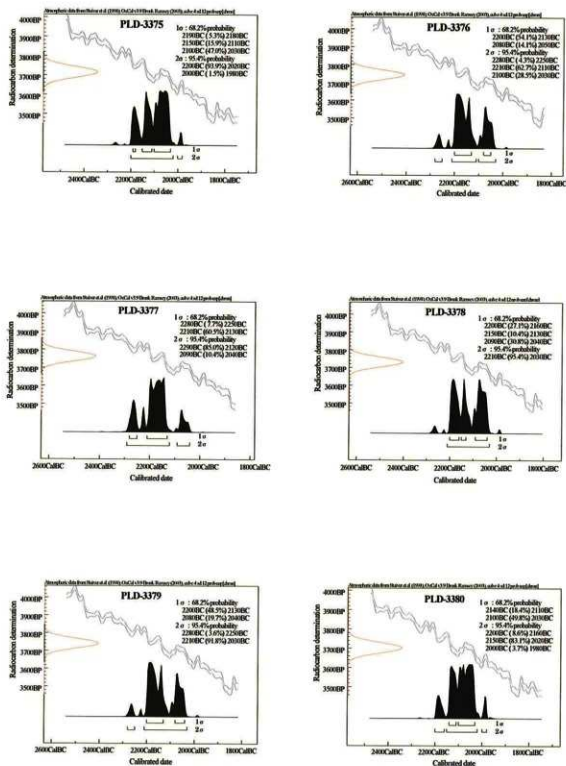
試料について、同位体分別効果の補正及び暦年代較正を行った。得られた暦年代範囲のうち、その確率の最も高い年代範囲に着目すると、それぞれより確かな年代値の範囲が示された。

表区-1 測定試料及び処理

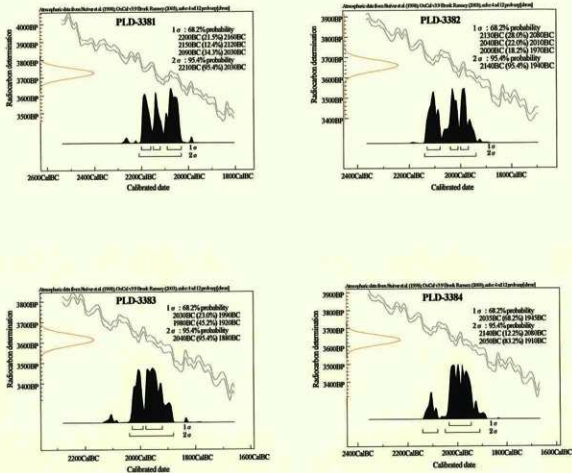
測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理	測定
PLD-3375	北海道 館野遺跡 地点：南盛土X-39-A 層位：SM2・3層 その他：KT-14	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3376	北海道 館野遺跡 地点：南盛土W-38-B ベルト 層位：SM3層盛土最下部 その他：KT-15	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3377	北海道 館野遺跡 地点：南盛土W-39-B ベルト 層位：SM4層上面 その他：KT-16	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3378	北海道 館野遺跡 遺構：P-105 層位：覆土床真上 その他：KT-17	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3379	北海道 館野遺跡 遺構：P-163 層位：Na1(土層5下部) その他：KT-18	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3380	北海道 館野遺跡 遺構：P-163 層位：No.3 (土層2) その他：KT-19	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3381	北海道 館野遺跡 遺構：H-46HF-1 層位：砂跡 その他：KT-20	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3382	北海道 館野遺跡 遺構：SP-1298 層位：覆土 その他：KT-21	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3383	北海道 館野遺跡 遺構：P-120 層位：坑底 その他：KT-22	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH
PLD-3384	北海道 館野遺跡 地点：北盛土NM 層位：中位上部 その他：KT-23	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：最外以外年輪 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 (塩酸1.2N,水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N)	PaleoLabo: NEC製コンパクト AMS・ 1.5SDH

表IX-2 放射性炭素年代測定及び暦年代較正の結果

測定番号	年代値 (yrBP $\pm 1\sigma$: 同位体補正値)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-3375	3740 ± 25	-26.55 ± 0.13	3715 ± 30	2190BC (5.3%) 2180BC, 2150BC (15.9%) 2110BC, 2100BC (47.0%) 2030BC	2200BC (93.9%) 2020BC, 2000BC (1.5%) 1980BC
PLD-3376	3740 ± 25	-24.88 ± 0.12	3745 ± 25	2200BC (54.1%) 2130BC, 2080BC (14.1%) 2050BC	2280BC (4.3%) 2250BC, 2210BC (62.7%) 2110BC, 2100BC (28.5%) 2030BC
PLD-3377	3775 ± 25	-25.86 ± 0.12	3765 ± 25	2280BC (7.7%) 2250BC, 2210BC (60.5%) 2130BC	2290BC (85.0%) 2120BC, 2090BC (10.4%) 2040BC
PLD-3378	3735 ± 25	-25.1 ± 0.11	3730 ± 25	2200BC (27.1%) 2160BC, 2150BC (10.4%) 2130BC, 2090BC (30.8%) 2040BC	2210BC (95.4%) 2030BC
PLD-3379	3745 ± 25	-25.26 ± 0.11	3740 ± 25	2200BC (48.5%) 2130BC, 2080BC (19.7%) 2040BC	2280BC (3.6%) 2250BC, 2210BC (91.8%) 2030BC
PLD-3380	3700 ± 25	-24.64 ± 0.11	3705 ± 25	2140BC (18.4%) 2110BC, 2100BC (49.8%) 2030BC	2200BC (8.6%) 2160BC, 2150BC (83.1%) 2020BC, 2000BC (3.7%) 1980BC
PLD-3381	3705 ± 25	-23.53 ± 0.12	3725 ± 25	2200BC (21.5%) 2160BC, 2150BC (12.4%) 2120BC, 2090BC (34.3%) 2030BC	2210BC (95.4%) 2030BC
PLD-3382	3680 ± 25	-26.15 ± 0.11	3660 ± 25	2130BC (28.0%) 2080BC, 2040BC (22.0%) 2010BC, 2000BC (18.2%) 1970BC	2140BC (95.4%) 1940BC
PLD-3383	3610 ± 25	-24.62 ± 0.11	3615 ± 25	2030BC (23.0%) 1990BC, 1980BC (45.2%) 1920BC	2040BC (95.4%) 1880BC
PLD-3384	3635 ± 25	-24.99 ± 0.11	3635 ± 25	2035BC (68.2%) 1945BC	2140BC (12.2%) 2080BC, 2050BC (83.2%) 1910BC



図Ⅸ-1 暦年代較正結果(1)



図IX-2 暦年代較正結果 (2)

*パレオ・ラボAMS年代測定グループ

小林絃一・丹生越子・伊藤茂・山形秀樹・Zaur Lomtadze・Ineza Jorjoliani

参考文献

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の ^{14}C 年代、p.3-20

Stuiver M., P.J. Reimer, E. Bard, J.W. Beck, G.S. Burr, K.A. Hughen, B. Kromer, G. McCormac, J. van der Plicht and M. Spurk 1998 INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24000-0 cal BP Radiocarbon 40 (3) 1041-1083

Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program Radiocarbon 37 (2) 425-430

Bronk Ramsey C., 2001, Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43 (2A) 355-363

2 館野遺跡における放射性炭素年代 (AMS測定)

(独)加速器分析研究所

1 測定対象試料

館野遺跡は、北海道北斗市館野 3-3 ほか (北緯 $41^{\circ}48'01''$ 、東経 $140^{\circ}37'02''$) に所在する。測定対象は、S31d 貼土下から出土した木炭 (HT-1: IAAA-82679)、NM (北盛土) の中位上部から出土した木炭 (HT-2: IAAA-82680)、NM (北盛土) の中位上面から出土した木炭 (HT-3: IAAA-82681)、NM (北盛土) 中位から出土した木炭 (HT-4: IAAA-82682)、P-74 床面から出土した木炭 (HT-5: IAAA-82683)、合計 5 点である。

2 測定の意義

縄文時代後期初頭の配石遺構造成に伴う貼土構築面や、盛土遺構の形成年代を知る。

3 化学処理工程

- (1) メス・ビンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- (2) 酸処理、アルカリ処理、酸処理 (AAA: Acid Alkali Acid) により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では 1 N の塩酸 (80℃) を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では 1 N の水酸化ナトリウム水溶液 (80℃) を用いて数時間処理する。なお、AAA 処理において、アルカリ濃度が 1 N 未満の場合、表中に AaA と記載する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では 1 N の塩酸 (80℃) を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃ で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- (3) 試料を酸化銅と共に石英管に詰め、真空下で封じ切り、500℃ で 30 分、850℃ で 2 時間加熱する。
- (4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素 (CO_2) を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出 (水素で還元) し、グラファイトを作製する。
- (6) グラファイトを内径 1 mm のカソードに詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着する。

4 測定方法

測定機器は、3 MV タンデム加速器をベースとした 14C-AMS 専用装置 (NEC Pelletron 9SDH-2) を使用する。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシユウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) 年代値の算出には、Libby の半減期 (5568 年) を使用する (Stuiver and Polash 1977)。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年 (0 yrBP) として遡る年代である。この値は、 $\delta^{13}\text{C}$ によって補正された値である。 ^{14}C 年代と誤差は、1 桁目を四捨五入して 10 年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2% であることを意味する。
- (3) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを示した値である。同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (‰) で表される。測定には質量分析計ある

いは加速器を用いる。加速器により ^{13}C / ^{12}C を測定した場合には表中に(AMS)と注記する。

(4) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。

(5) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差(1 σ =68.2%)あるいは2標準偏差(2 σ =95.4%)で表示される。暦年較正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入しない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal04データベース(Reimer et al 2004)を用い、OxCalv4.0較正プログラム(Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001)を使用した。

6 測定結果

^{14}C 年代は、S31d 粘土下の木炭が $3700 \pm 30\text{yrBP}$ 、NM(北側盛土)の中位上部の木炭が $3730 \pm 30\text{yrBP}$ 、同中位上面の木炭が $3710 \pm 30\text{yrBP}$ 、同中位の木炭が $3640 \pm 30\text{yrBP}$ 、P-74床面の木炭が $3770 \pm 30\text{yrBP}$ である。全試料が縄文時代後期前葉に相当する年代である。炭素含有率はすべて約60%を満たし、十分な値であった。試料が樹皮・最外年輪部を含まない木炭の小片であることから、試料が属した年輪による枯死・伐採年代との差を考慮する必要がある。

表IX-3 測定結果

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)(AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC(%)
IAAA-82679	HT-1	S31d(包含層) 粘土下	木炭	AAA	-28.29 $\pm$ 0.91	3,700 $\pm$ 30	63.06 $\pm$ 0.27
IAAA-82680	HT-2	NM(北盛土) NM中位上部	木炭	AAA	-24.28 $\pm$ 0.81	3,730 $\pm$ 30	62.83 $\pm$ 0.25
IAAA-82681	HT-3	NM(北盛土) NM中位上面	木炭	AAA	-26.78 $\pm$ 0.47	3,710 $\pm$ 30	63.04 $\pm$ 0.25
IAAA-82682	HT-4	NM(北盛土) NM中位	木炭	AAA	-30.26 $\pm$ 0.69	3,640 $\pm$ 30	63.53 $\pm$ 0.26
IAAA-82683	HT-5	P-74 床面	木炭	AAA	-27.73 $\pm$ 0.85	3,770 $\pm$ 30	62.56 $\pm$ 0.25

[#2717]

表IX-4 測定結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-82679	3,760 $\pm$ 30	62.63 $\pm$ 0.24	3,704 $\pm$ 33	2139BC-2111BC(19.2%) 2104BC-2036BC(49.0%)	2201BC-2017BC(92.9%) 1996BC-1980BC(2.5%)
IAAA-82680	3,720 $\pm$ 30	62.92 $\pm$ 0.23	3,733 $\pm$ 31	2198BC-2164BC(26.0%) 2152BC-2130BC(15.6%) 2087BC-2048BC(26.6%)	2272BC-2259BC(1.9%) 2206BC-2033BC(93.5%)
IAAA-82681	3,740 $\pm$ 30	62.81 $\pm$ 0.24	3,706 $\pm$ 32	2140BC-2111BC(19.3%) 2104BC-2036BC(48.9%)	2201BC-2020BC(93.6%) 1994BC-1982BC(1.8%)

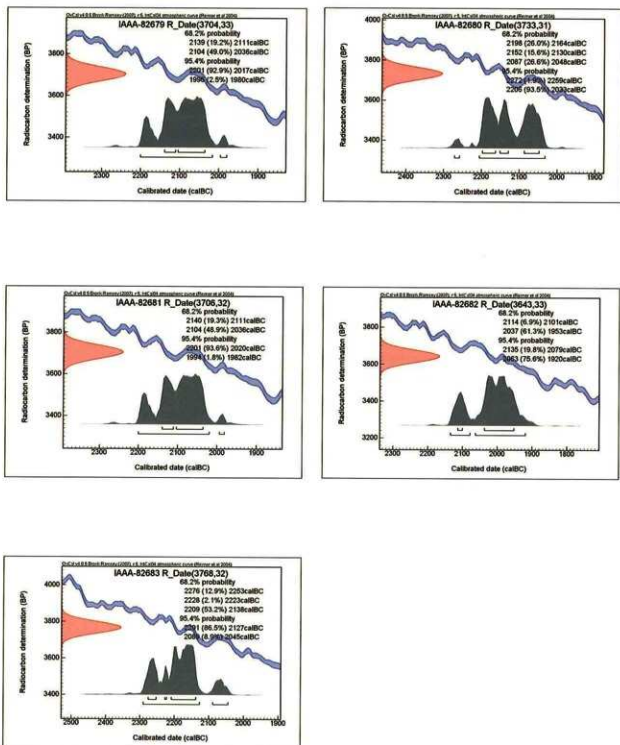
表IX-5 測定結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-82682	3,730 $\pm$ 30	62.85 $\pm$ 0.24	3,643 $\pm$ 33	2114BC-2101BC(6.9%) 2037BC-1953BC(61.3%)	2135BC-2079BC(19.8%) 2063BC-1920BC(75.6%)
IAAA-82683	3,810 $\pm$ 30	62.21 $\pm$ 0.23	3,768 $\pm$ 32	2276BC-2253BC(12.9%) 2228BC-2223BC(2.1%) 2209BC-2138BC(53.2%)	2291BC-2127BC(86.5%) 2089BC-2045BC(8.9%)

[参考値]

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion : Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy : the OxCal Program, Radiocarbon 37 (2), 425-430
- Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon 43 (2A), 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 'Wiggle Matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43(2A), 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058



図区-3 暦年較正年代グラフ

3 館野遺跡の古環境について

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

館野遺跡は、上磯町の市街地から南西約5km、下町沢川の右岸、標高50-60mの海岸段丘上に位置する。これまでの発掘調査によって、おもに、縄文時代中期末～後期にかけての遺構・遺物が検出されている。基本土層は、I層が耕作土、II層が火山灰層、III層が縄文時代の黒色土、IV層が漸移層、V層が地山の黄褐色ローム層である。今回は、当時の古環境変遷を検証することを目的として、花粉分析、植物珪酸体分析、微細植物片分析を実施する。

1 試料

試料を採取した地点のうち、1地点と4地点は包含層、5地点は南盛土隣接包含層、6地点は南盛土、7地点は南側遺構帯、8地点は中央広場、10地点と11地点は北盛土である。各地点から、層相、目的等を考慮し、花粉分析4点、植物珪酸体分析28点、微細植物片分析20点を選択した。分析試料の詳細は表IX-6にまとめて記す。

2 分析方法

(1) 花粉分析

試料約10gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス処理の順に物理・化学処理を施し、花粉化石を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を操作し、出現する全ての種類について同定・計数する。

(2) 植物珪酸体分析

湿重5g前後の試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法（ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5）の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。検鏡しやすい濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。

400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部（葉身と葉鞘）の葉部短細胞に由来した植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）、およびこれらを含む珪化組織片を近藤・佐瀬（1986）の分類に基づいて同定し、計数する。

結果は、検出された種類とその個数の一覧表で示す。また、検出された植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体群集の産状を図化した。各種類の出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求めた。

(3) 微細物分析

今回の分析では、炭化物が少なかったため、浮遊選別による植物遺体の濃集を試みた。試料約400g（採取試料の総量をもとに適宜調整）を数日間自然乾燥させたあと、これに飽和食塩水を入れて軽く攪拌し、容器を傾斜して浮遊してくる炭化物を0.5mmの篩に回収した。この作業を浮遊物が見られなくなるまで（10回程度）繰り返した。回収した炭化物は軽く水洗したあと、乾燥機で乾燥させた（60℃）。

回収した炭化物は双眼実体顕微鏡下で観察し、その形態的特徴から種類を同定する。また、残渣についても1mmの篩を通して水洗して乾燥させ、土器などの遺物を回収する。

3 結果

(1) 花粉分析

結果を表2に示す。木本花粉ではコナラ亜属など、草本花粉ではイネ科などが検出されるが、いずれも検出数が少なく、花粉化石の保存も悪い。シダ類胞子も若干検出される。検出される運類群は、外膜が厚い種類や、形が特徴的で保存が悪くても同定可能な種類に限られる。

(2) 植物珪酸体分析

結果を表Ⅸ-8、図Ⅸ-5・6に示す。

各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔(溶食痕)が認められる。

1地点の試料番号2と3および4地点の試料番号2と3(いずれもⅢ層の上部と下部)では同様な産状が見られ、クマザサ属の産出が目立ち、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などが認められる。

6地点試料のうち、試料番号6では検出個数が少ない。しかし、いずれの試料も産状が同様であり、クマザサ属の産出が目立ち、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などが認められる。

7地点のうち、試料番号2で検出個数が少ないものの、いずれの試料も産状が同様である。すなわち、クマザサ属の産出が目立ち、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などが認められる。

8地点のうち、試料番号2を除いて検出個数が少ない。しかし、いずれの試料もクマザサ属の産出が目立つ。

11地点のうち、試料番号8と7では検出個数が少ないものの、いずれの試料も産状が同様である。すなわち、クマザサ属の産出が目立ち、ヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などが認められる。

(3) 微細物分析

結果を表Ⅸ-9に示す。炭化物はすべての試料で認められるが、6地点で特に多い。ほとんどが微細な炭化材片であり、木材組織が確認できない炭化物も若干含む。オニグルミ?としたものは、木質で堅く、木材組織がみられない炭化物で、形状からオニグルミの核と思われる形状の個体である。しかし、いずれも微細なことから、表面のしわ状の構造、縫合線付近の隆起、内面の窪みなど特徴的な構造がはっきりしないため、近似種(表中には?で表す)とする。

その他、炭化していないアカザ科やニワトコの種子、菌類の休眠胞子とみられる菌核が含まれる。また、土器片も比較的多くみられる。

4 考察

花粉分析の結果、花粉化石はほとんど検出されず、古植生推定のための定量解析を行うことができなかった。花粉化石・シダ類胞子の産出状況が悪い場合、元々取り込まれる花粉量が少なかった、あるいは、取り込まれた花粉が消失した、という2つの可能性があげられる。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている(中村,1967;徳永・山内,1971)。遺跡の立地等から考えると、堆積環境として好気的環境にさらされていたと考えられ、堆積時に取り込まれた花粉・シダ類胞子は分解・消失したと推測される。なお、道南地域の縄文時代中期頃の森林植生に関しては、星野(1998)や塚田・中村(1988)等にまとめられており、ブナやナラ類等を主とする落葉広葉樹林であったと推測されている。

植物珪酸体分析結果をみると、いずれもクマザサ属が高率で検出される。現在、本遺跡周辺で自然

度の高い場所では、ナラ類やブナなどの落葉樹林からなるが、潜在自然植生においても、黒松内低地帯以南ではブナ林が覆っていたと考えられている（宮脇，1988）。また、北海道でブナ林が発達するのは黒松内低地帯以南であるが、その成立時期は縄文時代中期頃と推定されている（塚田・中村，1988）。冷温帯地域に分布するブナの林床にチシマザサやクマイザサ（いずれもクマザサ属）が密生し、森林が何らかの理由で失われた場所（ギャップという）では、これらのササ類が先駆的に進入して草地を作る（宮脇，1988）。以上のことから、検出されたクマザサ属の植物珪酸体は、当時の林床やササ草地に由来すると思われる。一方で、検出されたヨシ属やススキ属、イチゴツナギ亜科などのイネ科植物の生育うかがえる。ヨシ属は湿潤な場所に生育する種類であり、周辺に湿潤な場所が存在したことが示唆される。また、盛土、整地層、貼土等の植物珪酸体の産状が基本土層と同様であったことから、周辺の土壌を用いてこれらを構築したことが伺われる。

微細物分析の結果、微細な炭化材は比較的多く検出された。抽出の際には、ナラ類など広葉樹材と思われるものが散見され、先述した周辺植生とも調和的だが、正確な同定には、高倍の顕微鏡や電子顕微鏡等による観察が必要である。炭化種実、オニグルミの可能性のある微細な炭化物片が少量認められたのみである。オニグルミは生食可能で収量が多く、貯蔵も利く。このため、古くから植物質食料として利用されてきた種類で、遺跡からの検出例も多い（渡辺，1984など）。現在の分布をみると、オニグルミは北海道全域に広く分布し、当時本遺跡周辺で入手しやすい有用植物のひとつであったと考えられる。未炭化の種実（アカザ科、ニワトコ）は、いずれも炭化していず、現在周辺の山野に普通にみられる種実である。炭化していない種実は、低湿地遺跡でない限りは遺構内で残りにくく、後代からの混入の可能性が高いことが指摘されている（吉崎，1992）。おそらく、今回検出された種実は、後代混入したものと考えられ、当時の古植生を反映しているとは考えにくい。また、多くの試料から検出された菌核は、土壌に見られる外生菌根菌の休眠胞子である。加戸ほか（2000）によれば、土壌中の菌核の大きさは0.2-7 mmとばらつきが大きく、土壌1 gあたり10個程度含まれており、根系密度が濃いところほど多いとされる。また、内部は多孔質壁構造と中空構造からなり、多孔質構造には細菌様粒子の存在が確認されている（渡邊ほか，2001）。菌核は土壌に普通に含まれているものであるため、古環境などの指標にはなりにくいと考えられる。

引用文献

- 星野 フサ，1998，北海道の植生史（2）南北北海道，図説 日本列島植生史，安田喜憲・三好教夫，朝，朝倉書店，51-61。
- 加戸 卓・渡邊 眞紀子・藤嶽 暢英・太田 寛行，2000，妙高燕土壌断面における菌核の分布と科学組成，日本土壤肥科学会講演要旨集，46，35。
- 近藤 鎌三・佐瀬 隆，1986，植物珪酸体分析，その特性と応用，第四紀研究，25，31-64。
- 宮脇 昭福著，1988，日本植生誌 北海道，至文堂，563p。
- 中村 純，1967，花粉分析，古今書院，232p。
- 徳永 重元・山内 輝子，1971，花粉・胞子，化石の研究法，共立出版株式会社，50-73。
- 塚田 松雄・中村 純，1988，第四紀末の植生誌，日本植物誌 北海道，宮脇 昭福著，至文堂，96-130。
- 渡邊 眞紀子・藤嶽 暢英・太田 寛行，2001，土壌から検出される菌核様粒子の形態と化学組成の比較，日本土壤肥科学会講演要旨集，47，127。
- 渡辺 誠，1984，縄文時代の植物食（増補），雄山閣，187p。
- 吉崎昌一，1992，古代雑穀の検出，考古学ジャーナル，355，2-14。

表IX-6 分析試料一覧表

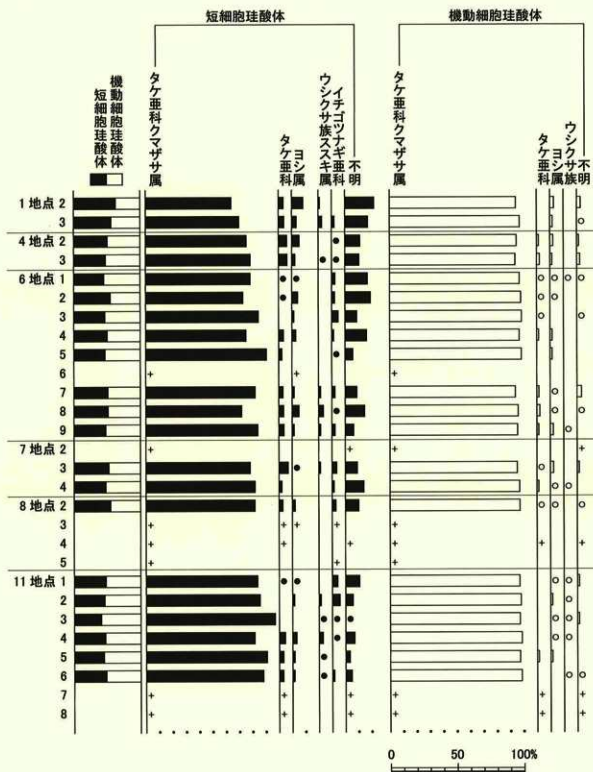
地点	No.	位置	層位	花粉	植物珪酸体	微細植物
1	2	A1-47c	Ⅲ層上部		○	
	3	A1-47c	Ⅲ層下部		○	
	1	A1-41c	Ⅱ層			
4	2	A1-41c	Ⅲ層上部		○	○
	3	A1-41c	Ⅲ層下部		○	○
	4	A1-41c	Ⅳ層			
	5	A1-41c	Ⅴ層			
	1	A1-39b	Ⅱ層	○		
5	2	A1-39b	Ⅲ層上部	○		
	3	A1-39b	Ⅲ層下部	○		
	4	A1-39b	Ⅳ層	○		
6	1	Y38 c	SM 0・1層		○	○
	2	Y38 c	SM 1層		○	○
	3	Y38 c	SM 1・2層		○	○
	4	Y38 c	SM 2層上部		○	○
	5	Y38 c	SM 2層下部		○	○
	6	Y38 c	SM 2・3層		○	○
	7	Y38 c	SM 3層		○	○
	8	Y38 c	ⅢSMB層上部		○	○
	9	Y38 c	ⅢSMB層下部		○	○
7	1	Y36 a	Ⅱ層			
	2	Y36 a	粘土層上部		○	○
	3	Y36 a	粘土層中部		○	○
	4	Y36 a	粘土層下部		○	○
8	1	U35 c	Ⅱ層			
	2	U35 c	Ⅲ層		○	
	3	U35 c	整地層上部		○	○
	4	U35 c	整地層上部		○	○
	5	U35 c	Ⅴ層		○	
10	1	R27 c	NM中位～下位			○
	2	R27 c	NM下位			○
	3	R27 c	ⅢNMB層			○
	4	R27 c	ⅢC層			○
	5	R27 c	Ⅲ層下部			
	6	R27 c	Ⅳ層			
	7	R27 c	Ⅴ層			
11	1	T27 a	ⅢNMA層上部		○	
	2	T27 a	ⅢNMA層下部		○	
	3	T27 a	北盛土上部		○	
	4	T27 a	北盛土下部		○	
	5	T27 a	ⅢNMB層上部		○	
	6	T27 a	ⅢNMB層下部		○	
	7	T27 a	Ⅳ層		○	
	8	T27 a	Ⅴ層		○	

表IX-7 花粉分析結果

種 類	試料番号	5 地点			
		No.1	No.2	No.3	No.4
木本花粉					
マツ属		—	—	—	1
クルミ属		—	—	1	—
クマシデ属—アサダ属		—	—	—	1
ハシバミ属		—	—	1	—
ハンノキ属		—	1	1	—
コナラ属コナラ亜属		1	2	1	2
ヤドリギ属		—	—	—	1
カエデ属		—	—	—	1
草本花粉					
イネ科		5	2	10	2
クワ科		1	—	—	—
ナデシコ科		—	—	1	—
カラマツソウ属		—	1	2	—
セリ科		3	—	1	—
リンドウ属		—	1	—	—
ネナシカズラ属		—	—	—	1
ヨモギ属		9	3	7	5
キク亜科		1	3	4	2
不明花粉		—	1	16	—
シダ類孢子					
ゼンマイ属		1	—	—	—
他のシダ類孢子		35	8	22	12
合 計					
木本花粉		1	3	4	6
草本花粉		19	10	25	10
不明花粉		0	1	16	0
シダ類孢子		36	8	22	12
総計（不明を除く）		56	21	51	28

表Ⅷ-8 植物硅酸体分析結果

種 類	1地点		4地点		6地点			7地点			8地点			11地点														
	2	3	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8			
イネ科茎節細胞硅酸体																												
タケ茎科クマザサ属																												
タケ茎科	119	101	106	96	92	98	104	101	107	7	101	97	105	21	112	105	112	7	2	1	102	105	98	106	109	110	6	3
ヨシ属	7	6	9	8	1	1	-	5	3	-	4	5	5	-	10	3	4	2	1	-	1	-	-	6	4	4	3	2
ウシタケ属ススキ属	16	5	8	3	1	6	2	4	-	1	2	7	2	-	1	-	3	1	-	1	2	-	4	2	2	-	-	
イチゴウナキ属	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	2	5	2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	1	4	1	1	-	-
不明スピ型	-	3	1	1	3	3	6	2	1	-	3	1	3	-	5	2	4	1	-	1	5	7	1	1	2	-	-	
不明シゲシバ型	13	12	9	9	8	11	4	7	5	-	7	12	3	2	6	10	11	-	2	-	2	5	1	3	3	4	2	-
不明シゲシバ型	15	6	4	2	5	7	3	6	1	-	1	5	4	1	4	4	2	-	-	5	-	-	2	-	-	-	-	-
不明ゲンタキ型	13	7	3	2	7	8	4	9	1	-	3	3	1	1	3	4	1	-	-	6	2	-	4	1	2	-	1	-
イネ科茎節細胞硅酸体																												
タケ茎科クマザサ属																												
タケ茎科	101	107	129	124	136	106	137	128	131	6	109	122	129	31	123	135	108	10	3	1	128	141	141	145	143	131	12	3
ヨシ属	-	-	2	3	1	1	1	2	-	-	2	3	2	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	2	-	3	2	-
ウシタケ属	3	2	3	2	1	1	-	2	2	-	1	1	3	-	3	1	1	-	-	-	1	2	1	1	2	-	-	-
不明	-	-	3	1	2	3	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-
不明	3	1	2	3	1	-	1	-	-	-	4	1	-	3	2	-	1	-	1	-	2	-	2	-	1	3	1	-
合 計																												
イネ科茎節細胞硅酸体																												
イネ科茎節細胞硅酸体	185	144	140	122	117	134	123	134	118	8	123	135	125	25	143	128	137	11	5	2	122	123	101	130	120	125	11	6
イネ科茎節細胞硅酸体	107	110	136	132	140	108	139	132	133	6	116	127	135	34	129	139	111	10	5	1	132	144	145	147	147	133	18	6
合 計	292	254	276	254	257	242	262	266	251	14	239	262	260	59	272	267	248	21	10	3	254	267	246	277	267	268	29	12



出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1%未満、+は100個未満の試料で検出された種類を示す。

図IX-4 植物珪酸体群集

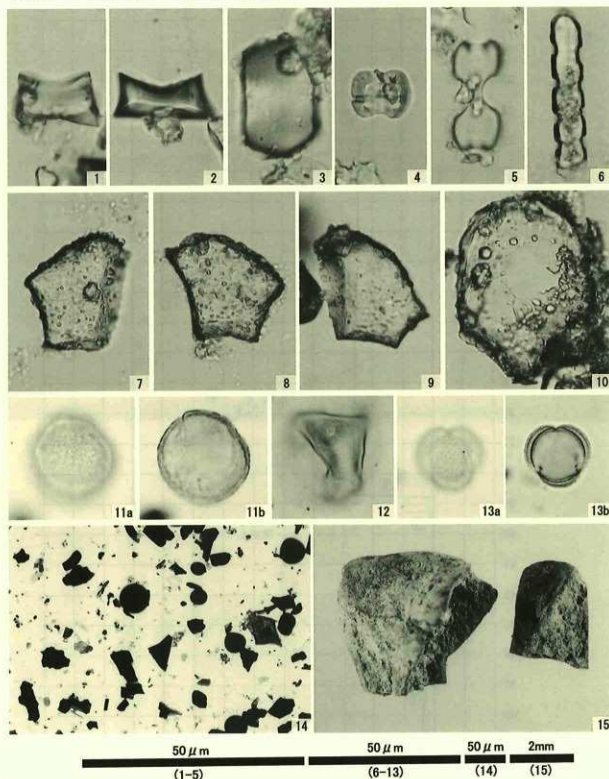
表Ⅸ-9 微生物分析結果

試料名	分析量 (g)	炭化		非炭化			菌核	土器
		オニグルミ?	炭化材等	ニワトコ	アカザ科	不明種実		
4地点 Na 2 A1-47c Ⅲ層上部	300		+			1	1	+
Na 3 A1-47c Ⅲ層下部	250		+		2		3	+
6地点 Na 1 Y38c SM 0・1層	351		1cc		3		5	+
Na 2 Y38c SM 1層	401		6cc					+
Na 3 Y38c SM 1・2層	251		2cc					+
Na 4 Y38c SM 2層上部	401	3	5cc					+
Na 5 Y38c SM 2層下部	251		5cc				3	+
Na 6 Y38c SM 2・3層	301		+				2	+
Na 7 Y38c SM 3層	401		4cc				14+	+
Na 8 Y38c ⅢSMB層上部	180		+				5	
Na 9 Y38c ⅢSMB層下部	201		+				21+	
7地点 Na 2 Y36a 粘土層上部	250		1cc		6+			+
Na 3 Y36a 粘土層中部	300		2cc	1	2			+
Na 4 Y36a 粘土層下部	250	2	1cc					+
8地点 Na 3 U35c 整地層上部	351		+		1	3	1	
Na 4 U35c 整地層上部	200		+					
10地点 Na 1 R27c NM中位～下位	200	4	+				10	
Na 2 R27c NM下位	400		1cc					+
Na 3 R27c ⅢNMB層	250	1	2cc				15	
Na 4 R27c ⅢC層	350		3cc				11	

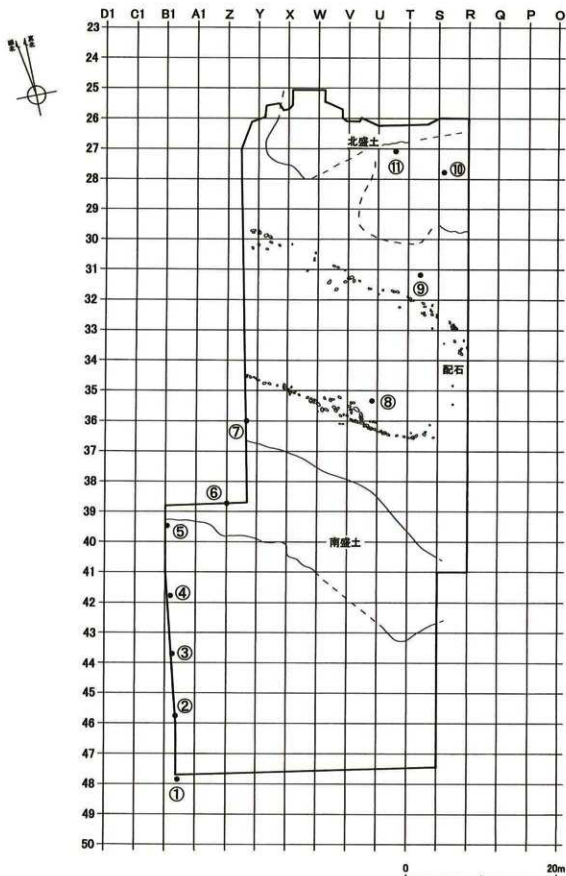
＋は、細片等で、正確な個数が不明なものを示す。

炭化材等は、瓶に入れたときのおおよその容積を1cc単位で示す。なお、1cc未満は＋で示す。

図版IX-1 植物珪酸体・花粉化石・炭化種実



- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. クマザサ属短細胞珪酸体(1地点:2) | 2. クマザサ属短細胞珪酸体(6地点:7) |
| 3. クマザサ属短細胞珪酸体(8地点:2) | 4. ヨシ属短細胞珪酸体(1地点:2) |
| 5. ススキ属短細胞珪酸体(6地点:8) | 6. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(6地点:7) |
| 7. クマザサ属機動細胞珪酸体(1地点:2) | 8. クマザサ属機動細胞珪酸体(6地点:7) |
| 9. クマザサ属機動細胞珪酸体(8地点:2) | 10. ヨシ属機動細胞珪酸体(1地点:2) |
| 11. コナラ亜属(5地点:2) | 12. イネ科(5地点:3) |
| 13. ヨモギ属(5地点:3) | 14. 顕微鏡下状況写真(5地点:1) |
| 15. オニグルミ?(7地点:3) | |



図IX-5 花粉分析サンプル採取地点 (1)

断面図(F83) 1/20



図区-6 花粉分析サンプル採取地点(2)

4 館野遺跡出土黒曜石の産地推定

竹原弘展 (パレオ・ラボ)

1 はじめに

館野遺跡出土黒曜石について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2 試料と方法

分析試料は館野遺跡より出土した黒曜石計25点である(表IX-11)。

試料は、測定前にメラミンフォーム製のスポンジを用いて、測定面表面の洗浄を行った。

分析装置は、株式会社セイコーインスツルメンツ社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA-2001Lを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウムRh、X線検出器はSi(Li) 半導体検出器である。測定条件は、測定時間300sec、照射径10mm、電流自動設定(1~63μA、デッドタイムが20%未満になるよう自動的に設定)、電圧50kV、試料室内雰囲気真空中に設定した。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた(望月2004など)。本方法は、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)とルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps; count per second)について、以下に示す指標値を計算する。

- 1) $Rb \text{ 分率} = Rb \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$
- 2) $Sr \text{ 分率} = Sr \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$
- 3) $Mn \text{ 強度} \times 100 / Fe \text{ 強度}$
- 4) $\log (Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$

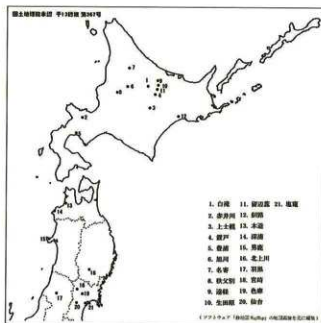
そしてこれらの指標値を用いた2つの判別図(横軸Rb分率-縦軸Mn強度×100/Fe強度の判別図と横軸Sr分率-縦軸log(Fe強度/K強度)の判別図)を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推定するものである。この方法は、指標値に蛍光X線のエネルギー差ができる限り小さい元素同士を組み合わせて算出しているため、形状、厚み等の影響を比較的影響に受けにくく、原則として非破壊である出土遺物の測定に対して非常に有効な方

表IX-10 北海道・東北地方黒曜石産地の判別群

都道府県	エリア	判別郡名	原石採取地
北海道	白滝	白滝 1	赤石山山頂③、八号沢路頭③
		白滝 2	赤石山山頂、八号沢路頭、八号沢、黒曜の沢、ジヤイの滝路頭③、ホロカ沢③
	赤井川	赤井川	由川・土木川②
	上士幌	上士幌	十勝三股③
	置戸	置戸山	置戸山⑤
		所山	所山⑤
	豊浦	豊浦	豊泉③
	旭川	旭川	近文台⑦
	名寄	名寄	忠烈布川③
	秩父別	秩父別 1	
		秩父別 2	中山③
		秩父別 3	
	遠軽	遠軽	社名瀬川河床②
	生田原	生田原	仁田布川河床③
	留辺蘂	留辺蘂	ケジョマップ川河床⑥
青森	奥州	奥州	奥州市宮スキー場④、阿寒川右岸②、阿寒川左岸⑥
	木造	出来島	出来島海岸③
	深浦	八森山	岡崎沢⑦、八森山公園⑧
秋田	男鹿	金ヶ崎	金ヶ崎温泉③
		鮎本	鮎本海岸④
岩手	北上川	北上折居 2	北上川⑨
山形	羽黒	月山	月山荘南③
		湯ノ倉	湯ノ倉③
	色麻	根岸	根岸③
	仙台	秩保 1	土蔵③
		秩保 2	
宮城	塩釜	塩釜	塩釜③
		塩釜	

法であるといえる。なお、厚みについては、かなり薄くても測定可能であるが、それでも0.5mm以下では影響をまぬかれないといわれる(望月1999)。極端に薄い試料の場合、K強度が相対的に強くなるため、 $\log(\text{Fe強度}/\text{K強度})$ の値が減少する。また、風化試料の場合でも、 $\log(\text{Fe強度}/\text{K強度})$ の値が減少する(同上)。そのため、試料の測定面はなるべく奇麗で平坦な面を選び、測定した。測定結果が判別群からかけ離れた値を示した場合は、測定面を変更するか、あるいはメラミンフォーム製スポンジで再度表面の洗浄を行った後、何回か再測定を行って検証した。

原石試料も、採取原石を割って新鮮な面を表出させた上で産地推定対象試料と同様の条件下で測定した。表Ⅸ-11に判別群一覧とそれぞれの原石採取地点及び点数を、図Ⅸ-7に各原石のエリアの位置を示す。



図Ⅸ-7 北海道・東北地方黒曜石原石採取エリア

3 分析結果

図Ⅸ-8に、黒曜石原石の判別図に遺物をプロットした図を示す。各図は視覚的にわかりやすいため、各判別群を楕円で取り囲んである。試料25点中、赤井川群の範囲に21点、白滝1群の範囲に3点、上士幌群の範囲に1点がそれぞれプロットされた。なお図上では、煩雑になるのを防ぐために、北海道・東北地方の原石のみの判別図となっているが、他の東日本の黒曜石原石のデータとの比較も実施済みである。各遺物の測定値及び推定結果一覧を表Ⅸ-11に示す。

なお、筆者は過去に近隣に所在する矢不来7遺跡出土黒曜石(縄文時代後期後葉)2点についても分析しており、置戸エリア産と白滝エリア産1点ずつという結果を得ている(竹原, 2007)。

4 終わりに

館野遺跡出土黒曜石25点について、蛍光X線分析による産地推定を行った結果、21点が赤井川エリア産、3点が白滝エリア産、1点が上士幌エリア産と推定された。

引用・参考文献

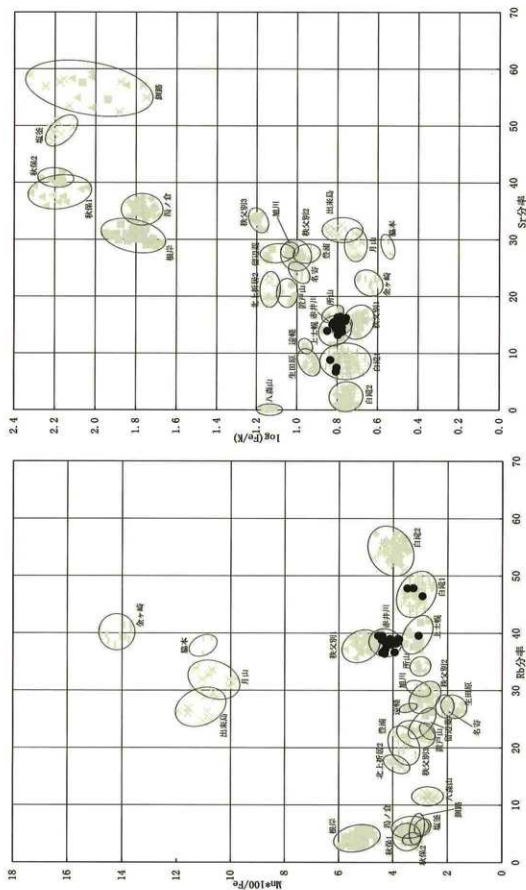
竹原弘展(2007) 矢不来7遺跡出土黒曜石の産地推定。矢不来7遺跡・矢不来8遺跡, (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書232。

望月明彦(1999) 上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定, 「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書2 上和田城山遺跡篇」: 172-179, 大和市教育委員会。

望月明彦(2004) 用田大河内遺跡出土黒曜石の産地推定, かながわ考古学財団調査報告167 用田大河内遺跡, 511-517, 財団法人 かながわ考古学財団

表区-11 分析対象遺物及び測定値・産地推定結果

試料 No.	遺物名	発掘区	遺物 番号	層位	重量 (g)	線出強度(cps)						Rb分率	Mn×100 Fe	Sr分率	Fe log K	判別群名	エリア	試料 No.
						K強度	Mn強度	Fa強度	Rb強度	Sr強度	Y強度	Zr強度						
1	フレイク	R27 d	177	III NMC	5.27	11.54	2.96	72.24	9.48	3.27	3.97	7.96	38.42	4.09	13.24	0.80	赤井川	1
2	Uフレイク	R28 a	291	III NMC	1.40	12.33	3.61	79.27	10.49	3.81	3.64	8.57	39.56	4.55	14.38	0.81	赤井川	2
3	Uフレイク	R28 c	117	III NMC	12.45	9.73	2.43	61.69	7.91	3.36	3.09	7.21	36.69	3.94	15.57	0.80	赤井川	3
4	Rフレイク	R30 a	13	粘土	5.67	13.30	3.30	76.77	10.16	4.14	3.93	8.14	38.53	4.30	15.69	0.76	赤井川	4
5	フレイク	S26	42	NM	4.67	10.16	2.69	63.66	8.48	3.45	3.06	6.87	38.78	4.23	15.77	0.80	赤井川	5
6	フレイク	S28 a	643	NM 4	1.07	11.21	2.47	71.22	10.48	1.64	3.60	6.19	47.86	3.47	7.47	0.80	白滝	6
7	フレイク	S29 c	41	II b	2.73	12.77	3.46	78.66	10.77	3.90	4.06	8.50	39.55	4.40	14.32	0.79	赤井川	7
8	Rフレイク	S35 b	13	III	7.11	11.22	2.50	76.60	11.76	2.17	4.13	6.50	47.89	3.26	8.82	0.83	白滝	8
9	フレイク	S42	4	I	4.22	10.79	2.65	67.97	8.97	3.82	3.44	7.24	38.21	3.89	16.30	0.80	赤井川	9
10	フレイク	T28 a	66	NM5	3.81	11.02	2.83	66.14	8.57	3.36	3.42	7.69	37.21	4.28	14.57	0.78	赤井川	10
11	スケレイパー	U26 b	102	NM	2.67	11.58	3.05	71.94	9.18	3.31	4.06	7.74	37.79	4.23	13.64	0.79	赤井川	11
12	フレイク	U28 d	16	IV	5.12	10.89	2.61	68.51	8.59	3.28	2.95	7.21	39.00	3.81	14.87	0.80	赤井川	12
13	Uフレイク	V27 b	145	NM2	13.89	10.39	2.83	64.15	8.58	3.06	3.43	7.04	38.82	4.41	13.85	0.79	赤井川	13
14	Uフレイク	V28 a	9	III NMB	2.43	10.96	2.80	73.06	9.51	3.73	3.08	8.45	38.38	3.83	15.04	0.82	赤井川	14
15	石盤?	W41 d	9	III	0.47	12.91	2.92	77.24	10.54	3.73	3.70	9.09	38.95	3.78	13.78	0.78	赤井川	15
16	フレイク	X27 b	10	III	2.24	11.49	3.08	74.13	8.97	3.43	3.18	7.84	38.29	4.16	14.64	0.81	赤井川	16
17	Uフレイク	Z40 a	6	III	2.15	13.12	3.23	75.02	9.17	4.09	3.74	8.17	36.44	4.31	16.24	0.76	赤井川	17
18	フレイク	Z40 a	7	IV	3.54	9.24	2.01	65.47	9.32	3.28	3.88	7.07	39.57	3.07	13.94	0.85	上士幌	18
19	フレイク	Z40 c	13	III	7.50	11.44	2.86	69.73	9.39	3.96	3.24	7.48	39.01	4.11	16.45	0.79	赤井川	19
20	フレイク	Z40 c	14	IV	1.71	11.76	3.04	74.70	9.59	3.86	3.47	7.75	38.86	4.06	15.65	0.80	赤井川	20
21	Rフレイク	Z42 b	7	III	2.66	10.39	2.64	62.57	7.99	3.24	3.05	6.83	37.86	4.22	15.37	0.78	赤井川	21
22	Uフレイク	Z42 b	13	III	2.14	11.55	3.15	72.21	8.97	3.54	3.21	8.64	36.83	4.36	14.52	0.80	赤井川	22
23	石盤	Z46 b	1	IV	0.56	12.74	2.39	81.60	10.96	1.60	4.60	6.41	46.49	2.93	6.78	0.81	白滝	23
24	石盤	AI-40 b	9	III	1.09	11.03	2.95	72.53	9.49	3.86	3.71	7.91	38.01	4.07	15.46	0.82	赤井川	24
25	フレイク	AI-40 d	3	III	7.49	11.06	3.19	72.49	9.50	3.93	4.59	7.92	36.61	4.40	15.15	0.82	赤井川	25



黒曜石産地推定判別図 (1)

黒曜石産地推定判別図 (2)

図区-8 黒曜石産地推定判別図 (1) (2)

5 北斗市館野遺跡出土の種実遺体・動物遺存体

パリオ・サーヴェイ株式会社

はじめに

館野遺跡は下町沢川の右岸海岸段丘上（標高50～60m）に立地し、これまでの発掘調査の結果、縄文時代中期末～後期の配石遺構、竪穴住居跡、土坑、石囲炉、焼土などの遺構及びこれに伴う多数の遺物が検出されている。今回の分析調査では、焼土、石囲炉、埋設土器、住居跡、土坑、盛土などから出土した種実遺体および骨類の同定を実施し、当時の動植物資源の利用状況に関する基礎資料を作成する。

1 試料

試料は、遺構や焼土などからフローテーション法によって得られた種実・骨類（資料番号1～152）、盛土の水洗選別によって得られた種実・骨類（資料番号155～176）、ハンドピックによって回収された骨類（資料番号201～253）である。受領時には、調査担当者によって種実遺体同定試料と動物遺存体同定試料に分離されており、各分析の試料点数は種実遺体同定が68試料、動物遺存体骨類同定が22試料である。フローテーション法および水洗選別によって得られた試料は、1試料中に複数点の種実遺体片や動物遺存体片が含まれる。

なお、遺構名に記載されている記号は、Fが焼土、Fsが石囲い炉、Poが埋設土器、Hが住居跡、Pが土坑、SPが小柱穴状ピット、SMが南盛土、NMが北盛土とされる。

2 分析方法

（1）種実遺体同定

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて同定可能な種実を抽出する。現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）等の図鑑との対照から、種実の種類と部位を同定し、個数と重量を表示する。オニグルミの核とクリの子葉の判別が困難な破片は、堅果類としている。分析後は、種実等を種類毎に容器に入れて保管する。

（2）動物遺存体同定

一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合を行う。試料を肉眼・ルーペ・実体顕微鏡で観察し、その形態的特徴から、種と部位の同定を行う。計測は、デジタルノギスを用いて測定する。

3 結果

（1）種実遺体同定

結果を表IX-12に、遺構別炭化種実出土状況を表IX-13に示す。木本5分類群（針葉樹のスギ、落葉広葉樹のオニグルミ、クリ、ブナ科、キハダ）、草本2分類群（タデ属、アカザ科）の種実が同定された他に、炭化材、地下茎、菌類の菌核、不明、昆虫、動物遺存体（骨同定試料に含めた）、岩片、高師小僧、土粒が確認された。

種実遺体群は、オニグルミの核の破片が最も多く（891個；25.4g）、南盛土（SM）（422個；12.97g）、北盛土（NM）（404個；11.83g）で特に多い。その他に、クリの子葉（140個；7.81g）や果実の破片（7個；0.01g未満）、クリと思われるブナ科の果実破片（18個；0.01g未満）、キハダの核（2個；0.01g未満）が確認され、いずれも炭化している。一方、スギ、タデ属、アカザ科は保存状態が良好

表区-12 館野遺跡の種実同定結果 (1)

資料 番号	遺物名	部位	形状	備考	分組群 ・部位 試 験	セメント土底			タリ子泥			炭化植物			タリ子泥			タリ子泥			炭化材	備考
						鏡片	空腔(パル・ナリ)	鏡片	完形	鏡片	完形	鏡片	完形	鏡片	完形	鏡片	完形	鏡片	完形	完形		
3	F-64	礎土	R37		F																	
4	F-65	礎土	R37		F																	
13	50分層		U30		W			161個	0.15g												1個	<0.01g
14	50分層		U30		W			2個	0.04g												1個	<0.01g
15	50分層		W29		W																	
21	F-90	礎土	S38		W			3個	<0.01g													
25	F-100	礎土	T38		W			4個	0.04g													
33	F-109	礎土	U37		W			1個	<0.01g													
40	F-118	礎土	X36		F																	
44	F-122	礎土	Y36		W			1個	0.04g													
48	F-127	礎土	T37		F			1個	0.08g													
49	F-128	礎土	T37		F			2個	0.05g													
53	F-130	礎土	U37		W																	
59	F-130	礎土	U37		W																	
64	F-137	礎土	T29		W			2個	<0.01g													
66	F-210	礎土	S27		W			4個	0.06g												2個	0.01g
68	F-215	礎土	S29		W			4個	0.06g													
70	F-238	礎土	S27		F			3個	0.06g													
74	F-543	礎土	R27		W			21個	0.12g													
77	F-254	礎土	S30		W																	
79	F-12	礎土	R30		W			4個	<0.01g													
80	F-3	礎土	R31		W			1個	<0.01g													
83	F-3	礎土	R31		W			3個	0.02g													
85	F-3	礎土	U32		W			5個	0.02g													
88	礎土	礎土	U32		W																	
94	H-33・37	礎土	R30		F																	
96	H-36	礎土	T44		W			1個	<0.01g													
104	P-60	礎土	X27		W			14個	0.21g													
106	P-74	礎土	Y33		W			1個	0.05g													
108	P-120	礎土	X28		W			2個	<0.01g													
111	P-137	礎土	V29		W			1個	<0.01g													
112	P-137	礎土	V29		W			2個	<0.01g													
117	P-186	礎土	S32		W			10個	0.05g													
118	P-186	礎土	W27		W			3個	0.02g													
122	P-13	礎土	R33		W			1個	<0.01g													
124	P-14	礎土	R38		W			4個	0.04g													
125	P-15	礎土	S37		W			21個	0.10g													
127	P-17	礎土	T38		W			9個	0.04g													
128	P-17	礎土	T38		W			6個	0.02g													
129	P-19	礎土	T38		W			2個	<0.01g													
130	P-19	礎土	T38		W																	
131	P-21	礎土	S39		W			4個	0.04g													
133	P-21	礎土	S39		W			2個	<0.01g													

タリ子泥：1個あたり

表IX-12 館野遺跡の種実同定結果(2)

資料 番号	遺物名	部位	グレイド	備考	分類 ・単位 状態	炭化植物										備考
						オニグルミ 核 破片	堅果類(ナツメノリ) 破片	タリ子殻 完形	破片	タリ炭灰 破片	タリ炭灰 破片	タリ炭灰 破片	タリ炭灰 破片	タリ炭灰 破片	炭化材	
134	Pa-24	礎上	W26		W 芽実	24個	0.04g		2個	0.07g						
135	Pa-25	礎上	V27		F 芽実						1個	<0.01g				
136	Pa-26	礎上	V27		F 芽実											
137	Pa-27	礎上	V28		F 芽実	3個	<0.01g	3個	<0.01g							
138	Pa-28	礎上	V28		F 芽実	3個	<0.01g	3個	<0.01g							
139	Pa-29	礎上	V28		F 芽実	4個	0.04g	4個	0.23g							
140	Pa-30	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
141	Pa-31	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
142	Pa-32	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
143	Pa-33	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
144	Pa-34	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
145	Pa-35	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
146	Pa-36	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
147	Pa-37	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
148	Pa-38	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
149	Pa-39	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
150	Pa-40	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
151	Pa-41	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
152	Pa-42	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
153	Pa-43	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
154	Pa-44	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
155	Pa-45	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
156	Pa-46	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
157	Pa-47	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
158	Pa-48	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
159	Pa-49	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
160	Pa-50	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
161	Pa-51	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
162	Pa-52	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
163	Pa-53	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
164	Pa-54	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
165	Pa-55	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
166	Pa-56	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
167	Pa-57	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
168	Pa-58	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
169	Pa-59	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
170	Pa-60	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
171	Pa-61	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
172	Pa-62	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
173	Pa-63	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
174	Pa-64	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
175	Pa-65	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							
176	Pa-66	礎上	V28		F 芽実	2個	0.04g	2個	0.23g							

表区-12 館野遺跡の種実同定結果 (3)

資料番号	遺物名	部位	チャット	備考	分類群・部位 続 価	出たていない遺物 タテ目録表			その他					備考
						タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	タテ目録表	
3	F-64	焼土	R37		P 焼土									
4	F-65	焼土	R37		W 焼土									
113	谷部粉		U30		P 焼土									
114	谷部粉		U30		W 焼土									
115	谷部粉		U30		W 焼土									
116	谷部粉		U30		W 焼土									
117	谷部粉		U30		W 焼土									
118	谷部粉		U30		W 焼土									
119	谷部粉		U30		W 焼土									
120	谷部粉		U30		W 焼土									
121	谷部粉		U30		W 焼土									
122	谷部粉		U30		W 焼土									
123	谷部粉		U30		W 焼土									
124	谷部粉		U30		W 焼土									
125	谷部粉		U30		W 焼土									
126	谷部粉		U30		W 焼土									
127	谷部粉		U30		W 焼土									
128	谷部粉		U30		W 焼土									
129	谷部粉		U30		W 焼土									
130	谷部粉		U30		W 焼土									
131	谷部粉		U30		W 焼土									

表IX-12 館野遺跡の種実同定結果 (4)

資料 番号	遺物名	部位	グランド	備考	分選層			炭化していない植物			その他					備考		
					層位	状態	種	スギ残葉	タテシ	タテシ	地下茎	根茎	不明	足虫	動物遺存体	岩片	3層小骨	土粒
154	Fa-24	粘土	W36			F	粟											
155	Fa-25	粘土	V27			F	粟											
156	Fa-26	粘土	V36			F	粟											
157	Fa-27	粘土	V37			F	粟											
158	Fa-28	粘土	V38			F	粟											
159	Fa-29	粘土	V39			F	粟											
160	Fa-30	粘土	V40			F	粟											
161	Fa-31	粘土	V41			F	粟											
162	Fa-32	粘土	V42			F	粟											
163	Fa-33	粘土	V43			F	粟											
164	Fa-34	粘土	V44			F	粟											
165	Fa-35	粘土	V45			F	粟											
166	Fa-36	粘土	V46			F	粟											
167	Fa-37	粘土	V47			F	粟											
168	Fa-38	粘土	V48			F	粟											
169	Fa-39	粘土	V49			F	粟											
170	Fa-40	粘土	V50			F	粟											
171	Fa-41	粘土	V51			F	粟											
172	Fa-42	粘土	V52			F	粟											
173	Fa-43	粘土	V53			F	粟											
174	Fa-44	粘土	V54			F	粟											
175	Fa-45	粘土	V55			F	粟											
176	Fa-46	粘土	V56			F	粟											
177	Fa-47	粘土	V57			F	粟											
178	Fa-48	粘土	V58			F	粟											
179	Fa-49	粘土	V59			F	粟											
180	Fa-50	粘土	V60			F	粟											
181	Fa-51	粘土	V61			F	粟											
182	Fa-52	粘土	V62			F	粟											
183	Fa-53	粘土	V63			F	粟											
184	Fa-54	粘土	V64			F	粟											
185	Fa-55	粘土	V65			F	粟											
186	Fa-56	粘土	V66			F	粟											
187	Fa-57	粘土	V67			F	粟											
188	Fa-58	粘土	V68			F	粟											
189	Fa-59	粘土	V69			F	粟											
190	Fa-60	粘土	V70			F	粟											
191	Fa-61	粘土	V71			F	粟											
192	Fa-62	粘土	V72			F	粟											
193	Fa-63	粘土	V73			F	粟											
194	Fa-64	粘土	V74			F	粟											
195	Fa-65	粘土	V75			F	粟											
196	Fa-66	粘土	V76			F	粟											
197	Fa-67	粘土	V77			F	粟											
198	Fa-68	粘土	V78			F	粟											
199	Fa-69	粘土	V79			F	粟											
200	Fa-70	粘土	V80			F	粟											
201	Fa-71	粘土	V81			F	粟											
202	Fa-72	粘土	V82			F	粟											
203	Fa-73	粘土	V83			F	粟											
204	Fa-74	粘土	V84			F	粟											
205	Fa-75	粘土	V85			F	粟											
206	Fa-76	粘土	V86			F	粟											
207	Fa-77	粘土	V87			F	粟											
208	Fa-78	粘土	V88			F	粟											
209	Fa-79	粘土	V89			F	粟											
210	Fa-80	粘土	V90			F	粟											
211	Fa-81	粘土	V91			F	粟											
212	Fa-82	粘土	V92			F	粟											
213	Fa-83	粘土	V93			F	粟											
214	Fa-84	粘土	V94			F	粟											
215	Fa-85	粘土	V95			F	粟											
216	Fa-86	粘土	V96			F	粟											
217	Fa-87	粘土	V97			F	粟											
218	Fa-88	粘土	V98			F	粟											
219	Fa-89	粘土	V99			F	粟											
220	Fa-90	粘土	V100			F	粟											
221	Fa-91	粘土	V101			F	粟											
222	Fa-92	粘土	V102			F	粟											
223	Fa-93	粘土	V103			F	粟											
224	Fa-94	粘土	V104			F	粟											
225	Fa-95	粘土	V105			F	粟											
226	Fa-96	粘土	V106			F	粟											
227	Fa-97	粘土	V107			F	粟											
228	Fa-98	粘土	V108			F	粟											
229	Fa-99	粘土	V109			F	粟											
230	Fa-100	粘土	V110			F	粟											
231	Fa-101	粘土	V111			F	粟											
232	Fa-102	粘土	V112			F	粟											
233	Fa-103	粘土	V113			F	粟											
234	Fa-104	粘土	V114			F	粟											
235	Fa-105	粘土	V115			F	粟											
236	Fa-106	粘土	V116			F	粟											
237	Fa-107	粘土	V117			F	粟											
238	Fa-108	粘土	V118			F	粟											
239	Fa-109	粘土	V119			F	粟											
240	Fa-110	粘土	V120			F	粟											
241	Fa-111	粘土	V121			F	粟											
242	Fa-112	粘土	V122			F	粟											
243	Fa-113	粘土	V123			F	粟											
244	Fa-114	粘土	V124			F	粟											
245	Fa-115	粘土	V125			F	粟											
246	Fa-116	粘土	V126			F	粟											
247	Fa-117	粘土	V127			F	粟											
248	Fa-118	粘土	V128			F	粟											
249	Fa-119	粘土	V129			F	粟											
250	Fa-120	粘土	V130			F	粟											
251	Fa-121	粘土	V131			F	粟											
252	Fa-122	粘土	V132			F	粟											
253	Fa-123	粘土	V133			F	粟											
254	Fa-124	粘土	V134			F	粟											
255	Fa-125	粘土	V135			F	粟											
256	Fa-126	粘土	V136			F	粟											
257	Fa-127	粘土	V137			F	粟											
258	Fa-128	粘土	V138			F	粟											
259	Fa-129	粘土	V139			F	粟											
260	Fa-130	粘土	V140			F	粟											
261	Fa-131	粘土	V141			F	粟											
262	Fa-132	粘土	V142			F	粟											
263	Fa-133	粘土	V143			F	粟											
264	Fa-134	粘土	V144			F	粟											
265	Fa-135	粘土	V145			F	粟											
266	Fa-136	粘土	V146			F	粟											
267	Fa-137	粘土	V147			F	粟											
268	Fa-138	粘土	V148			F	粟											
269	Fa-139	粘土	V149			F	粟											
270	Fa-140	粘土	V150			F	粟											
271	Fa-141	粘土	V151			F	粟											
272	Fa-142	粘土	V152			F	粟											
273	Fa-143	粘土	V153			F	粟											
274	Fa-144	粘土	V154															

表区-13 遺構別炭化種実出土状況

資料番号	遺構名	層位	グリッド	オニグルミ核	オニグルミ核一 クリ子葉?	クリ子葉	クリ 果実	ブナ科 果実	キハダ核
3	F-64	焼土	R37						1個
4	F-65	焼土	R37			161個 0.75g	4個 0.15g		1個
13	包含層		U30		2個 0.04g				
15	包含層		W29	2個 <0.01g					
21	F-96	焼土	S38	4個 0.04g					
25	F-100	焼土	T38	1個 <0.01g					
44	F-122	焼土	Y36	1個 0.04g					
49	F-128	焼土	T37	1個 0.03g					
51	F-131	焼土	U36	3個 0.05g					
64	F-197	焼土	T29		2個 <0.01g				
66	F-210	焼土	S27	8個 0.12g	3個 0.01g	1個 0.03g			
68	F-215	焼土	S28	3個 0.06g					
70	F-228	焼土	S27		21個 0.12g	1個 <0.01g			
79	Fs-12	焼土	R30	4個 <0.01g					
80	Ps-1	焼土	T31	1個 <0.01g					
82	Ps-3	焼土	R38	3個 0.02g	9個 0.02g				
104	P-60	覆土	X27	1個 <0.01g					1個
106	P-74	覆土中	Y33		15個 0.26g	8個 0.33g			2個
108	P-120	覆土	X28	2個 <0.01g					
111	P-137	覆土	V29		1個 <0.01g				
112	P-137	覆土	V29	10個 0.05g	2個 <0.01g				
117	P-186	焼土	S32			5個 0.26g			
118	P-196	F1	W27	2個 0.05g					
122	Fs-13	覆土	R33	1個 <0.01g					
124	Fs-14	覆土	R38	5個 0.04g	30個 0.14g	15個 0.29g	4個	8個	
125	Fs-15	覆土	S37		8個 0.02g	1個 <0.01g	1個	3個	
129	Fs-19	覆土	T38	4個 0.04g		1個 0.06g			
130	Fs-20	覆土	T39	2個 <0.01g					
131	Fs-21	覆土	S39		2個 <0.01g				
134	Fs-24	覆土	W36			2個 0.01g			
135	Fs-25	覆土	V37	2個 0.04g			1個		
137	Fs-27	覆土	V36						
138	Fs-28	覆土	X27	3個 <0.01g	2個 <0.01g				
151	包含層		V34 d		4個 <0.01g	6個 0.11g	1個	2個	
152	包含層		X27 c	2個 0.02g					
155	SM	SM 2 上	W39 a	40個 1.04g	4個 0.07g	4個 0.23g			
157	SM	SM 2 中	V39 c	57個 1.17g	11個 0.06g	5個 0.35g			
158	SM	SM 2 下	V39 c	14個 0.34g	9個 0.12g	19個 1.30g			
159	SM	SM 2 * 3	V39 c	74個 2.28g	4個 0.10g	10個 0.51g		1個	
160	SM	SM 3	V39 c	4個 0.15g	1個 0.05g				
161	SM	SM 2 上	W39 d	82個 2.77g	12個 0.20g	3個 0.28g			
162	SM	SM 2 中	W39 d	57個 1.50g	11個 0.30g	7個 0.21g			
163	SM	SM 2 下	W39 d	36個 1.52g	8個 0.10g	17個 1.40g			
164・167	SM	SM 2 * 3	W39 d	18個 0.63g	2個 0.01g	4個 0.43g			
168	SM	SM 3	W39 d	40個 1.57g		2個 0.36g			
169	NM	NM 上位	S28 a	86個 3.14g	5個 <0.01g				
170・171	NM	NM 中位	S28 a	117個 2.69g	30個 0.30g	22個 1.42g			
172	NM	NM 中～下位	S28 a	3個 0.04g					1個
174	NM	NM 1	W25 c	48個 0.74g	37個 0.21g	3個 0.08g			
175・176	NM	NM 2 上位	W25 c	150個 5.22g	11個 0.08g				

で、炭化していない。現在スギは本地域に自生せず、植栽あるいは製品として搬入されたもの等に由来する可能性がある。タデ属、アカザ科は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群であることから、周辺域の草地に由来すると考えられる。これらは、相伴する炭化種実と保存状態が異なり後代の混入と判断されるため、記載・考察から除外している。以下に、炭化種実の形態的特徴等を記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura)
クルミ科クルミ属

核の破片が検出された。炭化しており黒色。長さ3.0–4.0cm、径2.5–3.0cm程度の頂部が尖る広卵形で、縦に1周する縫合線がある。破片の大きさは、最大で1.8cm程度。核は硬く緻密で、表面には縦方向に溝状の浅い影紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

子葉と果実の破片が検出された。炭化しており黒色。三角状広卵形で一側面は偏平、反対面は丸みがある。子葉は、長さ2.3–2.5cm、幅2.1–2.3cm、厚さ1.0cm程度。2枚からなる子葉の合わせ目の線に沿って割れた半分以下の破片も確認される。子葉は硬く緻密で、表面には内果皮（渋皮）の圧痕の縦筋が粗く波打つ。合わせ目の表面は平滑で、正中線はやや窪み、頂部に小さな孔（主根）がある。資料番号124の子葉表面には果皮が付着している。果実の破片は、外面はやや平滑で、微細な縦筋に沿って割れている。内面には灰褐色の内果皮（渋皮）がある。基部全面を占める着点は別組織で、灰褐色、粗く不規則な粒状紋様がある。なお、全体の形状が不明の果実破片をブナ科（Fagaceae）としているが、多量のクリの子葉が相伴する点と、コナラ属（*Quercus*）よりも果皮表面の縦筋が深い点から、クリと考えられる。

・キハダ (*Phellodendron amurense* Rupr.) ミカン科キハダ属

核（内果皮）が検出された。炭化しており黒色、長さ3.8mm、幅2.2mm、厚さ1.3mm程度のやや偏平な半広卵形。内果皮は硬く、表面には浅く微細な縦長の網目模様が配列する。資料番号3には表面に果実の付着が確認された。

（2）動物遺存体同定

確認された種類は、巻貝類が1種類、軟骨魚綱が6種類（ホホジロザメ属・メジロザメ科・ツノザメ科・ガンギエイ属・アカエイ科・トビエイ科）、硬骨魚綱が20種類（ウナギ科？・アナゴ科・マイワシ・ニシン・カタクチイワシ・ウグイ属・コイ科・サケ属・タラ科？・ボラ科・フササゴ科・アイナメ属・ホッケ属・スズキ属・タイ科・キス属・ハゼ科？・サバ属・ヒラメ科？・カレイ科）、鳥綱が1種類（スズメ目）、哺乳綱が5種類（ネズミ目・ヒグマ・キツネ・海獣類・ニホンジカ）である（表IX-14）。大半が焼骨であるが、資料番号40で2点ほど非焼骨が検出される。なお、土壌や礫も多少含まれている。

同定結果を表IX-15に示す。同定の結果、魚類が中心となっており、鳥類と哺乳類を伴う組成である。また、種類・部位を特定できなかった骨（結果表では脊椎動物門と表記）も大半は硬骨魚類の骨片とみられる。全体的な傾向として、サケ属の椎骨片、魚類の椎骨片や鰓蓋骨・鰭棘などが多く検出される。以下、種類ごとに結果を示す。

〈巻貝類〉

腹足綱と思われる破片が検出される。

〈ホホジロザメ属〉

歯が資料番号134・137・159・164・167・170・171・233・236の9試料で11点検出される。

〈メジロザメ科〉

資料番号170で上顎歯1点、資料番号170・174で下顎歯が計3点検出される。

〈ツノザメ科〉

資料番号139で椎骨1点、資料番号138・140で歯が計3点検出される。

〈サメ類〉

資料番号12・204・263で歯が検出される。

〈ガンギエイ属〉

歯が21試料で合計28点検出される。歯の基底面が平で、溝が唇側に広がり、中央に穴が認められる。歯冠が尖頭状と鈍頭の形状を示すものがあり、雌雄個体が含まれるとみられる。なお、類似する形状を示すが、歯根部が破損しているものに関してガンギエイ属?とした。

〈アカエイ科〉

資料番号108で歯が8点、資料番号59・121で歯鱗が計2点検出される。また、アカエイ科の可能性のある歯(資料番号131)が検出され、歯鱗の破片が計5点検出される。

〈トビエイ科〉

資料番号232で歯板が1点検出される。

〈エイ目〉

歯、歯鱗の破片が検出される。

〈サメ・エイ類〉

椎体が検出される。形状によりA～Gにタイプ分けを行っているが、種類は不明である。椎骨自体は、比較的多くの試料で検出される。

〈ウナギ科?〉

歯骨の可能性のある破片が資料番号150で1点検出される。

〈アナゴ科〉

ほぼ完存する椎体が資料番号220で1点検出される。

〈ニシン科〉

マイワシの第1椎骨、ニシンの第1椎骨・第2椎骨、ニシン科の耳石・腹椎・尾椎が検出される。腹椎・尾椎は、比較的多くの試料で検出される。

〈カタクチイワシ〉

腹椎が資料番号111で、尾椎が資料番号120で3点検出される。

〈ウグイ属〉

資料番号170・172で腹椎が、資料番号12・174で尾椎が検出される。

〈コイ科〉

資料番号30で腹椎、資料番号168で椎骨、資料番号

表区-14 検出動物分類群の一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
腹足綱	Class Gastropoda
前鳃亜綱	Subclass Prosobranchia
	巻貝類? Ord. et. fam. indet.
脊椎動物門	Phylum Vertebrata
軟骨魚綱	Class Chondrichthyes
板鳃亜綱	Subclass Elasmobranchii
ネズミザメ目	Order Lamniformes
ネズミザメ科	Family Lamnidae
ホホヅメ科	Genus <i>Carcharodon</i>
メジロザメ目	Order Carcharhiniformes
メジロザメ科	Family Carcharhinidae
ツノザメ目	Order Squaliformes
ツノザメ科	Family Squalidae
エイ目	Order Rajiformes
エイ亜目	Suborder Rajoidei
ガンギエイ科	Family Rajidae
ガンギエイ属	Genus <i>Dipturus</i>
アカエイ科	Family Dasyatidae
トビエイ科	Family Myliobatidae
硬骨魚綱	Class Osteichthyes
条鰭亜綱	Subclass Actinopterygii
ウナギ目	Order Anguilliformes
ウナギ亜目	Suborder Anguilloidei
ウナギ科?	Family Anguillidae?
アナゴ科	Family Congridae
ニシン目	Order Clupeiformes
ニシン科	Family Clupeidae
ニシン亜科	Subfamily Clupeinae
マイワシ	<i>Sardinops melanostictus</i>
ニシン	<i>Clupea pallasii</i>
カタクチイワシ科	Family Engraulidae
カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>
コイ目	Order Cypriniformes
コイ科	Family Cyprinidae
ウグイ亜科	Subfamily Leuciscinae
ウグイ属	Genus <i>Tribolodon</i>
サケ目	Order Salmoniformes
サケ科	Family Salmonidae
サケ属	Genus <i>Oncorhynchus</i>
タラ目	Order Gadiformes
タラ科?	Family Gadidae?
ボラ目	Order Mugiliformes
ボラ科	Family Mugilidae
カサゴ目	Order Scorpaeniformes
カサゴ亜目	Suborder Scorpaenoidei
フサカサゴ科	Family Scorpaenidae
カサゴ亜目	Suborder Cottoidei
アイナメ科	Family Hexagrammidae
アイナメ属	Genus <i>Hexagrammos</i>
ホッケ属	Genus <i>Pleuragrammus</i>
スズキ目	Order Perciformes
スズキ亜目	Suborder Percoidei
スズキ科	Family Moronidae
スズキ属	Genus <i>Lateolabrax</i>
タイ科	Family Sparidae
キス科	Family Sillaginidae
キス属	Genus <i>Sillago</i>
ハゼ亜目	Suborder Gobioidi
ハゼ科?	Family Gobiidae?
サバ亜目	Suborder Scombroidei
サバ科	Family Scombridae
サバ属	Genus <i>Scomber</i>
カレイ目	Order Pleuronectiformes
ヒラメ科?	Family Parichthyidae?
カレイ科	Family Pleuronectidae
鳥綱	Class Aves
スズメ目	Order Passeriformes
哺乳綱	Class Mammalia
ネズミ目(齧歯目)	Order Rodentia
ネコ目(食肉目)	Order Carnivora
ネコ亜目	Suborder Fissipedia
クマ科	Family Ursidae
ヒグマ	<i>Ursus arctos</i>
イヌ科	Family Canidae
キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>
ネコ目アシカ亜目/ワジ目	Suborder Pinnipedia / Cetacea
海象類	Ord. et. fam. indet.
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
シカ科	Family Cervidae
ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>

104で鱗棘が検出される。

〈サケ属〉

最も多くの試料で検出される。大半は微細な破片となっているが、資料番号227ではほぼ完存する椎体が検出される。

〈タラ科?〉

資料番号66で尾椎が検出される。

〈ボラ科〉

資料番号112・234・240で尾椎が検出される。なお、資料番号112ではボラ科の可能性のある尾椎が検出される。

〈フサカサゴ科〉

資料番号106で腹椎が、資料番号55・79・95・120・149・169・232で尾椎が検出される。なお、資料番号54でフサカサゴ科の可能性のある尾椎がみられる。

〈アイナメ属〉

資料番号8で尾椎が検出される。

〈ホッケ属〉

資料番号68・169・170で尾椎が検出される。

〈スズキ属〉

資料番号241で尾椎が検出される。

〈スズキ科〉

資料番号147で左歯骨?、資料番号170で腹椎、資料番号174で椎骨が検出される。また、資料番号170でスズキ科の可能性のある尾椎が検出される。

〈タイ科〉

歯、右角骨、第1椎骨、尾椎、椎骨が検出される。また、タイ科の可能性のある腹椎および尾椎が検出される。

〈キス属〉

資料番号61で尾椎が検出される。

〈ハゼ科?〉

資料番号120で尾椎が検出される。

〈サバ属〉

資料番号120で左右前上顎骨、右上上顎骨、腹椎、尾椎が検出される。この他、資料番号99・112で腹椎が検出される。また、資料番号120でサバ属の可能性のある尾鰭椎前椎体が検出される。

〈ヒラメ科?〉

資料番号54で尾椎が検出される。

〈カレイ科〉

資料番号73・169・170で第1椎骨が、資料番号159・170で尾椎が検出される。

〈魚類〉

分類群を特定出来ないが、この他に顎骨が212点、咽頭骨が11点、咽頭骨?が5点、歯が242点、歯?が1点、資料番号169で角骨および角舌骨の可能性のある骨が各1点、資料番号112・120で舌顎骨が各1点、資料番号170で後側頭骨の可能性のある骨1点、資料番号120で肩甲骨1点、資料番号40で第1椎骨の可能性のある骨が1点、腹椎が6点、椎骨片が772点、資料番号43・120・150で尾部棒状骨

が各1点、資料番号120・121で下尾骨が計8点、資料番号131で臀鰭間棘1点、鰓条骨・鰭棘等の破片が1,348点以上、魚類の部位不明破片が427点以上ある。

〈鳥綱〉

資料番号57でスズメ目の左足根中足骨が1点、資料番号70で小型鳥類の四肢骨片が1点、この他に椎骨、複合仙骨、尺骨、手根中手骨、足根中足骨、四肢骨、基節骨、末節骨、指骨などが確認されている。この他にも、鳥類の可能性のある四肢骨・肋骨・不明破片などもみられる。

〈ネズミ目〉

資料番号112で尾椎が1点検出される。

〈ヒグマ〉

資料番号201で中足骨、資料番号253で末節骨が検出される。末節骨は、破損標本であったが、接合することができ、ほぼ完存する状態に復元できた。穿孔された加工品の可能性もある。

〈キツネ〉

資料番号168で中節骨が検出される。

〈海獣類〉

資料番号250で指骨？、資料番号162・258で部位不明破片が検出される。

〈ニホンジカ〉

資料番号206でほぼ完存する第1／4種子骨、資料番号242で基節骨近位端が検出される。

〈獣類〉

頭蓋骨片が1点、椎骨片が1点、仙骨片が1点、肋骨片が15点、肋骨？が1点、四肢骨片が100点、中足骨が1点、中手骨／中足骨が2点、中手骨／中足骨？が1点、基節骨／中節骨が1点、指骨が7点、部位不明破片が227点以上みられる。

また、鳥類／獣類の肋骨が11点、四肢骨が179点、四肢骨／指骨が11点、基節骨／中節骨が1点、指骨が5点、指骨？が1点、肋骨／四肢骨が37点、不明破片が5点みられる。

4 考察

(1) 植物利用

種実同定の結果、落葉高木のオニグルミ、クリ、キハダが確認された。オニグルミ、キハダは河川沿いなどの湿潤な場所を好んで生育し、クリは二次林要素で、いずれも現在の本地域に分布する種類である。

最も多く確認されたオニグルミは、核内部の種子が、クリは子葉が生食可能である。これらの堅果類は、長期保存可能で収量も多いことから、古くより植物質食糧として利用され、遺跡出土例も多い(渡辺, 1975など)。北海道では、縄文時代早期～晩期でオニグルミの出土事例が多く、ミズナラやコナラ、カシワ、クリ、トチノキ、ハシバミ等の堅果類も報告されている。

以上のことから、オニグルミ、クリは、当該期の本遺跡周辺の森林より遺構内に持ち込まれ、植物質食糧として利用されたことと、火を受けて炭化し、残存したことが推定される。また、可食部である子葉が出土したクリに対し、オニグルミは非可食部の核の破片のみが確認されることから、食利用後の残渣であった可能性がある。

(2) 動物利用

フローテーション法や水洗選別の試料では、微細な骨片が多い。これに対して、ハンドピックでは、骨の回収・抽出方法の特性を反映し、大型で特徴的な骨片が回収されている。また、検出された種類をみると、魚類が多く、鳥類、獣類を伴う組成である。

魚類について、内蔵骨から地点ごとの最小個体数を求め（椎骨のみ検出される場合は1個体とする）、地点ごとに比較すると（表IX-6）、サケ属が最も多く出土しており、サメ・エイ類とマイワシやニシンを含むニシン科がこれに次ぎ、それ以外の種類があまり検出されない。複数種類あるいは複数個体が検出される地点は、P-196 F 3層（資料番号120）、NM上位・中位（資料番号169・170）程度にとどまる（表IX-17）。このことは、本遺跡では、サケ属を中心とする漁労活動が活発に行われており、それ以外の魚種の捕獲が希であったことを意味する可能性がある。また近海沿岸部だけでなく、産卵期に遡上する際にも漁獲されたと思われる。淡水性のコイ科やウグイ属も、その際などに漁獲されたのであろう。

海成種をみると、ホホジロザメ属・メジロザメ科・ツノザメ科・ガンギエイ属・アカエイ科・トビエイ科などの比較的大型になるサメ・エイ類、マイワシやニシンを含むニシン科など小型な魚種、サバ属やボラ科など中型の魚種を伴う。サメ・エイ類やニシン科が多くの地点で検出されていることを考えると、これらの種類を捕える漁法として釣漁や銚漁などの他に、網漁活動も活発だったと思われる。

また、生息環境をみると、外洋性の回遊魚（サバ属、マイワシ、カタクチイワシ）、沿岸浅海の砂泥～砂礫底に棲息する種類（ガンギエイ属、アカエイ科、ヒラメ科、カレイ科）、岩礁域に多い種類（フササカゴ科、アイナメ属）、内湾の性格が強い種類（スズキ属・ボラ科）など、様々な漁場が想定される。なお、比較的検出されているタイ科は、内湾性の強いクロダイ属、外洋性のマダイ（産卵期には内湾に進入）などがあり、今回詳細な分類群を明らかにできないため、生育環境について不明である。

鳥類では、椎骨、複合仙骨、尺骨、手根中手骨、足根中足骨、基節骨、末節骨、指骨などの部位が確認されるが、ほとんど破片であり、種類を明らかにすることができない。ただし、大半はスズメ目など小型の鳥類である。獣類では、ネズミ目、ヒグマ、キツネ、海獣類、ニホンジカが確認された。脊椎動物門とした種類不明の破片も多くが魚骨に由来する骨片と思われ、獣類はあまり含まれていないと思われる。ただし、全試料を通じてみるとかなり多くの地点から出土していることがわかる（表IX-18）。

以上のことから、本遺跡では、沿岸部や河川を遡上するサケ属をはじめとして、後背地に棲息する獣類や飛来する鳥類を中心とした狩猟活動が行われていたと考えられ、眼前に広がる函館湾沿岸部の砂底域や岩礁域、さらにその沖合など、様々な水域が資源空間として利用されていたと考えられる。おそらくは、それに伴う漁労方法も多様であったと思われる。

引用文献

- 石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑, 石川茂雄図鑑刊行委員会, 328 p.
 中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑, 東北大学出版会, 642 p.
 渡辺 誠, 1975, 縄文時代の植物食, 雄山閣出版, 187p.

表区-15 骨同定結果(1)

資料 番号	遺構名	部位	ダイフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
2	F-58	焼土	V29	脊椎動物門	不明			破片	0.00	重
				硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片	2
3	F-64	焼土	R37	脊椎動物門	不明			破片	0.03	重
				骨以外	土塊				1	
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片	1
4	F-65	焼土	R37	脊椎動物門	不明			椎骨・腰椎等	破片	1
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片	0.02
5	F-66	焼土	R36	脊椎動物門	不明			椎骨	破片	1
				軟骨魚類	サメ・エイ類			椎骨	破片	0.08
				軟骨魚類	サメ・エイ類			椎骨	椎体片	1
				軟骨魚類	サケ属			椎骨	破片	4
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片	12
					椎骨			椎骨	破片	39
				脊椎動物門	不明			椎骨・腰椎等	破片	0.50
7	F-69	焼土	R29	脊椎動物門	不明			破片	0.00	重
				軟骨魚類	エイ目			椎骨	破片	1
					サケ属			椎骨	破片	3
					アイナメ属			椎骨	椎体	2
					タイ科?			椎骨	椎体片	1
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片	7
					椎骨			椎骨	破片	1
					椎骨			椎骨	破片	4
					椎骨			椎骨	破片	0.65
					椎骨			椎骨	破片	10
				哺乳類	獣類			破片	11	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			破片	1	
				脊椎動物門	不明			破片	1	
				骨以外	不明			破片	2.16	重
					椎骨			破片	1	
					サケ属			椎骨	破片	28
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	21
					椎骨			椎骨	破片	17
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	4
				哺乳類	獣類			破片	0.93	重
				脊椎動物門	不明			破片	2	
					サケ属			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	1
					椎骨			椎骨	破片	1
					椎骨			椎骨	破片	2
10	F-72	焼土	R27	硬骨魚類	魚類			椎骨	破片	1
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2
					椎骨			椎骨	破片	2

表IX-15 骨同定結果(2)

資料 番号	遺構名	層位	グリッド	分類群	部 位	左	右	部 分	数値	備 考
17	包含層		X28	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 2	
					魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 5	
				鳥類	鳥類			四肢骨	破片 2	同一骨
				哺乳類	獸類			不明	破片 3	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獸類			不明	破片 1	
				脊椎動物門	不明			椎骨	破片 0.41	g
18	F-82	焼土	X27	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 1	
					魚類			椎骨	破片 3	
								鰓条骨・鰓棘等	破片 2	同一骨
					不明			不明	破片 1	
				哺乳類	獸類			不明	破片 0.01	g
				脊椎動物門	不明			不明	破片 2	
19	包含層		X28	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 2	
					魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 1	
				哺乳類	獸類			四肢骨	破片 1	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.04	g
					サケ属			椎骨	破片 35	
					タイ科			尾椎	破片 1	
20	F-95	焼土	T39d	硬骨魚類				椎骨	破片 6	
					魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 38	
					不明			不明	破片 16	
				鳥類	鳥類			四肢骨	破片 1	
				哺乳類	獸類			不明	破片 17	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 2.07	g
21	F-96	焼土	S38	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 6	
					魚類			椎骨	破片 1	
								鰓条骨・鰓棘等	破片 3	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.20	g
				軟骨魚類	ガンギエイ属			椎骨	破片 1	
					サケ属			椎骨	破片 9	
22	F-97	焼土	S38	硬骨魚類	魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 2	
								椎骨	破片 4	
								鰓条骨・鰓棘等	破片 12	
				鳥類	鳥類			四肢骨	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.42	g
					サケ属			椎骨	破片 3	
23	F-98	焼土	S38	硬骨魚類	魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.04	g
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片 1	
				哺乳類	小型獸類			四肢骨	破片 1	
				硬骨魚類	魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 7	
				鳥類	鳥類?			肋骨?	破片 1	
24	F-104	焼土	V37	哺乳類	獸類			不明	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.02	g
					ニシン科			耳石	破片 1	
					サケ属			椎骨	破片 5	
								面	破片 1	
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片 7	
29	F-105	焼土	V37					鰓条骨・鰓棘等	破片 15	
					不明			不明	破片 5	
				鳥類	鳥類			四肢骨	破片 1	
				哺乳類	獸類			不明	破片 6	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獸類			四肢骨	破片 1	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.27	g
30	F-106	焼土	V37		コイ科			腹椎	椎体 1	
					サケ属			椎骨	破片 2	
								椎骨	破片 2	
				魚類				鰓条骨・鰓棘等	破片 23	
					不明			不明	破片 4	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.15	g
31	包含層		U37	硬骨魚類	魚類			不明	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.04	g
				硬骨魚類	魚類			鰓条骨・鰓棘等	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.02	g
					ニシン科			腹椎	椎体 1	
					サケ属			椎骨	破片 8	
33	F-109	焼土	U37					顎骨	破片 1	
								面	破片 2	
				硬骨魚類	魚類			椎骨	破片 22	
								鰓条骨・鰓棘等	破片 1	
					不明			不明	破片 5	
				鳥類	鳥類?			肋骨?	破片 1	

表IX-15 骨同定結果(3)

資料 番号	遺構名	層位	グループ	分類群	部 位	左 右	部 分	数量	備 考
33	F-109	焼土	U37	哺乳類 脊椎動物門	不明 不明		破片	3	
					不明		破片	1.02	度
					サケ属		破片	1	
34	F-110	焼土	U37	硬骨魚類	魚類		破片	1	
					鯉条骨・鱗棘等		破片	1	
				脊椎動物門	不明		破片	0.05	度
				軟骨魚類	ガンギエイ属	歯	破片	1	
					エイ目	歯	破片	1	
					ニシン科	腹椎	椎体	1	
35	F-111	焼土	U37	硬骨魚類	サケ属	椎骨	破片	6	
					魚類	椎骨	破片	5	
					魚類	鯉条骨・鱗棘等	破片	11	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.23	度
36	F-112	焼土	X36	脊椎動物門	不明	不明	破片	0.01	度
					椎骨		破片	1	
37	F-114	焼土	X35	硬骨魚類	魚類	鯉条骨・鱗棘等	破片	3	
					不明		破片	3	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.03	度
38	F-115	焼土	X35	脊椎動物門	不明	不明	破片	0.00	度
				軟骨魚類	サメ・エイ類	椎骨	椎体片	1	
					サケ属	椎骨	破片	1	
				硬骨魚類	魚類	椎骨	破片	5	
39	F-116	焼土	X27		魚類	鯉条骨・鱗棘等	破片	4	
				哺乳類	小型獣類	門歯骨	破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.10	度
				軟骨魚類	ガンギエイ属	歯		1	
					サメ・エイ類D	椎骨	椎体	1	図3.5,長2.4
					サケ属	椎骨	破片	8	
						前上顎骨	破片	1	
						顎骨	破片	1	
						歯		1	
						第1椎骨?	椎体片	1	非焼骨
						腹椎	椎体片	1	
						椎骨	椎体片	1	非焼骨
							破片	20	
						鯉条骨・鱗棘等	破片	0.20	度
						不明	破片	2	
				鳥類	鳥類	四肢骨	破片	1	
					鳥類?	四肢骨?	破片	1	
				哺乳類	獣類	不明	破片	3	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	1.49	度
				硬骨魚類	魚類	椎骨	椎体	1	
						鯉条骨・鱗棘等	破片	2	
							破片	6	
41	F-119	焼土	X36	鳥類	鳥類?	四肢骨?	破片	1	
				哺乳類	小型獣類	四肢骨	破片	1	
					獣類	不明	破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.14	度
42	F-120	焼土	X36	硬骨魚類	魚類	鯉条骨・鱗棘等	破片	4	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.02	度
				軟骨魚類	ガンギエイ属	歯	ほぼ定存	1	
					サケ属	椎骨	破片	1	
					タイ科?	尾椎	椎体	1	
						顎骨	破片	1	
						椎骨	破片	6	
						尾部棒状骨	椎体片	1	
						鯉条骨・鱗棘等	破片	37	
						不明	破片	3	
				哺乳類	獣類	不明	破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.29	度
				軟骨魚類	ガンギエイ属	歯	破片	1	
					アカエイ科?	歯	破片	1	
					ニシン	第2椎骨	椎体	1	
					ニシン科	尾椎	椎体	1	
					サケ属	椎骨	破片	15	
					魚類	椎骨	破片	9	
						鯉条骨・鱗棘等	破片	18	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.71	度
					サケ属	椎骨	破片	8	
45	F-124	焼土	X37	硬骨魚類	魚類	椎骨	破片	1	
						鯉条骨・鱗棘等	破片	19	
				脊椎動物門	不明	不明	破片	0.41	度

表IX-15 骨同定結果(4)

資料 番号	遺構名	層位	グレイ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
46	F-125	焼土	T37	硬骨魚綱	サケ属	椎骨		破片	2	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.04	g
47	F-126	焼土	T37	硬骨魚綱	魚類	椎骨		破片	1	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	6	
				哺乳綱	獣類	不明		破片	3	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.11	g
48	F-127	焼土	T37	硬骨魚綱	サケ属	椎骨		破片	1	
				魚類	鰓条骨・鰓棘等			破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.04	g
49	F-128	焼土	T37	硬骨魚綱	サケ属	椎骨		破片	1	
				魚類	椎骨			破片	2	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.03	g
				硬骨魚綱	魚類	鰓条骨・鰓棘等		破片	3	
50	F-130	焼土	U36	脊椎動物門	不明	不明		破片	0.01	g
					サケ属	椎骨		破片	5	
						顎骨		破片	1	
						椎骨		破片	2	
53	F-133	焼土	U36	硬骨魚綱	魚類	鰓条骨・鰓棘等		破片	15	
					不明			破片	3	
				哺乳綱	獣類	不明		破片	4	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.71	g
					耳石			破片	1	
					尾椎			椎体	2	
					サケ属	椎骨		破片	6	
					フサカサゴ科?	尾椎		椎体	1	
					ヒラメ科?	尾椎		椎体	1	
								骨	2	
								椎骨	1	
				魚類				破片	14	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	28	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.81	g
					ガンギエイ属	歯		破片	1	
					ニシン科	尾椎		椎体	1	
					サケ属	椎骨		破片	6	
					フサカサゴ科	尾椎		椎体	1	
						顎骨		破片	1	
					喉頭骨			破片	1	
					椎骨			破片	15	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	0.40	g
					不明			破片	24	
				哺乳綱	獣類	不明		破片	2	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	1.57	g
					サケ属	椎骨		破片	1	
56	F-155	焼土	Z46	硬骨魚綱	魚類	椎骨		破片	1	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.03	g
					ニシン科	耳石		破片	1	
					尾椎			椎体	3	
					サケ属	椎骨		破片	1.08	g
					サバ属	前上顎骨		破片	1	
					魚			破片	42	
					椎骨			破片	11	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	0.49	g
					不明			破片	17	
					スズメ目	足指中足骨	左	遠位端	1	
						四肢骨		破片	5	
					鳥綱	指骨		破片	5	
								ほぼ完存		
								近位端	3	
								遠位端	2	
					小型獣類	四肢骨		破片	1	
				哺乳綱	獣類	不明		破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	1.07	g
					サケ属	椎骨		破片	6	
				硬骨魚綱	魚類	鰓条骨・鰓棘等		破片	2	
				哺乳綱	獣類	不明		破片	7	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.14	g
					アカエイ科	鰓鰓		破片	1	
					サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
					サケ属	椎骨		破片	6	
						前上顎骨		破片	1	
						歯		2		
					腹椎			椎体片	1	
59	F-180	焼土	U29	硬骨魚綱	魚類					

表区-15 骨同定結果(5)

資料番号	遺構名	層位	グリッド	分類群	部位	左	右	部分	数量	備考
59	F-180	焼土	U29	硬骨魚類	魚類				8	
				哺乳類	小型獣類				25	
				脊椎動物門	サケ属				4	
					椎骨				0.86	重
					頭骨				27	
60	F-193	焼土	W27	硬骨魚類	魚類				1	
					歯				2	
					椎骨				13	
					肋骨・棘刺等				14	
					不明				1	
				鳥類	鳥類?				1	
				脊椎動物門	不明				0.42	重
				軟骨魚類	ガンギエイ属				1	
					アカエイ科?				2	
					サケ属				0.18	重
61	F-193	焼土	W27	硬骨魚類	サケ属				2	
					キス属				2	
					サハ属				1	
				魚類	頭上顎骨				1	
					顎骨				1	
					椎骨				18	
					肋骨・棘刺等				30	
				鳥類	鳥類				2	
					四肢骨				1	
				哺乳類	獣類				1	
62	F-193	焼土	W27	脊椎動物門	不明				0.49	重
				軟骨魚類	ガンギエイ属				1	
					歯				1	
				硬骨魚類	サケ属				0.16	重
					椎骨				4	
					肋骨・棘刺等				40	
				鳥類	鳥類				1	
					指骨				1	
				哺乳類	小型獣類				1	
				鳥/哺乳類	獣類				6	
63	F-194	焼土	T29	脊椎動物門	不明				0.95	重
				骨以外	不明				1	
				硬骨魚類	サケ属				5	
					椎骨				1	
				魚類	椎骨				2	
					肋骨・棘刺等				10	
					不明				4	
				鳥類	鳥類				2	
				哺乳類	獣類				8	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類				2	
64	F-197	焼土	T29	脊椎動物門	不明				0.62	重
				硬骨魚類	サケ属				3	
					椎骨				2	
				魚類	椎骨				3	
					肋骨・棘刺等				50	
				哺乳類	獣類				3	
				脊椎動物門	不明				0.65	重
					不明				1	
					椎骨				2	
					尾椎				2	
65	F-207	焼土	V40	硬骨魚類	サケ属				2	
					椎骨				12	
				魚類	椎骨				31	
				脊椎動物門	不明				0.17	重
					不明				1	
					ニシン科				1	
					ニシン科?				1	
				硬骨魚類	サケ属				10	
					タラ科?				1	
					尾椎				1	
66	F-210	焼土	S27	硬骨魚類	頭骨				6	
					歯				1	
				魚類	椎骨				27	
					肋骨・棘刺等				0.30	重
				哺乳類	獣類				1	
				脊椎動物門	不明				1	
					不明				3.82	重
				軟骨魚類	エイ目				1	
					歯				2	
				硬骨魚類	サケ属				2	
67	F-214	焼土	V28	硬骨魚類	頭上顎骨		右		1	
					椎骨				11	
				魚類	椎骨				43	
					肋骨・棘刺等				2	
				哺乳類	獣類				2	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類				4	
				脊椎動物門	不明				1.08	重
					不明					
					不明					
					不明					

表IX-15 骨同定結果(6)

資料 番号	通称名	層位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量		備 考						
68	F-215	焼土	S28	軟骨魚類	サメ・エイ類A			椎骨	1		径4.1,長2.6						
				硬骨魚類	ニシン科		腹椎		椎体	1							
							尾椎		椎体	1							
							サケ属		椎骨	2							
					ホッケ属		椎骨		椎体片	1							
							咽頭骨?		破片	1							
					魚類		椎骨		破片	24							
						鯨条骨・精棘等		破片	22								
				鳥類	鳥類		四肢骨		破片	1							
				哺乳類	獣類		不明		破片	3							
				脊椎動物門	不明		不明		破片	0.43	g						
69	F-224	焼土	S28	硬骨魚類	サケ属			椎骨	3								
				魚類		椎骨		破片	10								
						鯨条骨・精棘等		破片	27								
				哺乳類	獣類		不明		破片	1							
				脊椎動物門	不明		不明		破片	0.41	g						
70	F-228	焼土	S27	軟骨魚類	ガンギエイ属			歯	2								
				硬骨魚類	エイ目		歯		破片	3							
							ニシン科		腹椎		椎体	1					
					ニシン科?		腹椎		椎体片	1							
						サケ属		椎骨		破片	0.16	g					
					歯				6								
				魚類		椎骨		破片	13								
						鯨条骨・精棘等		破片	0.20	g							
				鳥類	小型鳥類		四肢骨		破片	1							
							足根中足骨		遠位端片	1							
				鳥類		四肢骨		破片	1								
					哺乳類	獣類		不明		破片	1						
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類		肋骨/四肢骨		破片	20							
				脊椎動物門	不明		肋骨		近位端	1		未化石骨端					
				71	F-229	焼土	S27	軟骨魚類	ガンギエイ属?			歯	1				
								硬骨魚類	ニシン科		尾椎		椎体	1			
	サケ属		椎骨							2							
	歯								3								
魚類		椎骨							椎体片	1							
		椎骨						破片	9								
鯨条骨・精棘等		不明						破片	4								
		不明						破片	1								
哺乳類	小型獣類		四肢骨						破片	3							
脊椎動物門	不明		不明						破片	0.45	g						
72	F-230	焼土	R28					軟骨魚類	ガンギエイ属			歯	1				
								硬骨魚類	サケ属		椎骨		破片	27			
											顎骨		破片	2			
										歯			4				
									魚類		椎骨		破片	29			
										鯨条骨・精棘等		破片	0.72	g			
				鳥類	鳥類		不明		破片	0.31	g						
							尺骨		破片	1							
				鳥類	鳥類		四肢骨		破片	1							
							椎骨		破片	1							
				哺乳類	獣類		四肢骨		破片	1							
							不明		破片	1							
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類		不明		破片	1							
				脊椎動物門	不明		不明		破片	4.69	g						
				73	F-242	焼土	V27	軟骨魚類	サケ属			椎骨	2				
								硬骨魚類	カレイ科		第1椎骨		椎体	1			
	椎骨		破片							8							
魚類		鯨条骨・精棘等							破片	0.28	g						
		不明							破片	1							
哺乳類	小型獣類		四肢骨						破片	1							
			獣類						不明		破片	1					
鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類		肋骨/四肢骨						破片	4							
脊椎動物門	不明		不明						破片	0.88	g						
74	F-243	焼土	R27					軟骨魚類	エイ目			歯	1				
								硬骨魚類	ニシン科		腹椎		椎体	1			
											尾椎		椎体	1			
									魚類		椎骨		破片	2			
											鯨条骨・精棘等		破片	11			
								脊椎動物門	不明		不明		破片	0.30	g		
								硬骨魚類	魚類		鯨条骨・精棘等		破片	2			
				75	F-252	焼土	S27	鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			四肢骨		破片	3		
								脊椎動物門	不明		不明		破片	0.00	g		
											不明		破片	2			
									硬骨魚類	魚類		鯨条骨・精棘等		破片	3		
												不明		破片	0.00	g	

表区-15 骨同定結果(7)

資料番号	遺構名	層位	グリッド	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
76	F-252	焼土	S27	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 3	
								頭骨	破片 1	
					魚類			椎骨	破片 1	
								鰓条骨・棘棘等	破片 15	
								不明	破片 10	
				哺乳類	小型獣類			四肢骨	破片 1	
					獣類			不明	破片 1	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			四肢骨	破片 1	
					不明			不明	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.61	※
77	F-254	焼土	S30	軟骨魚類	ガンギエイ属			歯	1	
					サケ属			椎骨	破片 17	
								鰓骨	破片 13	
								歯	7	
				硬骨魚類	魚類			椎骨	椎体片 2	
								破片	0.59	※
								鰓条骨・棘棘等	2.08	※
								不明	破片 28	
					鳥類			四肢骨	破片 1	
				哺乳類	獣類			不明	破片 18	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			四肢骨	破片 2	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 9.59	※
				硬骨魚類	魚類			鰓条骨・棘棘等	破片 2	
				哺乳類	小型獣類			四肢骨	破片 1	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.05	※
				硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 2	
					フサカサゴ科			尾椎	椎体 1	
								鰓骨	破片 1	
					魚類			椎骨	破片 8	
								鰓条骨・棘棘等	破片 20	
78	包含層		R30	哺乳類	小型獣類			中手骨/中足骨?	破片 1	
					不明			不明	破片 0.34	※
					サケ属			椎骨	破片 1	
					不明			不明	破片 0.00	※
					サケ属			椎骨	破片 7	
				硬骨魚類	魚類			鰓骨	破片 1	
								椎骨	破片 3	
								鰓条骨・棘棘等	破片 38	
					鳥/哺乳類			四肢骨	破片 1	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.48	※
83	Po-5	覆土	S35	硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 2	
								鰓骨	破片 1	
					魚類			椎骨	破片 1	
								椎骨	破片 1	
								鰓条骨・棘棘等	破片 33	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.30	※
				硬骨魚類	魚類			鰓条骨・棘棘等	破片 3	
								不明	破片 2	
					不明			不明	破片 1	
					不明			不明	破片 0.02	※
95	H-35	埴	P24	硬骨魚類	ニシン科			腹椎	椎体 1	
					サケ属			椎骨	破片 1	
					フサカサゴ科			尾椎	椎体 1	
					魚類			椎骨	破片 5	
								鰓条骨・棘棘等	破片 6	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.28	※
				軟骨魚類	ガンギエイ属			歯	1	
				硬骨魚類	サケ属			椎骨	破片 1	
					魚類			椎骨	破片 1	
								鰓条骨・棘棘等	破片 9	
98	H-40	石圍戸	R26	脊椎動物門	不明			不明	破片 0.09	※
					サケ属			椎骨	破片 12	
					サハ属			腹椎	椎体片 2	
								鰓骨	破片 1	
					椎骨			椎骨	破片 26	
				硬骨魚類	魚類			鰓条骨・棘棘等	破片 0.36	※
								不明	破片 5	
					鳥類			足根/中足骨	左 近位端欠 1	遠位端破損
					鳥/哺乳類			四肢骨	破片 1	
				脊椎動物門	不明			不明	破片 0.68	※
100	H-47	HF1	U30	硬骨魚類	魚類			椎骨	椎体片 1	
								鰓条骨・棘棘等	破片 4	

表IX-15 骨同定結果(8)

資料 番号	遺構名	部位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
100	H-47	HF1	U30	哺乳類	獣類			破片	1	
				脊椎動物門	不明			破片	0.01	g
					ニシン科			椎体	1	
101	H-48	HF	S28	硬骨魚類	サケ属			椎骨	4	
				魚類	椎骨			破片	5	
				魚類	鰓条骨・鰓棘等			破片	0.14	g
				脊椎動物門	不明			破片	0.36	g
102	H-52	床面	U27	硬骨魚類	魚類			鰓条骨・鰓棘等	2	
					コイ科			鰓棘	1	
104	P-60	覆土	X27	硬骨魚類	サケ属			椎骨	2	
				魚類	椎骨			破片	3	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	8	
				鳥類	鳥類			四肢骨	1	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			四肢骨	2	
				脊椎動物門	不明			破片	0.14	g
					フサカサゴ科			椎体	1	
106	P-74	覆土中	Y33	硬骨魚類	魚類			椎骨	1	
					鰓条骨・鰓棘等			破片	9	
				脊椎動物門	不明			破片	0.06	g
				脊椎動物門	不明			破片	0.02	g
108	P-120	覆土	X28	軟骨魚類	アカエイ科			歯	1	
								破片	7	
					サメ・エイ類A			椎骨	11	min径3.9,長2.1max径6.3,長4.2
					サメ・エイ類B			椎骨	2	径2.5,長1.6径2.3,長1.5
					サメ・エイ類C			椎骨	2	径3.4,長2.4径2.8,長2.0
					サメ・エイ類D			椎骨	2	径3.8,長2.9径4.8,長2.8
					サメ・エイ類E			椎骨	1	径3.3,長1.7
				硬骨魚類	サメ・エイ類			椎骨	2	
					ニシン			第2椎骨	1	
					ニシン科			尾椎	1	
					サケ属			椎骨	5	
								鰓骨	1	
								歯	1	
					魚類				3	白濁状
				哺乳類	椎骨			破片	0.33	g
					鰓条骨・鰓棘等			破片	0.44	g
					不明			破片	6	
					哺乳類			獣類	4	
					脊椎動物門			不明	2.02	g
					脊椎動物門			不明	0.00	g
					軟骨魚類			サメ・エイ類	1	
110	P-120	覆土中	X28	硬骨魚類	魚類			椎骨	3	
				脊椎動物門	不明			不明	5	
				脊椎動物門	不明			不明	0.03	g
111	P-137	覆土	V29	軟骨魚類	ガンゴエイ属			歯	4	
					エイ目			歯	1	
					サメ・エイ類A			椎骨	1	径5.2,長2.4
					サメ・エイ類B			椎骨	1	径3.3,長1.7
					ニシン科			鰓椎	3	
					ニシン科			尾椎	2	
					カタタチワシ			椎体	1	
				硬骨魚類	サケ属			椎骨	0.84	g
								前上顎骨	1	
								顎骨	33	
								咽頭骨	4	
								歯	38	
								椎骨	0.98	g
					鰓条骨・鰓棘等			破片	3.45	g
					不明			破片	31	
				鳥類	鳥類			指骨	1	両端欠
				哺乳類	獣類			不明	6	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			肋骨/四肢骨	9	
				脊椎動物門	不明			不明	15.39	g
				腹足綱	巻貝類?			殻?	1	
112	P-137	覆土	V29	軟骨魚類	ガンゴエイ属			歯	1	
					ガンゴエイ属?			歯	1	
					エイ目			歯	2	
					サメ・エイ類A			椎骨	1	
					サメ・エイ類C			椎骨	1	

表IX-15 骨同定結果 (10)

資料 番号	遺構名	層位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
120	P-196	F 3	W27	硬骨魚類	サバ属	尾椎		椎体片	11	
					サバ属?	尾端椎前椎体		破片	1	
					魚類	古鱗骨		破片	1	
						歯		14		
						椎骨		破片	1.61	g
						尾節伸状骨		破片	1	
						下尾骨		破片	7	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	1.38	g
				鳥類	鳥類	不明		破片	19	
						四肢骨		破片	2	
				哺乳類	獣類	指骨		近位端欠	1	
						四肢骨		破片	21	
121	Fs-11	焼土	R30	硬骨魚類	魚類	不明		破片	3.14	g
						アカエイ科		鰓鱗	破片	1
						サメ・エイ類B		椎骨	椎体	1
						サケ属		椎骨	破片	8
								前上頰骨	破片	1
						顎骨		破片	1	
						椎骨		破片	11	
						下尾骨		破片	1	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	20	
						不明		破片	1	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類	四肢骨		破片	2	
						不明		破片	0.23	g
122	Fs-13	焼土	R33	硬骨魚類	魚類	椎骨		破片	3	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	5	
						不明		破片	3	
123	Fs-13	焼土	R33	哺乳類	獣類?	歯?		破片	2	
						不明		破片	0.24	g
						不明		破片	0.00	
124	Fs-14	焼土	R38	硬骨魚類	魚類	鰓条骨・鰓棘等		破片	2	
						不明		破片	0.04	g
						サケ属		椎骨	破片	1
125	Fs-15	焼土	S37	硬骨魚類	魚類	鰓条骨・鰓棘等		破片	1	
						不明		破片	0.01	g
						ニシン科		尾椎	椎体	1
126	Fs-16	焼土	T37	硬骨魚類	魚類	サケ属		椎骨	破片	1
						顎骨		破片	1	
						椎骨		破片	1	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	6	
						不明		破片	2	
						指骨		遠位端	1	
						指骨?		破片	1	
						不明		破片	0.12	g
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類	鰓条骨・鰓棘等		破片	8	
						不明		破片	1	
127	Fs-17	焼土	T38	硬骨魚類	魚類	四肢骨		破片	1	
						不明		破片	0.11	g
						不明		破片	1	
128	F-281	焼土	T38	硬骨魚類	魚類	エイ目		歯	破片	1
						ニシン科		尾椎	椎体	1
						サケ属		椎骨	破片	1
						椎骨		椎体片	1	
						不明		破片	7	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	2	
						肋骨		破片	1	
						四肢骨		破片	1	
				哺乳類	小型獣類	四肢骨		破片	2	
						不明		破片	0.08	g
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類	不明		破片	1	
						不明		破片	0.55	g
129	Fs-19	焼土	T38	硬骨魚類	魚類	サケ属		椎骨	破片	1
						不明		破片	1	
						不明		破片	0.00	g
130	Fs-20	焼土	T39	硬骨魚類	魚類	サケ属		椎骨	破片	15
						歯		8		
						椎骨		破片	3	
						鰓条骨・鰓棘等		破片	31	
						不明		破片	2	
						不明		破片	2	
						不明		破片	2	
						不明		破片	0.55	g
				哺乳類	獣類	四肢骨		破片	2	
						不明		破片	0.55	g
131	Fs-21	焼土	S39	軟骨魚類	エイ目	不明		歯	破片	3
						ニシン科		尾椎	椎体	1
						サケ属		椎骨	破片	4

表区-15 骨同定結果 (11)

資料 番号	遺構名	層位	グループ	分類群	部 位	左 右	部 分	数量	備 考
131	Fa-21	焼土	S39	硬骨魚類	魚類			1	
								破片	6
								骨質関節	1
								鰓条骨・鰓棘等	15
								不明	破片 1
132	Fa-22	焼土	T30	硬骨魚類	魚類			破片	1
								鰓条骨・鰓棘等	破片 3
								不明	破片 0.09
133	Fa-23	焼土	T30	脊椎動物門	不明			破片	0.09
134	Fa-24	焼土	W36	硬骨魚類	魚類			曲	1
								サケ属	推骨 破片 2
								咽頭骨?	破片 1
								推骨	破片 5
								鰓条骨・鰓棘等	破片 6
								不明	破片 3
								四肢骨	破片 2
								不明	破片 0.32
								鳥類/小型獣類	不明
								鳥類/小型獣類	不明
135	Fa-25	焼土	V37	硬骨魚類	魚類			ガシロイ属	推骨 破片 1
								サマ・エイ属G	推骨 破片 4
								サケ属	推骨 破片 1
								タイ科	曲 1+
								曲?	1+
								推骨	破片 10
								鰓条骨・鰓棘等	破片 14
								不明	破片 2
								不明	破片 0.76
								不明	破片 0.06
136	Fa-26	焼土	W35	脊椎動物門	不明			不明	破片 0.76
137	Fa-27	焼土	V36	硬骨魚類	魚類			ホホジロザメ属	曲 1
								サマ・エイ属C	推骨 破片 1
								サケ属	推骨 破片 3
								タイ科	曲 1
								曲	1
								推骨	破片 5
								鰓条骨・鰓棘等	破片 33
								不明	破片 5
								不明	破片 0.43
								不明	破片 0.43
138	Fa-28	焼土	X27	硬骨魚類	魚類			ツノザメ科	曲 2
								ガシロイ属	曲 1
								サケ属	推骨 破片 10
								推骨	破片 7
								推骨	破片 1
								推骨	破片 13
								鰓条骨・鰓棘等	破片 0.49
								不明	破片 7
								不明	破片 1
								不明	破片 1.56
139	Fa-29	焼土	W28	硬骨魚類	魚類			ツノザメ科	推骨 破片 1
								ニシン科	耳石 破片 1
								サケ属	推骨 破片 28
								推骨	破片 3
								推骨	破片 0.15
								鰓条骨・鰓棘等	破片 22
								不明	破片 10
								不明	破片 2
								不明	破片 0.74
								不明	破片 0.74
140	Fa-30	焼土	V28	硬骨魚類	魚類			ツノザメ科	曲 1
								推骨	破片 2
								推骨	破片 4
								鰓条骨・鰓棘等	破片 11
								不明	破片 11
141	Fa-36	焼土	W37	硬骨魚類	魚類			不明	破片 0.22
								推骨	破片 1
								鰓条骨・鰓棘等	破片 3
								不明	破片 0.01
								不明	破片 6
143	Fa-38	焼土	S31	硬骨魚類	魚類			サケ属	推骨 破片 1
								推骨	破片 11
								鰓条骨・鰓棘等	破片 9
								不明	破片 17
								不明	破片 1.15

表IX-15 骨同定結果 (12)

資料 番号	遺構名	層位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
144	Fs-41	縄土	W37	軟骨魚類	ガンギエイ属				3	
					ガンギエイ属?				1	
					エイ目			歯	2	
					サケ属			椎骨	2	
				硬骨魚類	魚類			鰓骨	8	
								歯	2	
								椎骨	2	
								破片	15	
								破片	21	
								不明	5	
								破片	1	
								破片	1	
								破片	4	
								破片	1.09	g
								不明		
								不明		
145	Fs-44	縄土	W25	軟骨魚類	ニシン科			尾椎	1	
					サケ属			椎骨	8	
					魚類			椎骨	18	
								椎骨	1	
					鯊科・鰐科等			破片	0.40	g
				鳥類	鳥類			破片	5	
					破片			破片	2	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			破片	4	
					不明			破片	0.69	g
				脊椎動物門	不明			不明		
146	Fs-46	縄土	W26	軟骨魚類	サケ属			椎骨	6	
					魚類			椎骨	4	
					魚類			椎骨	4	
								椎骨	16	
				鳥類	鳥類			破片	1	
					不明			破片	11	
					四肢骨			破片	1	
					基節骨			破片	1	
					末節骨			破片	1	
				脊椎動物門	不明			ほぼ完存	1	
					不明			破片	0.08	g
147	Fs-47	縄土	S28	軟骨魚類	ガンギエイ属			歯	1	
					アカエイ科?			椎骨	2	
					エイ目			歯	1	
					サメ・エイ類			椎骨	1	
				硬骨魚類	ニシン科			椎骨	1	
					サケ属			椎骨	6	
					スズキ科			椎骨?	1	
					不明	左		破片	1	
					鰓骨			破片	5	
					歯			歯	4	
					椎骨			椎骨	2	
				魚類	魚類			椎骨	2	
								破片	0.21	g
								椎骨	6	
								椎骨	0.45	g
								不明	6	
								破片	1	
				鳥類	鳥類			四肢骨	6	
					破片			破片	6	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獣類			四肢骨	14	
					不明			破片	1.79	g
148	SP-151	覆土	W36	軟骨魚類	不明			不明		
					不明			不明		
				脊椎動物門	不明			不明		
					不明			不明		
149	SP-150	覆土	X29	軟骨魚類	フサカサゴ科			尾椎	1	
					不明			不明		
				脊椎動物門	不明			不明		
					不明			不明		
150	SP-1141	覆土	S39	軟骨魚類	ウナギ科?			歯?	1	
					サケ属			椎骨	24	
					魚類			椎骨	2	
								椎骨	5	
								椎骨	3	
								椎骨	1	
								椎骨	28	
								椎骨	0.94	g
								椎骨	19	
								椎骨	1.84	g
								椎骨	1	
								椎骨	2.06	g
								椎骨	2	
								椎骨	0.09	g
								椎骨	4	
151	包含層		V34d	軟骨魚類	不明			不明		
					不明			不明		
152	包含層		X27c	軟骨魚類	サケ属			椎骨	4	
					不明			不明		
				魚類	不明			不明		
					不明			不明		

表区-15 骨同定結果 (13)

資料 番号	遺構名	層位	タイプ	分類群	部 位	左 右	部 分	数量	備 考
153	包含層		T30 a	脊椎動物門 不明	不明		破片	0.00	重
				軟骨魚類 エイ目?	鰓結?		破片	1	
					ニシン科		椎体	1	
154	NM	NM上位	V25 c	硬骨魚類 魚類	鰓条件・鰓棘等		破片	9	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	0.05	重
				鳥/哺乳類 鳥類/小型獣類	四肢骨		破片	2	
155	SM	SM 2 上	W39 a	脊椎動物門 不明	不明		破片	0.02	重
				骨以外 鰓等				0.24	重
					サケ属		椎骨	1	
				硬骨魚類 魚類	鰓		破片	2	
					鰓条件・鰓棘等		破片	6	
157	SM	SM 2 中	V39 c	鳥類 鳥類	四肢骨		破片	6	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	0.12	重
				骨以外 鰓等				0.42	重
					サケ属		椎骨	1	
					前上頸骨		破片	1	
					鰓		破片	2	
				硬骨魚類 魚類	鰓条件・鰓棘等		破片	3	
					鰓条件・鰓棘等		破片	24	
				鳥類 不明	不明		破片	7	
				鳥類 鳥類	不明		破片	1	
				小型獣類 四肢骨	四肢骨		破片	3	
				哺乳類 獣類	四肢骨		破片	1	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	8	
				骨以外 鰓等				0.46	重
								1.63	重
				軟骨魚類 ネネジロザメ属	歯		破片	1	
				サメ・エイ類C	椎骨		椎体	1	径2.5,長1.8
				サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
				サケ属	椎骨		破片	8	
				タイ科	歯		破片	1	
				カレイ科	尾椎		椎体片	2	大曲伏 臼歯状
					頭骨		破片	2	
					歯		破片	4	
				魚類 椎骨	破片		破片	15	
					鰓条件・鰓棘等		破片	0.22	重
					不明		破片	6	
				鳥類 鳥類	四肢骨		破片	1	
					指骨		破片	1	
				小型獣類 四肢骨	四肢骨		破片	3	
				哺乳類 獣類	四肢骨		破片	3	
					不明		破片	13	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	3.36	重
				軟骨魚類 サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
					ニシン科		耳石	1	
					尾椎		椎体	1	
				硬骨魚類 サケ属	椎骨		破片	1	
					椎骨		破片	1	
				魚類 鰓条件・鰓棘等	破片		破片	4	
					不明		破片	2	
				鳥類 鳥類	四肢骨		破片	1	
				哺乳類 獣類	肋骨		破片	1	
					四肢骨		破片	2	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	1.27	重
				軟骨魚類 サメ・エイ類B	椎骨		椎体	2	径6.1,長3.4径3.8,長2.5
				サメ・エイ類	椎骨		椎体片	3	
				ニシン科	耳石		破片	1	
				硬骨魚類 魚類	鰓条件・鰓棘等		破片	4	
					鰓条件・鰓棘等		破片	4	
				哺乳類 獣類	四肢骨		破片	2	
					不明		破片	1	
				脊椎動物門 不明	不明		破片	0.19	重
				骨以外 鰓				0.51	重
					サケ属		椎骨	2	
				硬骨魚類 魚類	前上頸骨		破片	1	
					椎骨		破片	3	
					鰓条件・鰓棘等		破片	9	
					不明		破片	2	
				哺乳類 海獣類	四肢骨		破片	1	
					獣類		破片	1	

表IX-15 骨同定結果 (14)

資料 番号	遺構名	層位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
162	SM	SM 2 中	V39d	哺乳類	獸類	不明		破片	1	骨角器
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獸類	四肢骨		破片	2	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.25	
				軟骨魚類	サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
163	SM	SM 2 下	V39d	硬骨魚類	サケ属	椎骨		破片	1	
						鰓骨		破片	1	
						椎骨		破片	6	
						經条骨・緯條等		破片	20	
				魚類	不明	不明		破片	24	
						肋骨		遠位端	1	
						四肢骨?		破片	3	
						不明		破片	11	
				鳥類	鳥類	四肢骨		破片	9	
				鳥/哺乳類	鳥類/獸類	四肢骨		破片	0.69	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	1.88	
164	SM	SM 2・3	V39d	軟骨魚類	ホシジロザメ属	歯			1	径2.7,長1.5
						ガンギエイ属		歯	1	
						サメ・エイ類A		椎骨	1	
						サケ属		椎骨	4	
				硬骨魚類	魚類	明瞭骨?		破片	1	
						腹椎		椎体片	1	
						經条骨・緯條等		破片	9	
						不明		破片	23	
						不明		破片	6	
				鳥類	鳥類	基節骨		遠位端欠	1	近位端破損
				哺乳類	獸類	肋骨		破片	1	
						四肢骨		破片	6	
						中足骨		遠位端欠	1	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獸類	四肢骨		破片	11	
				鳥/哺乳類	鳥類/獸類	四肢骨		破片	10	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	1.09	
				骨以外	不明	不明		破片	0.62	
166	SM	SM 2・3	V39a	硬骨魚類	魚類	椎骨		破片	1	臼歯状
				軟骨魚類	ホシジロザメ属	歯		歯	1	
167	SM	SM 2・3	V39d	硬骨魚類	魚類	タイ科		歯	1	
						前上顎骨		破片	1	
						鰓骨		破片	1	
						椎骨		破片	6	
				哺乳類	獸類	經条骨・緯條等		破片	16	
						不明		破片	2	
						不明		破片	6	
				鳥/哺乳類	鳥類/獸類	四肢骨		破片	6	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.48	
				骨以外	不明	不明		破片	0.42	
168	SM	SM 3	V39d	硬骨魚類	コイ科	椎骨		椎体	1	
						サケ属		椎骨	2	
						歯		歯	1	
						椎骨		破片	9	
				魚類	經条骨・緯條等	椎骨		破片	9	
						不明		破片	1	
						基節骨		近位端欠	1	
						中節骨		ほぼ完存	1	
				鳥類	鳥類	四肢骨		破片	6	
				小型獸類	小型獸類	四肢骨		破片	6	
				獸類	獸類	不明		破片	8	
				鳥/哺乳類	鳥類/小型獸類	四肢骨		破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.64	g
				骨以外	不明	不明		破片	0.84	
169	NM	NM上位	S28a	軟骨魚類	メジロザメ科	下顎歯			1	
						サメ・エイ類A		椎骨	1	
						サメ・エイ類B		椎骨	2	
						サメ・エイ類D		椎骨	1	
				硬骨魚類	ニシン科	耳石		破片	5	min径3.7,長2.5
						腹椎		椎体	1	
						尾椎		椎体	1	
						サケ属		破片	12	
				魚類	フサカサゴ科	尾椎		椎体	1	
						ホッケ属		椎体片	1	
						不明		椎体	1	
						不明		椎体	1	
				硬骨魚類	タイ科	角骨	右	破片	1	犬歯状
						カレイ科		第1 椎骨	1	
						鰓歯骨		破片	3	
						前上顎骨		破片	1	
				魚類	不明	鰓骨		破片	10	
						角骨?		破片	1	
						角舌骨?		破片	1	
						腹椎		椎体片	1	

表区-15 骨同定結果 (17)

資料 番号	遺構名	層位	グループ	分類群	部 位	左 右	部 分	数量	備 考
213	SM	SM 2 中	W39 a	鳥類 哺乳類 鳥類/哺乳類	鳥類 肢骨? 肢骨/小型肢骨		破片 破片 破片	1 2 1	
214	SM	SM 4	W39 a	鳥類	骨		破片	1	
215	SM	SM 2 F	W39 c	軟骨魚類	サメ・エイ類A		椎体片	1	
216	SM	SM 2・3	W39 c	哺乳類 脊椎動物門	肢骨 不明		破片 破片	1 1+	
217	SM	SM 2・3	W39 d	鳥類/哺乳類 脊椎動物門	鳥類/小型肢骨 不明		四肢骨 破片	2 2	
218	SM	SM 4	W39 d	硬骨魚類 哺乳類 脊椎動物門	魚類 肢骨 不明		椎体片 破片 破片	1 1 1	
219	SM	SM 3・4	X33 c	鳥類 鳥類/哺乳類 脊椎動物門	鳥類 不明		複合軸骨 破片	2 1	
220	SM	SM 3・4	X37 c	硬骨魚類 鳥類/哺乳類 脊椎動物門	アサギ科 不明		四肢骨 椎体 破片	1 1 1	
221	SM	SM 4	X37 c	硬骨魚類 哺乳類 軟骨魚類	魚類 不明 サメ・エイ類B		不明 破片 椎骨	1 1 1	
222	SM	SM 3	X37 d	鳥類 脊椎動物門	鳥類 不明		足根中足骨 破片	1 3	
224	SM	SM 1・2	X39 a	硬骨魚類 哺乳類 脊椎動物門	魚類 大型肢骨 不明		不明 四肢骨 破片	1 2 1+	
225	SM	SM 2	X39 a	軟骨魚類 硬骨魚類 哺乳類	サメ・エイ類F 魚類 不明		椎体片 破片 破片	1 1 1	
226	SM	SM 3	X39 a	脊椎動物門 硬骨魚類	不明 サウ属		不明 椎骨	破片 11+	
227	SM	SM 2	X39 b	鳥類 脊椎動物門	魚類 不明		椎骨 手根中手骨	椎体片 1	
228	SM	SM 2	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	サメ・エイ類 サウ属		椎骨 椎骨	椎体片 1	径20±、長10.0
229	SM	SM 2	X39 b	軟骨魚類 鳥類 哺乳類 脊椎動物門	カサゴ目 魚類 鳥類 不明		第1椎骨 椎骨 四肢骨 足根中足骨	破損 椎体片 破片 破片	
230	SM	SM 2	X39 b	鳥類 哺乳類 脊椎動物門	鳥類 大型肢骨 不明		椎骨 四肢骨 近位端欠	1 1 1	
231	SM	SM 2 中	X39 b	哺乳類 脊椎動物門	肢骨 不明		不明 四肢骨	破片 2	
232	SM	SM 2・3	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	トビエイ科 フカサゴ科		歯板 尾椎	破片 1	
233	SM	SM 2・3	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	ホホジロザメ属 サメ・エイ類A		歯 椎骨	1 2	
234	SM	SM 2・3	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	サメ・エイ類 ボラ科		椎骨 尾椎	椎体片 2	
235	SM	SM 2・3	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	ホホジロザメ属 ボラ科		歯 尾椎	1 1	
236	SM	SM 2・3	X39 b	軟骨魚類 硬骨魚類	ホホジロザメ属 ボラ科		歯 尾椎	1 1	
237	SM	SM 4・IV	X39 b	哺乳類 脊椎動物門	肢骨 不明		不明 四肢骨	破片 1	
238	SM	SM 4	X39 c	鳥類 哺乳類 鳥類/哺乳類	鳥類 大型肢骨 鳥類/小型肢骨		四肢骨 四肢骨 四肢骨	破片 破片 破片	16 1 1+
239	SM	SM 3	Y37 d	硬骨魚類 脊椎動物門	ボラ科 不明		尾椎 不明	椎体 破片	1 1
240	SM	SM 3	Y37 d	哺乳類 硬骨魚類	不明 ボラ科		不明 尾椎	破片 1	
241	SM	SM 3	Y38 a	哺乳類 硬骨魚類	不明 スズキ属		不明 尾椎	破片 1	
242	SM	SM 4・B	Y38 a	哺乳類 軟骨魚類	ニホンジカ サメ・エイ類		肋骨? 椎骨	破片 2	
243	SM	SM 2・3	Y38 b	軟骨魚類 脊椎動物門	サメ・エイ類 不明		近位端 椎体片	1 2	未化石骨端
244	SM	SM 2・3	Y38 d	哺乳類 硬骨魚類	不明 大型肢骨		不明 四肢骨	破片 1	
245	SM	SM 2	Y39 a	鳥類 鳥類	鳥類 肢骨		近位端欠	1	

表IX-15 骨同定結果 (18)

資料 番号	通称名	層位	グラフ	分類群	部 位	左	右	部 分	数量	備 考
246	SM	SM 2	Y39 a	軟骨魚綱	サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
				哺乳綱	鯨類	肋骨		破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	2	
247	SM	SM 4	Y39 a	硬骨魚綱	サケ属	椎骨		椎体片	1	
				鳥/哺乳綱	鳥類/小型獣類	四肢骨		破片	1	
248	NM	NM中位	R26 c	軟骨魚綱	サメ・エイ類A	椎骨		椎体	1	径7.3,長4.4
249	NM	NM上位	R29 b	哺乳綱	鯨類	不明		破片	1	
250	NM	NM中位	S27 b	哺乳綱	海獣類	指骨?		破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	1	
251	NM	NM下位	S27 b	哺乳綱	鯨類	肋骨		破片	1	
252	NM	NM上位	S27 d	軟骨魚綱	サメ・エイ類D	椎骨		椎体	1	径11.8,長5.4
253	NM	NM中～下位	S27 d	哺乳綱	ヒグマ	末節骨		ほぼ完存	1+	
254	NM	NM上位	S28 b	軟骨魚綱	サメ・エイ類F-	椎骨		椎体	1	径15.0,長11.2
255	NM	NM上位	S28 b	哺乳綱	中型獣類	中手骨/中足骨		ほぼ完存	1+	近位端破損遠位端未化骨外レ
256	NM	重NMB	W27 a	鳥綱	鳥類	四肢骨		破片	1	
				哺乳綱	鯨類	肋骨		破片	1	
				鳥綱	鳥類	尺骨		遠位端	1	
257	包含層		W38 b	鳥綱	鳥類	指骨		近位端欠	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	2	
				哺乳綱	海獣類	不明		破片	1	
258	H-50	HP 1	W38	軟骨魚綱	サメ・エイ類	椎骨		椎体片	1	
259	P-218	覆土	X37	哺乳綱	鯨類	四肢骨		破片	1	
260	H-47	HP 1	U30	脊椎動物門	不明	不明		破片	1	
261	SP-255	覆土	U37	哺乳綱	鯨類	不明		破片	1	
262	SP-325	覆土	X35	軟骨魚綱	サメ・エイ類A	椎骨		椎体	1	径6.8,長3.6
263	包含層	風洞木炭	W38 c	軟骨魚綱	サメ類	歯		破片	1	
				哺乳綱	鯨類	四肢骨		破片	1	
				脊椎動物門	不明	不明		破片	0.3	g
264	包含層	V層直上	T38 c	哺乳綱	鯨類	四肢骨		破片	3+	
265	包含層	覆土	X38	哺乳綱	大型獣類	四肢骨		破片	1	
266	包含層	覆土	V40	硬骨魚綱	魚類	不明		破片	2	
				鳥綱	鳥類	四肢骨		破片	2	
				哺乳綱	鯨類	不明		破片	1	

表区-16 魚類最小個体数 (1)

[illegible]

表1)内蔵骨にて最小値を算出した。

(主2) 種竹のみ検出される場合は、1個体とした。

表Ⅸ-16 魚類最小個體數(2)

[illegible]

注1) 内題件にて最小割体数を算出した。

注2) 根付のみ検出される場合は、1個体とした。

(注2) 複件のみ検出される場合は、1個体とした。

[illegible]

表区-18 鳥類・獸類の骨片数(2)

資料番号	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
通算	W10	W11	W12	W13	W14	W15	W16	W17	W18	W19	W20	W21	W22	W23	W24	W25	W26	W27	W28	W29	W30	W31	W32	W33	W34	W35	W36	W37	W38	W39	W40	W41	W42	W43	W44	W45	W46	W47	W48	W49	W50	W51	W52	W53	W54	W55	W56	W57	W58	W59	W60
データ	W61	W62	W63	W64	W65	W66	W67	W68	W69	W70	W71	W72	W73	W74	W75	W76	W77	W78	W79	W80	W81	W82	W83	W84	W85	W86	W87	W88	W89	W90	W91	W92	W93	W94	W95	W96	W97	W98	W99	W100	W101	W102	W103	W104	W105	W106	W107	W108	W109	W110	
データ	W111	W112	W113	W114	W115	W116	W117	W118	W119	W120	W121	W122	W123	W124	W125	W126	W127	W128	W129	W130	W131	W132	W133	W134	W135	W136	W137	W138	W139	W140	W141	W142	W143	W144	W145	W146	W147	W148	W149	W150	W151	W152	W153	W154	W155	W156	W157	W158	W159	W160	
データ	W161	W162	W163	W164	W165	W166	W167	W168	W169	W170	W171	W172	W173	W174	W175	W176	W177	W178	W179	W180	W181	W182	W183	W184	W185	W186	W187	W188	W189	W190	W191	W192	W193	W194	W195	W196	W197	W198	W199	W200	W201	W202	W203	W204	W205	W206	W207	W208	W209	W210	
データ	W211	W212	W213	W214	W215	W216	W217	W218	W219	W220	W221	W222	W223	W224	W225	W226	W227	W228	W229	W230	W231	W232	W233	W234	W235	W236	W237	W238	W239	W240	W241	W242	W243	W244	W245	W246	W247	W248	W249	W250	W251	W252	W253	W254	W255	W256	W257	W258	W259	W260	
データ	W261	W262	W263	W264	W265	W266	W267	W268	W269	W270	W271	W272	W273	W274	W275	W276	W277	W278	W279	W280	W281	W282	W283	W284	W285	W286	W287	W288	W289	W290	W291	W292	W293	W294	W295	W296	W297	W298	W299	W300	W301	W302	W303	W304	W305	W306	W307	W308	W309	W310	
データ	W311	W312	W313	W314	W315	W316	W317	W318	W319	W320	W321	W322	W323	W324	W325	W326	W327	W328	W329	W330	W331	W332	W333	W334	W335	W336	W337	W338	W339	W340	W341	W342	W343	W344	W345	W346	W347	W348	W349	W350	W351	W352	W353	W354	W355	W356	W357	W358	W359	W360	
データ	W361	W362	W363	W364	W365	W366	W367	W368	W369	W370	W371	W372	W373	W374	W375	W376	W377	W378	W379	W380	W381	W382	W383	W384	W385	W386	W387	W388	W389	W390	W391	W392	W393	W394	W395	W396	W397	W398	W399	W400	W401	W402	W403	W404	W405	W406	W407	W408	W409	W410	
データ	W411	W412	W413	W414	W415	W416	W417	W418	W419	W420	W421	W422	W423	W424	W425	W426	W427	W428	W429	W430	W431	W432	W433	W434	W435	W436	W437	W438	W439	W440	W441	W442	W443	W444	W445	W446	W447	W448	W449	W450	W451	W452	W453	W454	W455	W456	W457	W458	W459	W460	
データ	W461	W462	W463	W464	W465	W466	W467	W468	W469	W470	W471	W472	W473	W474	W475	W476	W477	W478	W479	W480	W481	W482	W483	W484	W485	W486	W487	W488	W489	W490	W491	W492	W493	W494	W495	W496	W497	W498	W499	W500	W501	W502	W503	W504	W505	W506	W507	W508	W509	W510	
データ	W511	W512	W513	W514	W515	W516	W517	W518	W519	W520	W521	W522	W523	W524	W525	W526	W527	W528	W529	W530	W531	W532	W533	W534	W535	W536	W537	W538	W539	W540	W541	W542	W543	W544	W545	W546	W547	W548	W549	W550	W551	W552	W553	W554	W555	W556	W557	W558	W559	W560	
データ	W561	W562	W563	W564	W565	W566	W567	W568	W569	W570	W571	W572	W573	W574	W575	W576	W577	W578	W579	W580	W581	W582	W583	W584	W585	W586	W587	W588	W589	W590	W591	W592	W593	W594	W595	W596	W597	W598	W599	W600	W601	W602	W603	W604	W605	W606	W607	W608	W609	W610	
データ	W611	W612	W613	W614	W615	W616	W617	W618	W619	W620	W621	W622	W623	W624	W625	W626	W627	W628	W629	W630	W631	W632	W633	W634	W635	W636	W637	W638	W639	W640	W641	W642	W643	W644	W645	W646	W647	W648	W649	W650	W651	W652	W653	W654	W655	W656	W657	W658	W659	W660	
データ	W661	W662	W663	W664	W665	W666	W667	W668	W669	W670	W671	W672	W673	W674	W675	W676	W677	W678	W679	W680	W681	W682	W683	W684	W685	W686	W687	W688	W689	W690	W691	W692	W693	W694	W695	W696	W697	W698	W699	W700	W701	W702	W703	W704	W705	W706	W707	W708	W709	W710	
データ	W711	W712	W713	W714	W715	W716	W717	W718	W719	W720	W721	W722	W723	W724	W725	W726	W727	W728	W729	W730	W731	W732	W733	W734	W735	W736	W737	W738	W739	W740	W741	W742	W743	W744	W745	W746	W747	W748	W749	W750	W751	W752	W753	W754	W755	W756	W757	W758	W759	W760	
データ	W761	W762	W763	W764	W765	W766	W767	W768	W769	W770	W771	W772	W773	W774	W775	W776	W777	W778	W779	W780	W781	W782	W783	W784	W785	W786	W787	W788	W789	W790	W791	W792	W793	W794	W795	W796	W797	W798	W799	W800	W801	W802	W803	W804	W805	W806	W807	W808	W809	W810	
データ	W811	W812	W813	W814	W815	W816	W817	W818	W819	W820	W821	W822	W823	W824	W825	W826	W827	W828	W829	W830	W831	W832	W833	W834	W835	W836	W837	W838	W839	W840	W841	W842	W843	W844	W845	W846	W847	W848	W849	W850	W851	W852	W853	W854	W855	W856	W857	W858	W859	W860	
データ	W861	W862	W863	W864	W865	W866	W867	W868	W869	W870	W871	W872	W873	W874	W875	W876	W877	W878	W879	W880	W881	W882	W883	W884	W885	W886	W887	W888	W889	W890	W891	W892	W893	W894	W895	W896	W897	W898	W899	W900	W901	W902	W903	W904	W905	W906	W907	W908	W909	W910	
データ	W911	W912	W913	W914	W915	W916	W917	W918	W919	W920	W921	W922	W923	W924	W925	W926	W927	W928	W929	W930	W931	W932	W933	W934	W935	W936	W937	W938	W939	W940	W941	W942	W943	W944	W945	W946	W947	W948	W949	W950	W951	W952	W953	W954	W955	W956	W957	W958	W959	W960	
データ	W961	W962	W963	W964	W965	W966	W967	W968	W969	W970	W971	W972	W973	W974	W975	W976	W977	W978	W979	W980	W981	W982	W983	W984	W985	W986	W987	W988	W989	W990	W991	W992	W993	W994	W995	W996	W997	W998	W999	W1000	W1001	W1002	W1003	W1004	W1005	W1006	W1007	W1008	W1009	W1010	
データ	W1011	W1012	W1013	W1014	W1015	W1016	W1017	W1018	W1019	W1020	W1021	W1022	W1023	W1024	W1025	W1026	W1027	W1028	W1029	W1030	W1031	W1032	W1033	W1034	W1035	W1036	W1037	W1038	W1039	W1040	W1041	W1042	W1043	W1044	W1045	W1046	W1047	W1048	W1049	W1050	W1051	W1052	W1053	W1054	W1055	W1056	W1057	W1058	W1059	W1060	
データ	W1061	W1062	W1063	W1064	W1065	W1066	W1067	W1068	W1069	W1070	W1071	W1072	W1073	W1074	W1075	W1076	W1077	W1078	W1079	W1080	W1081	W1082	W1083	W1084	W1085	W1086	W1087	W1088	W1089	W1090	W1091	W1092	W1093	W1094	W1095	W1096	W1097	W1098	W1099	W1100	W1101	W1102	W1103	W1104	W1105	W1106	W1107	W1108	W1109	W1110	
データ	W1111	W1112	W1113	W1114	W1115	W1116	W1117	W1118	W1119	W1120	W1121	W1122	W1123	W1124	W1125	W1126	W1127	W1128	W1129	W1130	W1131	W1132	W1133	W1134	W1135	W1136	W1137	W1138	W1139	W1140	W1141	W1142	W1143	W1144	W1145	W1146	W1147	W1148	W1149	W1150	W1151	W1152	W1153	W1154	W1155	W1156	W1157	W1158	W1159	W1160	
データ	W1161	W1162	W1163	W1164	W1165	W1166	W1167	W1168	W1169	W1170	W1171	W1172	W1173	W1174	W1175	W1176	W1177	W1178	W1179	W1180	W1181	W1182	W1183	W1184	W1185	W1186	W1187	W1188	W1189	W1190	W1191	W1192	W1193	W1194	W1195	W1196	W1197	W1198	W1199	W1200	W1201	W1202	W1203	W1204	W1205	W1206	W1207	W1208	W1209	W1210	
データ	W1211	W1212	W1213	W1214	W1215	W1216	W1217	W1218	W1219	W1220	W1221	W1222	W1223	W1224	W1225	W1226	W1227	W1228	W1229	W1230	W1231	W1232	W1233	W1234	W1235	W1236	W1237	W1238	W1239	W1240	W1241	W1242	W1243	W1244	W1245	W1246	W1247	W1248	W1249	W1250	W1251	W1252	W1253	W1254	W1255	W1256	W1257	W1258	W1259	W1260	
データ	W1261	W1262	W1263	W1264	W1265	W1266	W1267	W1268	W1269	W1270	W1271	W1272	W1273	W1274	W1275	W1276	W1277	W1278	W1279	W1280	W1281	W1282	W1283	W1284	W1285	W1286	W1287	W1288	W1289	W1290	W1291	W1292	W1																		

表Ⅳ-18 鳥類・獸類の骨片数 (3)

[illegible]

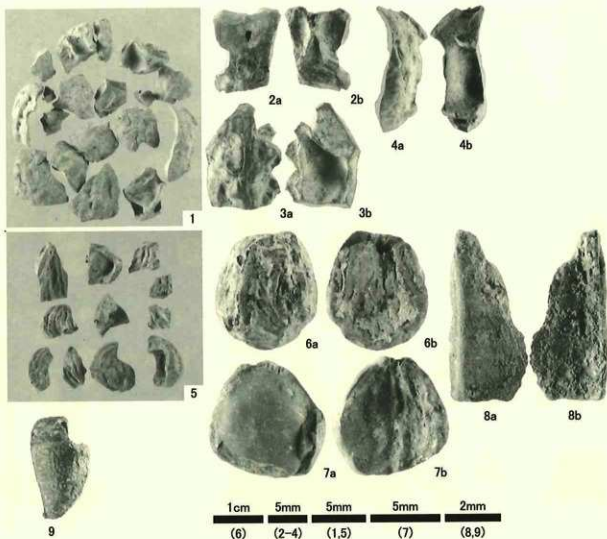
表区-18 鳥類・獸類の骨片数(4)

[illegible]

表区-18 鳥類・獸類の骨片数(5)

種別	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479	1480	1481	1482	1483	1484	1485	1486	1487	1488	1489	1490	1491	1492	1493	1494	1495	1496	1497	1498	1499	1500	1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509	1510	1511	1512	1513	1514	1515	1516	1517	1518	1519	1520	1521	1522	1523	1524	1525	1526	1527	1528	1529	1530	1531	1532	1533	1534	1535	1536	1537	1538	1539	1540	1541	1542	1543	1544	1545	1546	1547	1548	1549	1550	1551	1552	1553	1554	1555	1556	1557	1558	1559	1560	1561	1562	1563	1564	1565	1566	1567	1568	1569	1570	1571	1572	1573	1574	1575	1576	1577	1578	1579	1580	1581	1582	1583	1584	1585	1586	1587	1588	1589	1590	1591	1592	1593	1594	1595	1596	1597	1598	1599	1600	1601	1602	1603	1604	1605	1606	1607	1608	1609	1610	1611	1612	1613	1614	1615	1616	1617	1618	1619	1620	1621	1622	1623	1624	1625	1626	1627	1628	1629	1630	1631	1632	1633	1634	1635	1636	1637	1638	1639	1640	1641	1642	1643	1644	1645	1646	1647	1648	1649	
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--

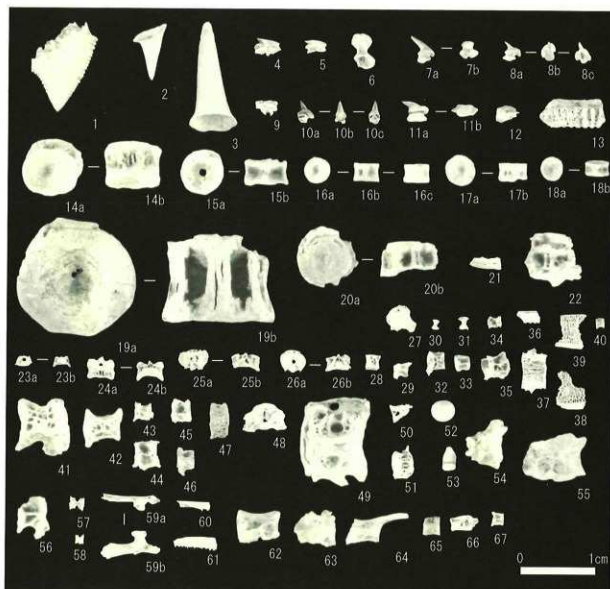
図版Ⅸ-2 館野遺跡の種実遺体



1. オニグルミ 核(資料番号175)
3. オニグルミ 核(資料番号161)
5. クリ 子葉(資料番号170)
7. クリ 子葉(資料番号124)
9. キハダ 核(資料番号3)

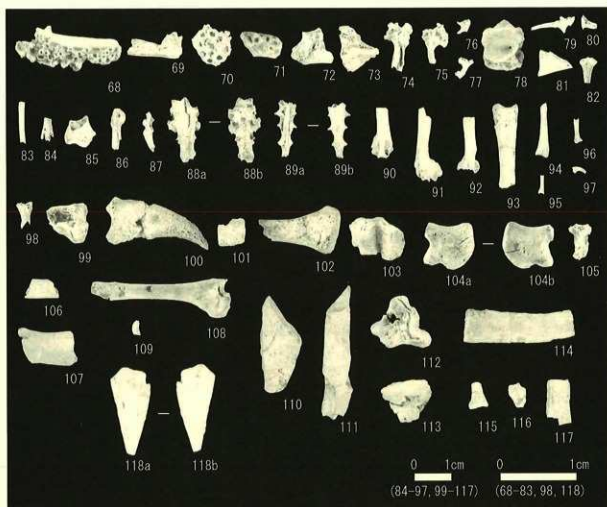
2. オニグルミ 核(資料番号161)
4. オニグルミ 核(資料番号175)
6. クリ 子葉(資料番号157)
8. クリ 果実(資料番号124)

図版Ⅸ-3 出土骨(1)



- | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 1. ホホジロザメ属歯(No. 233) | 2. メジロザメ科上顎骨(No. 170) | 3. メジロザメ科下顎骨(No. 170) |
| 4. ツノザメ科歯(No. 138) | 5. ツノザメ科歯(No. 138) | 6. ツノザメ科(アブラツノザメ型)椎骨(No. 139) |
| 7. ガンギエイ属歯(No. 72) | 8. ガンギエイ属歯(No. 72) | 9. アカエイ科歯(No. 108) |
| 10. アカエイ科歯(No. 108) | 11. アカエイ科?歯a(No. 131) | 12. アカエイ科歯板(No. 59) |
| 13. トビエイ科歯板(No. 232) | 14. サメ類椎骨A(No. 170) | 15. サメ類椎骨B(No. 161) |
| 16. サメ類椎骨C(No. 108) | 17. サメ類椎骨D(No. 108) | 18. サメ類椎骨E(No. 108) |
| 19. サメ類椎骨F(No. 254) | 20. サメ類椎骨G(No. 135) | 21. ウナギ科?歯骨(No. 150) |
| 22. アナゴ科尾椎(No. 220) | 23. マイワシ第1椎骨(No. 120) | 24. ニシン第1椎骨(No. 172) |
| 25. ニシン第2椎骨(No. 44) | 26. ニシン第2椎骨(No. 108) | 27. ニシン科耳石(No. 161) |
| 28. ニシン科腹椎(No. 111) | 29. ニシン科尾椎(No. 65) | 30. カタクチイシ尾椎(No. 111) |
| 31. カタクチイシ尾椎(No. 120) | 32. ウグイ属腹椎(No. 170) | 33. ウグイ属腹椎(No. 174) |
| 34. コイ科腹椎(No. 30) | 35. コイ科尾椎(No. 168) | 36. コイ科尾椎(No. 104) |
| 37. サケ属腹椎(No. 227) | 38. サケ属腹椎(No. 57) | 39. サケ属腹椎(No. 57) |
| 40. タラ科腹椎(No. 66) | 41. ボラ科尾椎(No. 234) | 42. ボラ科尾椎(No. 240) |
| 43. フサカサゴ科腹椎(No. 106) | 44. フサカサゴ科尾椎(No. 55) | 45. フサカサゴ科尾椎(No. 149) |
| 46. アイナメ属尾椎(No. 8) | 47. ホッケ属尾椎(No. 170) | 48. カサゴ目第1椎骨(No. 229) |
| 49. スズキ属尾椎(No. 241) | 50. スズキ科左歯骨(No. 147) | 51. スズキ科腹椎(No. 170) |
| 52. タイ科臼歯状歯(No. 170) | 53. タイ科犬歯状歯(No. 137) | 54. タイ科右角骨(No. 169) |
| 55. タイ科第1椎骨(No. 234) | 56. タイ科尾椎(No. 20) | 57. キス属尾椎(No. 61) |
| 58. ハゼ科?椎骨(No. 120) | 59. サバ属右上顎骨a(No. 120) | 60. サバ属左前上顎骨(No. 120) |
| 61. サバ属右前上顎骨(No. 120) | 62. サバ属腹椎(No. 170) | 63. サバ属尾椎(No. 120) |
| 64. サバ属尾椎(No. 120) | 65. ヒラメ科?尾椎(No. 54) | 66. カレイ科第1椎骨(No. 73) |
| 67. カレイ科尾椎(No. 159) | | |

図版IX-4 出土骨(2)



- | | | |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 68. 魚類前上顎骨 (No. 170) | 69. 魚類右前上顎骨 (No. 67) | 70. 魚類咽喉骨 (No. 55) |
| 71. 魚類顎片 (No. 169) | 72. 魚類角骨? (No. 169) | 73. 魚類角舌骨 (No. 169) |
| 74. 魚類舌顎骨 (No. 112) | 75. 魚類舌顎骨 (No. 120) | 76. 魚類後側頭骨? (No. 170) |
| 77. 魚類肩甲骨 (No. 172) | 78. 魚類第1椎骨1 (No. 40) | 79. 魚類尾部棒状骨 (No. 120) |
| 80. 魚類尾部棒状骨 (No. 150) | 81. 魚類下尾骨 (No. 120) | 82. 魚類臀鰭前骨 (No. 131) |
| 83. 鳥類尺骨 (No. 72) | 84. スズメ目左足根中足骨 (No. 57) | 85. 鳥類尺骨 (No. 257) |
| 86. 鳥類手根骨 (No. 227) | 87. 鳥類複合仙骨 (No. 176) | 88. 鳥類複合仙骨1a (No. 219) |
| 89. 鳥類複合仙骨2a (No. 219) | 90. 鳥類中足骨 (No. 99) | 91. 鳥類中足骨 (No. 229) |
| 92. 鳥類四肢骨 (No. 229) | 93. 鳥類基節骨 (No. 219) | 94. 鳥類基節骨 (No. 170) |
| 95. 鳥類基節骨 (No. 146) | 96. 鳥類指骨 (No. 57) | 97. 鳥類末節骨 (No. 146) |
| 98. ネズミ目尾椎 (No. 112) | 99. ヒゲマ中足骨 (No. 201) | 100. ヒゲマ末節骨 (No. 253) |
| 101. 海獣類破片 (No. 162) | 102. 海獣類指骨 (No. 250) | 103. ニホンジカ基節骨 (No. 242) |
| 104. ニホンジカ種子骨 (No. 206) | 105. 小型獸類仙骨 (No. 169) | 106. 中小型獸類肋骨 (No. 131) |
| 107. 中型獸類肋骨 (No. 170) | 108. 中型獸類中手骨/中足骨 (No. 225) | 109. 中型獸類種子骨 (No. 12) |
| 110. 大型獸類四肢骨 (No. 265) | 111. 大型獸類四肢骨 (No. 244) | 112. 獸類頭蓋 (No. 207) |
| 113. 獸類椎骨 (No. 211) | 114. 獸類肋骨 (No. 240) | 115. 獸類中足骨 (No. 164) |
| 116. 獸類中足骨 (No. 170) | 117. 獸類四肢骨 (No. 160) | 118. 骨角器 (No. 162) |

遺構土壌のフローテーションおよび水洗選別作業について

遺構の微細遺物回収を目的に土壌サンプル179件を取り上げ、フローテーションおよび水洗選別作業を行った。遺構別の土壌サンプル内訳は表Ⅸ-19のとおりである。

フローテーション作業の対象サンプルは盛土遺構、堅穴住居跡の炉、土坑中の焼土、石囲炉、焼土、小柱穴状ピット、畝状遺構などである。サンプルの採取土量は乾燥状態で重量338.72kg、体積509ℓである。水洗選別資料はフローテーション資料のうち採取土量の多いものおよび盛土遺構のコアサンプル、埋設土器内の土である。採取土量の合計は乾燥状態で重量約157kg（一部未計量のものあり）、この他に土嚢袋182袋（重量未計量）である。

盛土遺構のコアサンプルは南北盛土遺構の各2か所から採取した。南盛土はV39c区とW39d区である。層位別には上位からSM2上・中・下層、SM2・3層、SM3層である。北盛土はS28a区とW25c区である。層位別には上位からNM上・中・下層あるいはNM1、NM2上・下層である。採取土量は場所によって異なるが、土嚢袋で最低1袋、多い所では20袋あるいは38袋である。

サンプリング資料の処理方法は次の通りである。フローテーション資料は室内で土壌を十分乾燥させた後、重量と体積を計量しフローテーションマシンを使用して作業を行った。水洗選別資料は木製枠の篩に採取土壌を入れ、その上から水道水をかけながら篩に残った微細遺物を回収した。

フローテーションおよび土壌水洗選別作業の結果は表Ⅸ-20・21のとおりである。回収した微細遺物資料のうち動植物遺存体についてはバリノ・サーヴェイ㈱に同定作業を依頼、その結果を第Ⅸ章に掲載した。

水洗選別作業の結果、回収した資料は次の通りである。

土器は盛土遺構のコアサンプル（Na170）から最大7.4kg、次いで1.0kg台のものが多く、盛土遺構以外では100g以上のものが10件ある。石器は盛土遺構から石鏃の完形品や破片、石製品などが回収された。炭化物は盛土から最大191g（Na163）回収されている。ほかに100g以上回収された資料は3件ある（Na158, 163, 169）。骨片はP-137の資料2件（Na111, 112）と北盛土遺構1件（Na178）からそれぞれ18～27g得られている。剥片は盛土遺構から100g以上回収された資料が1件（Na175）、そのほかは2桁台の重量である。盛土遺構以外では10g未満である。

フローテーション作業により回収された遺物は次の通りである。土器は最大902g（Na10）、次いで767g（Na101）、200g台が2件ある（Na159, 170）。石器は石鏃1点、石製品2点（内、1件は琥珀の玉）が得られている。炭化物は2g以上のものが2件ある（159, 161）。骨片は最大8.9g（No77）、次いで3g以上のものが5件ある（Na57, 66, 72, 113, 150）。剥片は最大48g（Na104）、次いで21.9g（Na168）である。

表Ⅸ-19 土壌サンプル遺構別一覧表

種別（記号）	件数	内訳		資料番号
		フローテーション	水洗選別	
北盛土(NM)	9	9	7	Na154, 169-176
南盛土(SM)	15	10	14	Na85, 155, 157-168, 178
堅穴式住居跡(H)	11	11	1	Na94-102, 179, 181
土坑(P)	18	12	17	Na86, 104-120
石囲炉(Fs)	28	27	19	Na121-147, 180
焼土(F)	82	82	44	Na1-79, 151, 153, 177
小柱穴状ピット(SP)	3	3	0	Na148-150
埋設土器(Po)ほか	5	0	5	Na80-84
畝状遺構	7	7	0	Na87-93
その他	1	1	1	Na152（遺構番号不明）
合計	179	162	108	Na103, 156欠番

[illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

4. 1991年と1992年の調査結果を比較すると、1991年の調査結果に比べて、1992年の調査結果は、

[illegible]

表区-21 水洗選別結果一覧表

番号	資料番号	通称名	層位	発掘区	産量値 (kg)	フローラー シヤツ(箇)	水洗選別 重量 (g)	選別遺物 総重量 (g)	土器 (g)	石器 (箇)	硝 (g)	炭化物 (g)	骨片 (g)	剥片 (g)	備 考
1	3	F-64	焼土	R37	3.0	—	0.9	27.5	12.0	15.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
2	4	F-65	焼土	R37	4.3	—	1.7	40.7	12.1	28.1	0.4	<0.1	0.5	0.5	
3	5	F-66	焼土	R36	4.5	—	2.5	91.4	24.9	66.7	0.1	0.1	<0.1	<0.1	
4	6	F-68	焼土	R30	6.0	—	4.1	144.8	65.1	84.2	1.0	0.3	0.4	0.4	
5	7	F-70	焼土	R39	4.9	—	2.7	15.7	7.5	4.1	0.9	—	—	0.1	
6	8	F-70	焼土	R29	4.5	—	2.2	265.3	242.9	16.4	0.2	2.3	—	—	
7	9	F-71	焼土	R38	3.0	—	0.6	5.3	3.2	1.8	<0.1	0.1	—	—	
8	10	F-72	焼土	R37	3.0	—	0.7	277.0	271.8	0.3	<0.1	<0.1	—	—	
9	12	包含層	U30	5.0	—	2.4	59.6	40.9	—	19.4	0.2	0.5	<0.1	—	
10	13	包含層	U30	4.3	—	1.9	81.5	44.7	—	34.9	<0.1	0.2	<0.1	—	
11	14	包含層	U30	3.8	—	2.0	43.5	31.4	—	9.1	1.9	<0.1	<0.1	—	
12	16	包含層	W38	2.9	—	0.8	12.8	7.9	—	4.6	0.1	<0.1	—	—	
13	17	包含層	X38	4.0	—	1.7	73.3	28.5	—	26.5	<0.1	0.2	—	—	
14	18	F-82	焼土	X37	7.7	—	2.2	100.1	62.8	19.2	0.5	<0.1	0.1	—	
15	20	F-86	焼土	T39-4	3.0	—	1.0	25.9	11.7	10.1	0.3	1.3	0.1	—	
16	21	F-96	焼土	S38	4.9	—	2.7	100.7	108.1	17.9	0.3	0.1	1.2	—	
17	22	F-97	焼土	S38	5.2	—	2.9	72.6	34.4	19.9	1.1	0.4	0.1	—	
18	23	F-98	焼土	S38	4.6	—	2.4	57.7	31.8	15.4	1.0	<0.1	<0.1	—	
19	24	F-99	焼土	S38	3.3	—	1.3	5.3	2.5	1.8	0.4	—	<0.1	—	
20	25	F-100	焼土	S38	3.3	—	2.3	21.4	10.3	9.4	0.7	—	<0.1	—	
21	28	F-104	焼土	V37	3.7	—	1.3	12.9	8.2	4.3	0.1	<0.1	—	—	
22	29	F-105	焼土	V37	3.9	—	1.5	27.3	23.9	2.7	0.4	0.2	<0.1	—	
23	30	F-106	焼土	V37	2.9	—	2.9	199.9	100.4	74.2	0.7	0.2	1.7	—	
24	31	包含層	U37	0.9	—	0.9	34.8	22.5	—	11.5	<0.1	<0.1	—	—	
25	33	F-109	焼土	T37	4.1	—	2.1	77.4	44.2	10.9	0.2	0.6	0.3	—	
26	39	F-116	焼土	X27	7.7	—	2.1	44.6	37.7	5.3	1.0	<0.1	—	—	
27	40	F-118	焼土	X37	3.5	—	1.7	80.4	64.2	34.5	0.8	1.1	<0.1	—	
28	44	F-122	焼土	V36	5.2	—	2.6	384.2	126.4	225.2	0.6	0.5	<0.1	—	
29	49	F-128	焼土	T37	3.8	—	1.5	42.9	22.6	10.8	0.5	<0.1	—	—	
30	54	F-134	焼土	S37	3.3	—	1.1	40.6	26.4	4.6	0.6	0.4	<0.1	—	
31	59	F-180	焼土	U29	4.1	—	2.0	109.7	88.6	18.3	0.2	0.7	—	—	
32	61	F-190	焼土	V36	3.1	—	1.0	7.2	1.5	3.6	0.2	0.2	0.2	—	
33	64	F-197	焼土	T29	4.1	—	1.7	53.1	32.4	18.1	0.4	0.4	0.3	—	
34	65	F-207	焼土	V40	3.4	—	1.1	2.5	1.5	0.6	0.1	0.1	—	—	
35	66	F-210	焼土	S37	3.8	—	1.1	83.0	63.9	8.7	1.5	1.4	<0.1	—	
36	67	F-214	焼土	V28	4.0	—	1.2	20.8	10.1	2.3	0.2	0.4	—	—	
37	70	F-228	焼土	S37	3.3	—	1.1	16.5	5.2	2.4	0.1	0.8	0.6	—	
38	73	F-242	焼土	V27	6.9	—	4.7	41.3	12.2	2.9	1.3	1.2	0.3	—	土製品1点
39	74	F-243	焼土	R27-6	5.0	—	2.4	82.4	53.8	13.7	0.3	0.1	0.3	—	
40	76	F-252	焼土	R27-6	4.6	—	2.3	6.6	19.6	33.7	0.6	0.9	—	—	
41	77	F-254	焼土	S30	4.8	—	2.3	67.0	45.7	11.4	2.4	6.0	<0.1	—	
42	79	Ps-12	甕土	R30	4.4	—	150.3	36.2	—	10.8	<0.1	0.4	0.1	—	
43	80	Ps-1	甕土	T31-b	不明	—	53.6	11.8	—	18.4	0.7	<0.1	<0.1	—	
44	81	Ps-60	甕土	X37	1.1	—	70.1	190.9	—	37.2	3.8	0.6	0.7	—	
45	82	Ps-3	甕土	R38	6.8	—	114.4	73.5	—	40.6	0.4	0.2	0.2	—	
46	83	Ps-5	甕土	S35	9.4	—	216.7	350.9	—	12.0	1.8	0.6	<0.1	—	
47	84	Ps-9	甕土	U39	0.3	—	10.5	0.3	—	7.7	0.1	<0.1	—	—	
48	85	SM	T39-d	0.1	—	—	23.4	0.3	—	14.7	0.1	<0.1	—	—	
49	86	P-55	甕土	W29	0.8	—	35.9	6.5	—	6.8	0.2	<0.1	0.1	—	
50	95	H-259	焼土	P24	4.7	—	31.2	4.7	—	10.1	—	0.3	0.8	15年度報告	
51	104	P-60	甕土	X27	2.5	—	1.1	60.4	45.6	3.7	8.8	0.1	0.7	—	
52	106	P-74	甕土中	V33	3.0	—	1.3	85.7	68.5	4.7	10.0	<0.1	<0.1	—	
53	107	P-80	甕土中	V29	3.2	—	1.2	36.8	43.5	5.4	5.7	<0.1	<0.1	—	
54	108	P-120	甕土	X28	3.0	—	0.9	111.0	26.9	75.2	1.0	1.6	0.3	—	
55	109	P-120	甕土上	X38	無量	—	—	0.9	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	—	—	
56	110	P-120	甕土中	X28	0.5	—	22.9	2.8	—	9.3	1.3	0.1	2.5	焼成粘土塊1点	
57	111	P-137	甕土	V29	11.2	—	300.0	181.7	—	50.0	3.6	20.4	1.0	—	
58	112	P-137	甕土	V29	11.9	—	443.9	234.9	—	110.7	4.0	27.1	2.3	—	
59	113	P-137	甕土中	V29	3.6	—	1.9	57.6	33.1	10.0	1.5	7.3	<0.1	—	
60	114	P-138	甕土	W36	0.1	—	—	12.8	—	12.5	—	—	—	—	
61	115	P-176	甕土上	W29	2.7	—	0.9	18.0	7.1	1.6	0.1	<0.1	—	—	
62	116	P-179	甕土	T37	0.6	—	1.3	1.9	—	0.1	0.1	—	<0.1	—	
63	117	P-186	甕土	S32	5.0	—	3.1	59.4	19.6	22.3	2.1	6.1	—	—	
64	118	P-196 F1	甕土	W27	4.3	—	2.4	26.8	9.9	15.0	0.5	0.7	<0.1	—	
65	119	P-196 F2	甕土	W27	3.8	—	2.3	29.9	9.4	15.4	5.8	<0.1	<0.1	—	
66	120	P-196 F3	甕土	W27 a	6.2	—	4.5	60.4	19.5	22.5	2.0	7.5	<0.1	—	
67	121	Ps-11	焼土	R30	4.4	—	1.8	97.4	30.7	17.0	<0.1	0.2	—	—	
68	122	Ps-13	焼土	R33	0.8	—	100.1	36.6	—	5.9	1.0	0.2	—	—	
69	123	Ps-13	焼土	R33	5.2	—	3.0	251.5	116.1	25.8	2.3	<0.1	0.1	—	
70	124	Ps-14	焼土	R38	4.4	—	3.6	142.3	60.2	15.4	5.8	<0.1	<0.1	—	
71	125	Ps-15	焼土	S37	5.4	—	3.3	139.5	72.9	30.3	1.8	<0.1	—	—	
72	126	Ps-16	焼土	T37	4.7	—	2.5	96.2	36.8	32.1	0.3	0.1	0.3	—	
73	127	Ps-17	焼土	T38	3.8	—	1.5	86.1	18.3	9.2	0.3	0.1	<0.1	—	
74	128	F-281	焼土	T38	5.6	—	1.8	63.6	18.3	15.4	0.2	0.3	<0.1	—	
75	131	Ps-21	焼土	S39	5.1	—	2.5	102.9	70.9	4.9	0.1	0.3	3.3	—	
76	132	Ps-22	焼土	T30	5.3	—	3.4	126.4	41.4	32.1	0.2	0.1	<0.1	—	
77	133	Ps-23	焼土	T30	4.0	—	2.2	67.9	11.1	34.4	0.1	0.1	0.4	—	
78	134	Ps-24	焼土	N36	2.3	—	1.1	36.8	13.2	13.3	<0.1	0.2	<0.1	—	
79	135	Ps-25	焼土	V37	4.0	—	2.1	121.9	47.1	41.6	<0.1	0.7	—	—	
80	138	Ps-28	焼土	X27	4.5	—	2.5	107.6	61.9	21.8	0.2	1.3	1.2	—	
81	139	Ps-29	焼土	W28	4.8	—	3.3	52.9	15.4	12.3	<0.1	0.8	1.1	—	
82	140	Ps-30	焼土	V28	3.2	—	1.9	51.5	10.9	4.8	0.3	0.3	0.1	—	
83	143	Ps-38	焼土	S31	6.8	—	5.2	92.4	74.7	13.0	0.3	1.2	1.2	—	
84	144	Ps-41	焼土	W37	6.5	—	4.9	51.7	8.9	9.5	0.2	1.1	<0.1	—	
85	147	Ps-47	焼土	S39-a	5.4	—	3.6	119.7	53.0	22.1	<0.1	2.3	0.0	—	
86	151	不明	焼土	V34-d	3.5	—	2.2	224.9	46.7	156.8	0.2	—	<0.1	—	

番号	資料 番号	遺構名	層位	発掘区	総重量 (kg)	フローテ- ション(箇)	水洗選別 重量 (kg)	埋蔵品 総重量 (g)	土器 (g)	石器 (点)	骨 (g)	炭化物 (g)	骨片 (g)	遺物 (g)	備考
87	152	不明	層上	X27c	6.0		4.7	139.5	22.4		66.6	0.5	0.1	1.7	
88	155	SM	SM2上	W39d	2	0	2	2430.0	500.0	1	23.0	29.0	—	20.0	瓦
89	157	SM	SM2中	W29c	7	1	6	2010.0	551.0		46.0	18.0	—	10.0	
90	158	SM	SM2下	W39c	8	1	7	2710.0	1265.0	4	42.0	105.0	3.0	38.0	右腰2点、右腰片、瓦フレイタ
91	159	SM	SM2・3	W39c	20	2	18	9450.0	2657.0	5	78.0	82.0	4.0	33.0	右腰品4点、Rフレイタ
92	160	SM	SM3	W29c	8	1	7	1590.0	597.0		21.0	30.0	2.0	17.0	
93	161	SM	SM2上	W39d	3	1	2	950.0	360.0		10.0	24.0	1.0	1.0	
94	162	SM	SM2中	W39d	8	1	7	2300.0	861.0		42.0	45.0	1.0	16.0	
95	163	SM	SM2下	W39d	10	1	9	3660.0	1177.0	1	36.0	191.0	4.0	36.0	右腰品
96	164	SM	SM2・3	W39d	7	1	6	3350.0	1408.0	1	28.0	82.0	2.0	25.0	右腰
97	165	SM	SM3	V39c	1	0	1	50.0	23.0		4.0	—	—	—	
98	166	SM	SM2・3	W39a	1	0	1	670.0	205.0		2.0	4.0	—	1.0	
99	167	SM	SM2・3	W39d	6	0	6	3220.0	1668.0	2	54.0	55.0	2.0	13.0	右腰品、元木製品
100	168	SM	SM3	W39d	19	2	17	2890.0	1617.0	3	57.0	66.0	5.0	70.0	右腰2点、右腰片
101	169	NM	NM上段	S28a	8	1	7	4060.0	1589.0		68.0	147.0	8.0	40.0	
102	170	NM	NM中段	S28a	38	2	36	14600.0	7439.0	3	141.0	56.0	18.0	79.0	右腰、右腰片、右腰品
103	171	NM	NM中下	S28a	20	1	19	3860.0	1312.0	1	71.0	58.0	3.0	44.0	右腰
104	172	NM	S28a-1段	S28a	5	1	4	1490.0	949.0		15.0	25.0	3.0	5.0	
105	174	NM	NM1	W25c	8	1	7	2830.0	864.0		1.0	28.0	2.0	4.0	
106	175	NM	NM2上段	W25c	10	1	9	4070.0	1155.0	1	32.0	49.0	2.0	117.0	スケレイバー
107	176	NM	NM2下段	W25c	12	1	11	3810.0	2.0		734.0	34.0	2.0	26.0	
		合 計						78984.3	30325.4	22	3515.6	1223.0	156.0	627.7	

※資料番号155～176は富士サンパルで、土器等の数量を表示。
水洗選別で検出した石器は点数を示し、備考に種類を表示。

X章 まとめ

(1) 地区割りと分冊について

配石・盛土遺構は平成15年度の調査で配石と盛土の一部が発見されており、16年度の調査で大部分を検出することが出来た。16年度の発掘現場では5月末の時点で大規模な配石・盛土遺構が存在することが判明し、調査体制の充実をはかった。他の遺跡の調査を予定していた調査員が増員され、配石の北側と南側に堆積する盛土遺構の北側を山中文雄、南側を福井淳一、配石・広場と南側地区を富永勝也の担当とし地区割りをして、3人の分担体制で調査を進めた。本報告ではそれぞれの担当した区域に合わせて、山中の担当した北盛土付近を第1分冊、福井の担当した南盛土付近を第2分冊、富永の担当した中央広場付近と調査区南側を第3分冊に分けて報告し、第5分冊に2カ年のまとめを執筆した。15・16年度のすべての地区は中山昭大が写真撮影を統括し第6分冊で報告している。

(2) 遺構と遺物

2カ年に渡る調査で出土した遺物は、縄文時代中期末から後期初頭にかけてのものが多く出土し、土器・石器等あわせて約111万点である。その内訳は土器が約99万点、石器は約10万点、その他の遺物約2万点である（15年度約44万点の内訳は土器約39万点、石器約4万点、その他約1万点。16年度約67万点の内訳は土器約60万点、石器約6万点、その他約1万点）。

遺構は2カ年分を合わせると堅穴式住居跡56軒（その内、16年度検出は19軒）、土坑222基（173基）、Tピット11基（4基）、石囲炉47基（37基）、焼土251カ所（196カ所）、小柱穴状ピット2,008基（1,876基）、配石下ピット311基、中央広場小ピット407基、埋設土器10カ所、石組状遺構12基、遺物（小礫）集中13カ所（9カ所）、溝状遺構1基、畝状遺構1基（1基）、建物跡1基、後期初頭の配石盛土遺構の一部と、それに関わる広場の造成跡が検出された。また、縄文時代後期初頭の配石・盛土遺構は上記の遺構と複合的に組み合わせあった幅約60m長さ約100m（16年度調査部分は長さ約31m）の遺構である。

(3) 地形の造成

平成15年度の調査区では造成の痕跡は確認されなかった。16年度のメインセクションの設定により平坦な広場の造成が明らかとなった。造成の時期については、後述する「堅穴式住居の分布位置の変遷、フラスコ状ピットの変遷での分布から検討すると、縄文時代後期初頭のIV群 a2 B 類の時期から始まったものであろう。

(4) 盛土遺構 (NM・SM)

Ⅲ章（図Ⅲ-2）にて図示した様に近代の畑により大幅に削平されている為、16年度調査区以東の状況は不明瞭な状態である。両盛土の西部は山側の調査区外へと続くが、Ⅱ章の「周辺の遺跡」で図示した富川土塁の地形測量図から、等高線の変化で盛土の尾根線が観察され西端部の範囲が推測される。海側の東端部についても後述する盛土の範囲で考察する。

また、15・16年度全体の中でのフラスコ状ピットの分布（図X-12~15）と、石囲炉の炉跡の分布（図X-2）、15年度調査区の遺物の出土状況とSP群の分布（北埋調報 237）等の状況から、盛土東方の状況のおおよその推測は可能である。これらの状況から盛土遺構が環状を呈さず、盛土の西側は

閉じるが、東側は直線的に両盛土が平行しながら延びるU字状を呈するものと推測される。

北盛土の盛土遺構の成立時期は、道西南部の土器型式の編年からみると、盛土の下層はⅣ群 a 2 B 類（涌元 2 式）の土器片が含まれることから、この段階で積み重ねられた土砂で、盛土の上層はⅣ群 a 3 類（トリサキ式）の初段階に差し掛かる時期の土砂と考えられる。

南盛土の盛土遺構の成立も、盛土の下層はⅣ群 a 2 B 類の段階で積み重ねられた土砂で、Ⅳ群 a 3 類の初段階のものが含まれ、あわせて竪穴式住居跡分布の変遷とを鑑みると、北盛土に後続して造られ、東先端部から西の奥部へと展開するようである。盛土の上層はⅣ群 a 3 類時期の土砂と考えられる。盛土や貼土から抽出された炭化材サンプルによる¹⁴C 炭素年代測定の結果によると、盛土遺構の下層は3,780年前付近に、上層は3,640年代に位置しているといえる。

館野遺跡に類する盛土は、函館空港遺跡群石倉貝塚の配石・盛土遺構がある。盛土の切れ目や開口部、列状土坑が存在すると推測されているが、館野遺跡の場合も同様で、北盛土ではV28地区で盛土の切れ目が確認されている。R36地区は配石の開口部付近でもあり、盛土の場合も同様に、海に向かっての開口部となっていたのではないだろうか。広場が海側に緩やかに傾斜して造られているのは排水機能を考慮しての構造だと考えられる。

X 章 3 にて盛土遺構の範囲を、4 にて配石・盛土遺構について後述する。

（5）竪穴式住居跡（H）

縄文時代中期のⅢ群 a 類土器の時期に属する竪穴式住居跡は、楕円形の小判型を呈する大型の住居が検出されている。

Ⅲ群 b 1 類土器の時期は、略円形を呈した壁際に小溝（周溝の一部）のある小型住居が検出されている。九いプランの浅い地床炉で、30～60cmの礫が2～4個竪穴内に残される事がある。

Ⅲ群 b 2 類土器（大安在 B 式）この時期の竪穴式住居跡はV層深くまで掘り込まれ、竪穴掘り方がしつかりしたもので、壁の崩落している部分は再びロームが貼り直され修復の痕跡を隠している。周溝は2重3重と重なる部分が見られるので修復が行われている事が判る。この時期に四隅飾り付き石囲炉や、住居の先端ビットなどが定型化し大型なものへと発展するようである。

15年度調査区では北崖の傍にⅢ群 b 2 類土器の伴うH-29（Q27・28区）の西側床面で、2カ所に貼床のズレ（段差）を見つけた。後述する活断層断面では縄文中期中葉頃のⅢ層黒色土の断層断面でのズレは確認されていない。これは北崖傍でもあり地盤の緩みなどによる、地滑りが中葉以降にあった事を示唆していると考えられる。北盛土が欠落する部分は、斜面の崩落等の要因も考慮する必要がある。

後期初頭の竪穴式住居跡の平面形は掘り込みが浅いため明瞭に検出できたものが少ない。形状は円形および楕円形を呈すると推測される。床面は石囲炉周辺部のみ貼床状に硬質化している。柱穴状の小ビットの配列規則性は見られない。

前述したが、配石盛土遺構の成立は土器型式の編年軸では、Ⅳ群 a 2 B 類（涌元 2 式）の段階で、盛土の上層はⅣ群 a 3 類（トリサキ式）の初段階の時期と考えられる。

そのⅣ群 a 2 B 類（涌元 2 式）からⅣ群 a 3 類（トリサキ式）の移行期段階に属する竪穴式住居跡は南盛土付近にあり、竪穴位置の変遷についてはX 章 1 にて詳しく後述するが、後期の住居位置は東から西への変遷が考えられる。第 4 分冊にて前述した分類別接合関係と照らし合わせると盛土の変遷がより鮮明である。

盛土内部で準平地式住居が造り続けられるという説は、土屋根構造でも持つ構造の住居でなければ、土砂の移動は僅かなものであろうし、その居住面積範囲内だけの事であるから、盛土の土砂の堆積量

が年々増加し盛土が高く大型化する理由付けに矛盾をきたすといえる。おそらく盛土遺構の土砂はこれらⅣ群 a 3 類（トリサキ式）段階に、近隣の堅穴式住居跡の掘り上げ土や、広場の整地面を保つため汚れ土の除去した土や、土坑の掘り上げ土が運び込まれ投棄されたと考えられる。いずれの住居も廃棄に際して、礫が多数堅穴式住居跡の窪地に残されていることが礫の分布図（図 X-3）をみて判る。

（6）土坑（P）

15年度の調査区（工事立会部分を含む）では土坑は49基検出され、うちフラスコ状ピットの形態を呈するものは18基である。16年度の調査区では土坑は173基検出され、そのうちフラスコ状ピットは76基、鉢状・浅鉢状の土坑は97基である。2カ年の調査で検出された土坑は計222基で、フラスコ状ピットは計94基、鉢状を呈するものは128基である。

・フラスコ状ピット

館野遺跡の場合では中央広場からは、函館市石倉貝塚の広場遺構でみられたような中央土坑はない。しかし、整地層の下からフラスコ状ピットが広場内に多数検出され、配石に沿うように南北に27基が分布する事が判った。北側配石寄りにはP-56・57・61・62・63・64・65・67・68・69・70・72・76・87・90・92・188の17基。南側配石寄りにはP-58・74・89・91・95・96・100・112・115・123・195の11基がある。

北側貼土部分に造られたものは東西二つのグループに分けられる。西グループに属するものはP-60・66・71・83・120・134・137・139・178・180・187・189・227・の13基である。東グループに属するものはP-54・75・184・186・190・194・200・211・212・216の10基である。北盛土の下位から検出された土坑は西側の盛土下位にP-196が、東側盛土下位にP-179がある。

南側貼土部分に造られたものも東西のグループに分けられる。西グループに属するものはP-104・105・141・146・149・151・154の7基、東グループに属するものはP-59・94・97・98・113・114・157・163・164・174・191・217の12基である。南盛土の範囲に検出される土坑は西にP-218が、東にP-193と181の2基がある。

大部分のフラスコ状ピットは広場の造成前に、Ⅳ群 a 2 A 類（涌元1式）期に活断層の尾根に沿って造られたもので、平成15年度検出の13基の土坑と、平成16年度で検出した76基とを合わせ配石盛土遺構との位置状況を見ると（図 X-1）、配石東側開口部付近には土坑は分布せず、空間を南北に分けていることがみえる。

フラスコ状を呈する土坑の造成の場合も堅穴式住居と同様に、埋め戻し前提で土坑が掘られていると考えられる。

・フラスコ状を呈さない土坑

その分布域に偏りがみられ、北側配石以北の方ではT-W28～31区の16グリット内の範囲にまとまりがあることが判る。P-51・52・55・77・78・79・80・81・82・84・85・116・130・131・132・135・136・138・140・175・176・183・197・199・201・202・203・204・208・210・213・214・219・220・221・224・225・226の38基である。

南側配石以南の方では東からR-T36～38区の範囲にP-88・125・158・159・160・161・165・166・168・169・230の11基、T-V36・37区の範囲ではP-93・99・121・122・192の5基、V-Y35・36区のP-101・102・103・106・107・108・109・110・111・124・126・127・128・129・142・143・145・147・148・150・152・153・156の22基の小土坑のまとまりがあり、3つの範囲に土坑群が集中して造られている。盛土の境界となるR・S40区でもP-170・171・172・173の4基の小土坑のまとまりがある。

(7) 落とし穴 (TP)

平成15年度の調査区ではTピットは7基検出された。16年度では4基検出された。15年度調査区のTP-1・2・4・5・7と16年度調査区のTP-8～11を含めて分布をみると、盛土に挟まれた平坦部に作られる。館野遺跡の地区では縄文時代後期以降に、狩猟場としての利用場所となった様である。

(8) 石囲炉 (Fs)

平成15年度の調査区では石囲炉は10基検出された。貼土から盛土の範囲に集中して石囲炉が検出できた。これに焼土跡を含めると盛土成立の過程の中で、何度となく貼土・盛土の範囲で火が焚かれた事が認識できる。15年度調査区を含めると、北側貼土・盛土部分では23基、南側貼土・盛土部分でも23基が検出できた。北側貼土・盛土の東延長部の石囲炉はFs-2・4・5・8があり、南側貼土・盛土の東部延長部の石囲炉はFs-1・3・7・9・10である(図X-2)。石囲炉が、屋外炉であったのか、仮小屋的な施設に付属するものであったのか、竪穴式住居のものであったのか、調査段階で確認することは難しかった。

石囲炉は層位的な判断から、盛土が発達する以前の、配石遺構構築の初段階に造られた遺構といえる。平成14年度に調査された森町倉知川右岸遺跡(北埋調報 196)では、配石遺構を取り巻く石囲炉の分布や、それに囲まれる中央部分の造成土など共通点がみられる。

(9) 焼土 (F)

盛土から検出するものは「捨て焼土」なのか「地床炉」によるものなのか、「焚き火」による一時的なものなのか、検出面が盛土という人工的で不安定な土壌の上の遺構である為、その性格付けが困難な遺構である。15年度の調査区では焼土は55カ所検出され、北側の配石・盛土遺構の延長にあるものはF-8・9・10・12・13・14・15・16・19・20・21・22・23・25・26・29・30・31・32・33・34・35・36・37・43・44・45・46・47・48・49・50・54・55の34カ所、F-12・13・14・15・16・19・20と、F-25・29・30・31・32・33・34・36・37・43・45・46・47・49は密集して存在し、それぞれでひとつのまとまりを呈する。

南側の配石盛土遺構の延長にあるものはF-3・4・5・7・11・27・28・38・39・40・41・42・51・53・56の15カ所である。これもF-28・38・39・40・41・42・49・56がまとめて検出される。

これらの焼土と、平成16年度で検出した貼土・盛土(内帯・外帯)付近の盛土のものと合わせ配石・盛土遺構の状況を見ると(図IV-16)、配石東側開口部付近には焼土は分布せず、空間を南北に分けていることがみえる。

(10) 小柱穴状ピット (SP群)

SPはすべてV層上面で検出されたものである。覆土に数種類のパターンがある。平成16年度調査区では貼土・盛土の範囲で多く検出されている。15年度の範囲ではP32・33区より以東は数量が減少するがJ39～41ラインまで分布する。小柱穴の範囲から配石・盛土遺構の空間の範囲が推測される。

(11) 埋設土器 (Po)

層位的には貼土上層やV層上面で検出されるものが多く、土器の大部分はV層中に掘り込まれる。出土する土器は主にIV群a 2 A類であるため、この時期に埋め棄とされたものである。Po-5が広場開口部に位置し上部が削られていることから、広場の造成前のものであろう。

(12) 小礫（遺物）集中（Cs）

検出された小礫（遺物）集中は、館野遺跡の場合は富川層の小礫層から採取した礫で形成され、内帯と外帯の境界に多く分布する。函館市の石倉貝塚では、貝層の分布が盛土構築の「目印」を示す様相だと指摘され（函館市教委 1999）、館野の場合もこれに類するものであろう。

(13) 中央配石遺構（CSS）

配石遺構は、あらかじめ黒色土、暗褐色の漸移層、黄褐色のローム層（地山）を削平し、その土地の上に黄褐色の土砂で厚さ5cm程に平坦に整地し、幅約17.5～18m長軸約31mの広場を造り、その外周に幅5～6m程の暗褐色の粘土（前者の混合土）を貼り、区画し、内帯とする。そして、広場と粘土（内帯）の境界に沿って北西から南東方向に2列平行する配石を並べ列状の遺構を造る。配石には長さ30～80cmの砂岩の礫が多く持ち込まれている。

配石を並べる前段階で、広場を造る大規模な土地の造成が最初に行われた事は、トレンチの土層断面の状況から明らかである。

平成15年度の調査区では配石のはじまる地点と考えられるN40ラインのP24地区にある南・北の2カ所の組石遺構と礫集中付近でⅣ群a2B類（涌元2式）の新しい段階のものが1個体出土した。細かく割られて散布された状態で出土していることから、意図的に廃棄された遺物と考えている。周辺に入り口状の組石（Sa-11・12）と礫集中があることから（北理調報237）、Ⅳ群a2B類（涌元2式）の新しい段階の時期に配石遺構の構造を意識して石が並べ始められたと考えてよいだろう。

整地・粘土の造成の段階で何の計画性もなく、広場と配石と内帯が造られたとは考えられず、最初に全体像を想定し計画的に広場・内帯・配石遺構が造られ、この3つの基礎構造を中心として、盛土が構築されたものであろう。Ⅵ章にて福井が述べたような「最終形態」に至る経過の中での、配石遺構の作り直しや拡張があったのかは、ここでは明確な答えを出すことは出来ない。

(14) 中央配石抜け石痕（CSSP）

北側配石列では抜け石の痕跡は74カ所。南側配石列では37カ所で検出することが出来た。配石列の復元を試みたが、複数列が組み合わさって1列となるのではなく、基本的に1列の組石からなるものであろう。

(15) 配石下ビット（UP）

配石の下位から検出される小土坑状の遺構は、柱穴状のものと、土坑状のもの2種がある。北側配石下では146基、南側配石下では165基の計311基が検出された。整地・粘土の土が堆積するものは配石遺構が造られる前に設置されたものであろう。粘土層の落ち込みは北10基・南12基、整地層の落ち込みは北120基・南88基が認められた。盛土層とⅢ層の落ち込みは北16基・南4基とわずかである。

(16) 中央広場

広場は南北の粘土・盛土遺構と、配石遺構にはさまれたR～Y30～36区にある。配石・盛土遺構の全体構造の中で3段階構造となっている最深部、かつ中央部にあたる。調査区内の広場の大きさは幅約17.5m、中央の長軸は31mである。広場にはⅤ層に近い土質の土を選別した整地層が貼られる。整地層に用いられたローム層（Ⅴ層）が何処から採取されたのかは、広場南西側D-1とした溝状遺構と関連を持つ可能性を推定している。

(17) 貼土層

V層の黄褐色ロームとIV層の暗褐色土からなり、広場から向かって配石の背後に、幅5～6m厚さ25cm程に長さ30m以上に渡り堆積する。盛土のようにレンズ状に堆積の土層が何層も重ねられたものでなく、攪拌された土壌で一気に貼られたものか、繰り返し攪拌されたものである。内帯南側の東部、貼土・盛土境界付近にIV群a2A類の竪穴式住居跡の分布が集中する。後述するが、この時期から軸の修整が行われたと考えられる。

(18) 中央広場小ピット (CP)

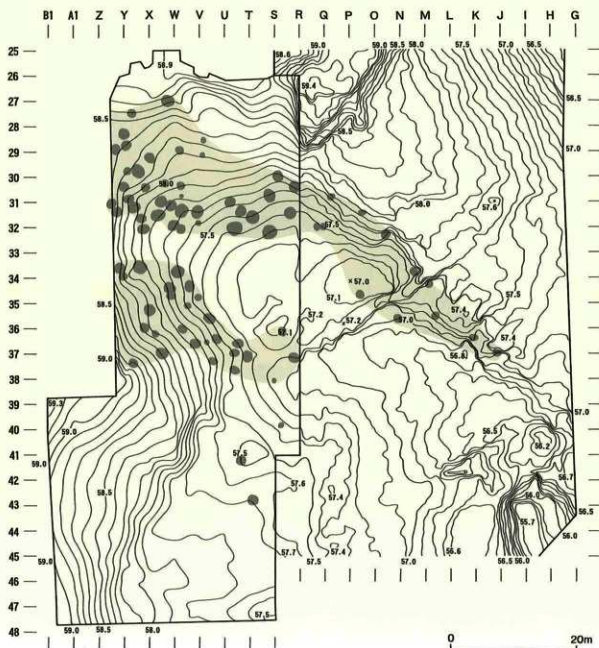
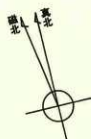
広場内で407基が検出された。覆土にパターンがあり、貼土層の堆積するものは112基、盛土層の堆積するものは40基、Ⅲ層の堆積するものは242基、整地層の落ち込むものは30基である。貼土層と整地層の覆土の分布にまとまりがみられ、覆土が貼土・盛土・Ⅲ層の小ピットで開口部に対して遮断する形で分布するものがみられた。整地層が覆土の小ピットは広場中央と配石傍の区画の要所に分布するようである。

(19) 溝状遺構 (D)

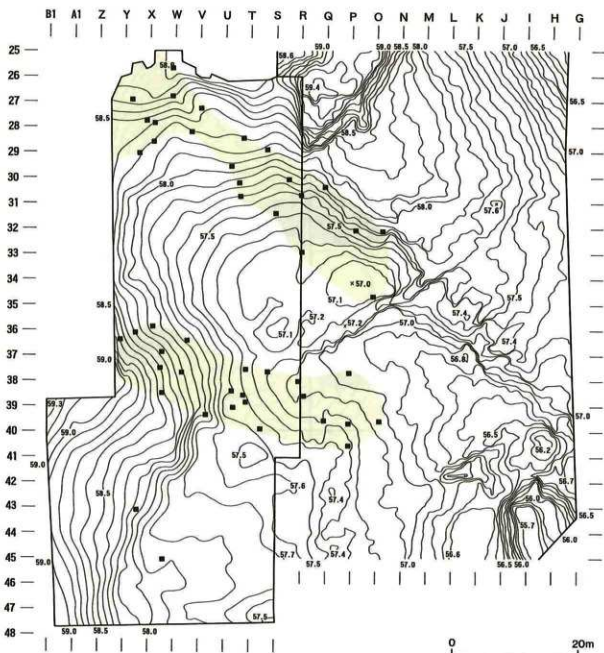
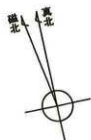
盛土の海側開口部にあり、他とは異なる覆土が大量に流れ込んでいることが判る。この溝状の周辺より低い部分が、配石遺構の開口部に存在するのは、自然的なものなのか、意図的なものなのかどうかは不明だが、溝の底部は高低がまばらで凸凹状のものであり、丁寧な整形を必要としない用途のものであったのだろう。

(20) 石組状遺構

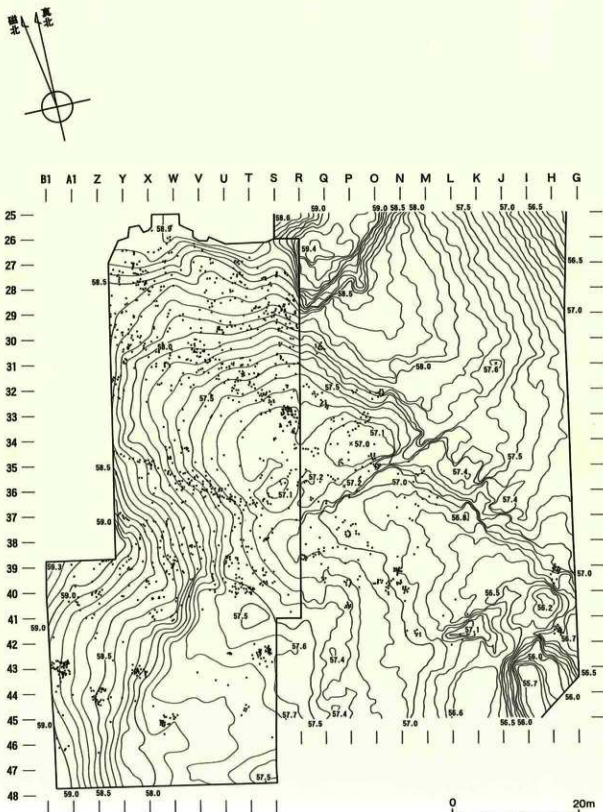
平成16年度調査区では、単独で石組状遺構と呼べるものはなかった。15年度の調査区Rライン以東で、2カ所で直線的な石組状遺構 (Sa-11・12) を検出しているが (北埋調報237・図IV-81参照)、これは16年度に確認された南北の配石遺構の開口部付近に入口状に位置し、上記Dと広場に関連して、同時期に配置された道を意識した石組と考えられる (図X-3)。16年度調査区では南側配石のU35区部分はフラスコ状ピットの上に円形に配置された礫群があり、青森県の小牧野遺跡や、秋田県の大湯環状列石で見られるような特殊組石に近いものと考えられる。



図X-1 フラスコ状ピット分布図



図X-2 石囲炉 (Fs) 分布図



図X-3 礫群分布範囲

1 竪穴式住居跡の分布と位置の変遷について

2カ年の発掘調査で検出された竪穴式住居跡の総軒数は56軒である（内3軒は平成15年度の工事立会区域で北斗市教育委員会（旧上磯町教育委員会）の森 靖裕が調査した）。

（1）15年度の遺構の所属時期 [表X-1・3]

平成15年度調査区では竪穴式住居跡軒が34軒検出され、最も古い段階のものはⅢ群a類土器（サイベ沢Ⅷ式・見晴町式）が出土する時期のものでH-2・13・30・31・35の5軒である。この時期の典型的形態のものはH-2（竪穴廃棄後にH-7が重複して造られている）があり、隅丸長方形の形態をしている。周溝のみられないものにH-31がある。

Ⅲ群b1類土器（榎林式）の時期のものはH-7・12・15・25・27の5軒である。この時期の遺構で周溝のみられないものはH-25・27の2軒である。

Ⅲ群b2類土器（大安在B式）の時期はH-1・3・4・5・6・8・9・10・11・14・16・17・18・19・21・22・23・28・29・34の20軒である。14C年代測定を7軒で実施しH-1は4150±40（yrBP以下略）年、H-5は4040±40年、H-16は4060±40年、H-17は4050±40年、H-18は4080±40年、H-22は4390±40年、H-29は4130±40年の補正年代値がでている。

Ⅲ群b3類土器（ノダツⅡ式）・b3'類土器（煉瓦台式）とⅣ群a1類土器（天祐寺式）の時期の頃の住居跡は検出されない。

活断層の南側ではⅣ群a2A類土器（涌元1式）期のH-20・24・26・32の4軒が検出される。活断層より北側では後期の竪穴式住居跡は検出されず、かつ南側では縄文時代中期の遺構は検出されない。

15年度調査区では主に中期後半から後期初頭Ⅳ群a2A類期の時期にかけての間に造られた竪穴式住居跡が主体で、続くⅣ群a2B類土器期、Ⅳ群a3類の竪穴式住居跡は検出されない。

（2）16年度の遺構の所属時期 [図X-4～6]

平成16年度の調査区では竪穴式住居跡が計19軒検出された。この竪穴群の中で最も古い時期のものは縄文時代中期前葉のⅢ群a3類土器が出土するH-49である。

次の縄文時代中期のⅢ群b1類土器が伴う遺構はH-41・52・53があり、次の時期のⅢ群b2類土器の時期に属するものはH-40・51である。

後期初頭の段階ではⅣ群a2A類土器の時期に属する遺構はH-33・37・38・42・45・47・48の7軒がある。Ⅳ群a2B類土器（涌元2式）の時期に属するものはH-36・39の2軒がある。Ⅳ群a3類土器（トリサキ式）の時期に属するものはH-43・44・46・50の4軒と考えられる。それ以降の時期の竪穴式住居跡は検出されない。

（3）竪穴式住居の形態

縄文時代中期のⅢ群a3類土器の伴う段階では略円形のプランに地床炉をもち、貼床が施される。壁付近に柱穴がみられ周溝の巡るものがあり。大型と小型の2種に分かれる。

Ⅲ群b1類土器が伴うものは小型の地床炉をもち、貼床が施される。壁付近に柱穴がみられ、遺構内に小土坑を伴う。まれに周溝をもつものがある。

Ⅲ群b2類の伴う段階では楕円（舟）形を呈するものが21軒検出された。石囲炉をもち、貼床が施される。楕円（舟）形のものは先端ビットを持つものが多い。柱穴は規則的に配される。

縄文時代後期のⅣ群 a 2 A 類土器を伴うものは中央に石囲炉をもち、石囲炉周辺のみ貼床状。柱穴の並びは不規則で、稀に周溝を持つものがある。

Ⅳ群 a 2 B 類土器を伴うものは石囲炉のほかに、床に礫が残される。貼床は明瞭ではない。

Ⅳ群 a 3 類土器の時期のものは石囲炉を中心に柱穴が多数点在し、貼床は明瞭ではない。床面と掘り込みが不明瞭のものが多く、形態の全体を確認できるものが少ない。

(4) 竪穴式住居跡の分布と位置の変遷 [図 X-7~12]

縄文時代中期のⅢ群 a 3 類土器の時期の竪穴式住居跡の分布の特徴は、尾根筋に沿って16m程の間隔で位置している。海側の H-31・35、H-2・13では、大型と小型の2軒でひとつのまとまりとなるセット関係がみとれる。Ⅲ群 b 1 類土器の時期の特徴は、尾根を挟んで二つの離れたまとまりが見られる。15年度調査区では H-7・12・13・15・27があり、H-27は少し離れた場所に位置する。16年度調査区では H-41・52が4m程の至近距離で造られ、これも両者のセット関係が推測される。

Ⅲ群 b 2 類土器の時期の特徴は、尾根丘頂部を中心に環状に分布する一群と、北側緩斜面にそって列状に分布する一群がみられる。環状と列状が一部交差してまとまりの重複関係がみられる。次の縄文時代中期末のⅢ群 b 3 類土器と、縄文時代後期初頭のⅣ群 a 1 類土器の時期の竪穴式住居跡は館野遺跡の調査区では検出されない。

Ⅳ群 a 2 A 類土器の時期に属する遺構は H-33・37・38・42・45・47・48の7軒がある。Ⅳ群 a 2 A 類土器の時期の特徴は、広場を中心に半円状を呈する遺構配置が見られる。北側から東周りで南側へと変遷する。H-45・46で得られる年代値は盛土の土砂の値であろう。Ⅳ群 a 2 B 類土器の時期の特徴は、Ⅳ群 a 2 A 類期の竪穴群の更に南側に竪穴群が構築される。この時期の竪穴式住居は配石遺構や盛土から離れた部分で営まれている。Ⅳ群 a 3 類の時期に属する遺構は南盛土の下位に集中しており、盛土が形成される初期段階に廃棄されたものであろう。次段階のⅣ群 a 3 類以降の土器群が伴う住居跡が調査区内では見られない為、更に盛土の続く西側調査区外に竪穴式住居跡は構築されているものと推測される。

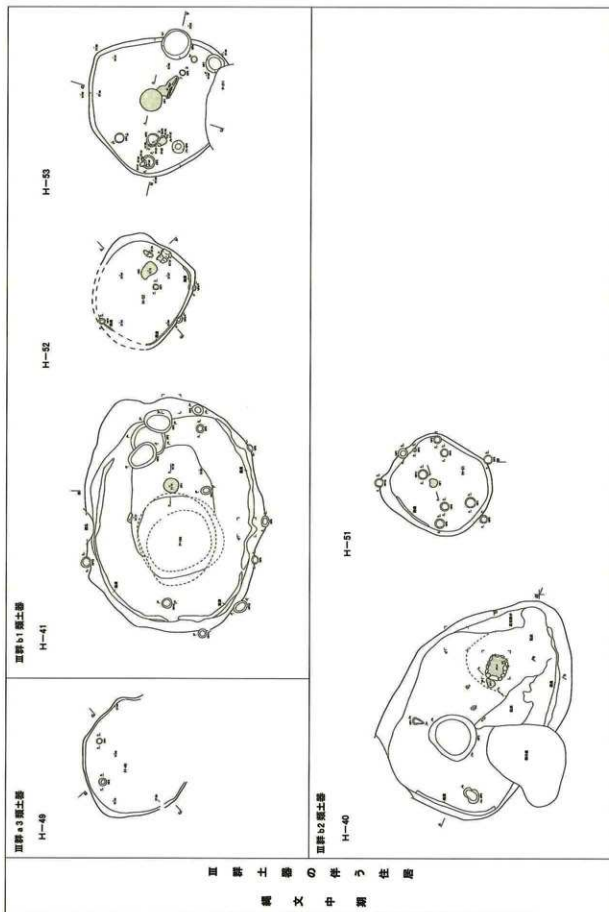
(5) 竪穴式住居跡とその他の遺構との関係

このような竪穴式住居跡の変遷と、後述するフラスコ状ピットの変遷とを交えてみると、後期初頭の時期に集落と墓域が、どの時点で顕在化したのが推定できる。

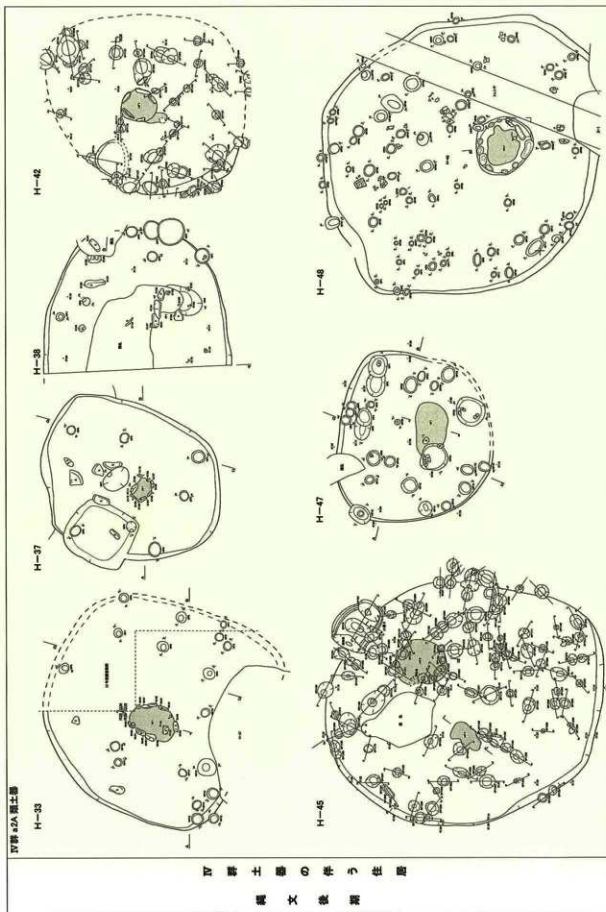
次にⅣ群 a 2 A 類土器期のフラスコ状ピットの変遷を後述し図示するが、南東から北西にむかう土坑群の変遷に対して、竪穴式住居跡は北西から東南へ弧状に変遷する。また、配石・盛土遺構が造られ始める以前に、配石・盛土遺構の入り口付近にⅣ群 a 2 A 類土器期の竪穴群がまとまって構築されていた。

これは、Ⅳ群 a 2 A 類土器使用期の途中までは北から東へ弧状を意識した配置で、フラスコ状ピットも活断層に平行に構築されているが、フラスコ状ピットを更に造り続けた場合、北東方向の崖が終点となるため、それを避けて更に奥行きを求めて基軸が修正されたと推測される。Ⅳ群 a 2 B 類土器使用期の段階で基本的な軸線が配石・盛土遺構を中心としたものに再設定される。

このⅣ群 a 2 B 類土器期の遺構配置の軸線が移転した時点で、竪穴式住居とフラスコ状ピットの分布域に区分けがみられる。この時期に遺構が拡散するのは、大幅な土地の削平等の造成があったためと推測される。つづくⅣ群 a 3 類土器期の両者の分布図をみると、広場・内帯を意識して竪穴式住居跡とフラスコ状ピットが構築されている傾向がわかる。



図X-4 H16年度竪穴式住居跡変遷図(1)



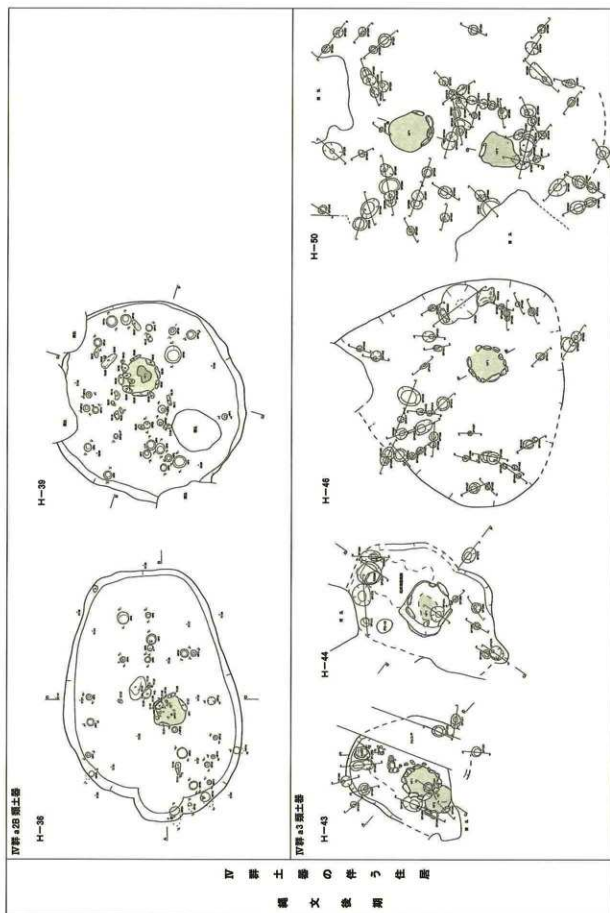
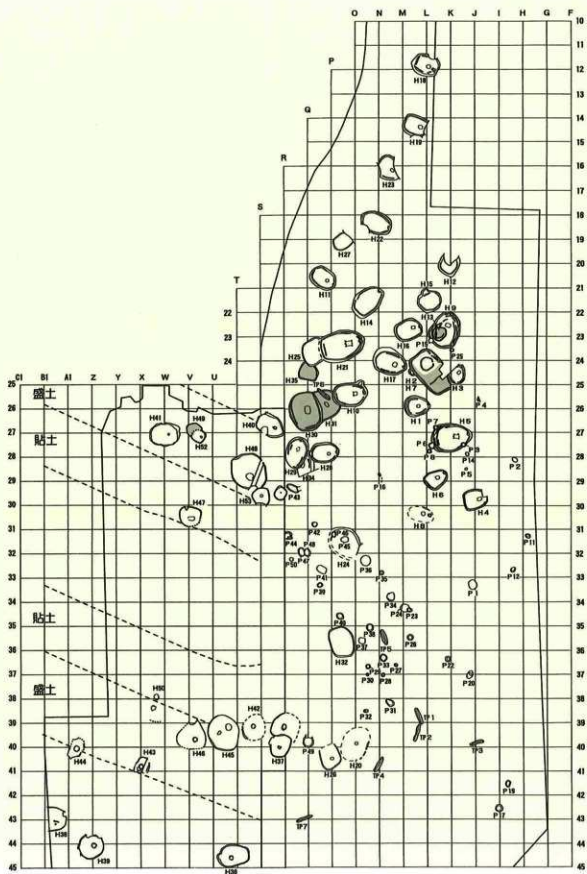
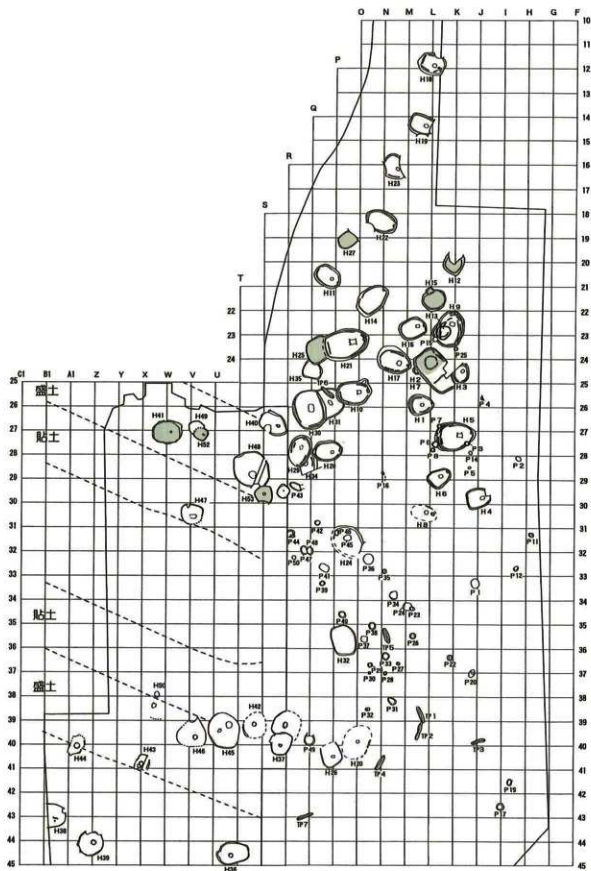


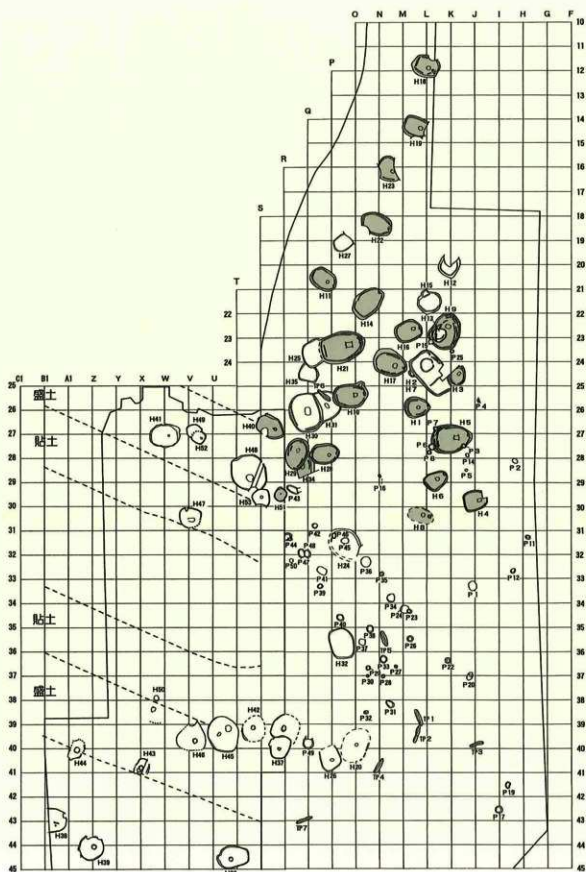
図 X-6 H16年度竪穴式住居跡変遷図 (3)



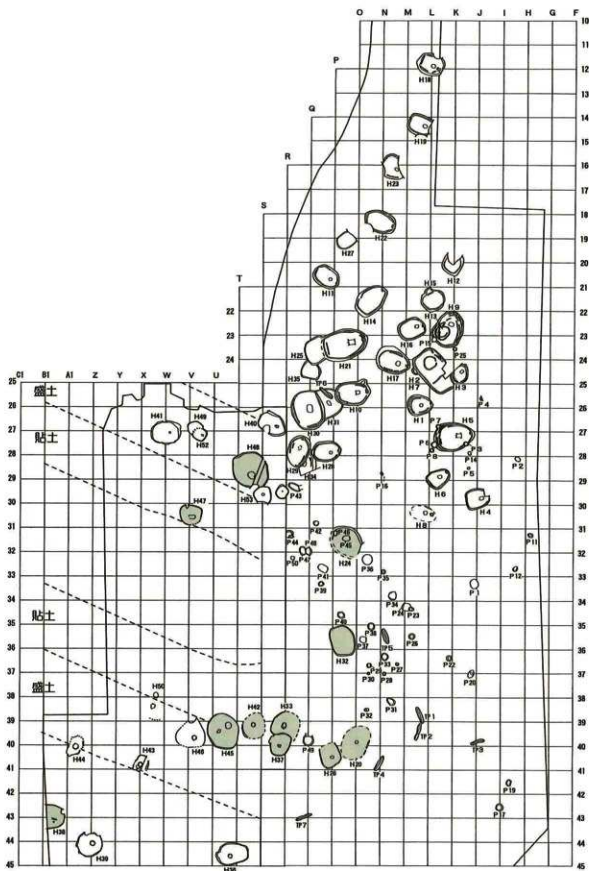
圖X-7 Ⅲ群a類豎穴式住居分布變遷圖



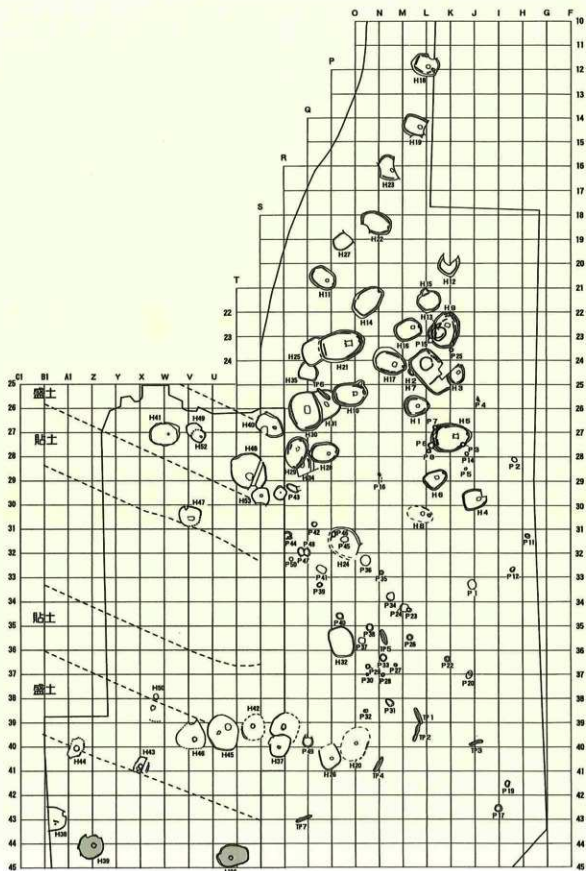
図X-8 Ⅲ群b1類竪穴式住居分布変遷図



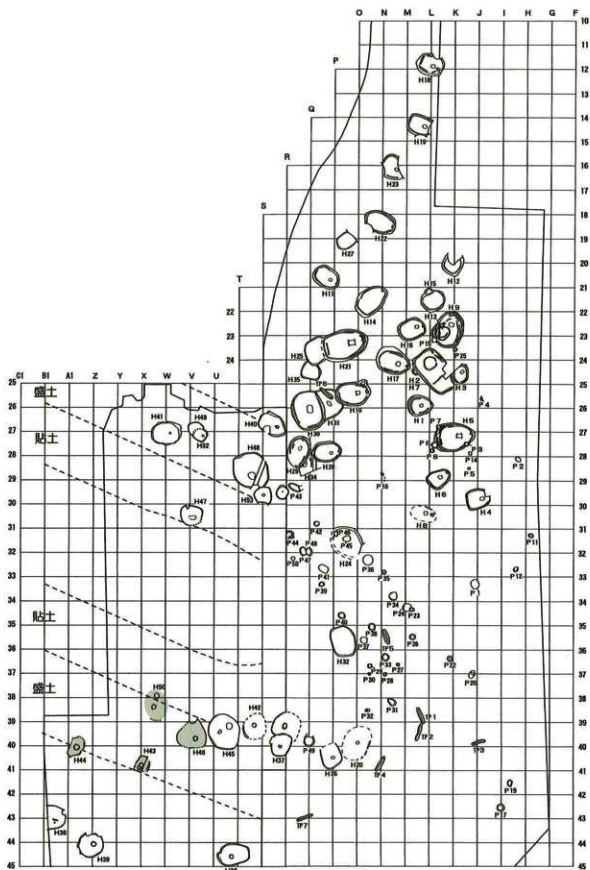
図X-9 Ⅲ群b2類竪穴式住居分布変遷図



圖X-10 IV群a 2 A類豎穴式住居分布變遷圖



図X-11 IV群 a 2 B類竪穴式住居分布変遷図



図X-12 IV群 a 3類竪穴式住居分布変遷図

表X-1 平成15年度調査区竪穴式住居跡変遷表

遺構名	時 期					
	Ⅲa3期	Ⅲb1期	Ⅲb2期	Ⅳa2A 期	Ⅳa2B 期	Ⅳa3期
H-1			○			
H-2	○					
H-3			○			
H-4			○			
H-5			○			
H-6			○			
H-7		○				
H-8			○			
H-9			○			
H-10			○			
H-11			○			
H-12		○				
H-13	○					
H-14			○			
H-15		○				
H-16			○			
H-17			○			
H-18			○			
H-19			○			
H-20				○		
H-21			○			
H-22			○			
H-23			○			
H-24				○		
H-25		○		○		
H-26				○		
H-27		○				
H-28			○			
H-29			○			
H-30	○					
H-31	○					
H-32				○		
H-34			○			
H-35	○					
計34軒	5軒	5軒	20軒	4軒		

表X-2 平成16年度調査区竪穴式住居跡変遷表

遺構名	時 期					
	Ⅲa3期	Ⅲb1期	Ⅲb2期	Ⅳa2A期	Ⅳa2B期	Ⅳa3期
H-33				○		
H-36					○	
H-37				○		
H-38				○		
H-39					○	
H-40			○			
H-41		○				
H-42				○		
H-43						○
H-44						○
H-45				○		
H-46						○
H-47				○		
H-48				○		
H-49	○					
H-50						○
H-51		○	○			
H-52		○				
H-53						
計19軒	1軒	3軒	2軒	7軒	2軒	4軒

表X-3 平成15年度工事立会地区竪穴式住居跡変遷表

遺構名	時 期					
	Ⅲa3期	Ⅲb1期	Ⅲb2期	Ⅳa2A期	Ⅳa2B期	Ⅳa3期
H-54			○			
H-55			○			
H-56			○			
計3軒			3軒			

平成15・16年度検出竪穴式住居跡 総計56軒

2 フラスコ状ピットの分布と位置の変遷について

2カ年の調査で検出されたフラスコ状ピットは計93基である。15年度の調査区では17基が検出され、16年度の調査区ではフラスコ状ピットが計76基検出された。15年度調査区内で縄文時代後期初頭に関連するものは活断層より南側に造られた13基の土坑であろう。表X-4・5は図X-50で示す活断層を基準に南北で分けた。この13基と合わせて、配石・盛土遺構に関わるこれらの土坑群を土坑覆土から出土した土器などの遺物により築造年代での細分を試みた。

放射性炭素年代測定は15年度調査分では北盛土延長（活断層）東部のJ36区P-20にて補正年代値で3660±40（yrBP以下略）年（覆土中層）、M34区P-24にて3770±40年（覆土中層）の結果が、16年度調査分では広場西部のY33区P-74、南貼土西部のX35区P-105、南盛土の東部T37区P-163でサンプルを検出し、14C炭素年代測定の結果、補正年代値で3770±30（P-74覆土中層）・3730±25（P-105坑底直上）・3740±25年（P-105覆土中層）、3705±25年（P-163覆土）というまとまった数値が出た。そして北盛土西側のY28区のP-120では3615±25年（坑底）の結果が得られている。

15年度調査区では、北盛土の範囲でフラスコ状ピットは造られている。16年度調査区のフラスコ状ピット合計76基の内、北側配石以北のグループのものは25基、広場内に属するものは28基、南側配石の以南のグループには23基である。

（1）遺物から見るフラスコ状ピットの構築時期

遺跡内では南北2列に盛土遺構があることもあり、フラスコ状ピットの落ち込みや埋め戻しの覆土中には大量の遺物が混入している。土坑の埋め戻しの覆土中には前代の縄文時代中期の土器片も多く含まれる事が前提としてある。

ここでは、覆土の遺物出土状況からのフラスコ状ピットの構築時期を検討した。土坑の下層の出土点数や、個体土器の混入具合を考慮に入れ、そして土器分類で、その遺構内の最古型式を混入とみるか、最新型式を土坑の構築時期とすべきか、後世の植林木根の擾乱で土器片が最下層まで混入した可能性もあることを踏まえながら検討してみた。土器の出土点数による分類分けは破片の数量なので、割れの実情であり、土器個数の数量ではないことを前提に結果をみてもらいたい。

①中期中葉のⅢ群土器の時期 [図X-13]

このフラスコ状ピット群の中で最も古い時期のものは縄文時代中期のⅢ群b類土器が出土するP-196が該当すると考えられる。この遺構は重複して検出するH-41の築造直後のものである事が調査から判る。

②後期初頭のⅣ群a2A類（涌元1式）の時期 [図X-14]

この時期に属する遺構はP-57・61・64・(66)・69・71・72・74・83・87・89・94・95・97・98・105・112・114・123・141・146・149・151・154・155・156・157・163・164・174・178・179・(180)・188・189・190・191・194・195・200・211・212・218・227の44基がある（P-66・180はⅣ群a3類の遺物も伴う）。Ⅳ群a2A類の復元個体が出土している遺構はP-97・155・164・174・178・189・211・212がある。この時期の遺構ではないがP-54・90・96・104・137・139・181・193からも出土している。ただし、P-123・164・193からはⅣ群a3類（トリサキ式）の復元個体と接合する破片が出土している。

③次のⅣ群a2B類（涌元2式）の時期 [図X-15]

この時期に属する遺構はP-54・58・60・62・70・120・181の7基がある。復元できる個体はP-60、この時期の遺構ではないがP-75からも出土している。ただし、P-60からはⅣ群a3類の復元

個体と接合する破片も出土している。

④新しいⅣ群 a 3 類 (トリサキ式) の時期 [図 X-16]

この時期に属する遺構は P-56・59・63・65・67・68・75・76・90・91・92・96・100・104・113・115・134・137・139・184・186・187・193・216・217 の 25 基がある。Ⅳ群 a 3 類の復元個体が出土する遺構は P-91・134・193 がある。この時期の遺構ではないが P-60 から出土している。(ただし P-164・211 からはⅣ群 a 3 類の小形土器が出土するが、Ⅳ群 a 2 A 類の復元個体も出土している。)

(2) 遺跡の内容からみる土坑の構築時期

次に発掘現場内の状況で、フラスコ状ピットが築造された年代を考察できであろう 3 項目から遺構の築造時期を推測したい。

- ①遺跡の中で最初に最も大きな土地の改変が行われたのは、V 層上面まで土壌を削り取る作業をした縄文時代後期初頭のⅣ群 a 2 B 類 (涌元 2 式) の時期と考えている。これによりそれ以前に造られていた土坑群は上位の部分の全てを削り飛ばされ上位を消失しているはずである。ただし貼土、盛土範囲の土坑については、土層の状況が複雑なためプラン検出は V 層上面の場合がある。ここでは現地で確かめられたものだけを取り扱う事とする。

・上位を喪失する土坑には P-59・74・87・90・91・92・98・100・104・105・113・114・120・134・141・149・151・155・163・164・174・178・180・188・191・196・200・211・212・217 の 30 基である。

・原形を留めるものは P-54・56・58・60・62・63・64・65・66・68・70・75・97・123・137・139・157・179・181・184・186・187・189・193・194・195・216・218・227 の 29 基である。

- ②配石に囲まれた広場の内部を平坦面とするために、凹凸を削平し埋め戻し整地する作業を行っている。

・整地層より下位の遺構、広場では 28 基のフラスコ状ピットがある。整地層の貼られるものには P-90・91・95・96・100 の 5 基がある。広場外では配石遺構の開口部付近の R36 区 P-59 がある。

・整地層を切る土坑には P-61・63・184・186・188 がある。

- ③土地の造成時に配石遺構の土台となる貼土が貼られ配石の外周に巡らされる。この土地造成の際の土層を切る土坑は、造成以後に造られた土坑と考えられる。

・貼土層より下位の遺構には (古くてその落ち込みに貼土が貼られたものか、新しく造られた土坑の上に貼土が貼られたものか二通りの解釈が可能)、広場では P-61・72。南盛土下では P-97・104・105・191 がある。

・貼土層を切る土坑には P-67・92・112 がある。

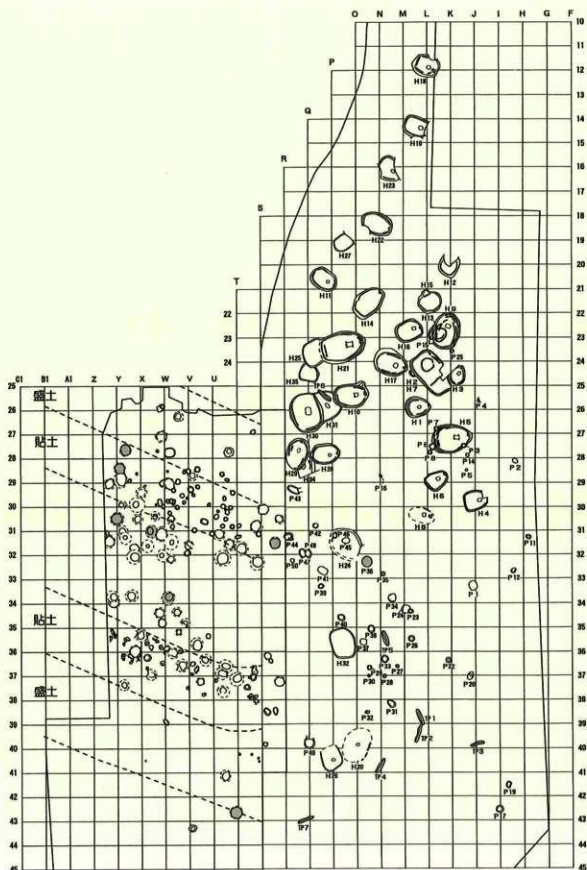
- ④貼土が完成してから次の段階では、盛土が造られる。

・盛土層を切る土坑は検出されていない。盛土の下位の土坑は北盛土では P-179・196 があり、南盛土では P-181・193・218 がある。これも盛土の下位で検出されたので、盛土を切る遺構は確認されていない。

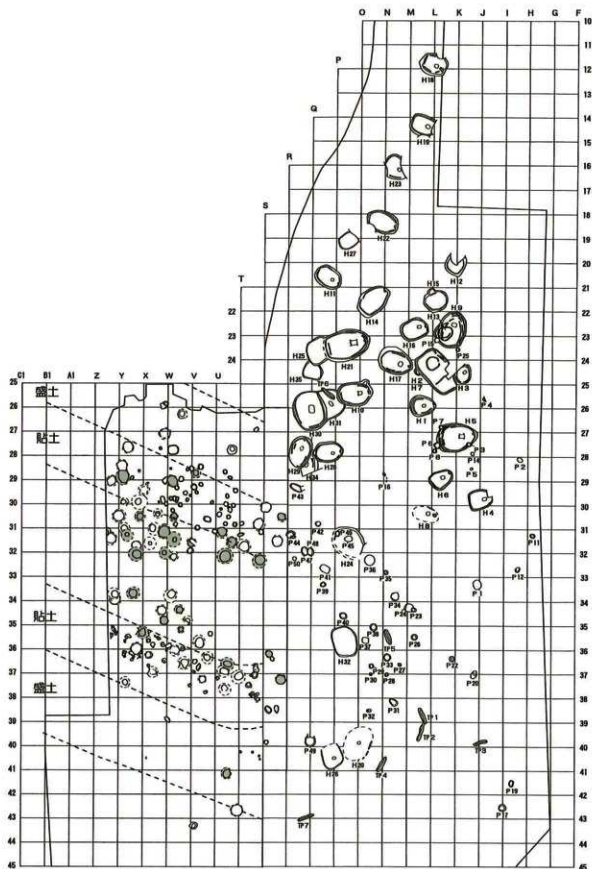
(3) 土坑の特徴からみる構築時期

各土坑にて礫の出土の仕方や遺物に特徴があったので、遺構ごとの共通性でグループ分けを試みた。

- ①土坑内部に組石の組まれる遺構には P-61・62・65・74・90・120 がある。配石遺構と組石遺構の構築期のものと推測される。
- ②土坑上部に配石の置かれる遺構には P-66・69・70・75・89・115・184・186・194・217 がある。



図X-15 IV群 a 2B類土坑分布変遷図



図X-16 IV群a3類土坑分布変遷図

表X-4 平成15年度調査区フラスコ状ピットの変遷表（活断層以北）

[illegible]

表X-5 平成15年度調査区フラスコ状ピットの変遷表（活断層以南）

連番名	時 期			観 測 点							
	前期期	前期a3期	前期a3期	観測前	観測後	観測下位	観測上位	粘土下位	粘土上位	内泥上位	上硬質石
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○	○								
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									
P=5		○									
P=0		○									
P=30		○									
P=25		○									
P=20		○									
P=15		○									
P=10		○									

表X-6 平成16年調査区度フラスコ状ビットの変遷表

[illegible]

3 盛土遺構の範囲

館野遺跡では後期初頭の配石・盛土遺構という特殊な遺構が検出された。ここではその盛土遺構の規模の実態についてとりまとめておく。

調査区内で確認できた盛土の範囲は南北に約60m、東西に約30mに及ぶものであるが、これはあくまで調査区内の数値であり、実際はもっと広がりを持つ遺構であることが認識される。

図X-17で示すものは、北海道考古学会会員の西脇対名夫氏に提供していただいた周辺の地形図(図Ⅱ-1)と、平成15・16年度調査区の盛土遺構に関わる部分を合体させた地形図である。

15年度調査区部分はⅢ層の上面図であるが、N25区からR28区のラインは等高線で判るように耕作地との境界である。特にG～M・31～38区にかけての活断層尾根部は戦後の耕作による削平が深度に及びV層上面が露出する状態であることを述べておく。

16年度調査区部分ではT34区付近からY46区付近のラインも等高線で判るように、耕作地の境界線となって削られている。15年で確認された境界線と繋がるものである。盛土遺構の現況は、この削平された部分を割り引いて地形を観察している。

西側調査区外の地形観察では南盛土の延長がH1・35区付近まで続いていることが等高線から判る。この地点からI1・29区まで弧状に湾曲するようである。更に、E1・25区まで半円を描いて北崖へとぶつかる状況が見て取れる。

北側崖は活断層により起きた地崩れの跡のようで、この地崩れがどの時点で起きたのか北崖の遺物観察の面からでは不明である。又、地滑りにより出来たテラス状の張り出し部が崖上から観察できた。これが活断層の活動によるものか、あるいは崖下の沢の侵食による地盤の不安定さによるものかは確定できない。北盛土の一部は北崖に流出しているようである。

以上の要因から、おそらく北と南の盛土は連続していたと考えられる。盛土の西側最大範囲はJ1・30区付近と推測される。

では、東側盛土の範囲はどこまで延長されるものだろうか。15年度調査区では耕作による削平が深度に及び、表土除去した当初は、土地を平坦にした埋め立て土中にも遺物が多く含まれる状況で、その下位の遺物は活断層の崖から崩落もしくは、斜面に継続的に破棄された遺物群であろうという認識で調査し、その遺物を多量に含んだ土層は人為的堆積土をⅢA層、下位の自然堆積土をⅢB層と區別して、他の地区の通常の包含層のⅢ層とは分けて報告した(北埋調報 237)。

15年度の調査の終盤になって、Rラインにて配石の弧状に連なる配列が一部検出されたことで、配石遺構らしきものと認識でき、改めて次年度にその調査に取り組めた幸運もあった。

そこから、15年度の調査で出土した遺物群の分布域が、実は配石・盛土遺構の盛土の延長部であったことが認識できた。盛土遺構は各調査区で出土した遺物の小グリットで取り上げた遺物点数で、ある程度まで復元できると考えた。

図X-18は後期初頭の環状列石の遺跡で多く検出される三角形土製品の遺物出土分布を等量線で表したものである。北側では遺物の分布に3カ所のまとまりがみえ、I37区まで濃く分布する。南側も3カ所のまとまりがみえ、I41区まで分布する。

図X-19は、円盤状に土器片を打ち欠いた土製品の出土等量線図である。これも北側は3カ所の分布のまとまりが見え、K38区まで濃く分布する。南側では2カ所に分布の集まりがみえ、J41区まで分布する。

図X-20は上記以外の、土偶や鐙状土製品などの土製品を合わせた等量線図である。北側では2カ

所のまとまりがみえる。南盛土では1カ所にまとまるようである。南東側の分布は薄い。

図X-21は石製品の等量線図である。北側では4カ所にまとまりがみられるが、P23区の分布は中期の遺物が係っている。南側では2カ所にまとまりがみえ、J42区まで濃く分布する。

図X-22は遺跡全体の出土土器の地区別の合計点数を等量線で示したものである。北側はほぼひとつづきのまとまりで、H38区まで濃く分布するといえる。南側はW38区を中心に大きなまとまりがあるが、J41・42区まで連続して続くといえる。

図X-23は石器全ての合計の等量線図である。北側は密度の濃い部分は3つのまとまりをしめすようである。南側はW・X39区に密度が高まる。延長部はJ42区まで出土量が多い。これらの分布は土器全体のものと同様の傾向を示し、盛土遺構のおおよその形状を示しているものと考えられる。

北盛土と南盛土は東の延長線上で両者が合体して閉じる事ではなく、そのまま2列平行に延びていたのではないだろうか。両者の遺物分布図をみると配石遺構の開口部から盛土に挟まれた部分に通路があり、それは盛土とともに延長されるものと推定される。

更に東の調査区外の状況であるが、北盛土の延長部はD～F38～42区には昭和30年代に民家が建てられていたようで、現地形では盛土の高まりは認められない。

南盛土のG～I42・43区は戦後に重機で掘り下げられた跡があり、ゴミ穴として利用されていた様子で、盛土が続いていたのか状況は不明である。

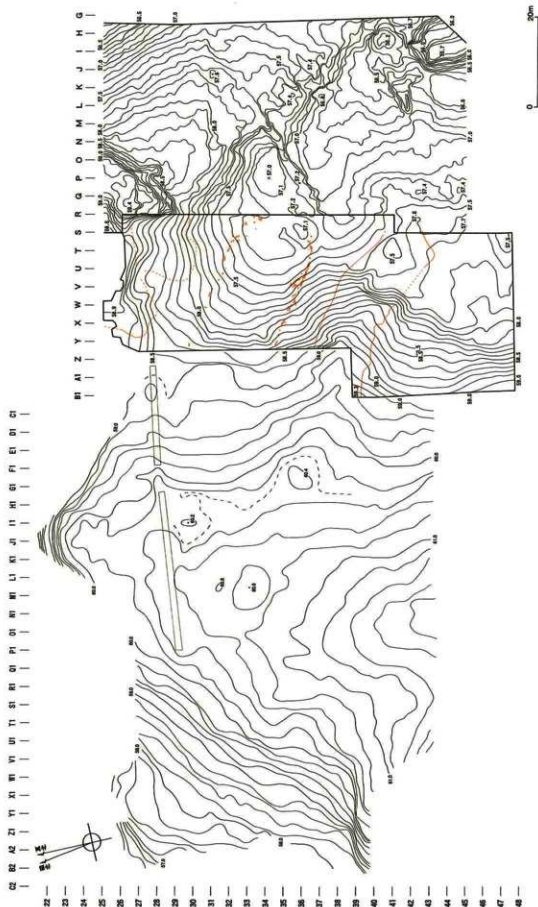
しかし、一般国道228号線の法面防災工事の際に上磯町（現北斗市）教育委員会により調査され、煉瓦窯跡が検出された富川砲壘跡で図示された地形図を参照すると（上磯町 1988）活断層の尾根部が海岸先端まで連続して続いていたことが読みとれる。盛土の高みが残っていたことから富川砲壘がその場所にあったのではないかという伝承として残ったものだろう（図I-2）。

函館戦争時に旧幕府軍が構築した富川砲壘跡は検出されていない。推測に過ぎないが、明治期に縄文時代からの盛土地形を利用して、そのような拠点としていたことがあったのかもしれない。

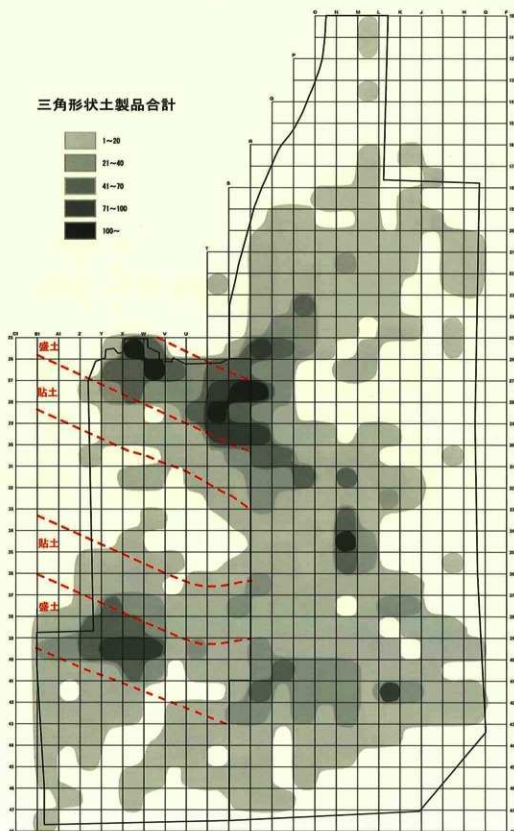
以上のことから、館野遺跡の北盛土と一体であるこの断層地形の高みが、海岸線まで続いていたと考えられ、昔の地形は盛土が海岸線まで存在するようには見えなかったのではないだろうか。

参考文献

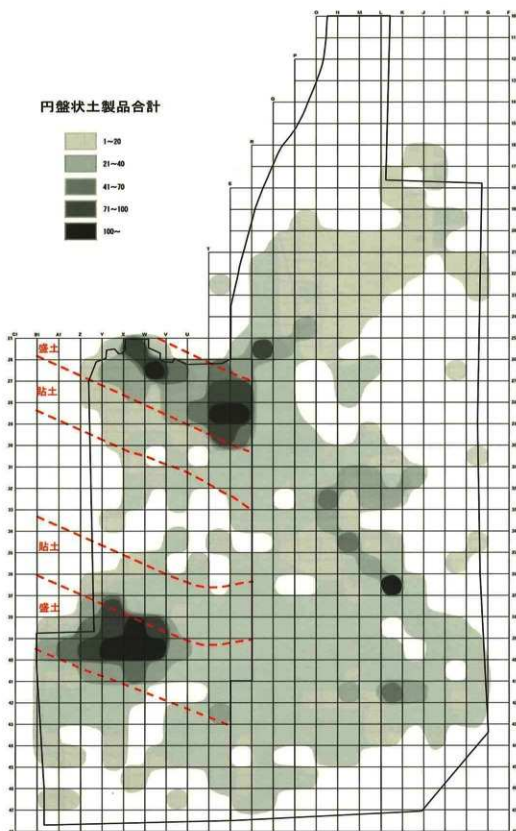
1988 『富川砲壘跡—一般国道228号上磯矢不來法面防災工事—』上磯町教育委員会（現北斗市）



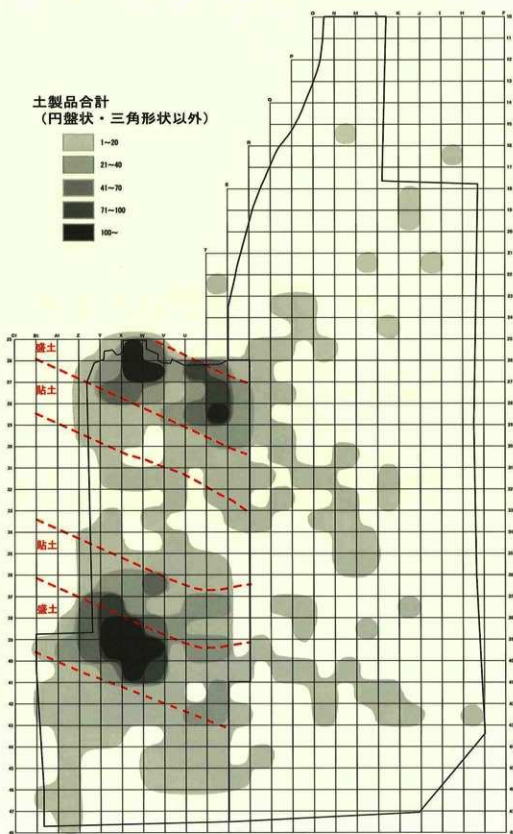
図X-17 盛土測量図



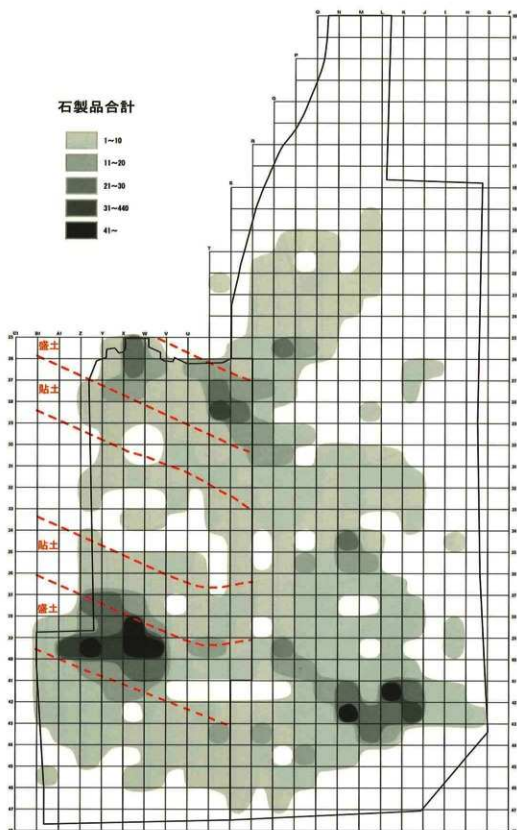
図X-18 出土遺物等量図(1)



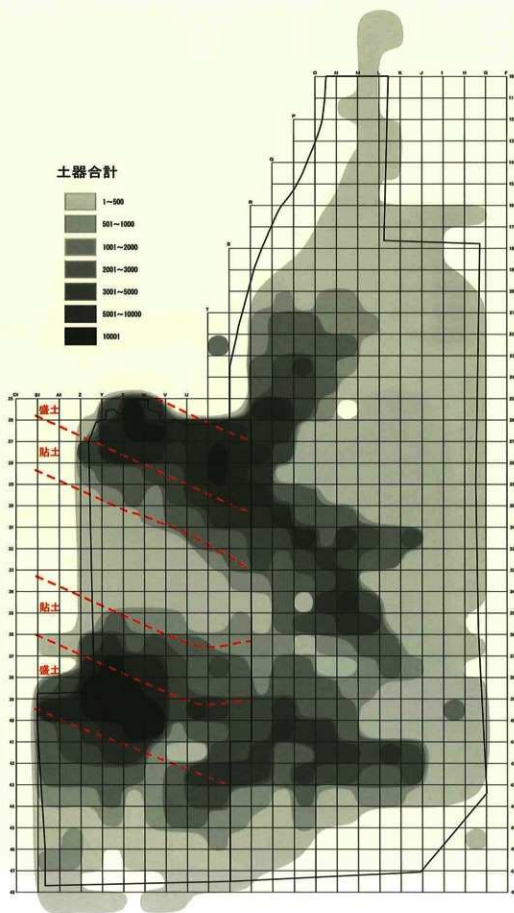
図X-19 出土遺物等量図(2)



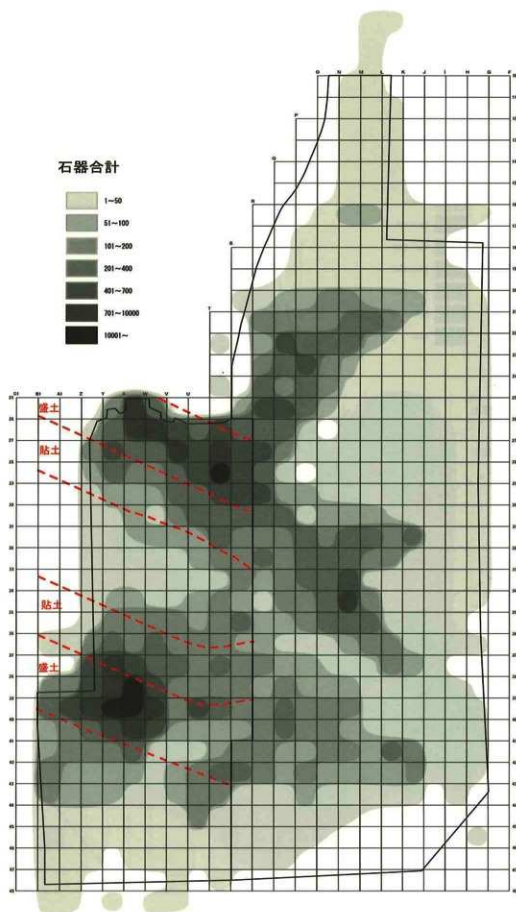
図X-20 出土遺物等量図(3)



図X-21 出土遺物等量図(4)



図X-22 出土遺物等量図(5)



図X-23 出土遺物等量図(6)

4 縄文時代後期初頭の配石・盛土遺構について

近年の道内では縄文時代後期前葉の配石遺構や、盛土遺構の検出事例が増加しつつある。盛土が検出された遺跡には木古内町新道4遺跡-B・C・G地区-(北埋調報 35・43・52)や、函館市の石倉貝塚、北斗市(旧上磯町)茂別遺跡(北埋調報 121)の環状の盛土と濠状遺構がある。そして、館野遺跡のような配石遺構とも呼べる列石の検出された遺跡は道内では松前町東山遺跡(松前町教委 2005)、知内町の湯の里遺跡群のうち湯の里1遺跡(知内町教委 1979)、湯の里5遺跡(北埋調報 18)、(旧戸井町)浜町A遺跡(戸井町教委 1990・1991)、八雲町野田生1遺跡(北埋調報 183)、八雲町浜松5遺跡(八雲町教委 1995)があげられる。また、組石遺構の検出された遺跡には松前町大津遺跡(松前町教委 1974)、知内町湯の里1遺跡、湯の里5遺跡(北埋調報 18)、森町の石倉3遺跡(北埋調報 205)と三次郎川右岸遺跡(北埋調報 233)、八雲町栄浜1遺跡(北埋調報 175)、八雲町浜松5遺跡、栄浜1遺跡(八雲町教委 1986)があげられる。

館野遺跡の・配石・盛土遺構にみられる特徴に次の4点があげられる。

- ①配石・盛土遺構構築前に地形の造成を行う。
- ②広場・内帯・外帯の領域区分があり、外帯の盛土を持つ。
- ③配石遺構を持ち、それを取り囲む石囲炉がある。
- ④配石・盛土のいづれかに土坑を伴う。

この4点に関して館野遺跡に類する特徴を持つ遺跡を比較し関連する遺跡の中での位置付けを検証したい。

①に関わるであろう遺跡には、周辺では茂別遺跡があり、海に向かって延びる全長120mの濠状遺構の両側に掘りあげられた幅10~15mの盛土が2本平行して検出されている。館野遺跡の場合は、海に向かって延びる活断層の段差のズレを利用して盛土地形が造られており、断層地形は調査区の東方にも連続して段丘崖際まで続いている事が表面観察から推測され、2本平行する盛土からも茂別遺跡と同様の構造であろう。茂別遺跡では縄文時代後期初頭の涌元2式段階のものが盛土周辺から出土しており、両遺跡とも同じ時期の遺構である。

①と②に関連する遺跡には、函館空港遺跡群の石倉貝塚がある。函館空港の滑走路延長工事に伴い平成6~10年度の4か年にかけて函館市教育委員会が調査した。長軸約50m環状の盛土遺構の中に貝塚や配石遺構、墓と推測される土坑が分布し縄文時代後期前葉の多数の遺物が出土している。ここでは館野遺跡のIV群a3類土器に相当するトリサキ式が出土しており、館野遺跡よりもやや新しい配石盛土遺構(環状列石が存在する)であることがわかる。

また、知内町湯の里5遺跡では長軸約7mで盛土を伴わない階段構造の小型の円形状配石遺構が検出されている。周辺からはトリサキ式が出土しているので、その時期に相当する遺構と考えられる。

①~④に関連する遺跡では、道内では倉知川右岸遺跡で類例を見ることができる。土器型式で示される時期は後期前葉のトリサキ式の段階で館野遺跡のIV群a3類土器よりも少し新しい時期のものである。倉知川右岸遺跡の場合も配石を囲むように外周に石囲炉が検出される。更に、類似点にはフラスコ状ピットが配石内側に分布する事があげられる。また、フラスコ状ピット内に石組みが残されるなど館野遺跡との共通点が多い。しかし、相違点には配石の外周に盛土が伴わないことが上げられる。

④に関連する遺跡には、新道4遺跡では盛土遺構が検出され、B・C・G調査区ごとの盛土の分布域を結ぶと馬蹄形もしくは長楕円形を呈する盛土が存在するようである。盛土に囲まれる部分では縄

文時代後期前葉の環状に配される土坑群（坑底がグライ化している事から木柱跡とも考えられている）が検出されている。

森町の石倉3遺跡では配石を伴う土坑が1基検出され、周辺からは涌元式が出土している。八雲町の栄浜遺跡（北埋調報 175）は小型の組石を伴う土坑が1基検出され、周辺からは涌元式やトリサキ式が出土する。八雲町教育委員会の調査した栄浜1遺跡でも土坑の上に環状の組石が置かれる。同じく浜松5遺跡でも7基の土坑があり、調査区内の約32mの区間で配石遺構が検出され、44号配石遺構の列状部分の石の並べ方、土坑上に組石が置かれる点が館野遺跡の配石遺構に類似する。知内町の湯の里1遺跡では組石の下位から9基の土坑が検出されている。

①～④の要素を兼ね合わせる遺跡に含まれないが、八雲町野田生1遺跡では環状を呈していたと推察できる配石遺構が、同町浜松5遺跡では配石列が、検出されている。松前町東山遺跡では2つの環状列石が堅穴状の掘り込みを利用して造られ、周辺は涌元2式からトリサキ式にかけての土器が出土する。浜町A遺跡では小型の弧状を呈する組石遺構が土坑を1基伴い造られ、周辺からはトリサキ式から大津式にかけての土器が出土している。

次の段階の時期では森町鷺ノ木5遺跡（藤田 2004）では全長約37mの配石を2重3重に配置する環状列石が確認される。また、環状列石に隣接して周堤墓の祖形ではないかとされる「堅穴墓域」が検出されている。後期中葉の甕間式期ものには函館市日吉町（千代 1971）、八雲町の浜松2遺跡のものがある。両者ともに底面に石が敷き詰められる方形の土坑が検出される。①～④が分解され個別に発展していくようである。

道外で①・②に関連するものは小牧野遺跡、伊勢堂岱遺跡である。③は道外では類例がなく、④に関連する遺跡は稲山遺跡である。3遺跡とも環状列石を持ち、これらは土器型式的には館野よりやや新しいものが出土している。

その他に、六ヶ所村大石平遺跡（青森県教委 1987）、上尾駁（2）遺跡（青森県教委 1988）、泉山遺跡、長軸約52mの環状列石を持つ大森勝山遺跡、環状列石と特殊組石からなる太師森遺跡（青森県平賀町教委 2001）がある。秋田県鹿角市大湯環状列石（鹿角市教委 2009・2010）には全長約42mの野中堂環状列石、全長約48mの万座環状列石がある。

以上のように北海道西南部と、東北部では多様な配石・盛土遺構が検出されるが、同じ変遷をたどる共通の文化を持つことがわかる。

館野遺跡の配石・盛土遺構の例は、土器の編年軸に対応する結果と、炭素年代測定の結果から縄文時代後期初頭の遺構である。北海道渡島半島・東北部の墓制の変遷の中で配石・盛土遺構一体型の大規模な墓域を形成する段階の遺跡といえ、配石、盛土遺構が地区分け分離された、次の環状列石の段階へと移行する前段に位置するものであろう。

参考文献

北海道埋蔵文化財センター・刊行報告書

- 1985 「知内町 湯の里遺跡群」「湯の里 5 遺跡」北理調報18 北海道埋蔵文化財センター
 1988 「本古内町 新道 4 遺跡」北理調報52 北海道埋蔵文化財センター
 1989 「小樽市 忍路土場遺跡・忍路 5 遺跡」北理調報53 北海道埋蔵文化財センター
 1995 「八雲町 栄浜 1 遺跡」北理調報175 北海道埋蔵文化財センター
 1998 「上磯町 茂別遺跡」北理調報121 北海道埋蔵文化財センター
 2003 「八雲町 野田生 1 遺跡」北理調報183 北海道埋蔵文化財センター
 2004 「森町 石倉 3 遺跡」北理調報205 北海道埋蔵文化財センター
 2004 「森町 倉知川右岸遺跡」北理調報196 北海道埋蔵文化財センター
 2006 「三次郎川右岸遺跡」北理調報233 北海道埋蔵文化財センター
- ―道内―
- 1971 「函館市日吉遺跡発掘報告書」市立函館博物館 千代肇
 1974 「大津遺跡」松前町教育委員会
 1979 「知内川中流域の縄文時代遺跡」「湯の里 1 遺跡」
 1980 「オクシベツ川遺跡 発掘調査報告書」斜里町教育委員会
 1986 「栄浜 1 遺跡」八雲町教育委員会
 1990 「浜町 A 遺跡 I」戸井町教育委員会
 1995 「八雲町 浜松 5 遺跡」八雲町教育委員会
 1999 「石倉貝塚」函館市教育委員会
 2005 「東山遺跡」松前町教育委員会
 2003 「鷺ノ木 4 遺跡」森町教育委員会
 2004 藤田登「渡島半島における環状列石～鷺ノ木 5 遺跡を中心に～」『森町 鷺ノ木 5 遺跡』 南北海道情報交換会
- ―道外―
- 1987 「大石平遺跡発掘調査報告書Ⅲ」青森県教育委員会 第103集
 1988 「上尾駁 (2) 遺跡Ⅱ B・C 地区遺跡発掘調査報告書」青森県教育委員会 第115集
 1995 「泉山遺跡発掘調査報告書Ⅲ」青森県教育委員会 第181集
 1996 「小牧野遺跡発掘調査報告書」青森市教育委員会 第30集
 1968 「大森勝山遺跡」『岩木山』岩木山刊行会 村越潔他
 1999 「伊勢堂岱遺跡」秋田県教育委員会
 2003 「太師森遺跡」平賀町教育委員会
 2004 「稲山遺跡発掘調査報告書Ⅴ」青森市教育委員会 第72集
 2004 藤田登「縄文に学ぶ」『鷺ノ木 4・5 遺跡から』大湯ストーンサークル館
 2009 「特別史跡 大湯環状列石発掘調査報告書 (25)」鹿角市教育委員会
 2010 「特別史跡 大湯環状列石 (Ⅱ)」鹿角市教育委員会

5 館野遺跡出土のⅢ群・Ⅳ群土器について

Ⅲ群土器について

館野遺跡では2カ年に渡る調査での総土器点数990,922点のうち平成15年度は388,731点、16年度は602,191点の土器片が出土した。

縄文時代中期に属するⅢ群a類土器群が15年度は21,538点、16年度は5,336点出土している。2カ年の合計点数は26,874点である。Ⅲ群b類土器群は15年度は26,778点、16年度は2,950点出土している。2カ年の合計点数は29,728点である。

北海道西南部の縄文時代中期の土器編年については大沼忠春（大沼 1981）や、鈴木克彦（鈴木 1999）、立田理（立田 2006）により土器型式の前後関係が検討されている。館野遺跡の土器群では渡島半島の土器編年の大きな流れの中で是に矛盾するところはない。ここでは道西南部周辺の遺跡で館野遺跡の土器群がどのような位置付けに所属するものか検討してみた。

（1）Ⅲ群a類 [図X-25]

Ⅲ群a類と設定したものはサイベ沢Ⅷ式、見晴町式に相当するものである。館野遺跡では平成15年度調査区のH-2・7、H-30・31の遺構内と周辺で弧状沈線文と粘土瘤で文様が施されるものがまとまって出土している。平成16年度調査区ではH-40・41出土土器の一部がある。館野遺跡に類するものは函館市周辺では函館市石川1遺跡（北埋調報45：道埋文1986）、函館市桔梗2遺跡（北埋調報46：道埋文1987）、函館市サイベ沢遺跡（市立函館博物館 1958）、函館市サイベ沢B遺跡（市立函館博物館 1967）、函館市見晴町B遺跡（函館市教委 1979）がある。

道西南部での類例には八雲町栄浜1遺跡（北埋調報175：道埋文2002）、八雲町山崎4遺跡（北埋調報162：道埋文2001）、八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚（八雲町教育委員会 1992）、現函館市：旧南茅部町白尻B遺跡（南茅部町教委 1985）、上ノ国町小岱遺跡（上ノ国町 1986）、乙部町元和7遺跡（乙部町教委 1976）、乙部町元和11遺跡出土土器、松前町白坂遺跡第6地点、第7地点（松前町教委 1983）、松前大津遺跡（松前町教委 1974）、福島町館崎遺跡（福島町 1975）、知内町森越遺跡（知内町教委 1976）、木古内町新道4遺跡（北埋調報52：道埋文1988）。以上の遺跡出土土器の一部があたる。

H16年度調査区の包含層からは松前大津遺跡でみられる魚骨回転文の施される土器と同様のものが出土している。

（2）Ⅲ群b1類 [図X-26]

Ⅲ群b1類と設定したものは榎林式に相当するものである。東北部で型式設定された土器群で2種に細分類され、まず弧線文様を特徴とする榎林1式にあたるものは、平成15年度調査区のH-25遺構内で出土している。横環する沈線文と渦巻文を特徴としている榎林2式にあたるものは、館野遺跡では平成15年度調査区のH-7・12・27遺構内と周辺で出土しているものと、平成16年度調査区ではH-52で個体が出土している。

館野遺跡の周辺では前者のものは上磯町館野2遺跡、木古内町新道4遺跡、八雲町山崎4遺跡、上ノ国町小砂子遺跡（上ノ国町教委 1979）があり、後者のものは現函館市：旧南茅部町大船遺跡（南茅部町教委 2002）のⅢ群土器、八雲町栄浜1遺跡、松前町白坂遺跡第1地点、第2地点の一部の出土土器があたる。

(3) Ⅲ群b 2類 [図X-27]

Ⅲ群b 2類に設定したものは大安在B式に相当するものである。館野遺跡ではH-14・16・21の遺構内と周辺の包含層で出土している。主文様要素に3つの特徴を有するものがあり、沈線文で文様が施されるもの、縄線文で文様が施されるもの、隆起線と縄線文で文様が施されるものである。館野遺跡では沈線・縄線の段階がH-9の一部に相当し、隆起線と縄線文の段階に相当するものはH-12、H-21から出土例がある。沈線文で文様が施されるものH-14出土土器の一部、平成16年度調査区のH-40出土土器の一部がある。隆起線と縄線文で文様が施されるものは平成15年度調査区のH-9・12・15・16・21出土土器の一部で、縄線文で文様が施されるものは平成15年度調査区のH-5・21出土土器の一部がある。遺跡内では各遺構の覆土や周辺の包含層で散発的に出土する傾向があり、一括して廃棄されたと推測できるような遺構に伴う出土例が少ない。平成15年度H-9にて出土し拓本で掲載した中ノ平Ⅱ式(最花式)に類する土器は、この時期に伴伴するものであろう。

道西南部での類例には上磯町館野2遺跡、木古内町新道4遺跡出土土器、旧南茅部町大船遺跡のⅢ群土器、八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚、八雲町山崎4遺跡、八雲町栄1浜1遺跡、知内町湯の里1遺跡(知内町教委 1979)、上ノ国町大安在B遺跡(上ノ国町教委 1972)、上ノ国町小砂子遺跡、松前町白坂遺跡第5地点、第6地点、第8地点。これらの遺跡出土土器の一部があたる。

(4) Ⅲ群b 3類

Ⅲ群b 3類に設定したものはノダツブⅡ式(森田 1974)・煉瓦台式(大場 1965)に相当するものである。標識的な刺突の加えられた隆起帯と整った斜行縄文や羽状縄文が施されるものに当たる段階の土器は出土していない。館野遺跡では前段階からの移行期のものと推測されるタイプで、胴部に垂下する隆帯上に縄線文が押圧されるものがH-35周辺で出土している。

道西南部での類例には南茅部町大船遺跡のⅢ群土器の一部に類している。この時期の土器が出土する遺跡は乙部町栄浜遺跡(乙部町教委 1977)、松前町白坂遺跡第2地点、第5地点、第6地点、第8地点。松前町寺町貝塚(松前町教委 1988)、知内町湯の里1遺跡、木古内町新道4遺跡以上の遺跡出土土器の一部が相当する。

Ⅲ群b 3類そのものといえる土器群が館野遺跡では出土していない点、ひとつの時期を画する土器型式として成立していると考えられるのではないだろうか。

Ⅳ群土器について

縄文時代後期に属するⅣ群a類土器は15年度に336,030点出土している(細分類は行っていない)。16年度ではⅣ群a類土器は590,193点出土した。2カ年の総点数は926,223点である。

16年度ではⅣ群土器の細分を試みた。Ⅳ群a 1類は51点、Ⅳ群a 2 A類は543,757点、Ⅳ群a 2 B類は17,888点、そしてⅣ群a 3類は28,476点、Ⅳ群c類は21点の出土がみられた。

道西南部の土器編年については高橋正勝(高橋 1974・1981)や大沼忠春(大沼 1981・1989・2003)、大森司統(大森司 2003)が分析を加え、東北北部の状況は葛西勲(葛西 2002)、児玉大成(児玉 2003)により土器型式の新旧関係が検討されている。そして東北・渡島の広域編年を鈴木克彦(鈴木 1999・2000)がまとめ、相対関係が明らかとされつつある。館野遺跡の土器群は大きな括りの中で是等に矛盾するところはない。

(1) Ⅳ群a 1類

Ⅳ群a 1類に設定したものは函館市天祐寺貝塚(石川 1963)を標識資料とする天祐寺式に相当するものである。縄文の施された帯状隆線文・タガ状貼付文を特徴とする。道西南部での類例には松前

町白坂遺跡第3地点(松前町教委 1983)、現函館市:旧戸井町の戸井貝塚(戸井町教委 1992・1993)、函館市湯川貝塚(函館市教委 1997)、松前町寺町貝塚(松前町 1989)、七飯町本町1・2遺跡(七飯町教育委員会 1986)出土土器の一部にあたる。道央部では現洞爺湖町:旧虻田町の入江貝塚(虻田町教育委員会 1986)、八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚の出土土器の一部に数例がある。これに属する土器群が館野遺跡では出土していない所から、ひとつの時期を画する土器型式として成立していると考えられる。

(2) IV群 a 2 A類 [図X-28~36]

IV群 a 2 A類に設定したものは涌元1式に相当するもの。本遺跡の543,325万点を占める土器群である。

2 A類(涌元1式)の特徴には、器形は全て緩い波状口縁を呈し、折り返しや輪積み跡を残して縄文を施文、縄文は口縁部文様帯と胴部文様帯を意識して、口縁と胴部で羽状となる文様構成を残し、底部には木葉痕が残される場合がある。平成15年度分の報告では口縁部の器形が平縁と分類したものが、緩く波打つ波状口縁であることが判った。涌元式に本当の平縁という器形は存在しないので、15年度報告で平縁としたものに関しては全て緩い波状口縁と訂正したい。

また、天祐寺式の特徴は隆帯と胴部には整然と施される縄文であり、明らかに涌元式の不規則で手を抜いた押圧強弱の違う施文とは相違するものであった。実測図では模式図的な表現では涌元式の本質を伝える事ができないと考え、できるだけ忠実に縄文を再現することに勤めた。模式図的な実測図ではないが、属性を強調するためにご容赦願いたい。

館野遺跡では器形で①折り返し口縁と段をもつもの、②無段のもの、③無文、口縁欠損のものに3分類した。その中で文様要素により細分をおこなった。細分類は第4分冊の専章2に対応する。①の折り返し口縁自体は前段階、次段階へと連続して受け継がれるもので、無段のものの出現頻度の上昇が天祐寺式との相違点でもある。この段階での終末期に文様要素に沈線文が出現し、次の段階に発展したと考えられる。

道西南部では知内町涌元遺跡(千代肇 1972)、上磯町矢不來2遺跡(北埋調報37・道埋文1987)、上磯町茂別遺跡(北埋調報121;道埋文1998)、乙部町栄浜遺跡、松前町寺町貝塚、福島町穂内館遺跡(福島町教委 1986)、現函館市:旧南茅部町の豊崎N遺跡(南茅部町 1994)、乙部町緑町2遺跡(乙部町 1989)。以上の遺跡出土土器の一部が相当する。

(3) IV群 a 2 B類 [図X-37・38]

IV群 a 2 B類に設定したものは涌元2式に相当するもの。鈴木克彦の矢不來2式に、東北地方の馬立式の範疇に相当する。本遺跡の17,807万点を占める土器群である。土器分類の目安として沈線文の施される土器片で収集した。復元を進める中で、

- ①沈線文で文様が描かれるもの。
- ②口縁に沿って沈線文がめぐるもの。
- ③頸部に無文部を持ち、数条の組み沈線文様、文様帯を横位多段に区画するもの。③' 数条の組み沈線文様に、粗いすり消し縄文が施されるもの。
- ④頸部に無文部を持ち、沈線による区画文様、粗いすり消し縄文が施されるもの。

以上4細分が可能と考えられた。遺跡内では北側盛土の東部分で①・②・③・④の段階のものがまとまって出土している。遺構ではH-41・43・48で②段階の深鉢形土器が出土する。終末期の段階で地紋に区画をあまり意識しないすり消し縄文と更に文様要素には粘土瘤が出現し、次の段階に粘土紐の飾りへと発展したと考えられる。器形もバケツ形から頸部に屈曲しやや外反する口縁部が増加する。

①に相当する段階の土器が含まれる遺跡は、上磯町矢不來2遺跡、上磯町茂別遺跡、知内町涌元遺跡、松前町原口遺跡(松前町教委 1976)、乙部町栄浜遺跡。

②に相当する段階の土器が含まれる遺跡は、上磯町矢不來2遺跡、森町濁川左岸遺跡A～E地区(北埋調報190・208・246;道埋文2003・2004・2007)。

③に相当する段階の土器が含まれる遺跡は、知内町湯の里5遺跡、森町濁川左岸遺跡A～E地区。

④に相当する段階の土器が含まれる遺跡は、森町濁川左岸遺跡A～E地区、松前町原口遺跡、道央部では高砂貝塚Ⅲ層(札幌医科大学 1987)。

(4) IV群 a 3類 [図X-39・40]

IV群 a 3類に設定したものはトリサキ式(森町教委 1975)に相当するもの。鈴木克彦の浜松5式に、東北地方の十腰内I a式の範疇に相当するもの。本遺跡の28,486万点を占める土器群である。

①隆起線や、一本の沈線で区画文様が描かれ、区画内部にすり消し縄文が施される。①'沈線が連続して集合沈線化するもの。

②隆起線や、一本の沈線で円形や方形の区画文を形成する。地文無文。

③2～3本組の集合沈線で文様を描く。

④櫛葉状沈線などで、太い帯状となった沈線で文様を描く。以上4細分が可能と考えられる。

遺跡内では北盛土の西部で③に属する個体が出土し、東部分で①・②の段階のものがまとまって出土している。遺構ではH-39で②段階の壺形土器が出土する。H-43では深鉢形小形土器が出土する。

道内では①に相当する段階の土器が出土する遺跡は、倉知川右岸遺跡(北埋調報196;道埋文2004)、八雲町浜松5遺跡(八雲町教委 1995)。

②に相当する段階の土器が出土する遺跡は、森町石倉1遺跡(北埋調報247・266;道埋文2007・2010)、森町倉知川右岸遺跡。松前町原口遺跡土器の一部、八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚は出土土器の一部に数例がある。

③に相当する段階の土器が出土する遺跡は、八雲町浜松5遺跡。八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚、森町鳥崎川遺跡、森町倉知川右岸遺跡、森町石倉1遺跡からは、出土土器の一部に数例がみられた。

④に相当する段階の土器が含まれる遺跡は、木古内町新道4遺跡の盛土1類(北埋調報52;道埋文1988)、知内町湯の里1遺跡(道埋文 1985)、八雲町コタン温泉遺跡の第3貝塚、八雲町浜松5遺跡、森町濁川左岸遺跡A～E地区、森町三次郎川右岸遺跡(北埋調報233;道埋文2006)、森町石倉1遺跡(道埋文2007・2010)がある。道央部では入江貝塚(名取・峰山 1958)もある。④から次の段階には帯状の部分が磨り消し縄文に充填され、文様のボジとネガの逆転するものが後続するのであろう。

以上のように館野遺跡では道西南部の縄文時代中期後半から後期初頭にかけての土器群が出土した。特に館野遺跡と同様の配石・盛土遺構を持つ石倉貝塚の発掘に続いて、東北部後期初頭の環状列石の墓制萌芽期の土器型式の内容と対応する道南部の様相を明らかにする資料を追加できたと考えている。

引用・参考文献

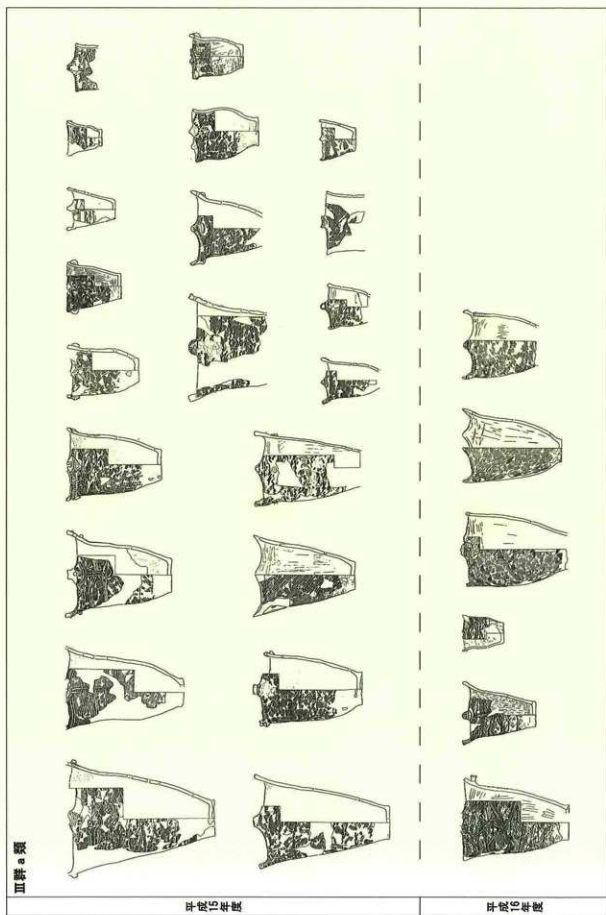
- 1958 『サイベ沢遺跡』 児玉作左衛門・武内収太・大場利夫 市立函館博物館
- 1958 「入江貝塚（虻田郡）」『北方文化研究報告』13名取武光・峰山巖
- 1963 石川政治 「函館市 天祐寺貝塚」『石器時代』6
- 1965 大場利夫他 「函館郊外 糠瓦台遺跡」『北方文化研究報告』20
- 1967 「函館市サイベ沢B遺跡」市立函館博物館
- 1972 「涌元遺跡」知内町教育委員会
- 1972 小笠原忠久「大安在B遺跡」上ノ国町教育委員会
- 1974 高橋正勝 「知内町涌元遺跡出土の土器と北海道西南部の縄文時代後期前半について」『北海道の文化』31
- 1974 森田知忠他「西段遺跡「第Ⅱ文化層」」北海道第4紀研究会
- 1974 「大津遺跡発掘調査報告」松前町教育委員会
- 1975 「鳥崎遺跡」森町教育委員会
- 1975 「館崎遺跡」福島町教育委員会
- 1976 大島直行 「知内町森越遺跡」
- 1976 「松前町原口遺跡」松前町教育委員会
- 1976 大沼忠春 「元和」『乙部町 元和遺跡』乙部町教育委員会
- 1977 大沼忠春 「元和（続）」『乙部町 元和遺跡』乙部町教育委員会
- 1977 「榮浜遺跡」乙部町教育委員会
- 1979 「見晴町B遺跡 発掘調査報告書」函館市教育委員会
- 1979 「小砂子遺跡」上ノ国町教育委員会
- 1979 「湯ノ里1遺跡」知内町教育委員会
- 1981 大沼忠春 「北海道中央部における縄文時代中期から後期初頭の幅年について」『考古学雑誌』66-4
- 1981 高橋正勝 「北海道南部の土器」『縄文文化の研究4 縄文土器Ⅱ』
- 1981 宮宏明 「ノダップⅡ式の検討」『考古学研究』28-3
- 1982 「七飯町本町1・2遺跡」七飯町教育委員会
- 1983 「白坂」松前町教育委員会
- 1985 「臼尻B遺跡」vol.V 南茅部町教育委員会
- 1986 「小岱遺跡」上ノ国町教育委員会
- 1986 「隠内館遺跡」福島町教育委員会
- 1986 「入江貝塚」虻田町教育委員会
- 1987 「高砂貝塚」札幌医科大学
- 1989 「寺町貝塚」松前町教育委員会
- 1989 「緑町2遺跡」乙部町教育委員会
- 1989 大沼忠春「縄文土器大観1」『北簡式土器様式』
- 1992 「コタン温泉遺跡」八雲町教育委員会
- 1992 「掘株1・2遺跡」調査報告書第6集 北海道文化財研究所
- 1992 「戸井貝塚」戸井町教育委員会
- 1993 「戸井貝塚」戸井町教育委員会
- 1994 「豊崎N遺跡」南茅部町教育委員会
- 1995 「浜松5遺跡」八雲町教育委員会

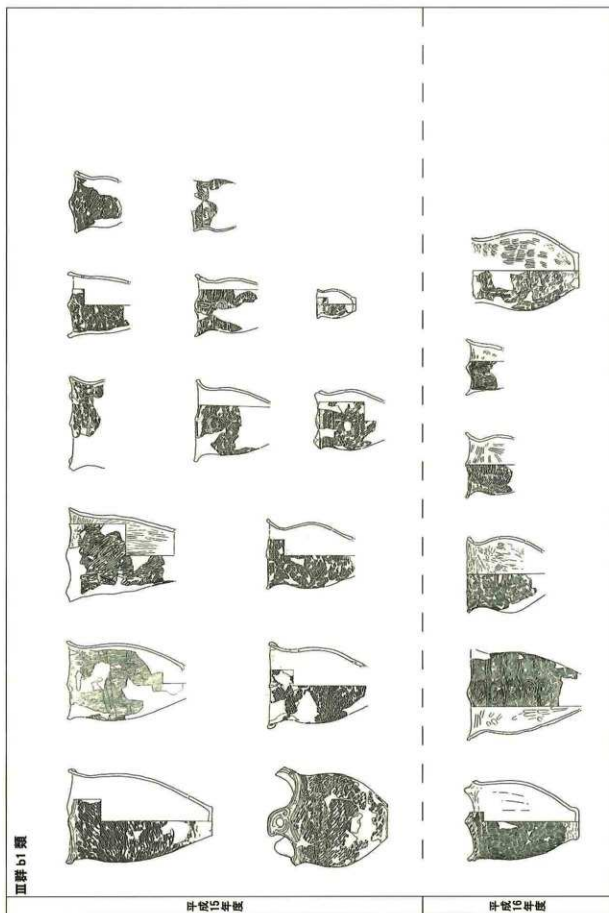
- 1997 『湯川貝塚』函館市教育委員会
- 1998 『上磯町 茂別遺跡』北理調報121
- 1999 鈴木克彦『北海道渡島・松山地域の中期末葉から後期初頭の編年』『北海道考古学』35
- 2000 鈴木克彦『北海道後志・胆振地域の中期末葉から後期初頭の編年』『北海道考古学』36
- 2002 『大船遺跡』南茅部町教育委員会
葛西 聡『再葬土器棺墓の研究』再葬土器棺墓の研究刊行会
- 2003 大沼忠孝『北海道南部の後期前葉の時期区分について』『東北・北海道の十腰内Ⅰ式再検討 資料集』
戸井町教育委員会・海峡土器研究会
- 2003 児玉大成『小牧野遺跡における縄文時代後期前半の土器編年』『東北・北海道の十腰内Ⅰ式再検討 資料集』
戸井町教育委員会・海峡土器研究会
- 2003 大森司統『渡島半島の縄文時代後期前葉』『東北・北海道の十腰内Ⅰ式再検討 資料集』
戸井町教育委員会・海峡土器研究会
- 2004 赤石慎三『石狩低地帯における縄文時代中期後葉の土器』『東北・北海道の縄文時代中期後葉の緒問題』
海峡土器編年研究会
- 2004 阿部千春『大船C遺跡出土の大安B式土器』『東北・北海道の縄文時代中期後葉の緒問題』
海峡土器編年研究会
- 2006 立田理『円筒土器上層b式からサイベ沢Ⅷ式土器の編年方法について』『北海道考古学』第42輯

北海道埋蔵文化財センター刊行報告書

- 北理調報 18 『知内町 湯の里遺跡群』 1985 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 30 『上ノ国町 小岱遺跡』 1985 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 45 『函館市 石川1遺跡』 1986 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 46 『函館市 桔梗2遺跡』 1987 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 37 『上磯町 矢不來2遺跡』 1987 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 43 『木古内町 建川3・新道4遺跡』 1987 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 52 『木古内町 新道4遺跡』 1988 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 121 『上磯町 茂別遺跡』 1998 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 162 『八雲町 山崎4遺跡』 2001 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 175 『八雲町 栄浜1遺跡』 2002 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 190 『森町 濁川左岸遺跡-B地区-』 2003 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 208 『森町 濁川左岸遺跡-A地区-』 2004 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 196 『森町 倉知川右岸遺跡』 2004 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 233 『森町 三次郎川右岸遺跡』 2006 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 246 『森町 濁川左岸遺跡(3)-C～E地区-』 2007 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 247 『森町 石倉1遺跡』 2007 北海道埋蔵文化財センター
- 北理調報 266 『森町 石倉1遺跡(2)』 2010 北海道埋蔵文化財センター

図文-25 Ⅲ群a類土器集成





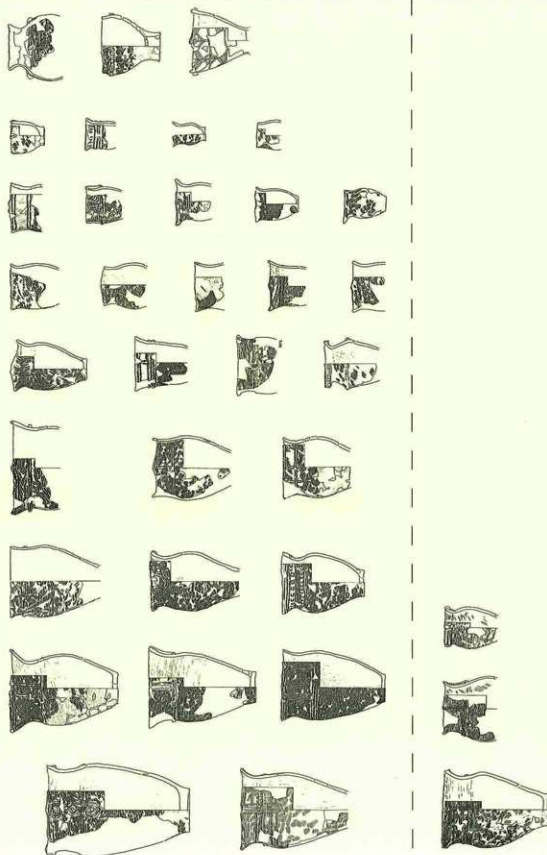
図X-26 皿群 b1 類土器集成

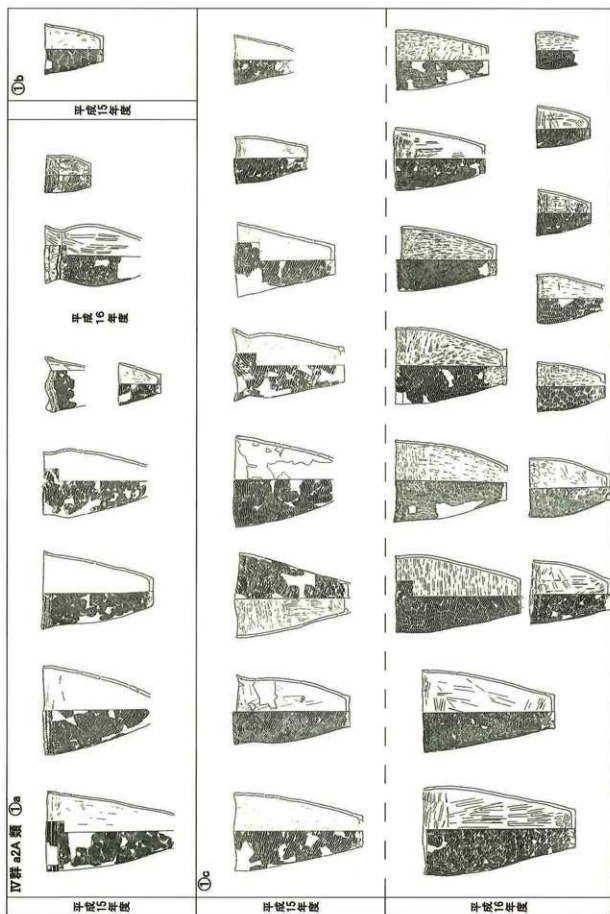
図X-27 Ⅲ群b2類土器集成

Ⅲ群b2類

平成15年度

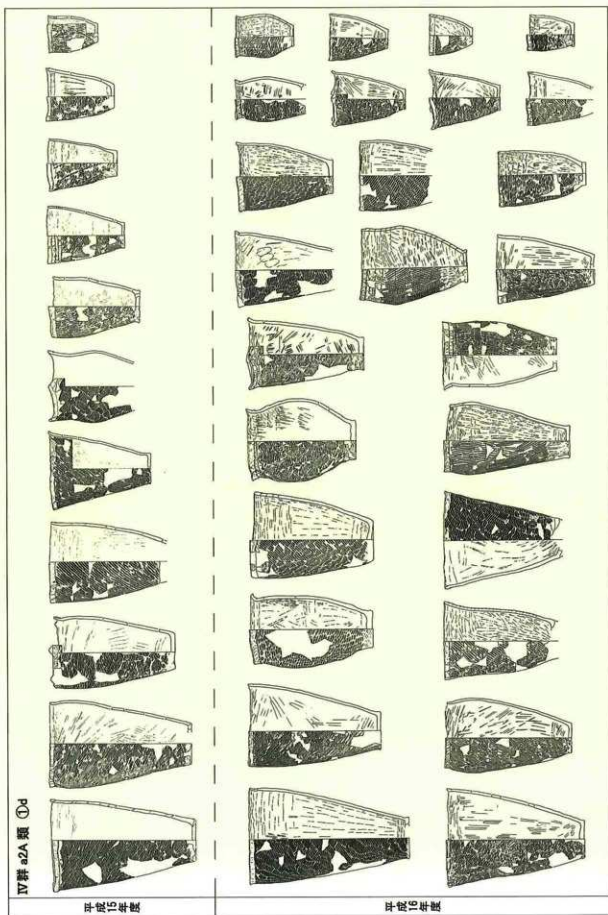
平成16年度

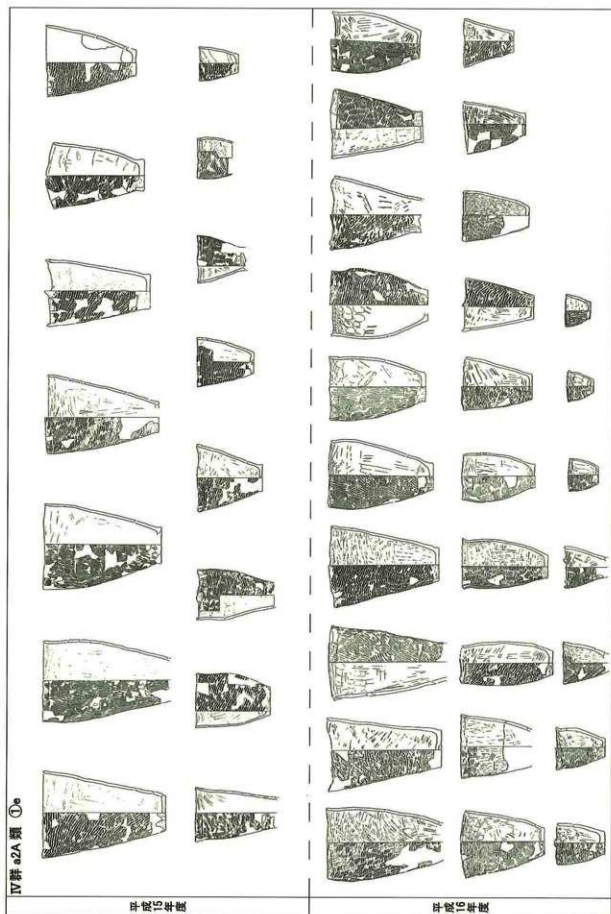




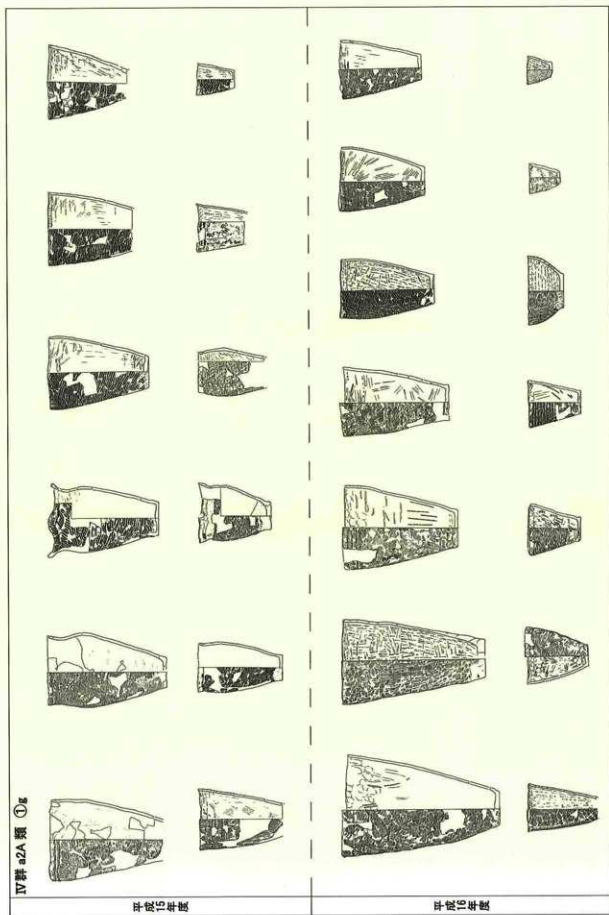
図X-28 IV群 a 2 A 類①abc土器集成

図X-29 IV群a2A類①d土器集成

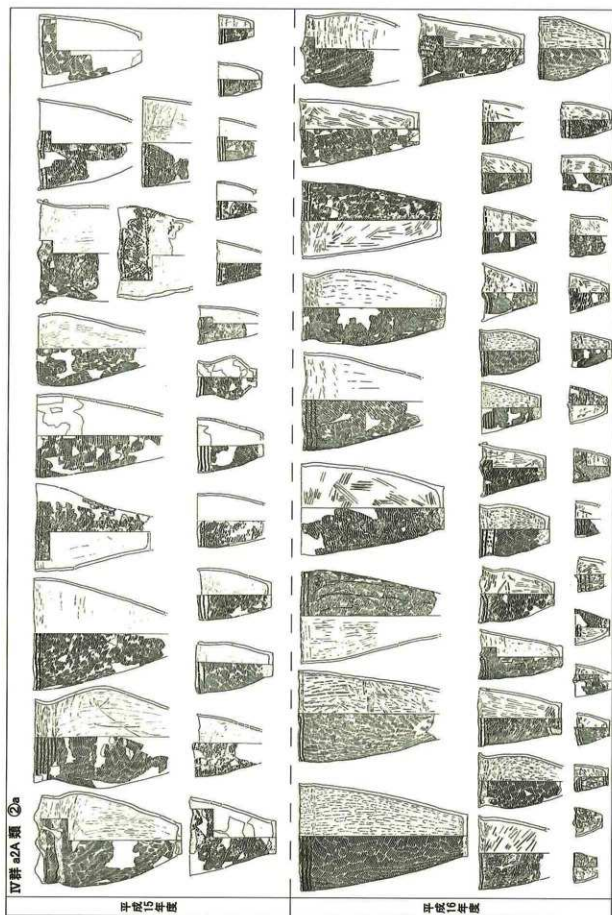




図X-30 IV群 a2A 類 ①e 土器集成



図X-31 IV群 a2A類①g土器集成



図X-32 IV群 a2A 類 ②a 土器集成

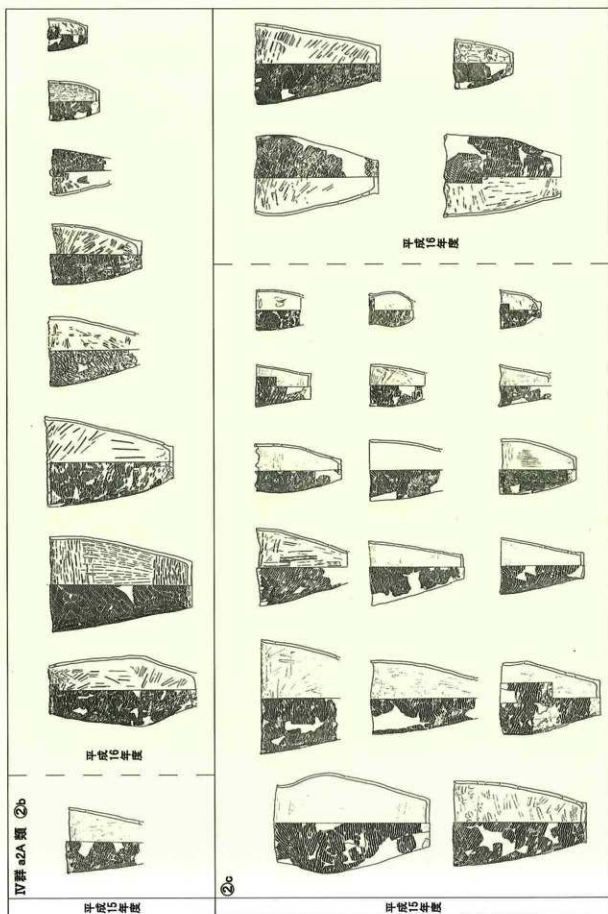
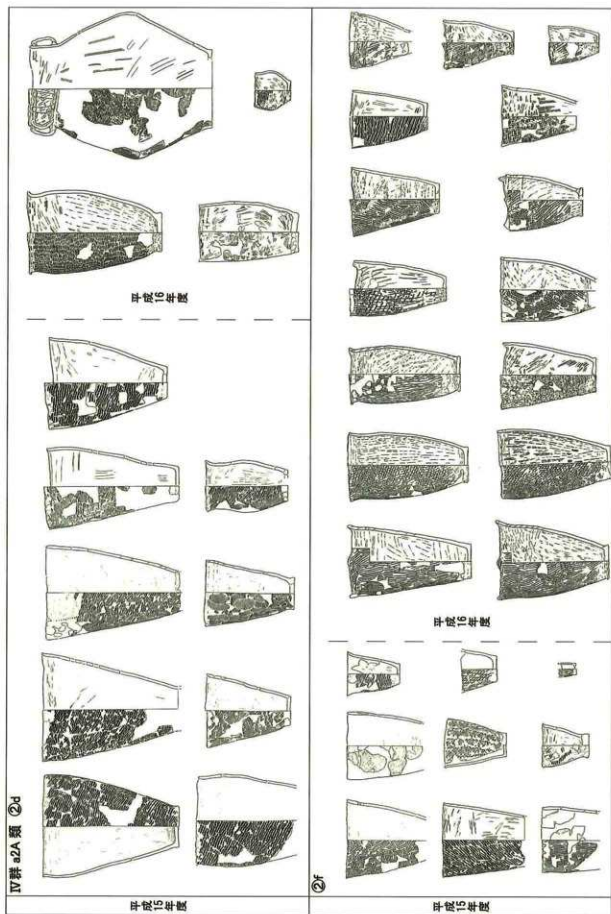
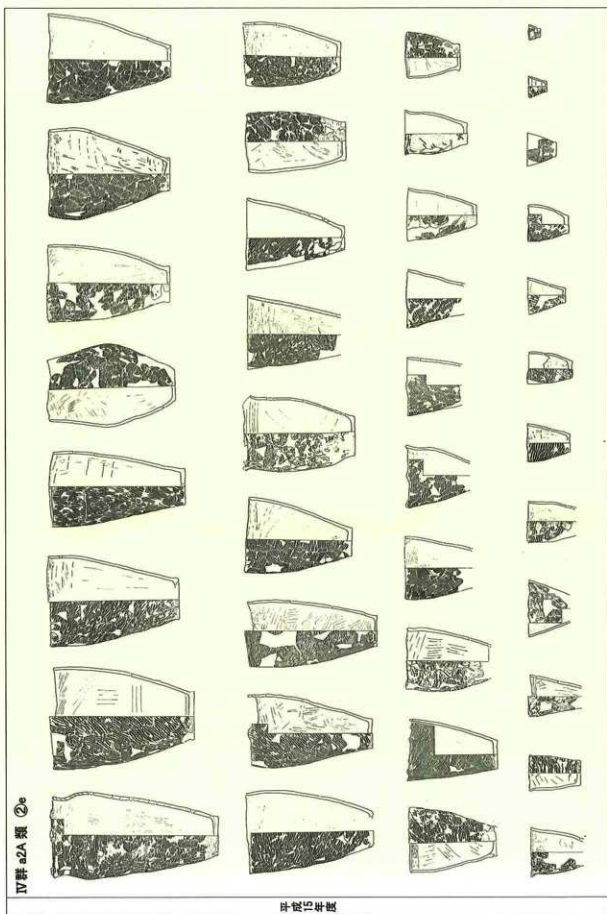


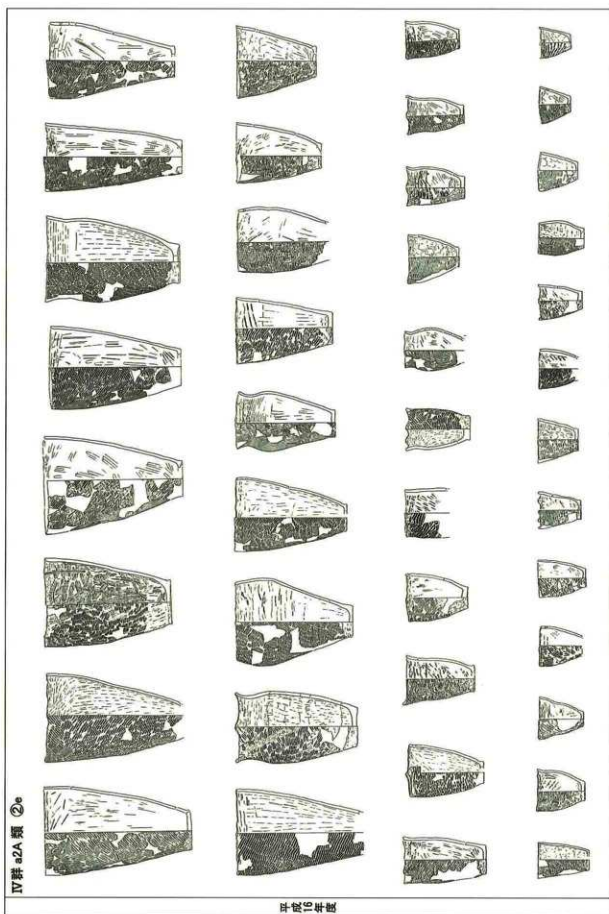
図 X-33 IV群 a 2 A 類 ②bc土器集成



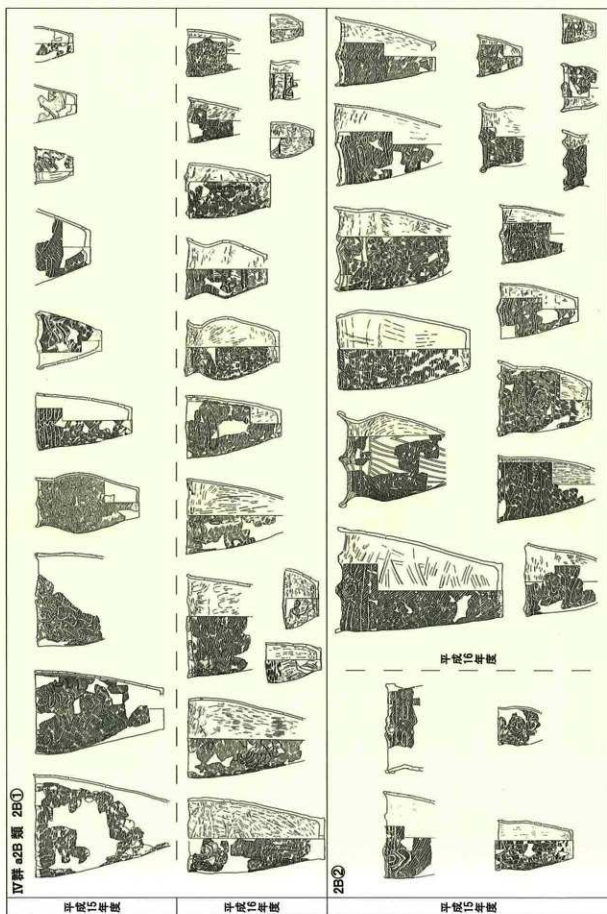
図X-34 IV群 a2A 類 ②d f 土器集成

図 X-35 IV群 a2A 類②e 土器集成

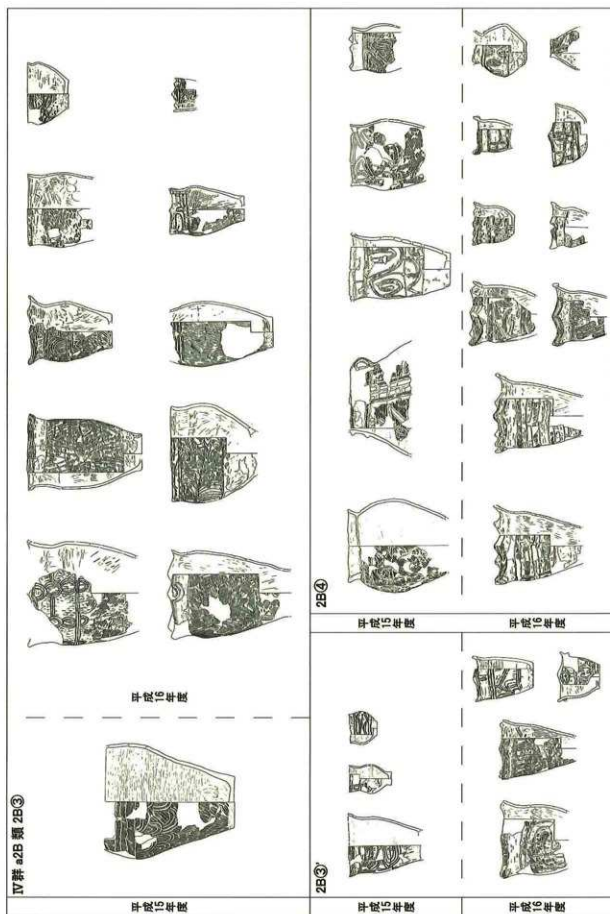




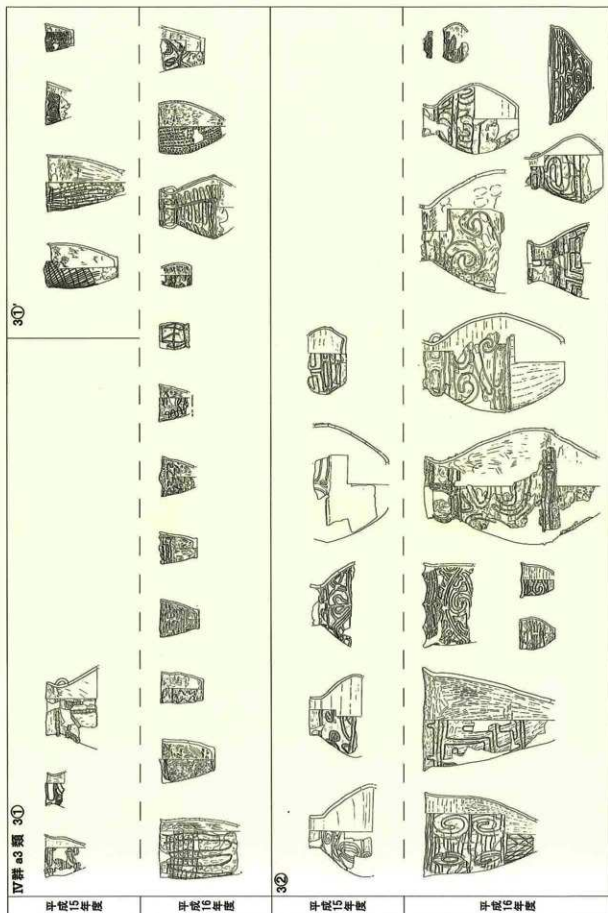
図X-36 IV群 a2A類 ②e 土器集成



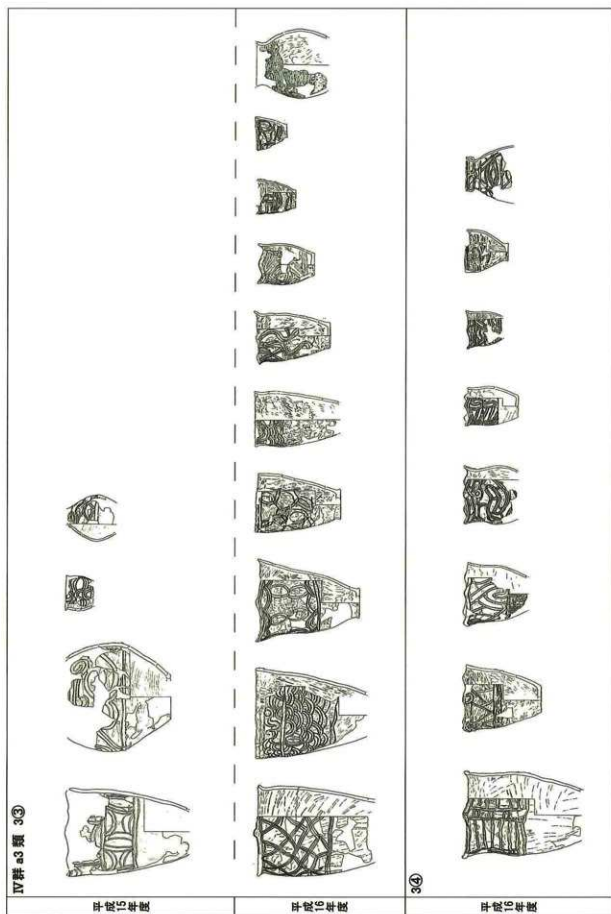
図X-37 IV群 a 2B類 2B①②土器集成



図X-38 IV群 a 2B類 2B③③' ④土器集成



図X-39 IV群 a 3類 30①②土器集成



図X-40 IV群 a 3 類 33③④土器集成

6 館野遺跡出土の縄文時代早期前半「川汲式」について

道西南部の縄文時代早期の土器群は、東北部と連動して押型文土器→沈線文土器→貝殻文土器→縄文尖底土器へ変遷する。押型文土器「日計式」の編年的な位置付けは1964年に東北の蛇王洞遺跡の発掘から層位的出土により確認されている。館野遺跡では東北部の日計式土器群に属する土器片が出土した。この土器は現在のところ道西南部の最古の土器型式である。ここではその特色を捉えなおし整理しておきたい〔図X-41〕。

土器型式の「日計式」の内容は、器形は尖底で、V字・X字・菱形の文様が施された円柱状の施文具を回転押捺して施文した文様を主とする土器群と、羽状や綾杉状に押捺される地文縄文に平行沈線を口縁部、胴部、胴部下半に横位多段に巡らせる沈線文の土器群があり、両者が併存することが知られる。本州の例では押型文と縄文を同一土器面に押捺するものもあり、同時併存する関係である事が明らかとされている。

北海道で日計式に相当する土器群の出土例には函館空港遺跡群中野A遺跡（北理調報79・84）、函館市（旧南茅部町）川汲D遺跡があり、中野A遺跡では押型文に伴う地文縄文の尖底土器が出土した。

北海道の押型文土器については道西南部の南茅部川汲D遺跡で出土したことが、1996年に阿部千春・領塚正浩により明らかとされ（北海道考古学 第32輯）。これは「川汲式」として型式提唱された。

川汲D遺跡ではa種として設定された重層山形文の施される押型文土器の破片とともに、b種とされる地文縄文の土器片も出土し、これには口縁部付近に横位に沈線文が回り胴部にも平行沈線文が施されている。地文の縄文は同一原体で一方に回転押捺文を施すもの、異なる原体で羽状構成を呈するものがある。施文原体の構成はR斜行縄文とL斜行縄文、異種原体の羽状構成の三種からなる。

また、原体の特徴には1種に押型に太い原体を用い山形の幅が広いもの・太い縄を撚った節の大きなもの、2種に押型に細い押型原体を用い山形の幅が狭いもの・細い縄を撚った節の小さなものがあることが指摘され、二つに細分されている。

土器の胎土は繊維が多く含まれ、角閃石と石英が多量に含まれ、2種とされた細い縄や細かい押型文様の土器に特に繊維や角閃石の混入が多い事があげられている。

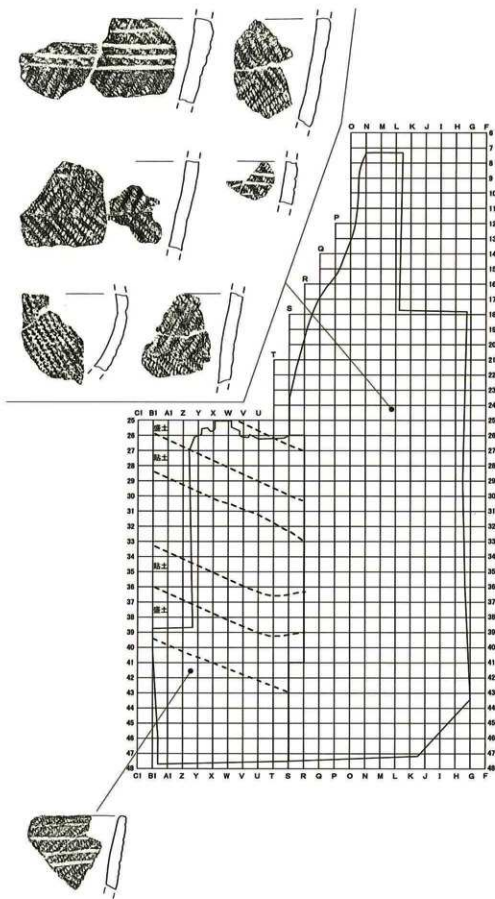
館野遺跡では川汲D遺跡のような重層山形文様の押型文が施された土器片は出土していない。しかし、中野A遺跡の個体に類する縄文施文の土器片が出土している。

遺跡内では土器の口縁部片がY41区（図Ⅷ-162-26）、胴部から底部付近にかけての破片はL24区でまとまって出土した。Y41区出土のものは別章にて前述したが、縄文時代後期初頭の盛土の造成があり、その土砂の運搬により88mほどの距離を動かされたものと推測される。L24区の土器片は縄文時代中期の竈穴式住居跡H-2・7の覆土から出土することから、遺構廃捨後に埋め戻しなど人為的作業により流れ込んだものであろう。報告ではH-2遺構内の遺物として取り扱っている（北理調報237）。

館野のものは、土器の観察から口縁部は平縁、口唇部は角形で、底部は出土していないが、緩いカーブの丸みのあるものになると推測される。文様は3～4条の太い多重沈線が、口縁部・胴部に多段に横置き縄文は太い縄を撚った節の大きなもので、異種原体を用い羽状の縄文を施すタイプである。器厚は厚手で、胎土には繊維よりも角閃石が多く含まれる事が目立つ。これらの特徴から「川汲式」のb類1種に相当し、かつ2種の角閃石の多い点が含まれるように考えられる。

参考文献

1996 阿部千春・領塚正浩「南茅部町川汲遺跡における縄文時代早期前半の一樣相一日計式併行期の集落と出土遺物を中心として」『北海道考古学』 第32輯



図X-41 日計式土器出土地点

7 館野遺跡出土の石刃鏃とアルトリ式

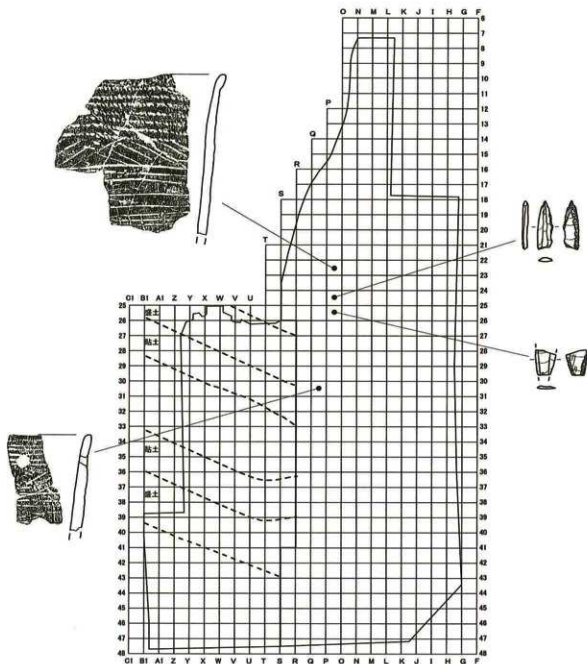
平成15年の調査では遺跡内からは石刃鏃が2点、O24・25区でグリットを隣接して出土した〔図X-42〕。石刃鏃は北海道の道東部にて縄文時代早期の遺跡から多く出土する特徴的な石鏃である。それに伴う土器群が浦幌式や東銅路Ⅱ式であろうと、これまでも西田は指摘している（西田 2010）。所属時期は縄文時代早期後半の約7,500年前頃のものと考えられている。現在までの北海道での石刃鏃出土の南限は噴火湾沿岸部の長万町町の富野3遺跡であり、東銅路Ⅱ式（中野B遺跡のI群F類）に相当する縄文平底と、東北部の縄文尖底土器（前半）に相当する尖底土器が出土している。ここでは館野遺跡の、どの型式が石刃鏃の時期に相当するものか検証したい。館野遺跡から出土する縄文時代早期の土器は、押型文の時期の日計式（I群a類A種）に相当するもの、貝殻・爪形文の施されるノグップⅠ式（I群a類B種）がありこれらは早期前葉、続いて貝殻・沈線文の施される中野A式・鳴川式（I群a類C種）や、貝殻文が主となる住吉町式・根崎式（I群a類D種）があり、早期中葉に属するものである。次の早期後葉の物としては、絡条体圧痕文と多重沈線文が施されるアルトリ式（I群a類E種）が出土している。出土量は何れも微量である。石刃鏃出土地点の周辺では縄文時代早期のアルトリ式が同じOラインのO22区、隣のPラインのP30区から出土していることから、道東部の土器編年の状況と照らし合わせて、館野遺跡にて石刃鏃と関連する土器型式は早期後葉のアルトリ式が妥当ではないかと推測される。

アルトリ式は噴火湾に面した豊浦町アルトリ遺跡を標識とする（竹田 1956）。標識資料は、豊浦町高岡1遺跡（北埋調報88）で再録され型式内様が明らかとなった（西田 1993）。近年函館市中野B遺跡でのアルトリ式期の集落遺跡の調査をはじめ、道西南部での出土事例が増加している。中野B遺跡のアルトリ式（I群E類）は、文様を構成する要素に集合沈線文・条痕文・微隆起線を主体とするものである。館野遺跡で出土したアルトリ式は、絡条体圧痕文と沈線文で施文され、内面調整の施文具の条痕が残るもので、文様要素として絡条体圧痕文が多用される点が中野B遺跡とは様相を隔てるものである。館野の例に類するものには、噴火湾沿岸部の八雲町栄浜2遺跡（八雲町教委 2004）にて、包含層から絡条体圧痕文で施文される文様帯をもつ土器群が出土している。他にも函館空港遺跡群中野A遺跡I群E類（北埋調報79・84）、中野B遺跡I群E類（北埋調報97・108・120・130）、函館市石倉貝塚C地点遺跡（函館市教委 1999）、北斗市（旧上磯町）茂別遺跡のI群（北埋調報121）等にて出土例がある。これらの絡条体圧痕文と集合沈線で施文される土器群の分布域は道西南部周辺である。

以上の土器群の特徴は、器形では口縁部は平縁や緩やかな波状をもつものがあり、文様は口縁部に沿って多段に絡条体圧痕文の横位施文を巡らせる点、文様構成に三角形（山形）を横位に帯状に巡らせる点が浦幌式に類似する。口縁部文様の下位に多重沈線を横位・横位・斜位に施し、胴部に格子目状に多重沈線が施される点は中野B遺跡のアルトリ式の系譜を引くようである。本州では下北半島のムシリ遺跡で小野忠正が採集した資料に含まれ、1961年青森県文化財保護協会から刊行された『東奥文化』「無土器文化と青森県」第20号にて、青森県下北郡東通村尻屋崎で採集された石刃鏃が写真で紹介されている。この資料は斎藤岳により再検討を加えられている（北海道考古学 第40輯）。

参考文献

- 1956 竹田輝雄「北海道虻田郡豊浦町アルトリ遺跡出土の遺物について」『上代文化』第26号 国学院大学考古学会
- 2004 斎藤岳「下北半島ムシリ遺跡採集の石刃鏃 - 小野忠正氏採集資料の再評価 -」『北海道考古学』第40輯
- 2004 北海道八雲町教育委員会「栄浜2・3遺跡」
- 2010 西田 茂「先史から有史時代へー縄文時代早期の千歳 石刃鏃文化ー」『新千歳市史通史（上巻）』千歳市教育委員会



図X-42 石刃・アルトリ式土器出土地点

8 館野遺跡の土偶と土偶土器片について

館野遺跡では縄文時代後期初頭に属すると考えられる土偶が3点出土している。図X-43の1がY37区から2がX37区、3がQ28区から出土し、これらは顔面や胴部下半、両肩部が欠損するが、元の形状は肩部が張り下方は窄まり、逆三角形形状を呈していると推測される。いずれも配石・盛土遺構や、盛土周辺の包含層からの出土である。ここでは出土例を集成し類似品との比較検討を行う。

道外では青森県の野場（5）遺跡（青森県教委 1993）の例（図X-45）、稲山遺跡（青森県教委 2004）の土偶（図X-45）に類する。野場（5）遺跡第106号住居跡出土の土偶は伴する土器から館野と同時期の土偶と考えられ、頭部と下半部が残り全体形を推測できる良好な資料といえる。文様も布の裂け目を糸で縫い合わせたような文様が全体的に描かれている。稲山遺跡の場合も同様である。

また、土偶の頭部と推測される破片の4はM15区で1点出土している。顔の半分が欠落するものの、道内では濁川左岸遺跡-A地区-（北埋調報208）で出土した土偶頭部片（図X-45）に類似することから、これも土偶と考えて間違いないであろう。

道外では青森県の稲山遺跡の2例（図X-45-5・6）に、風張（1）遺跡（八戸市教委 1991）の第223号土坑の例（図X-45-4）、蛭沢遺跡（青森県教委 1979）の第2号住居跡出土の例（図X-45-7）等に類似するものがあり、これらの事例から勘案して縄文時代後期初頭のものである可能性が高いと言える。

また土偶文様を持つ土器としては、人体文様を持つ土器片の5がW40区にて出土している。下半部のみの破片であるが、類例としては岩手県清水遺跡（岩手県埋文 2002）出土の人体文様付き土器（図X-45-8）があり、手や脚部の形状が類似するので全体形はこれに準ずるものであろう。

そして狩猟文土器と推測される土器片の6がP25区で出土している。青森県韭菜遺跡（青森県教委 1984）出土の狩猟文土器（図X-45-9）は、器形が深鉢形で、頭部から下位に動物とそれを狙う弓と矢とが隆起線形で表現されているものだが、狙われる動物文様の形状が館野遺跡のものと類似する。

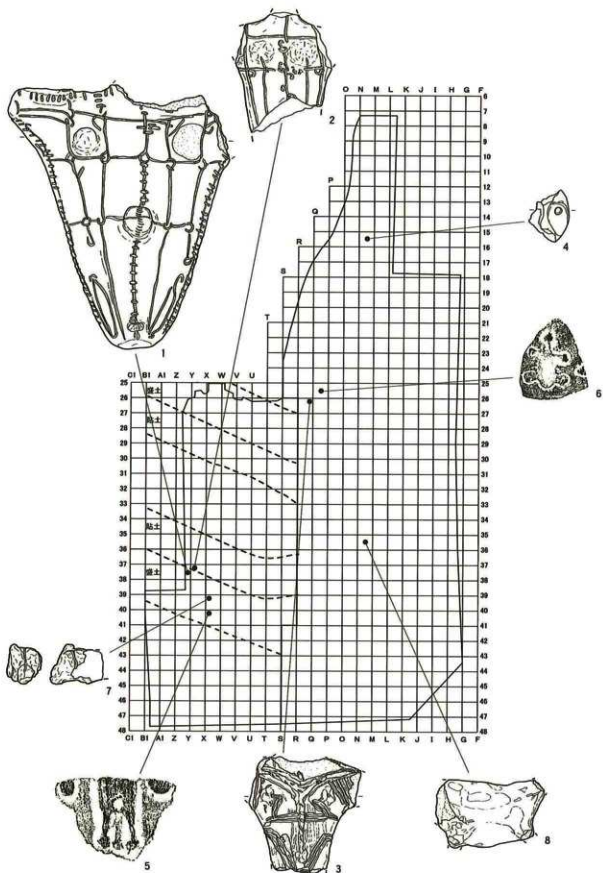
他にも動物を意匠とする土偶がある。8がM35区から出土している。8は頭部は欠損するが四脚を持ち、腹部が膨らむことから、動物を意図したものであろう。

獣面の破片の7が盛土付近のW39区から出土している。耳部が一部欠損し、胴部も持たないが、熊の頭部を意図したであろう。ヒグマかツキノワグマかの熊の種別は判断ができない。

これら人や獣を模した特殊な土製品や土器片が出土する傾向から、館野遺跡の配石・盛土遺構は当時の人にとって特別な場所だったのではないだろうか。

引用・参考文献

- 1979 『青森県蛭沢遺跡発掘調査報告書』青森県蛭沢遺跡発掘調査団
- 1984 『韭菜遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第84集 青森県教育委員会
- 1988 『田面木平遺跡（1）』八戸市埋蔵文化財調査報告書第20集 八戸市教育委員会
- 1993 『野場（5）遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第150集 青森県教育委員会
- 2002 『清水遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第382集 財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2004 『稲山遺跡 発掘調査報告書V』青森県埋蔵文化財調査報告書第72集 青森県教育委員会
- 2011 『「土面」の唇の孔』『北海道考古学会だより』第99号 西脇村名夫



図X-43 土偶・土偶文様を持つ土器

9 「双角状土製品」について

館野遺跡の平成16年度の調査においては、これまでに北海道では類例が知られていなかった縄文時代後期初頭の土製品が出土した。これについて類似例を紹介し、複製作成実験の概略を示しておく。

いずれも配石・盛土遺構の南・北盛土からの出土であり、周辺の遺物出土状況から後期初頭の時期に属するものである。この土製品は個体数にして6点確認された。(図X-44)

南盛土からはほぼ成形を保った5が1個体出土し、この土製品の全体像が判明した。その形状は頭部に二股の太い角が取り付けられ、更に小突起が付属するものである。

1の鹿角を模したと推測されるその形状から「双角状土製品」とした(調査年報 20)。1・2・4・5は脇部にヒレ状の飾りを持つ。

1～5にて底部に複数の孔がつけられる事から、紐を通して何かに固定し飾りとして使用されたと考えられる。また、赤彩の施された破片資料6が確認された。

(1) 類例について [図X-45]

類例の土製品は、岩手県の大船渡市長谷堂貝塚(岩手県埋文 2001)、一関市清水遺跡(岩手県埋文 2002)、花泉町下館銅屋遺跡(岩手県埋文 1999)でも出土している。これらは稲野裕介により「従来の土偶とは区別されるもの」として着目されているものである(稲野 2002)。清水遺跡では村上拓は「舌状土製品」として土偶と区別して取り扱っている。

長谷堂貝塚出土の10・11は側面からの横位に貫通孔がつけられる。11は双角を持ち、底部片側に突起が付属し、縦位の貫通孔がつけられる。清水遺跡出土の12は角をもたず「舌状」を呈する。13と14は双角を持ち、11と同じく底部片側に突起が付属する。下館銅屋遺跡では16と17は双角を持つ事が判る。17に底部側面の突起部があるほか、18は角部・突起部を持たず、角部が付属する場所に刺突痕が残る。

11・13・16は連続利突による文様を持ち、底部側面に突起を持つものに11・13・14・17があり、側面に貫通孔が横位につけられる10・11・14・15・16・17がある。これらは3つの特徴と、胴部にヒレ状の飾りを持たない点は館野の土製品と異なる部分である。

(2) 複製作成実験 [第6分冊 図版-218]

ここでは「双角状土製品」の模造品を作成したので、その実験の概略を解説する。○数字に作成の手順を、・に留意点を示す。

①片手に一握り程の粘土を用意し、水を含ませよく練りこみ、「双角状土製品」の成形に入った。

・粘土が柔らかすぎると成形が困難なので、造形しやすい状態のある程度の固さに入ってから、乾燥して表面にヒビの入らない固まるまでの短時間で一気に仕上げる必要があった。

(対処法) 最初に完成後のデザインとサイズを決めてとりかかる。

②まず粘土塊を棒状にして、中央の軸部となる平らな部分を作る。

・上の角の部分と、下の台座部分の粘土が巨大過ぎると中央部が上下両端の重さに耐えられず折れる場合があった。

・全高10cm近い大きなものを作成する場合は、個別に上・下や、上・中・下のパーツを、上記の工程を繰り返して作成する手間が必要だと考えられる。

(対処法) 大きなものを作ろうとすると折れてしまうので、結局3つのパーツに分けて作成する方法に変更した。

③台座となる底部を作る。

- ・ 柔らかい状態のままでの上部との接合は、上部の重さに耐えられず上げ底部分は押し潰されてしまう。
- ・ 最初から一体型として作る事は小型土製品では可能だが、大型のものでは乾燥時に重さに負けて潰れる。
- ・ 貫通孔を早いうちに刺突しておくことと接合の過程で、指で穴を塞いでしまう。
- ・ 乾燥してから刺突はヒビ割れの原因となる。

(対処法) 台座はある程度の重さに耐えられる充分な固さになるまで乾燥を待つか、上部の飾りを小さくして軽量化を図る必要があった。

④飾りの角状の部分を作る。

- ・ 先に本体から引き伸ばして角をつくると底部を作るときに角が壊れる可能性がある。
- ・ 角を2本別々に作り均等な配分をしても、接合時に本体との結合のための粘土引き伸ばし作業での分量の誤差が生まれ均等な双角を作ることは難しい。

(対処方法) 一体型ならば工程としては底部を作ってから角を作成する方が、角が損傷する可能性が少ない。合体方式なら巨大な角を作ることが可能。上・中部作成し、底部を接合することになるのだろう。今回は胴部と底部を接合してから角を取り付けたので、角は小さめのものとなった。

以上の工程を経て完成形となったが、立位の姿勢での乾燥の過程で、底部台座の強度が脆弱な状態だったので、あげ底は重さに負けて平底となり失敗作となった。2週間の乾燥後に電気釜入りをした。

今回の実験で判った事は、双角部分の突起は工程途中段階で後付けの接合のために、他の部分に比べて強度が不足するのであろう。この事象により、遺跡内で完形で出土するものが極めて少ないと考えられる。また、あげ底を維持する項目は作成に際し困難な事で、その段階を越えて「あげ底」に拘る点、使用の用途上欠かせない機能があると推測される。

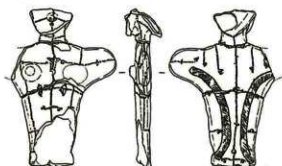
双角を持たない土製品は岩手県清水遺跡、花泉町下館銅屋遺跡にあり舌状土製品と名付けられている事を、岩手県埋蔵文化財センターの村上拓・北村忠昭両氏の御教示により知った。

今後、縄文時代後期初頭の遺跡では、土偶の脚は縄文時代後期初頭の一時期には稀で、後期前半の途中から付属するようなので、双角状土製品の底部片ではないか「あげ底」に留意して分類選別する必要があるだろう。

引用・参考文献

- 1999 「下館銅屋遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告第297集
財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2001 「長谷堂貝塚発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告第367集
財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2002 「清水遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第382集
財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 2002 稲野裕介「岩手県 2000年度 土偶情報」『ストーンサークル』第5号 青森道跡踏査会
- 2006 「北斗市 館野遺跡」調査年報 20 平成19年度 財) 北海道埋蔵文化財センター

土偶



野場(5)遺跡

1



稲山遺跡

2

おどろがた
顔形



溝川左岸遺跡

風張(1)遺跡

3



稲山遺跡

5

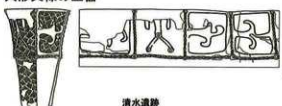
6



堂沢遺跡

7

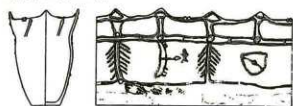
ひとがた
人形文様の土器



清水遺跡

8

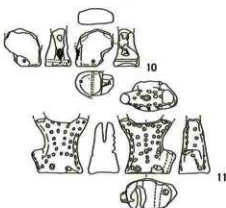
動物形文様の土器



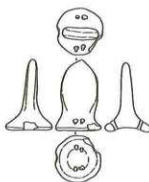
蓮座遺跡

9

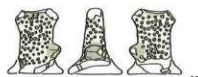
双角状土製品の類似品



長谷堂貝塚



12



13

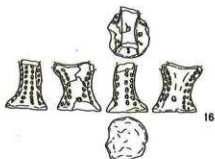


15

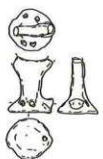


14

清水遺跡



16



17



18

下館銅屋遺跡

(縮尺不同)

図X-45 類似品の集成図

10 石器のまとめ

平成16年に調査した館野遺跡出土の石器等のまとめとして、最初に器種別割合と剥片石器等の細分類について述べる。次に配石遺構、盛土遺構などに関連する板状石製品について形態別の分類を行ったので、その結果について報告する。

(1) 石器について

館野遺跡から出土した石器等の遺構別、器種別の点数は表X-7のとおりである。石器等の合計点数は58,801点、このうち遺構から37,122点(63.1%)、包含層から21,679点(36.9%)出土した。遺構と包含層の割合はおおよそ6:4である。遺構別の点数では上位から南盛土、北盛土、貼土・整地の順に多く、合わせて24,824点出土しており遺構全体の66.9%を占める。次に出土点数が多いのは土坑、住居跡、石囲炉、焼土の順である。

全体を器種別に見てみると最も多いのはフレイク26,254点(44.6%)、次いで礫21,726点(36.9%)、U・Rフレイク5,147点(8.8%)、石製品ほか1,316点(2.2%)である。定型的な石器は2,558点(4.4%)出土した。その内訳は剥片石器952点(37.2%)、石斧175点(6.8%)、礫石器1,431点(55.9%)である。剥片石器のなかではスクレイパー、石鏃が多い。礫石器では台石・石皿が多く、次いでたたき石、すり石、砥石の順である。台石・石皿や砥石は破片が多いために点数が多くなっているものと思われる。

2年間調査した館野遺跡の整理作業において、石器の分類は分類記号を用いずに器種別の点数のみを集計してきた。2年目についても当初は1年目と同様に整理を進めてきたが、器種ごとの細分をすることによって得られる情報が重要と考えて剥片石器、石斧のみではあるが石器の細分類作業を行った。石器の分類記号を用いた細分はⅢ章「遺物の分類」(2)石器の分類に記載したとおりである。この分類にしたがって剥片石器と石斧の細分類および遺物観察などの作業をおこなった(表X-8)。

以下、器種ごとに特徴的な事柄について報告する。

石鏃は223点を対象とした。ⅠA5(有茎)が最も多く169点(75.8%)、次いでⅠA8(未成品)の24点(9.3%)、ⅠA4(菱形を含む木葉形)の20点(8.3%)である。ⅠA3(無茎)は7点しか出土していない。石槍は4点を対象としたが、完形のものはわずか1点のみである。石材は黒曜石のものが3点ある。石鏃は36点を対象とした。このうち大半は剥片の一部に刺突部を作出したⅡA1である(33点)。つまみ付きナイフは33点を対象とした。最も多いのは片面周縁加工のⅢA3である(18点)。

スクレイパーは554点を対象とした。縦長剥片を素材としたⅢB2が最も多く362点(65.3%)である。ⅢB2の中では刃部が直線的なものの172点、外湾するもの142点、内湾するもの48点の順である。次に多いのは横長剥片のⅢB3が59点(10.6%)である。ⅢB3の中では刃部が外湾するもの、直線的なものの、内湾するものの順に多い。ⅢB3の次には先端があるⅢB6が37点、寛状石器のⅢB1が33点と続いている。

両面調整石器は35点を対象にした。このうち木葉形のⅣA2が16点と多い。

石斧は148点を対象とした。破片のⅤA9が最も多く71点、次に全面磨製のⅤA4が57点である。

(2) 板状石製品について

平成16年の調査では縄文時代後期前葉の配石遺構と盛土遺構が検出された。この遺構に関連する遺物として扁平な凝灰岩を素材として、打ち欠きなどの加工により製作された板状の石製品が約1,100点以上出土した。この遺物は平成15年の調査でも出土しているが、今回は大量に出土したことからこの遺物の形態、出土層位、出土分布などについて報告する。

平成16年館野遺跡の調査で出土した板状石製品1,141点について、遺構・包含層の層位別、形態別に分類した(表X-9)。

形態について 形態はa類からe類の5種類に分け、破片をf類とした。a類は円形、楕円形、長円形である。b類は四角形(方形、長方形)、c類は三角形(正三角形、二等辺三角形)、d類は台形、e類はその他(五角形、六角形、不定形など)とした。

5種類に分けた形態分類の中で最も多いのは、四角形392点である(34.4%)。次いで円形322点(28.2%)、台形146点(12.8%)、三角形100点(8.8%)、その他105点(9.2%)、破片76点(6.7%)である。破片は全体の約7%とその割合は小さい。

大きさについて 報告書に掲載した板状石製品の平均値は長さ4.6cm、幅4.0cm、厚さ1.0cm、重量26.7gである(表X-10)。これが最も平均的な大きさと思われるが、全体では最小が $2.1 \times 2.7 \times 0.8$ cm、重量は1.6gである。一方最大は $18.2 \times 20.9 \times 1.5$ cm、重量610gである。ちなみに重量100g以上のものは23点ある。

出土点数について 包含層から287点、粘土・整地から111点、北盛土から191点、南盛土から386点、その他49点である。包含層ではⅢ層から多く出土しているが、圧倒的に多いのは南北の盛土遺構からである。遺構から出土した点数は113点である。表には記載していないが、遺構別の点数と遺構数を見てみると次のとおりである。堅穴式住居跡22点(8軒)、土坑61点(26基、このうち1基を除いてすべてフラスコ状ピット)、焼土10点(8カ所)、小柱穴状ピット15点(12基)などである。ひとつの遺構での多い出土例では、フラスコ状ピットの覆土から7点である(P-163)。出土層位は大半が覆土であるが、フラスコ状ピットの底面から5点まとまって出土している例もある(P-54)。

この遺物は平成15年調査の際にも出土しており、報告書に掲載した点数だけでも100点ある(包含層19点、遺構81点)。遺構別の点数では、堅穴住居跡30点、土坑23点、焼土6点、小柱穴状ピット4点、遺物集中12点などである。ひとつの遺構から多いものでは10点程度出土している。

石材について 圧倒的に多いのは白っぽい凝灰岩である、この他に花崗岩、砂岩、頁岩などがあるが、点数は少ない。

分布について 北盛土、南盛土、粘土、整地、包含層(Ⅲ層、I層ほか)のグリッド別分布図を掲載した(図X-46・47)。盛土は盛土直上の層、盛土層とその間層に分けた。南北の盛土遺構で出土点数が多いのは盛土そのものの層である。南盛土のSM1、2、3、4層では1グリッドから20点以上出土しているグリッドがある。これは盛土の層厚に比例していると思われる。盛土の間層でも多く出土している。包含層のⅢ層では10点以上出土しているグリッドが3カ所あり、このうちの2カ所(X40・41区)ではSM層集中域のすぐ南側に位置する。

類例について 茂別遺跡では三角形石器(133点)、円形礫石器(76点)などと呼称しており、合わせて209点出土している。

遺構出土について 報告書に掲載した板状石製品のうち1カ所の遺構から2点以上出土した遺物と一覽表を掲載した(図X-48、表X-10)。遺構は堅穴式住居跡4軒、土坑11基(すべてフラスコ状ピット)である。

出土層位はほとんど覆土であるが、P-54の1例のみ底面から5点出土している(内、掲載したものは3点)。その他は覆土の上位から下位までいろいろである。出土点数が最も多いのはP-163の7点である。遺構ごとにその形態に注目してみると土坑底面から出土したP-54ではa類2点とd類1点である。このことから必ずしも同形態のものを製作することはないようである。ただし遺構ごとに見ると似たような形態のものを作るとも言える。例えば、H-33のd類(図X-48-1・3)、P-61のd類(図X-48-23・24)、P-120のa類(図X-48-38・39)などの例である。(佐川)

表X-7 石器等点数一覧表

器種名	NM	SM	NSS SSS CSS	粘土 埴土	H	P	Fs	F	その他 遺構	通構 小計 (a)	包含 小計 (b)	合 計 (a)+(b)
石 鏃	47	56		33	11	12	2	1	2	164	82	246
石 槍					0					0	5	5
石 鏃	12	5		1	2	5				25	14	39
つまみ付きナイフ	9	6		1		1				17	16	33
両面調整石器	8	5		13	2	2				30	9	39
圓形石器	1									1		1
スラレイバー	167	96		35	48	32	1	4	29	412	177	589
U・Rフレイク	1,162	1,311		399	94	206	7	27	194	3,400	1,747	5,147
フレイク	5,081	6,676	11	2,728	629	1,186	80	68	709	17,168	9,086	26,254
石 核	79	88	2	52	10	27	2	1	14	275	144	419
石 斧	26	37		19	5	17	3		9	116	59	175
石 棒	2	1	1	2	1					7	1	8
石 刀	2	4				1				7	1	8
石		3								3		3
たたき石	24	40	10	24	12	35	1	2	9	157	51	208
すり石	50	23	4	16	20	13			1	7	134	168
砥 石	19	63		4	1	28	1		4	120	35	155
台石・皿	112	154	36	118	37	140	104	3	22	716	178	894
石 磨		1				1				2		2
石 焼	1	1			1					3	1	4
R 鏃	56	115	5	56	30	77	1	1	13	354	176	530
礫・砂利	1,568	1,447	1,109	1,571	392	1,922	399	156	3,967	12,521	9,205	21,726
原 石	93	182	1	133	10	86	2	7	36	550	282	832
石製品ほか	216	442		128	27	79	3	9	36	940	376	1,316
合 計	8,735	10,756	1,169	5,233	1,332	3,870	606	280	5,041	37,122	21,679	58,801

表X-8 剥片石器等分類別点数一覧表

器種名 (点数)	分類 記号	NM	SM	粘土 ・ 埴土	H	P	F	SP	通構 小計 (a)	I	II	III	IV	V	攪乱地	包含 小計 (b)	合計 (a)+(b)
石 鏃 (223点)	IA 3	1	1				1		3				2	1		1	4
	IA 4	5	1	2	1				9	1			6	1		3	11
	IA 5	35	41	23	8	11	1		119	10		34	2		4	50	169
	IA 8	1	4	8					13	2		9				11	24
	IA 9		2						2			1				1	3
石 槍 (4点)	IB 1											1				1	1
	IB 8					1			1							1	1
	IB 9	1							1			1				1	2
石 鏃 (36点)	II A 1	11	4	1	3	4			23	2		7	1			10	35
	II A 2									1						1	1
	II A 9	1							1			1				1	2
つまみ付き ナイフ (35点)	III A 1								1							1	1
	III A 3	6	3	1					10			7			1	8	18
	III A 5											5				5	5
	III A 8	2	2						4			1				1	5
	III A 9		2						2							2	2
スラレイバー (554点)	III A	1				1			2								2
	III B 1	3	10	3	1	1		1	19	5		7			2	14	33
	III B 2a	46	19	7	22	6	1	3	104	3		23	2		10	38	142
	III B 2b	53	30	14	9	10	1		117	12		26	4	1	12	55	172
	III B 2c	16	7	1	2	1			27	3		11			7	21	48
	III B 3a	12	5	3	1	2			23	2	1	9	1		4	17	40
	III B 3b	7	2	1					10	1		1	1		3	13	3
	III B 3c	4							4						1	2	6
	III B 5	2	4	1					7			1				1	8
	III B 6	6	9	1	4	1			21	3		10	1		2	16	37
	III B 7	1	1						2	1		1				1	3
	III B 8	1	1						2	2		2				4	6
	III B 9	10	6	4		1			21	6		14	2		1	23	44
両面調 整石器 (35点)	IV A 1		1		1				2								2
	IV A 2	6	2	2	1				11	1		3			1	5	16
	IV A 8			8					8							1	9
	IV A 9	2	1	1		1			5			3				1	8
	VA 1		1	2					3					1		1	4
石 斧 (148点)	VA 3	1	1	1					3	1						1	4
	VA 4	12	11	7	2	4		1	37	1	1	9	1		8	20	57
	VA 5	1	1						2							1	2
	VA 8	4		4				1	9			1				1	10
	VA 9	7	22	6	1				36	7		18	2		8	35	71
合 計			258	195	101	56	45	3	6	564	64	2	215	20	1	67	360

表X-9 板状石製品の形態別点数一覧表

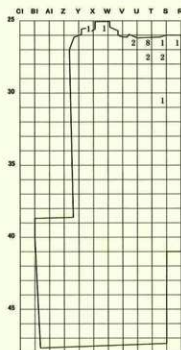
包含層・遺構	層 位	形態別分類*1						合計	備 考
		a類	b類	c類	d類	e類	f類		
遺 構		28	30	12	18	20	4	112	*2, 3
NM	ⅢNMA	3	6	3	4	1	2	19	
	NM	4	6	3	2	1	2	18	
	NM1	3	2			1	1	7	
	NM2	7	12	3		1		23	
	NM3	6	6	3	1	3	3	22	
	NM3・4	2	4	3	1		2	12	
	NM4	14	16	5	5	4	4	48	
	NM4・5	2	2		1			5	
	NM5	8	8	3	3	4	1	27	
	ⅢNMB		2		3			5	*2
SM	ⅢNMC		1	1	2	1		5	*2
	ⅢSMA	6	9	2	4	1		22	
	SM	12	8	2	6	3	1	32	
	SM1	7	6	4	4	2	3	26	
	SM1・2	2	7		2	2	2	15	
	SM2	19	47	7	10	6	3	92	
	SM2・3	15	18	4	12	2	3	54	
	SM3	16	21	7	7	7	4	62	
	SM3・4	10	15	1	4	1		31	
	SM4	8	14	3	5	5	7	42	
	SM4・ⅢB		3		3			6	
	ⅢSMB	1	1		1			3	*2
	ⅢSMC		1		1			2	*2
粘土・整地	粘土	36	31	8	11	8	9	103	
	整地	2	2		1	1	2	8	
包含層	I	16	8	4	2	6	7	43	
	II	2	1					3	*2
	III	67	80	19	20	21	12	219	内、グリッド不明3点
	IV	7	7	2	6	4		26	*2
その他	攪乱、風倒木痕など	19	18	1	7		4	49	内、グリッド判明分30点
合 計		322	392	100	146	105	76	1,141	
割 合(%)		28.2	34.4	8.8	12.8	9.2	6.7		

*1 a:円形 b:四角形 c:三角形 d:台形 e:その他 f:破片

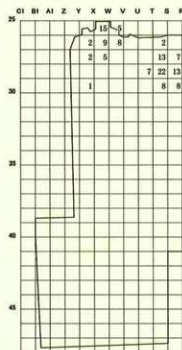
*2 分布図省略

*3 竪穴式住居跡、土坑など

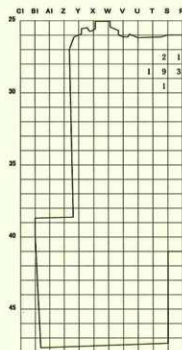
ⅢNMA(19点)



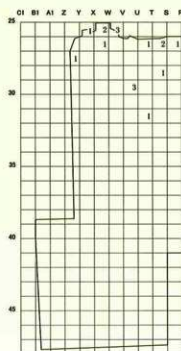
NM1、2、3、4、5(127点)



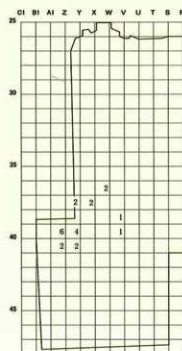
NM3・4、4・5(17点)



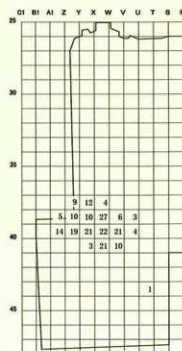
NM(18点)



ⅢSMA(22点)

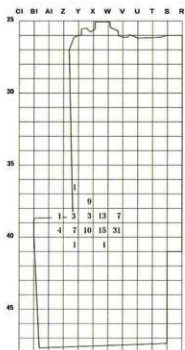


SM1、2、3、4(222点)

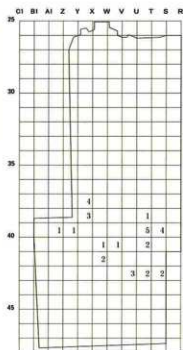


図X-46 板状石製品のグリッド別分布 (1)

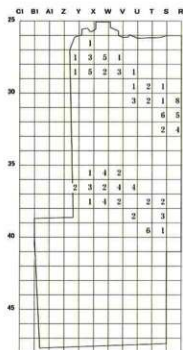
SM1・2、2・3、3・4、Ⅳ・ⅢB(106点)



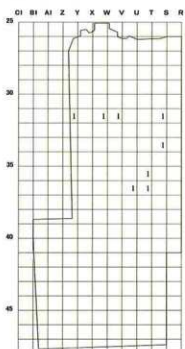
SM(32点)



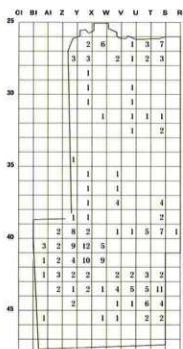
貼土(103点)



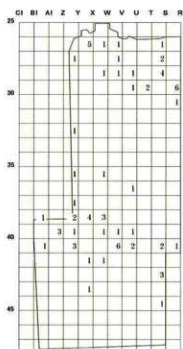
整地(8点)



Ⅲ層(216点)

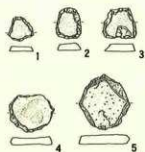


I層他(73点)

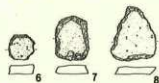


図X-47 板状石製品のグリッド別分布(2)

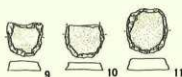
H-33



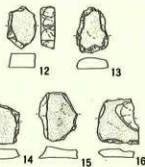
H-36



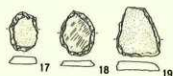
H-37



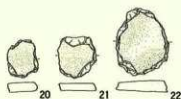
H-43



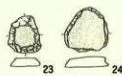
P-54



P-60



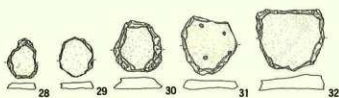
P-61



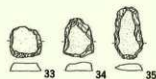
P-67



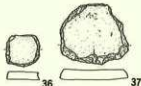
P-74



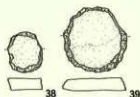
P-105



P-113



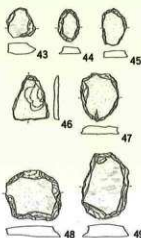
P-120



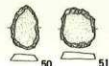
P-134



P-163



P-181



0 10cm

図X-48 遺構出土の板状石製品

表X-10 遺構出土の板状石製品一覧表

図番号	番号	遺構名	遺物 番号	層位	分類	形態	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
X-48	1	H-33	161	覆土	d	台形	凝灰岩	2.6	2.7	0.5	3.9
	2	H-33	155	覆土中	b	長方形	凝灰岩	3.2	2.7	0.8	7.7
	3	H-33	159	覆土下	d	台形	花崗岩	3.2	3.6	0.8	13.8
	4	H-33	151	覆土下	e	五角形	砂岩	4.0	4.7	0.8	20.6
	5	H-33	162	覆土下	e	五角形	頁岩	5.8	5.5	1.0	36.5
	6	H-36	36	覆土上	b	四角形	花崗岩	2.7	2.8	0.9	10.1
	7	H-36	15	覆土上	b	長方形	砂岩	4.7	3.4	0.9	21.4
	8	H-36	21	覆土上	c	三角形	花崗岩	5.7	4.8	0.9	26.9
	9	H-37	77	覆土下	b	四角形	花崗岩	3.5	3.8	1.0	18.4
	10	H-37	74	覆土中	b	四角形	花崗岩	(3.5)	4.1	0.7	(16.16)
	11	H-37	78	覆土	b	四角形	花崗岩	4.7	4.4	1.2	38.7
	12	H-43	2	覆土	e	六角形	凝灰岩	4.5	3.1	1.5	28.8
	13	H-43	3	覆土	a	楕円形	凝灰岩	4.8	3.3	0.7	23.8
	14	H-43	12	覆土	b	四角形	砂岩	4.4	4.2	1.1	34.6
	15	H-43	21	覆土	e	不定形	凝灰岩	5.2	4.1	1.2	28.4
	16	H-43	15	覆土	d	台形	凝灰岩	4.8	4.4	1.3	24.8
	17	P-54	89	坑底面	a	楕円形	凝灰岩	4.2	3.0	0.8	13.6
	18	P-54	90	坑底面	a	楕円形	凝灰岩	4.7	3.7	0.7	13.7
	19	P-54	91	坑底面	d	台形	凝灰岩	5.2	4.7	1.0	29.4
	20	P-60	8	覆土5	b	四角形	凝灰岩	4.0	3.2	1.0	17.4
	21	P-60	22	覆土4	b	四角形	凝灰岩	4.4	4.1	0.8	16.5
	22	P-60	7	覆土5	a	楕円形	凝灰岩	7.1	5.6	1.2	59.2
	23	P-61	19	覆土中	d	台形	凝灰岩	3.9	3.5	0.9	15.2
	24	P-61	30	覆土中	d	台形	凝灰岩	4.7	4.5	1.1	33.2
	25	P-67	21	覆土上	b	長方形	頁岩	3.3	2.3	0.6	5.0
	26	P-67	23	覆土下	f	長方形	凝灰岩	(3.4)	(2.6)	(0.8)	(8.57)
	27	P-67	4	覆土中	c	三角形	凝灰岩	4.9	4.7	1.2	32.5
	28	P-74	26	覆土上	a	楕円形	凝灰岩	4.3	3.3	0.7	10.6
	29	P-74	27	覆土上	a	楕円形	流紋岩	4.2	3.5	0.7	12.9
	30	P-74	29	覆土上	a	楕円形	凝灰岩	5.5	5.2	1.2	42.3
	31	P-74	28	覆土上	d	台形	凝灰岩	6.3	5.85	1.0	37.7
	32	P-74	30	覆土上	d	台形	凝灰岩	6.5	7.2	1.6	99.1
	33	P-105	18	覆土	b	四角形	凝灰岩	3.3	3.4	0.8	13.7
	34	P-105	9	—	b	長方形	凝灰岩	4.2	3.2	0.9	14.7
	35	P-105	17	覆土	a	楕円形	凝灰岩	5.5	3.0	1.2	13.1
	36	P-113	4	覆土下	b	四角形	花崗岩	3.4	3.6	0.8	16.1
	37	P-113	11	覆土下	e	五角形	花崗岩	6.5	7.3	1.3	78.8
	38	P-120	9	覆土中	a	楕円形	花崗岩	4.3	3.8	1.2	29.8
	39	P-120	14	覆土中	a	円形	砂岩	7.0	6.7	1.3	101.0
	40	P-134	3	覆土中	b	四角形	泥岩	3.4	3.1	0.7	7.7
	41	P-134	9	覆土上	b	四角形	花崗岩	5.4	4.8	1.3	43.1
	42	P-134	8	覆土上	c	三角形	花崗岩	6.0	5.3	1.3	40.6
	43	P-163	14	覆土	d	台形	凝灰岩	3.2	3.1	1.2	11.6
	44	P-163	6	—	a	楕円形	凝灰岩	3.4	2.3	0.8	6.3
	45	P-163	21	覆土	a	楕円形	凝灰岩	3.9	2.5	0.7	8.3
	46	P-163	16	覆土	d	台形	頁岩	4.8	3.8	0.5	11.0
	47	P-163	7	—	d	台形	粘板岩	5.2	4.0	0.8	23.5
	48	P-163	23	覆土	b	長方形	凝灰岩	5.2	5.9	1.1	53.4
	49	P-163	13	覆土	b	長方形	頁岩	7.1	4.9	1.4	67.8
	50	P-181	29	覆土上	a	楕円形	凝灰岩	4.6	3.0	0.7	11.2
	51	P-181	4	覆土上	b	四角形	花崗岩	4.2	3.7	0.7	15.3
		P-186	99	埴土	b	四角形	凝灰岩	3.2	2.9	0.7	9.3
		P-186	56	—	e	五角形	凝灰岩	3.6	3.4	0.5	7.7
		平均						4.6	4.0	1.0	26.7

11 館野遺跡の自然科学的分析・鑑定結果について

平成16年に調査した北斗市（旧上磯町）館野遺跡では放射性炭素年代測定、古環境復元のための花粉分析ほか、黒曜石製遺物の産地推定、動植物遺存体同定の4項目について分析・同定を依頼した。以下、分析ごとにその結果の概要とそれに対するコメントを加える。

（1）放射性炭素年代測定

館野遺跡では遺構年代の参考とするために15件の試料についてAMS法による放射性炭素年代測定を依頼した。試料の内訳は北盛土4件、南盛土3件、粘土下1件、竪穴式住居跡2件、土坑5件である。以下、年代測定結果について遺構ごとに検討を加える。なお、記載した測定年代はいずれも同位体分別効果の補正をおこなった14C年代である。

北盛土の試料はいずれもNM中位（上面・上部）で採取したものである。測定年代は $3635 \pm 25 \sim 3730 \pm 30$ yrBPと年代幅のある結果となった。ただし、4件のうちS28d区で採取した2件については、 3710 ± 30 、 3730 ± 30 yrBPと近似した値が出ている。南盛土の3件は盛土の上位からSM2・3層、SM3層、SM4層の各試料である。測定結果は $3715 \pm 30 \sim 3765 \pm 25$ yrBPとなった。測定誤差を考慮すると $3685 \sim 3790$ yrBPとなり、50～100年の年代幅である。南盛土では上位から下位に向かって20～30年間隔で古くなっている。

南盛土の下位から検出した竪穴式住居跡2軒（H-45、46）の測定結果は、 3660 ± 25 yrBP（H-45）跡に隣接する小ピットの覆土、 3725 ± 25 yrBP（H-46）跡である。この2軒の住居跡は南盛土の下から検出されているが、年代測定の結果は南盛土の年代よりも新しく調査の所見とは異なり、H-45はSM2・3層の形成後、H-46はSM2・3層形成中の年代となった。この理由についてはわからない。

土坑の試料は粘土範囲から検出したフラスコ状ピット4基（P-74・105・120・163）から採取した5件である。4基のうちP-163は覆土および底面付近の試料、他の3基はいずれも底面の試料である。測定結果は $3615 \pm 25 \sim 3770 \pm 30$ yrBPとなり、その年代幅は約150年である。4基のうちP-120のみ新しい年代（ 3615 ± 25 yrBP）が出ているが、他の3基は $3730 \sim 3770$ yrBPと近似値の結果である。盛土遺構の年代と比較すると、フラスコ状ピットは盛土の形成開始から終了まで構築されていたことになる。また、平成15年に調査した館野遺跡のフラスコ状ピット2基の年代測定結果についてもP-20（ 3660 ± 40 yrBP）、P-24（ 3770 ± 40 yrBP）と盛土形成中の年代と重なる。

（2）古環境復元について

古環境復元のための分析は、包含層、盛土遺構、中央広場など計8地点から土層の連続した試料を採取してその中から花粉化石、植物珪酸体、微細植物片の試料を選択して分析をおこなった。

花粉分析の結果は花粉化石がほとんど検出されず、好気的環境のために堆積時に取り込まれた花粉・シダ類胞子が分解・消失したと推測された。

植物珪酸体分析の結果では、クマザサ属が高率で検出されたことから遺跡周辺で森林が伐採され、ササ類が先駆的に進入して草地を作ったと推測された。また盛土、整地、粘土等の植物珪酸体の産状が基本土層のものと同様であることから、周辺の土壌を用いてこれらを構築したことが証明された。

微細植物片の分析では、オニグルミの可能性のある炭化種実が少量検出されている。植物遺存体の同定結果でも盛土遺構から多量のオニグルミが検出されており、このことと合致する。

(3) 黒曜石の産地推定

平成16年の館野遺跡の調査では、石鏃、フレイク・チップなど黒曜石製遺物が100点以上出土した。このうち石鏃などの石器11点を報告書に掲載し、これとは別に25点について黒曜石の産地推定の分析を依頼した。その結果、赤井川21点、白滝3点、十勝三股1点ということである。

これまで当センターが調査した北海道南部の遺跡（長万部町、八雲町、旧上磯町）の黒曜石製遺物の産地推定の分析結果について館野遺跡と時期的に近い3遺跡の産地推定結果について記述する。

長万部町花岡3遺跡では41点の試料が分析された。この内、縄文時代中期とされる試料34点の分析結果は、赤井川32点、豊泉2点である。

八雲町山崎4遺跡では78点の試料が分析された。遺跡の主な時期は縄文時代中期前半であるが、分析の結果、赤井川50点、豊泉19点、置戸1点、十勝三股1点、不明7点である。

旧上磯町茂別遺跡は7年間にわたり継続調査され、この内三次にわたり118点の産地分析が行われた。遺跡の時期は縄文時代中期から続縄文時代までと幅がある。分析の結果、上位から赤井川77点、白滝26点、十勝三股7点などである。以上3遺跡の結果によれば、赤井川産が6割以上を占め、次いで距離的に近い豊浦町豊泉、他に白滝、置戸、十勝が少数という割合である。館野遺跡についてもこれらとほぼ似たような結果となった。

(4) 動植物遺存体の同定

館野遺跡の各遺構から採取した土壌の水洗選別およびフローテーション法によって得られた動植物遺存体が同定された。

種実遺体の同定結果では未炭化のものを除くとオニグルミ、クリ、ブナ科、キハダの木本4分類である。なかでも最も多いのはオニグルミの破片で、南北の盛土遺構から多く検出されている。その他には、クリ子葉、クリ果実片、クリと思われるブナ科の果実片などである。クリ子葉はオニグルミの核の破片と同様に盛土遺構から出土している。クリ果実の破片やクリと思われるブナ科の果実片は石囲炉から検出されている。これらは遺跡周辺の森より食料として持ち込まれたとの事である。

動物骨の同定結果については、巻貝類1種、軟骨魚綱6種、硬骨魚綱20種が検出された。全体の傾向としては、魚類が多くこれに鳥類、獣類が伴う組成とのことである。魚類のなかではサケ属が最も多く、サメ・エイ類とマイワシ、ニシンを含むニシン科が次いで多く検出されている。一つの資料から複数種検出されたものは少ないが、そのような例としては北盛土のNM上位・中位（資料Na169・170）、北盛土のフラスコ状ビットP-196-F3（資料Na120）、P-137（資料Na112・113）などがある。ヒグマ、シカ、海獣類なども検出されているが、これらの資料は盛土遺構の調査中に肉眼観察により回収されたものである。またサメの歯などは祭祀などに関連したものと考えられるが、ホホジロザメ、ツノザメなどの歯が石囲炉などから各1～2点検出されている（Fs-24・27・28・30）。同定者によれば魚類は大型から小型のものまで検出されていることから、その漁法についても釣漁、鉤漁、網漁など各種の漁法が推測されているが、網漁については2年次にわたる館野遺跡の調査結果から石鍾の出土がほとんどないことから疑問である。

（佐川）

12 館野遺跡の活断層について

調査区を東西方向に縦断する断層のズレは、函館平野西縁断層帯の南部に分布する富川断層の背後に形成された「逆向き低断層崖」のひとつである。

函館平野西縁断層帯については平成8～10年にかけて活断層調査が実施され「函館平野西縁断層帯活断層図とその解説」に報告されている(北海道 1999)。この調査を受けて、国立の地震調査研究推進本部により「起震断層」として評価を受け扱われている。今回調査区内で発見された断層については北海道立地質研究所により現地調査が行われ、富川断層の露頭について報告された(北埋調報 237)。

遺跡内の地表面観察で、断層が確認できる層位は地山を形成するV層(ローム層)の上面である(図X-49)。調査区内のR25地点を起点にS27区を経由し北崖に沿って南下。R29区付近から東南方向にG39区まで断層が伸びている事が判る。

その段層のズレの地表面高低差は、東南側のG39付近では、南面56.3m北面56.9mの0.6m差、中央M34区付近では南面56.9m北面57.9mの1m差、北西側のR26区付近では西面57.9m東面58.6mの0.7m差がある。

15年度の調査(図X-50)では、活断層の露頭と判明する以前に、この地表面の段差の性格を抑えるためK34区付近(アライン)、K36区付近(イライン)、J37区付近(ウライン)で土層確認のためのトレンチ調査を行った。

図X-51で土層断面を示す。ここで重要となるのは、土層注記の5と7として示すものである。縄文時代早期9,000～6,000年前の土層で、化石化する直前の漸移層と呼ばれる土層である。調査区内ではV層(ローム層)の橙色に対して、褐色の色合いを持つ。

アラインではア'付近でV層の立ち上がり、即ち断層のズレが確認できる。ア'部分57.4mの高さでV層中に7が50cm程食い込んでいることが判る。

イラインではイ'付近で断層のズレが確認され、ここでも7層が50cm近く6として示したV層中に食い込み、6の上層に更に6層が堆積して、その上に新たな漸移層となる5層が堆積することが確認される。

ウラインではウから1mウ'側の部分で30cm程の7層が6層中に食い込む。更に上層に5層が堆積することが判る。

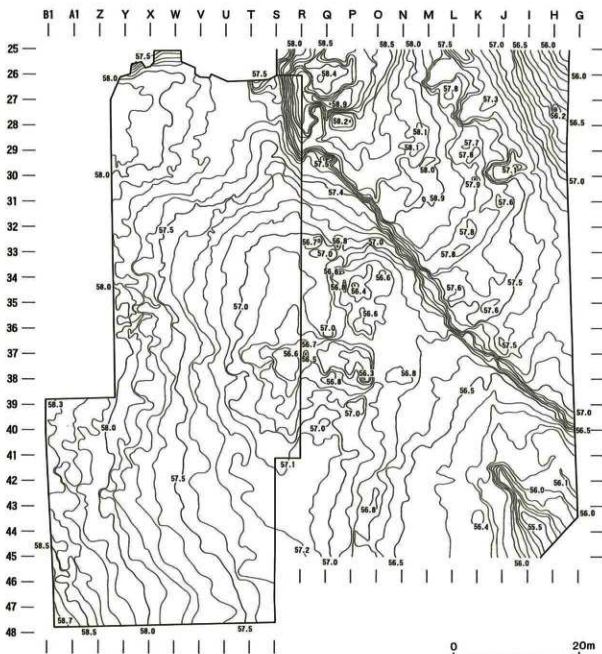
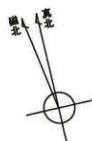
これら3例の土層に共通することは7層として示した層がV層にバックされる点で、この土層の観察例から考えられる事は、縄文時代早期のある時期に土層が変化するほどの断層の活動があり、そこから再び5層が堆積する時間が経過している事である。

「函館平野西縁断層帯活断層図とその解説」(北海道 1999)によれば、函館平野西縁断層帯は大野平野西縁の亀田郡七飯町峠下から、大野町を経由して旧上磯郡上磯町富川まで、南北に約24kmに連なる活断層帯として認識され、この断層帯は渡島大野断層と富川断層というふたつの逆断層からなり、富川断層は葛登支岬沖の函館湾まで延びると推測されている。

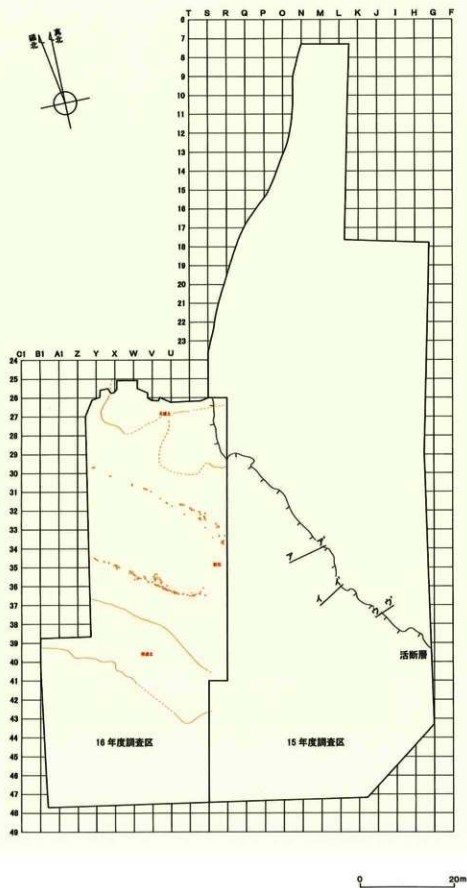
渡島大野断層が最近活動した時期は8,800～7,800年前とされ、活動の間隔は7,000年～9,000年と推定されている。これは渡島大野断層でのデータだが、館野遺跡の調査からも7層の形成時期は9,000～7,000年頃であろうと推測されるので、両断層は連動して活動していたものと考えられる。

参考文献

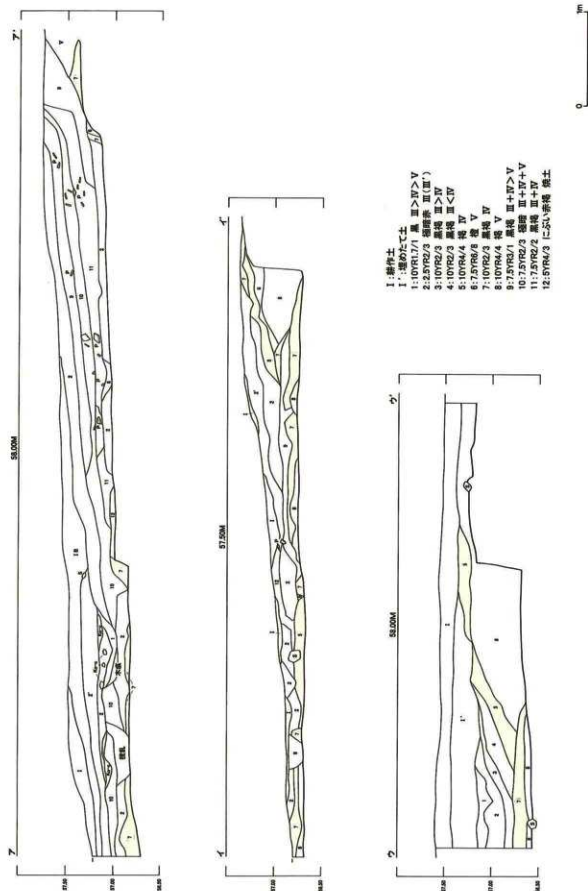
- 1999 「函館平野西縁断層帯活断層図とその解説」『北海道活断層図No.2』北海道立地下資源調査所
 2007 「函館江差自動車道(富川IC～茂辺地)の活断層露頭」『北斗市 館野遺跡』北海道立地質研究所 田近淳・天津直 北埋調報 237



図X-49 V層最終面の地形図



図X-50 活断層の位置



図X-51 活断層付近の土層

XI章 一覧表など

表Ⅸ-1 遺構規模一覧表 (H)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの高さ(m)	方位	平面の形状	石囲炉	所属時期
				長さ	短径	長さ	短径					
Ⅶ-3・4	H-33	Q・R38-39	盛土下層	(4.54)	(4.54)	(4.38)	(4.40)	0.34	N-49°-W	隅丸方形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-5・6	H-36	S・T44	Ⅳ層上面	5.32	3.76	5.10	3.36	0.23	N-81°-W	楕円形	○	Ⅳa-2B
Ⅶ-7	H-37	Q・R39-40	Ⅳ層上面	4.06	3.46	3.86	3.25	0.27	N-42°-E	不整形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-8・9	H-38	A1-42-43	Ⅳ層上面	4.00	(2.94)	3.76	(2.94)	0.22	N-10°-E	不整形		Ⅳa-2A
Ⅶ-10・11	H-39	Y・Z43-44	Ⅳ層上面	4.35	4.41	4.12	3.82	0.18	N-65°-E	円形	○	Ⅳa-2B
V-8・9	H-40	S・R26-27	V層	4.95	3.30	4.60	2.85	0.96	N-43°-W	不整形	○	Ⅳb-2
V-10・11	H-41	V・W26-27	V層	5.16	4.04	4.27	3.36	0.40	N-77°-E	楕円形	○	Ⅲb-1
Ⅶ-10・11	H-42	S・R38-39	V層	(4.65)	(3.65)	(4.35)	(3.65)	0.15	N-47°-E	不整形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-12	H-43	W・X40-41	Ⅳ層上面	(3.00)	2.33	2.92	(2.24)	0.17	N-59°-E	不整形	○	Ⅳa-3
Ⅶ-13	H-44	Z39-40	Ⅳ層上面	(3.80)	(2.35)	(3.72)	(2.25)	0.25	N-45°-E	不整形	○	Ⅳa-3
Ⅶ-14-17	H-45	T・U38-39	V層上面	6.16	5.14	5.98	(5.00)	0.26	N-13°-W	不整形	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-18・19	H-46	U・V39-40	V層上面	(5.04)	4.85	—	—	—	N-33°-E	不整形	○	Ⅳa-3
Ⅶ-12・13	H-47	U・V30-31	盛土下層	3.62	3.29	3.50	3.13	0.28	N-61°-W	不整形		Ⅳa-2A
V-12・13	H-48	T・S28	V層上面	6.74	5.81	6.46	5.54	0.80	N-43°-W	不整形	○	Ⅳa-3
V-14	H-49	U・V26-27	V層	2.47	1.85	2.35	1.55	0.16	N-79°-E	不整形		Ⅳa-3
Ⅶ-20・21	H-50	V・W37-38	V層上面	(5.47)	(4.50)	—	—	—	N-21°-E	不整形	○	Ⅳa-3
V-15・16	H-51	R・Q29	V層	2.36	2.16	2.02	2.01	0.61	N-8°-W	隅丸方形	○	Ⅲb-2
V-14	H-52	U26-27	V層	(2.42)	2.01	(2.10)	1.75	0.24	N-71°-W	不整形		Ⅲb-1
Ⅶ-14	H-53	R・S29	Ⅳ層上面	3.09	3.01	2.92	2.84	0.17	N-28°-W	不整形		Ⅲb-1

表XI-2 遺構規模一覧表 (P)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	フラスコ状ビット	所属時期	
				長径	短径	長径	短径				
Ⅶ-16	P-51	T30	V層	0.69	0.64	0.59	0.52	0.09		Ⅳa-2A	
	P-52	T・U31		0.87	0.74	0.73	0.60	0.28			
	P-53	S31		0.88	0.76	0.75	0.69	0.12		Ⅳa-2B	
	P-54	R31		1.70	1.65	1.88	1.63	0.86	○		
V-17	P-55	W29	V層	(0.85)	(0.56)	(0.57)	(0.45)	0.75		Ⅳa	
Ⅶ-17	P-56	U・V31	V層	1.31	(1.35)	1.44	(1.10)	1.38	○	Ⅳa-3	
	P-57	V32		1.10	1.04	1.53	1.43	(0.52)	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-18	P-58	V33	V層	1.40	1.20	2.24	2.00	1.18	○	Ⅳa-2B	
	P-59	R36		1.20	1.00	1.24	1.06	0.79	○	Ⅳa-3	
V-18	P-60	X27	V層	1.85	1.84	(1.70)	(1.79)	1.02	○	Ⅳa-2B	
Ⅶ-19	P-61	W31	粘土下位	0.63	0.61	2.04	2.02	0.97		Ⅳa-2A	
	P-62	W30・31	V層	1.19	1.00	2.00	(1.87)	1.28	○	Ⅳa-2B	
Ⅶ-20	P-63	V・W31	V層	2.04	1.78	2.45	2.00	1.35	○	Ⅳa-3	
	P-64	X31		1.59	1.43	1.65	1.52	1.30	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-21	P-65	V・W31・32	V層	0.82	0.79	1.83	1.86	1.29	○	Ⅳa-3	
	P-66	X29		0.86	0.79	1.24	1.05	0.64	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-22	P-67	X31	粘土上面	0.73	0.66	1.92	2.00	1.04	○	Ⅳa-3	
	P-68	W・X30	V層	1.12	1.05	1.70	1.69	1.26	○	Ⅳa-3	
Ⅶ-23	P-69	Y31	V層	(1.72)	1.57	(1.76)	2.04	0.90	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-24	P-70	X・Y30	V層	1.80	1.74	2.15	2.14	1.42	○	Ⅳa-2B	
Ⅶ-25	P-71	W30	V層	0.88	0.74	1.57	1.45	0.84	○	Ⅳa-2A	
	P-72	X30・31		-	(1.24)	1.80	(1.10)	○			
Ⅶ-26	P-73	V31	V層	0.98	(0.96)	0.78	(0.78)	0.46		Ⅳa-2A	
	P-74	Y33		1.20	1.10	1.94	1.76	1.08	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-27	P-75	T31	V層	1.50	(1.30)	1.95	(1.48)	1.02	○	Ⅳa-3	
Ⅶ-28	P-76	T31・32	粘土上面	1.92	1.76	2.60	2.67	1.12	○	Ⅳa-3	
V-19	P-77	V29	V層	0.71	0.66	0.59	0.55	0.15		Ⅳa	
	P-78		粘土中	0.63	0.55	0.40	0.35	0.33			
	P-79			0.77	0.75	0.45	0.46	0.51			
	P-80		粘土中	0.66	0.61	0.51	0.43	0.22			
V-20	P-81	V29	V層	0.76	0.72	0.46	0.44	0.20		Ⅳa	
	P-82			0.81	(0.59)	0.62	(0.41)	0.35		Ⅲb~Ⅳa	
	P-83			0.75	0.62	0.64	(0.75)	0.32		Ⅳa-2A	
V-21	P-84	V29	V層	0.47	0.45	0.26	0.26	0.15		Ⅲb~Ⅳa	
V-20・21	P-85	V29	V層	0.60	0.52	0.45	0.31	0.11		Ⅲb~Ⅳa	
Ⅶ-29	P-86	Y30・31	V層	1.40	(0.68)	0.62	(0.25)	0.53		Ⅳa	
	P-87			0.84	(0.36)	1.28	(0.73)	(0.46)	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-30	P-88	R38	V層	1.26	0.77	1.16	0.65	0.28		Ⅳa-2A	
	P-89	U35	V層	1.77	1.36	2.10	1.99	0.76	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-31	P-90	V31	V層	0.78	0.67	2.53	2.39	1.08	○	Ⅳa-3	
Ⅶ-32	P-91	X33	粘土上面	1.35	1.26	1.96	2.06	0.93	○	Ⅳa-3	
	P-92	X31・32		1.57	1.40	2.23	2.36	(1.30)	○	Ⅳa-3	
Ⅵ-23	P-93	U・V37	V層	0.60	0.54	0.36	0.27	0.26		Ⅳa	
	P-94	U37		1.22	1.06	(1.32)	(1.34)	0.61		Ⅳa-2A	
Ⅶ-33	P-95	W34	V層	1.50	1.41	1.92	1.82	1.62	○	Ⅳa-2A	
Ⅶ-34	P-96	V34	V層	1.10	1.09	1.49	1.50	0.76	○	Ⅳa-3	
Ⅵ-24	P-97	V36	粘土中	1.48	1.25	(2.10)	(2.05)	1.59	○	Ⅳa-2A	
Ⅵ-25	P-98	U36	V層	0.80	0.71	(0.76)	(0.74)	0.68		Ⅳa-2A	
	P-99			(0.53)	(0.32)	(0.23)	(0.19)	0.40		Ⅳa	
Ⅶ-35	P-100	W34	V層	1.31	1.23	1.47	1.38	0.54	○	Ⅳa-3	
Ⅵ-25	P-101	X35	V層	0.53	(0.38)	0.27	0.20	0.29		Ⅳa	
Ⅵ-26	P-102	Y35	V層	0.45	0.34	0.19	0.17	0.33		Ⅳa	
	P-103	X35		0.96	0.65	0.48	0.36	0.18			
Ⅵ-27	P-104	W・X35	V層	1.40	1.12	(2.00)	(1.82)	0.68	○	Ⅳa-3	
	P-106	X35・36		1.96	1.75	(2.06)	(1.92)	0.96	○	Ⅳa-2A	
Ⅵ-26	P-106	Y35	V層	0.46	0.39	0.29	0.25	0.28		Ⅲb~Ⅳa	
Ⅵ-28	P-107	Y35	V層	0.40	0.35	(0.33)	(0.25)	0.37		Ⅳa	
	P-108			(0.55)	(0.55)	(0.42)	(0.28)	0.21			
	P-109			(0.50)	(0.35)	(0.27)	(0.29)	0.30			
	P-110			X36	0.73	(0.28)	(0.46)	(0.20)	0.19		
	P-111			Y35	0.76	0.42	0.14	0.12	0.54		

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	フラスコ状ビット	所属時期
				長径	短径	長径	短径			
Ⅶ-35	P-112	V34	粘土上面	0.89	(0.59)	1.43	(0.98)	0.70	○	Ⅳa-2A
	P-113	R37		1.57	1.44	1.80	1.68	0.96	○	Ⅳa-3
Ⅶ-36	P-114	R39	V層	0.69	0.65	0.76	0.74	0.25	○	Ⅳa-2A
	P-115	V35		0.79	0.79	1.14	1.03	0.77	○	Ⅳa-3
V-21	P-116	V28	V層	0.71	0.61	0.40	0.43	0.52		Ⅳa
	P-118			0.44	(0.25)	0.14	(0.16)	0.25		Ⅳa
V-22	P-119	X28	V層	0.64	0.49	0.54	0.40	0.17		Ⅲb~Ⅳa
V-23	P-120	X・Y28	V層	1.67	1.59	1.80	1.76	1.42	○	Ⅳa-2B
	P-121	T37		0.64	0.58	0.24	0.25	0.40		
Ⅵ-29	P-122	U37	V層	0.65	0.46	0.27	0.27	0.52		Ⅳa
Ⅶ-37	P-123	U35	V層	0.85	0.77	0.94	0.70	0.60		Ⅳa-2A
Ⅵ-29	P-124	X36	V層	1.09	0.50	1.06	0.40	0.26		Ⅳa
Ⅶ-37	P-125	R38	V層	1.19	0.98	1.03	0.72	1.19		Ⅳa-2A
Ⅵ-29	P-126	X36	V層	0.68	0.25	0.21	0.20	0.40		Ⅳa
	P-127			(0.45)	0.40	0.15	0.14	0.38		
Ⅵ-30	P-128	X36	V層	0.57	0.51	0.42	0.40	0.31		Ⅳa
	P-129			0.25	(0.20)	0.18	0.15	0.26		
	P-130	W29		(0.31)	0.25	0.18	0.17	0.41		
V-24	P-131	V28	V層	0.52	0.51	0.34	0.40	0.10		Ⅲb~Ⅳa
	P-132	U・V28		0.89	0.79	0.73	0.57	0.27		
	P-133	W27		0.56	0.51	0.31	0.27	0.34		
V-23	P-134	X28・29	V層	2.05	1.59	(2.30)	(2.24)	1.26	○	Ⅳa-3
V-25	P-135	V30	V層	0.69	0.62	0.55	0.55	0.13		Ⅲb~Ⅳa
	P-136	V28・29		0.85	0.74	0.77	0.78	0.28		
V-25・26	P-137	V28・29	V層	(1.90)	1.45	(1.88)	(1.87)	0.71	○	Ⅳa-3
V-27	P-138	U・V29	V層	1.00	0.88	0.81	0.75	0.45		Ⅲb~Ⅳa
	P-139	U28		0.99	0.90	(1.59)	(1.52)	1.31	○	Ⅳa-3
V-28	P-140	U29	V層	0.64	0.48	0.51	0.28	0.22		Ⅲb~Ⅳa
Ⅵ-30	P-141	V・W35	V層	0.98	0.66	1.05	0.71	0.50		Ⅳa-2A
	P-142	W36		(0.30)	(0.27)	0.28	0.15	0.38		
Ⅵ-31	P-143		V層	0.71	0.63	0.26	0.28	0.22		Ⅳa
	P-144	W35		0.70	0.45	0.46	0.30	0.18		
	P-145			(1.11)	(0.83)	(0.60)	(0.30)	0.09		
	P-146			(0.90)	(0.80)	(0.91)	(0.92)	0.19		
Ⅵ-32	P-147	W35	V層	0.73	0.60	0.48	0.36	0.37		Ⅳa-2A
	P-148			0.83	(0.65)	0.68	(0.60)	0.44		
Ⅵ-33	P-149	V35・36	V層	(1.32)	(1.28)	(1.81)	1.71	0.67	○	Ⅳa-2A
	P-150			(0.83)	0.40	0.72	0.35	0.28		
	P-151	W36		1.16	1.10	0.84	0.95	0.55		
Ⅵ-34	P-152	X36	V層	(0.69)	(0.46)	0.19	0.23	0.13		Ⅳa
	P-153			0.60	(0.45)	0.33	0.30	0.15		
Ⅵ-35	P-154	W36	V層	0.75	0.71	(0.32)	(0.40)	0.58		Ⅳa-2A
	P-155	W36・37		(1.10)	(0.95)	(1.75)	(1.75)	0.87	○	Ⅳa
	P-156	W36		0.52	0.41	0.30	0.23	0.38		Ⅳa
Ⅵ-36	P-157	S37・38	V層	0.65	0.55	(0.86)	(0.92)	0.71	○	Ⅳa-2A
	P-158	S37		0.57	(0.50)	(0.25)	0.25	0.38		Ⅳa
	P-159			0.70	0.53	0.45	0.25	0.40		
	P-160	S37	V層	(0.92)	0.52	(0.44)	0.25	0.35		Ⅳa
Ⅵ-37	P-161			1.03	0.95	0.66	0.56	0.27		Ⅳa
Ⅶ-37	P-162	U43	V層	1.16	1.12	0.58	0.72	0.26		Ⅳa-2A
Ⅵ-37	P-163	T37	V層	1.05	(0.98)	(2.02)	(1.80)	1.30		Ⅳa-2A
	P-164	T36・37		1.39	1.02	(2.14)	(1.62)	0.78		Ⅳa-2A
Ⅵ-38	P-165	S37	V層	0.35	0.34	(0.28)	0.28	0.42		Ⅳa
	P-166	S36・37		1.22	0.96	0.76	0.58	0.10		
	P-168	S36・37	V層	1.50	(0.85)	(1.05)	(0.41)	0.35		
Ⅵ-39	P-169	S37	V層	0.42	0.35	(0.17)	(0.05)	0.26		Ⅳa
	P-170	S40	Ⅲ層上面	0.42	0.38	0.12	0.12	0.63		
	P-171			0.35	0.27	0.15	0.15	0.42		
	P-172	S40	Ⅲ層上面	0.32	0.27	0.12	0.13	0.51		Ⅳa
Ⅵ-40	P-173			0.28	0.24	0.10	0.13	0.52		
Ⅵ-41	P-174	T・S36・37	V層	1.61	1.26	(2.40)	(2.31)	0.99		Ⅳa-2A
V-28	P-175	U29	V層	0.75	0.67	0.57	0.43	0.12		Ⅲb~Ⅳa

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	フラスコ状ビット	所属時期
				長径	短径	長径	短径			
V-25・26	P-176	V・W28・29	V層	1.28	(1.12)	1.13	(0.82)	0.30		Ⅲb~Ⅳa
V-28	P-177	V27	V層	1.78	1.66	1.62	1.52	0.15		Ⅲb~Ⅳa
V-29	P-178	Y28・29	V層	1.72	1.45	1.60	(1.65)	0.66	○	Ⅳa-2A
V-30	P-179	T27	V層	1.64	1.55	0.90	0.91	0.65	○	Ⅳa-2A
V-29	P-180	Y28・29	V層	(1.05)	(0.17)	(1.67)	(0.31)	0.82	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-38	P-181	S・T42	V層	1.90	1.82	2.03	1.98	1.08	○	Ⅳa-2B
	P-182	S・T31		1.07	0.50	0.99	0.48	0.12		Ⅳa
	P-183	U30・31		0.82	0.73	0.62	0.64	0.41		Ⅳa-2A
	P-184	T30		1.63	1.36	1.82	1.85	0.84	○	Ⅳa-3
Ⅶ-40	P-186	R・S32	V層	1.62	1.67	2.40	2.18	1.17	○	Ⅳa-3
Ⅶ-41	P-187	V30	V層	1.12	1.03	1.48	1.26	1.02	○	Ⅳa-3
Ⅶ-42	P-188	V30	V層	0.72	0.56	0.81	0.68	0.54	○	Ⅳa-2A
	P-189	X・Y29・30		1.06	0.91	2.35	2.55	1.33	○	
Ⅶ-43	P-190	S30	V層	0.71	0.59	0.76	0.65	0.33		Ⅳa-2A
Ⅵ-42	P-191	U36	V層	1.19	1.01	(1.90)	(1.95)	1.56	○	Ⅳa-2A
	P-192			1.19	0.65	1.02	0.47	0.16		Ⅳa
Ⅵ-43	P-193	T40・41	IV層上面	1.62	1.15	(1.82)	(1.67)	1.45	○	Ⅳa-3
Ⅶ-43	P-194	S31	V層	1.58	1.58	2.24	2.18	1.50	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-44	P-195	Y33・34	V層	1.70	(0.94)	1.50	(1.06)	(0.76)	○	Ⅳa-2A
V-30	P-196	V・W26・27	V層	(1.94)	(1.64)	(1.71)	(1.80)	2.04	○	Ⅳa-3
V-31	P-197	T28	V層	0.71	0.70	0.50	0.47	0.36		Ⅲb~Ⅳa
	P-198	V26		(1.56)	(1.55)	1.02	1.15	0.50		Ⅲb
V-32	P-199	T28	V層	0.70	0.45	0.59	0.33	0.20		Ⅲb
Ⅶ-44	P-200	T30	V層	0.88	0.63	0.82	0.68	0.33		Ⅳa-2A
	P-201			0.70	0.68	0.54	0.56	0.25		
	P-202			0.74	0.74	0.56	0.44	0.40		
Ⅶ-45	P-203	T30	粘土中	0.45	0.41	0.36	0.33	0.35		Ⅳa-2A
	P-204			0.83	0.79	0.78	0.74	0.46		
Ⅵ-12	P-205	W40	V層	0.21	-	-	-	0.20		-
V-32	P-206	W25	V層	0.82	0.74	0.55	0.56	0.22		Ⅲb
	P-207	V・W25・26		1.53	0.99	1.48	0.94	0.16		
	P-208	U29・30		0.65	0.53	0.39	(0.32)	0.40		
V-33	P-209	S26・27	V層	0.82	0.71	0.72	0.74	0.44		Ⅲb~Ⅳa
	P-210	T29		0.74	0.51	0.60	0.41	0.12		
Ⅶ-45	P-211	R・S30	V層	1.65	1.66	1.70	1.74	0.68	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-46	P-212	S30	V層	1.90	1.54	1.90	1.92	1.00	○	Ⅳa-2A
	P-213	T30		0.45	(0.36)	0.23	0.21	0.38		
	P-214	U30		1.23	0.94	0.98	0.74	0.28		
Ⅶ-47	P-216	R30	V層	1.34	1.15	1.55	1.37	0.86	○	Ⅳa-3
Ⅶ-48	P-217	T36	V層	1.40	0.87	2.22	1.87	0.80	○	Ⅳa-3
Ⅵ-44	P-218	X37	Ⅲ層上面	0.99	0.84	(1.80)	(1.70)	1.07	○	Ⅳa-2A
Ⅶ-49	P-219	W29・30	V層	1.31	0.70	1.23	0.60	0.11		Ⅳa-2A
	P-220	W29		0.76	0.52	0.66	0.44	0.17		
V-33	P-221	U28	V層	0.90	0.86	0.67	0.65	0.15		Ⅲb~Ⅳa
Ⅵ-44	P-223	V・W38・39	V層	1.13	0.64	1.10	0.45	0.18		Ⅳa
V-33	P-224	T29・30	V層	0.76	0.70	0.66	0.60	0.61		Ⅲb~Ⅳa
V-34	P-225	T29・30	V層	0.74	(0.70)	0.55	0.56	0.35		Ⅲb~Ⅳa
	P-226	T29		0.81	0.79	0.60	0.63	0.63		
	P-227	W・X29		(1.40)	(1.19)	(1.80)	(1.70)	0.87	○	
Ⅶ-49	P-235	R36	V層	0.80	0.67	0.66	0.62	0.32		Ⅳa

表XI-3 遺構規模一覧表 (TP)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		床面の(m)		確認面からの深さ(m)	方位	所属時期
				長さ	短径	長さ	短径			
VI-51	TP-8	U31	V層	2.31	0.61	2.10	0.28	1.32	N-37°-W	IVb~
	TP-9	U33		3.08	0.31	2.91	0.17	0.66	N-13°-E	
VI-46	TP-10	U38	皿層上面	2.64	0.69	(2.60)	0.14	1.30	N-37°-W	IVb~
VI-47	TP-11	W39	V層	(2.65)	0.17	(2.55)	0.11	1.01	N-15°-E	IVb~

表XI-4 遺構規模一覧表 (Po)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長さ	短径		
V-77	Po-1	T31	貼土下	0.16	0.15	0.14	IVa
VI-84	Po-3	R38	貼土	0.43	0.40	0.33	IVa
	Po-4	S39		0.23	0.23	0.22	
VI-108	Po-5	S35	V層	0.42	0.38	0.46	IVa
	Po-6	T38	貼土	0.21	0.15	0.18	
VI-84	Po-7	U37・38		0.31	0.26	0.25	IVa
	Po-8	S31・32	貼土	0.49	0.42	0.32	IVa
VI-108	Po-9	U39	IV層上面	0.29	0.27	0.15	IVa
	Po-10	Z39		0.34	0.30	0.17	
	Po-11	Z38・39		0.27	0.25	0.27	

表XI-5 遺構規模一覧表 (X)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長さ	短径		
V-12	X-1	S29	V層	3.45	1.86	—	IVa
V-15・16	X-2	Q・R23	V層	(3.60)	(2.30)	0.70	IVa

表XI-6 遺構規模一覧表(粘土)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
V-40・92	粘土1	S 28	盛土中	0.42	0.31	0.06	IVa
	粘土2			0.24	(0.20)	—	
V-45・92	粘土3	V 26	盛土中	0.81	(0.75)	0.05	IVa
V-48・92	粘土4	W・X 27	盛土中	0.63	0.46	0.05	IVa
V-37・92	粘土5	R 27	ⅢNMB	0.76	0.30	0.04	IVa
V-47・92	粘土6	W25	盛土中	0.40	0.30	—	IVa
V-45・92	粘土7	V 25・26	盛土中	(0.97)	(0.45)	0.07	IVa

表XI-7 遺構規模一覧表(Fs)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
Ⅶ-53	Fs-11	Q・R 30	貼土中	1.50	0.81	0.11	Ⅳa
	Fs-12	R 30		0.68	0.62	0.13	
	Fs-13	Q・R 32・33		0.88	0.66	0.14	
Ⅵ-49	Fs-14	R 37・38	貼土中	(1.00)	(0.65)	—	Ⅳa
Ⅶ-54	Fs-15	S 27	貼土中	0.74	0.50	0.10	Ⅳa
	Fs-16	T 37		1.10	0.65	0.10	
	Fs-17	T 38		0.60	0.57	0.09	
Ⅵ-49	Fs-19	T 38	貼土中	(0.47)	(0.45)	—	Ⅳa
	Fs-20	T 38・39		(0.80)	(0.65)	—	
	Fs-21	S 39		(0.75)	(0.21)	—	
Ⅶ-55	Fs-22	T 30	貼土中	0.52	0.42	0.12	Ⅳa
	Fs-23			1.00	0.34	0.08	
Ⅵ-49	Fs-24	W 36	貼土中	(0.65)	(0.43)	0.14	Ⅳa
	Fs-25	V 37		0.80	(0.62)	0.13	
Ⅵ-50	Fs-26	W・X 35	貼土中	(0.65)	(0.30)	0.09	Ⅳa
	Fs-27	V 36		(0.70)	(0.67)	0.08	
V-50	Fs-28	X 27	貼土中	0.66	0.24	0.15	Ⅳa
V-49	Fs-29	W 28	貼土中	0.90	0.64	0.13	Ⅳa
V-46	Fs-30	V 28	貼土中	(0.46)	0.38	0.08	Ⅳa
Ⅵ-50	Fs-31	Y 36	貼土中	0.95	0.90	0.15	Ⅳa
Ⅵ-51	Fs-32	X 35・36	貼土中	0.53	0.41	0.07	Ⅳa
V-23	Fs-33	X 28	貼土中	0.41	(0.19)	0.06	Ⅳa
V-48	Fs-34	W 27	貼土中	0.41	0.38	0.12	Ⅳa
V-50	Fs-35	X 27	貼土中	(0.77)	0.49	0.19	Ⅳa
Ⅶ-55	Fs-36	W 44・45	貼土中	1.90	1.19	0.11	Ⅳa
Ⅶ-56	Fs-37	X 43	貼土中	0.62	0.47	0.07	Ⅳa
	Fs-38	R・S 31		1.10	0.75	0.20	
V-42	Fs-39	T 29	貼土中	0.74	0.63	0.06	Ⅳa
Ⅵ-51	Fs-40	W 38	盛土中	1.32	0.82	0.15	Ⅳa
	Fs-41	W 37		0.18	0.09	0.06	
	Fs-42			0.34	0.29	0.11	
	Fs-43			U 39	0.58	0.42	
V-47	Fs-44	W 25	ⅢNMB	0.40	0.36	0.17	Ⅲb～Ⅳa
V-45	Fs-45	V 27	層上げ土	(0.50)	0.23	0.08	Ⅲb
V-48	Fs-46	W 26	ⅢNMB	0.35	(0.13)	0.08	Ⅲb～Ⅳa
V-7・40	Fs-47	S 28・29	盛土中	(0.64)	(0.41)	0.06	Ⅳa
V-42	Fs-48	T 28	盛土中	0.77	0.63	0.10	Ⅳa

表XI-8 遺構規模一覧表 (F)

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
V-46	F-58	V29	貼土	0.47	0.42	0.07	IVa
VI-53	F-59	W35	貼土	0.13	0.07	0.02	IVa
	F-60			0.27	0.19	0.03	
	F-61	X36		0.40	0.27	0.06	
	F-62	X36・37		0.40	0.18	0.06	
	F-63	X38		0.75	0.41	0.08	
VII-58	F-64	R37	貼土	0.62	0.40	0.08	IVa
	F-65			0.95	0.83	0.10	
	F-66	R36		0.55	0.35	0.10	
	F-67	R30		0.66	0.46	0.16	
	F-68	R30		1.00	0.68	0.07	
VII-59	F-69	R29	貼土	0.54	0.35	0.05	IVa
	F-70			0.63	0.47	0.06	
	F-71	R28		0.62	0.46	0.04	
VII-60	F-72	R27	貼土	0.85	0.66	0.13	IVa
	F-82	X27		0.84	0.78	0.12	
V-52	F-84	S29	貼土	0.97	(0.30)	0.12	IVa
	F-85	S30		0.55	0.26	0.08	
	F-86	T30		0.35	(0.22)	0.02	
	F-87	S28・29		0.37	0.36	0.10	
	F-88	S・R28		0.34	0.26	0.05	
	F-89	R28		0.47	0.19	0.06	
	F-90	R26		0.34	(0.16)	0.01	
	F-91			0.21	(0.15)	0.08	
	F-92			0.33	0.15	0.08	
	F-93			0.23	0.18	0.04	
	F-94			(0.35)	(0.16)	0.03	
VII-60	F-95	T39	貼土	0.45	0.28	0.09	IVa
	F-96	S38		0.31	0.31	0.06	
	F-97			0.25	0.23	0.06	
	F-98			0.48	0.36	0.08	
VII-61	F-99	S38	貼土	0.90	0.48	0.10	IVa
	F-100	T38		0.44	0.41	0.03	
VI-53	F-101	W36	貼土	0.50	0.21	0.06	IVa
	F-102	S37		0.77	0.44	0.14	
VI-54	F-103	W36	貼土	0.21	0.10	0.08	IVa
	F-104	V37		0.44	0.18	0.60	
	F-105 a			1.10	0.85	0.09	
	F-105 b			0.22	0.15	0.06	
	F-106			0.65	0.64	0.15	
VI-55	F-108	V37	貼土	0.28	0.19	0.05	IVa
	F-109	U37		0.17	0.12	0.13	
	F-110			0.71	0.70	0.12	
	F-111			0.41	(0.25)	0.18	
VI-56	F-112	W・X36	貼土	0.26	0.22	0.08	IVa
	F-114	X35		0.52	0.32	0.05	
	F-115			0.32	0.24	0.06	
V-50	F-116	X27	貼土	0.54	0.43	0.04	IVa
	F-117	X・Y27		(0.32)	0.26	0.22	
	F-118	X27		0.74	0.41	0.11	
VI-56	F-119	X36	貼土	0.27	0.12	0.12	IVa
	F-120			0.35	0.17	0.11	
	F-121	X・Y36		0.22	0.14	0.04	
VI-57	F-122	Y36	貼土	0.96	0.65	0.21	IVa
	F-123	V35		(0.15)	0.08	0.16	
	F-124	W・X37		0.60	0.29	0.07	
	F-125	W37		0.55	0.42	0.06	
				0.55	0.42	0.06	

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期	
				長径	短径			
VI-58	F-126	T 37	粘土	0.75	0.32	0.10	IVa	
	F-127			0.39	0.24	0.07		
	F-128			0.72	0.55	0.12		
	F-129	0.30		0.15	0.07			
	F-130	0.55		0.32	0.17			
	F-131	U 36		0.50	0.18	0.11		
VI-59	F-132	U 36	粘土	0.34	0.25	0.09	IVa	
	F-133	U 36・37		(0.32)	(0.17)	0.16		
V-47	F-134	W 25	盛土	0.66	0.55	0.07	IVa	
V-46	F-135	V 28	粘土	0.46	0.45	0.08	Ⅲ b～IVa	
V-41	F-136	T 27	ⅢNMB	1.36	1.06	0.10	IVa	
VI-59	F-137	X 39	Ⅲ層	0.63	0.44	0.03	IVa	
	F-138	X・Y 39		1.32	1.10	0.06		
	F-139	Y・Z 38		0.88	0.62	(0.15)		
VI-60	F-140	X 39・40	粘土	1.43	0.97	0.15	IVa	
	F-141	X 36		0.67	0.52	0.16		
	F-142	W・X 39	SM2	0.64	0.40	0.17		
	F-143	X 39	SM2・3	0.91	0.70	0.10		
VI-61	F-144	T 38・39	粘土	1.35	0.68	0.15	IVa	
	F-145	U 37・38		1.20	(0.50)	0.12		
	F-146	S 36		0.75	0.42	0.14		
	F-147	T 36・37		0.85	0.53	0.11		
VI-62	F-148	Y 35	粘土	0.43	0.32	0.13	IVa	
	F-149	V 38	盛土中	0.54	0.42	0.13		
	F-151	W 36	粘土	0.32	0.28	0.10		
V-48	F-152	W 27・28	粘土	0.63	0.29	0.09	IVa	
V-49	F-153	W 28・29	粘土	0.88	0.52	0.07	IVa	
VI-62	F-154	S 42	SM4	0.89	0.82	0.12	IVa	
Ⅶ-61	F-155	Z 46	粘土	0.74	0.34	0.06	IVa	
	F-156	V 43	Ⅳ層上面	0.55	0.53	0.10		
V-50	F-157	X 27	粘土	0.32	0.16	0.04	IVa	
Ⅶ-61	F-158	V 45	Ⅳ層上面	1.03	0.83	0.08	IVa	
Ⅶ-62	F-159	X 42	Ⅳ層上面	0.65	0.57	0.22	IVa	
	F-160			1.21	0.94	0.08		
	F-161	Z 41		0.82	0.48	0.10		
	F-162	0.68		0.58	0.10			
VI-63	F-163	S 39	粘土	0.19	0.40	0.06	IVa	
	F-164			0.96	0.70	0.14		
	F-166			0.60	0.55	0.11		
	F-167			0.50	0.13	0.06		
	F-168			S 39・40	0.62	0.49		0.10
	F-169			W・X 39	SM4	0.34		0.16
VI-64	F-170	X 39	Ⅲ層	0.39	0.30	0.03	IVa	
	F-171			0.48	0.27	0.07		
	F-173			0.68	0.52	0.11		
	F-174	W 38	粘土	0.23	(0.20)	—		
VI-65	F-175	W 39	Ⅲ層	1.17	0.77	0.04	IVa	
	F-176	Z 39	盛土中	0.82	0.47	0.12		
	F-177	S 37	粘土	0.37	0.30	0.18		
V-44	F-178	U 29	粘土	0.61	0.60	0.06	IVa	
V-42	F-179	T 28・29	粘土	0.30	0.22	0.12	IVa	
V-44	F-180	U 29	粘土	1.05	0.54	0.12	IVa	
V-47	F-181	W 25・26	盛土	1.31	1.01	0.09	IVa	
Ⅶ-62	F-182	S 43	Ⅳ層上面	0.88	0.54	0.13	IVa	
V-48	F-184	W 26	盛土	0.80	0.62	0.06	IVa	
V-47	F-185	W 25・26	盛土	0.71	0.28	0.04	IVa	
V-44	F-186	U 28	粘土	0.26	0.19	0.05	IVa	
VI-65	F-187	S 39	粘土	0.38	0.35	0.16	IVa	

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
VI-66	F-189	T 39	SM3~4	(1.43)	(1.40)	0.11	IVa
	F-190	V・W38・39	SM2・3	0.65	(0.59)	0.06	
	F-191		SM3	0.70	0.55	0.10	
	F-192			0.43	0.30	0.04	
V-48	F-193	V・W27	ⅢNMB	0.54	0.33	—	Ⅲb~IVa
	F-194	T28・29	盛土	0.48	0.39	0.05	
V-42	F-196	T28		0.40	0.32	0.04	IVa
	F-197	T29		0.98	0.55	0.11	
V-39	F-198	S27	盛土	1.19	0.83	0.10	IVa
Ⅷ-62	F-199	T31	盛土	0.42	0.20	0.17	IVa
V-38	F-200	R29	盛土	0.96	0.41	0.08	IVa
	F-201			0.79	0.55	0.11	
VI-67	F-202	W38・39	Ⅲ層	(0.63)	0.29	0.06	IVa
	F-203	X38	SM3	0.63	(0.53)	0.05	
	F-204	V38	SM2	0.45	0.25	0.05	
	F-205	W40	Ⅲ層	0.95	0.75	0.12	
	F-206	W39		0.56	0.38	0.06	
	F-207	V40	SM3	0.30	0.17	0.03	
VI-68	F-208		Ⅲ層	0.53	0.38	0.07	IVa
	F-209	U39	SM4	0.42	0.38	0.10	
V-39	F-210	S27	盛土	0.50	0.46	0.06	IVa
V-43	F-211	U27	ⅢNMB	2.25	(1.19)	0.08	Ⅲb~IVa
V-39	F-212	S27	盛土	(0.49)	(0.45)	0.08	IVa
V-44	F-213	U28	ⅢNMB	0.75	0.37	0.12	Ⅲb~IVa
V-46	F-214	V28・29	粘土	0.45	0.35	0.06	IVa
V-40	F-215	S27・28	盛土	1.37	0.94	0.07	IVa
VI-68	F-216	U38・39	粘土	0.42	0.33	0.02	IVa
	F-217	U38	盛土中	0.49	0.24	0.05	IVa
VI-69	F-218	V38	Ⅲ層	0.70	0.57	0.08	IVa
	F-219			0.71	0.43	0.09	
	F-220			0.71	0.34	0.06	
	F-221			0.39	0.24	0.05	
	F-222			0.69	0.39	0.10	
	F-223			(0.40)	(0.39)	0.07	
V-40	F-224	S28	盛土	0.56	0.49	0.05	IVa
V-42	F-225	T28	盛土	0.28	0.22	0.10	IVa
V-45	F-226	V26	ⅢC	(0.50)	(0.35)	0.07	Ⅲb
	F-227			(0.49)	(0.46)	0.04	
V-39	F-228	S27	盛土	0.91	(0.56)	0.07	IVa
	F-229	S27	盛土	0.66	(0.41)	0.08	IVa
V-38	F-230	R28	盛土	0.65	0.46	0.10	IVa
VI-70	F-232	X38・39	Ⅲ層	(0.82)	(0.71)	0.06	IVa
V-40	F-233	S29	盛土	(0.41)	(0.16)	0.08	IVa
VI-70	F-240	V39	Ⅲ層	0.21	0.20	0.02	IVa
V-38	F-241	R29	盛土	0.46	0.39	0.09	IVa
V-45	F-242	V27	ⅢC	1.07	0.63	0.10	Ⅲb
V-5・37	F-243	R26・27	ⅢC	1.98	1.45	0.16	Ⅲb
V-39	F-244	S27	ⅢC	0.90	(0.64)	0.07	Ⅲb
V-47	F-245	W25	ⅢC	0.42	0.22	0.13	Ⅲb
VI-70	F-247	V39	SM4	0.84	0.46	0.05	IVa
	F-248	X36	粘土	(0.75)	(0.55)	0.09	
VI-71	F-249	U38	Ⅲ層	(0.56)	0.51	0.05	IVa
Ⅷ-63	F-250	R30	粘土	0.86	0.79	0.07	IVa
V-45	F-251	V26・27	ⅢNMB	0.40	0.34	0.04	Ⅲb~IVa
V-39	F-252	S27	ⅢNMB	0.32	0.20	0.04	Ⅲb~IVa
V-50	F-253	X26・27	粘土	0.61	0.38	0.05	IVa
V-40	F-254	S29・30	粘土	0.79	0.52	0.11	IVa
V-37	F-255	R27	ⅢC	0.79	0.50	0.13	Ⅲb

図番号	遺構名	調査区	検出面	確認面の(m)		確認面からの深さ(m)	所属時期
				長径	短径		
VI-71	F-256	X・Y37	SM4	0.90	0.73	0.20	IVa
	F-258		Ⅲ層	(0.61)	(0.55)	0.06	
	F-259			0.59	0.47	0.14	
VII-63	F-260	R30	Ⅲ層	0.40	0.40	0.05	IVa
VI-72	F-262	Z38	SM2	(0.62)	0.61	0.09	IVa
V-37	F-263	R27	ⅢC	0.48	0.35	0.05	Ⅲb
V-47	F-264	W25	盛土	0.64	0.51	0.12	IVa
V-41	F-265	T27	ⅢNMB	0.40	0.25	0.05	Ⅲb~IVa
V-47	F-266	W25	ⅢNMB	(0.32)	(0.17)	0.04	IVa
V-42	F-267	T28	盛土	0.74	0.56	0.08	IVa
V-48	F-268	W26	ⅢNMB	0.51	0.29	0.04	Ⅲb~IVa
	F-269			0.44	0.24	0.06	
V-37	F-270	R27	ⅢC	0.51	0.25	0.04	Ⅲb
V-38	F-271	R29	盛土	0.24	0.18	0.02	IVa
V-11・45	F-272	V27	粘土	0.22	0.22	0.06	IVa
V-7・37	F-273	R26・27	盛土	(2.10)	(0.22)	0.14	IVa
V-5・39	F-274	S26・27	ⅢC	0.40	(0.25)	0.06	Ⅲb
V-39	F-275	S27	ⅢNMB	0.67	0.46	0.08	Ⅲb~IVa
V-7・40	F-276	S28	盛土	(0.35)	(0.29)	0.03	IVa
	F-277			(0.37)	(0.30)	0.04	
V-37	F-278	R27	ⅢNMB	0.65	0.33	0.04	Ⅲb~IVa
	F-279	R27		0.78	0.45	0.05	
VII-63	F-280	R31	粘土	(0.80)	0.55	0.11	IVa
	F-281	T38		0.80	0.30	0.12	

[illegible]

[illegible]

测点名称		测点位置				测点数据										测点备注				测点说明			
		东岸	西岸	南岸	北岸	测点1	测点2	测点3	测点4	测点5	测点6	测点7	测点8	测点9	测点10	测点11	测点12	测点13	测点14				
H-01	H1-01	测点1																					
	H1-02	测点2																					
	H1-03	测点3																					
	H1-04	测点4																					
	H1-05	测点5																					
	H1-06	测点6																					
	H1-07	测点7																					
	H1-08	测点8																					
	H1-09	测点9																					
	H1-10	测点10																					
H-02	H2-01	测点1																					
	H2-02	测点2																					
	H2-03	测点3																					
	H2-04	测点4																					
	H2-05	测点5																					
	H2-06	测点6																					
	H2-07	测点7																					
	H2-08	测点8																					
	H2-09	测点9																					
	H2-10	测点10																					
H-03	H3-01	测点1																					
	H3-02	测点2																					
	H3-03	测点3																					
	H3-04	测点4																					
	H3-05	测点5																					
	H3-06	测点6																					
	H3-07	测点7																					
	H3-08	测点8																					
	H3-09	测点9																					
	H3-10	测点10																					
H-04	H4-01	测点1																					
	H4-02	测点2																					
	H4-03	测点3																					
	H4-04	测点4																					
	H4-05	测点5																					
	H4-06	测点6																					
	H4-07	测点7																					
	H4-08	测点8																					
	H4-09	测点9																					
	H4-10	测点10																					
H-05	H5-01	测点1																					
	H5-02	测点2																					
	H5-03	测点3																					
	H5-04	测点4																					
	H5-05	测点5																					
	H5-06	测点6																					
	H5-07	测点7																					
	H5-08	测点8																					
	H5-09	测点9																					
	H5-10	测点10																					
H-06	H6-01	测点1																					
	H6-02	测点2																					
	H6-03	测点3																					
	H6-04	测点4																					
	H6-05	测点5																					
	H6-06	测点6																					
	H6-07	测点7																					
	H6-08	测点8																					
	H6-09	测点9																					
	H6-10	测点10																					
H-07	H7-01	测点1																					
	H7-02	测点2																					
	H7-03	测点3																					
	H7-04	测点4																					
	H7-05	测点5																					
	H7-06	测点6																					
	H7-07	测点7																					
	H7-08	测点8																					
	H7-09	测点9																					
	H7-10	测点10																					
H-08	H8-01	测点1																					
	H8-02	测点2																					
	H8-03	测点3																					
	H8-04	测点4																					
	H8-05	测点5																					
	H8-06	测点6																					
	H8-07	测点7																					
	H8-08	测点8																					
	H8-09	测点9																					
	H8-10	测点10																					
H-09	H9-01	测点1																					
	H9-02	测点2																					
	H9-03	测点3																					
	H9-04	测点4																					
	H9-05	测点5																					
	H9-06	测点6																					
	H9-07	测点7																					
	H9-08	测点8																					
	H9-09	测点9																					
	H9-10	测点10																					
H-10	H10-01	测点1																					
	H10-02	测点2																					
	H10-03	测点3																					
	H10-04	测点4																					
	H10-05	测点5																					
	H10-06	测点6																					
	H10-07	测点7																					
	H10-08	测点8																					
	H10-09	测点9																					
	H10-10	测点10																					

項目名	単位	1 a	1 b	1 c	2 a	2 b	2 c	3 a	3 b	3 c	上 部										改 造 部										合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
											部1	部2	部3	部4	部5	部6	部7	部8	部9	部10	部11	部12	部13	部14	部15	部16	部17	部18	部19	部20		部21	部22	部23	部24	部25	部26	部27	部28	部29	部30	部31	部32	部33	部34	部35	部36	部37	部38	部39	部40	部41	部42	部43	部44	部45	部46	部47	部48	部49	部50	部51	部52	部53	部54	部55	部56	部57	部58	部59	部60	部61	部62	部63	部64	部65	部66	部67	部68	部69	部70	部71	部72	部73	部74	部75	部76	部77	部78	部79	部80	部81	部82	部83	部84	部85	部86	部87	部88	部89	部90	部91	部92	部93	部94	部95	部96	部97	部98	部99	部100	部101	部102	部103	部104	部105	部106	部107	部108	部109	部110	部111	部112	部113	部114	部115	部116	部117	部118	部119	部120	部121	部122	部123	部124	部125	部126	部127	部128	部129	部130	部131	部132	部133	部134	部135	部136	部137	部138	部139	部140	部141	部142	部143	部144	部145	部146	部147	部148	部149	部150	部151	部152	部153	部154	部155	部156	部157	部158	部159	部160	部161	部162	部163	部164	部165	部166	部167	部168	部169	部170	部171	部172	部173	部174	部175	部176	部177	部178	部179	部180	部181	部182	部183	部184	部185	部186	部187	部188	部189	部190	部191	部192	部193	部194	部195	部196	部197	部198	部199	部200	部201	部202	部203	部204	部205	部206	部207	部208	部209	部210	部211	部212	部213	部214	部215	部216	部217	部218	部219	部220	部221	部222	部223	部224	部225	部226	部227	部228	部229	部230	部231	部232	部233	部234	部235	部236	部237	部238	部239	部240	部241	部242	部243	部244	部245	部246	部247	部248	部249	部250	部251	部252	部253	部254	部255	部256	部257	部258	部259	部260	部261	部262	部263	部264	部265	部266	部267	部268	部269	部270	部271	部272	部273	部274	部275	部276	部277	部278	部279	部280	部281	部282	部283	部284	部285	部286	部287	部288	部289	部290	部291	部292	部293	部294	部295	部296	部297	部298	部299	部300	部301	部302	部303	部304	部305	部306	部307	部308	部309	部310	部311	部312	部313	部314	部315	部316	部317	部318	部319	部320	部321	部322	部323	部324	部325	部326	部327	部328	部329	部330	部331	部332	部333	部334	部335	部336	部337	部338	部339	部340	部341	部342	部343	部344	部345	部346	部347	部348	部349	部350	部351	部352	部353	部354	部355	部356	部357	部358	部359	部360	部361	部362	部363	部364	部365	部366	部367	部368	部369	部370	部371	部372	部373	部374	部375	部376	部377	部378	部379	部380	部381	部382	部383	部384	部385	部386	部387	部388	部389	部390	部391	部392	部393	部394	部395	部396	部397	部398	部399	部400	部401	部402	部403	部404	部405	部406	部407	部408	部409	部410	部411	部412	部413	部414	部415	部416	部417	部418	部419	部420	部421	部422	部423	部424	部425	部426	部427	部428	部429	部430	部431	部432	部433	部434	部435	部436	部437	部438	部439	部440	部441	部442	部443	部444	部445	部446	部447	部448	部449	部450	部451	部452	部453	部454	部455	部456	部457	部458	部459	部460	部461	部462	部463	部464	部465	部466	部467	部468	部469	部470	部471	部472	部473	部474	部475	部476	部477	部478	部479	部480	部481	部482	部483	部484	部485	部486	部487	部488	部489	部490	部491	部492	部493	部494	部495	部496	部497	部498	部499	部500	部501	部502	部503	部504	部505	部506	部507	部508	部509	部510	部511	部512	部513	部514	部515	部516	部517	部518	部519	部520	部521	部522	部523	部524	部525	部526	部527	部528	部529	部530	部531	部532	部533	部534	部535	部536	部537	部538	部539	部540	部541	部542	部543	部544	部545	部546	部547	部548	部549	部550	部551	部552	部553	部554	部555	部556	部557	部558	部559	部560	部561	部562	部563	部564	部565	部566	部567	部568	部569	部570	部571	部572	部573	部574	部575	部576	部577	部578	部579	部580	部581	部582	部583	部584	部585	部586	部587	部588	部589	部590	部591	部592	部593	部594	部595	部596	部597	部598	部599	部600	部601	部602	部603	部604	部605	部606	部607	部608	部609	部610	部611	部612	部613	部614	部615	部616	部617	部618	部619	部620	部621	部622	部623	部624	部625	部626	部627	部628	部629	部630	部631	部632	部633	部634	部635	部636	部637	部638	部639	部640	部641	部642	部643	部644	部645	部646	部647	部648	部649	部650	部651	部652	部653	部654	部655	部656	部657	部658	部659	部660	部661	部662	部663	部664	部665	部666	部667	部668	部669	部670	部671	部672	部673	部674	部675	部676	部677	部678	部679	部680	部681	部682	部683	部684	部685	部686	部687	部688	部689	部690	部691	部692	部693	部694	部695	部696	部697	部698	部699	部700	部701	部702	部703	部704	部705	部706	部707	部708	部709	部710	部711	部712	部713	部714	部715	部716	部717	部718	部719	部720	部721	部722	部723	部724	部725	部726	部727	部728	部729	部730	部731	部732	部733	部734	部735	部736	部737	部738	部739	部740	部741	部742	部743	部744	部745	部746	部747	部748	部749	部750	部751	部752	部753	部754	部755	部756	部757	部758	部759	部760	部761	部762	部763	部764	部765	部766	部767	部768	部769	部770	部771	部772	部773	部774	部775	部776	部777	部778	部779	部780	部781	部782	部783	部784	部785	部786	部787	部788	部789	部790	部791	部792	部793	部794	部795	部796	部797	部798	部799	部800	部801	部802	部803	部804	部805	部806	部807	部808	部809	部810	部811	部812	部813	部814	部815	部816	部817	部818	部819	部820	部821	部822	部823	部824	部825	部826	部827	部828	部829	部830	部831	部832	部833	部834	部835	部836	部837	部838	部839	部840	部841	部842	部843	部844	部845	部846	部847	部848	部849	部850	部851	部852	部853	部854	部855	部856	部857	部858	部859	部860	部861	部862	部863	部864	部865	部866	部867	部868	部869	部870	部871	部872	部873	部874	部875	部876	部877	部878	部879	部880	部881	部882	部883	部884	部885	部886	部887	部888	部889	部890	部891	部892	部893	部894	部895	部896	部897	部898	部899	部900	部901	部902	部903	部904	部905	部906	部907	部908	部909	部910	部911	部912	部913	部914	部915	部916	部917	部918	部919	部920	部921	部922	部923	部924	部925	部926	部927	部928	部929	部930	部931	部932	部933	部934	部935	部936	部937	部938	部939	部940	部941	部942	部943	部944	部945	部946	部947	部948	部949	部950	部951	部952	部953	部954	部955	部956	部957	部958	部959	部960	部961	部962	部963	部964	部965	部966	部967	部968	部969	部970	部971	部972	部973	部974	部975	部976	部977	部978	部979	部980	部981	部982	部983	部984	部985	部986	部987	部988	部989	部990	部991	部992	部993	部994	部995	部996	部997	部998	部999	部1000	部1001	部1002	部1003	部1004	部1005	部1006	部1007	部1008	部1009	部1010	部1011	部1012	部1013	部1014	部1015	部1016	部1017	部1018	部1019	部1020	部1021	部1022	部1023	部1024	部1025	部1026	部1027	部1028	部1029	部1030	部1031	部1032	部1033	部1034	部1035	部1036	部1037	部1038	部1039	部1040	部1041	部1042	部1043	部1044	部1045	部1046	部1047	部1048	部1049	部1050	部1051	部1052	部1053	部1054	部1055	部1056	部1057	部1058	部1059	部1060	部1061	部1062	部1063	部1064	部1065	部1066	部1067	部1068	部1069	部1070	部1071	部1072	部1073	部1074	部1075	部1076	部1077	部1078	部1079	部1080	部1081	部1082	部1083	部1084	部1085	部1086	部1087	部1088	部1089	部1090	部1091	部1092	部1093	部1094	部1095	部1096	部1097	部1098	部1099	部1100	部1101	部1102	部1103	部1104	部1105	部1106	部1107	部1108	部1109	部1110	部1111	部1112	部1113	部1114	部1115	部1116	部1117	部1118	部1119	部1120	部1121	部1122	部1123	部1124	部1125	部1126	部1127	部1128	部1129	部1130	部1131	部1132	部1133	部1134	部1135	部1136	部1137	部1138	部1139	部1140	部1141	部1142	部1143	部1144	部1145	部1146	部1147	部1148	部1149	部1150	部1151	部1152	部1153	部1154	部1155	部1156	部1157	部1158	部1159	部1160	部1161	部1162	部1163	部1164	部1165	部1166	部1167	部1168	部1169	部1170	部1171	部1172	部1173	部1174	部1175	部1176	部1177	部1178	部1179	部1180	部1181	部1182	部1183	部1184	部1185	部1186	部1187	部1188	部1189	部1190	部1191	部1192	部1193	部1194	部1195	部1196	部1197	部1198	部1199	部1200	部1201	部1202	部1203	部1204	部1205	部1206	部1207	部1208	部1209	部1210	部1211	部1212	部1213	部1214	部1215	部1216	部1217	部1218	部1219	部1220	部1221	部1222	部1223	部1224	部1225	部1226	部1227	部1228	部1229	部1230	部1231	部1232	部1233	部1234	部1235	部1236	部1237	部1238	部1239	部1240	部1241	部1242	部1243	部1244	部1245	部1246	部1247	部1248	部1249	部1250	部1251	部1252	部1253	部1254	部1255	部1256	部1257	部1258	部1259	部1260	部1261	部1262	部1263	部1264	部1265	部1266	部1267	部1268	部1269	部1270	部1271	部1272	部1273	部1274	部1275	部1276	部1277	部1278	部1279	部1280	部1281	部1282	部1283	部1284	部1285	部1286	部1287	部1288	部1289	部1290	部1291	部1292	部1293	部1294	部1295	部1296	部1297	部1298	部1299	部1300	部1301	部1302	部1303	部1304	部1305	部1306	部1307	部1308	部1309	部1310	部1311	部1312	部1313	部1314	部1315	部1316	部1317	部1318	部1319	部1320	部1321	部1322

遺構	図号	土 層										200 年代									
		1 a	1 b	1 c	2 a	2 b	2 c	3 a	3 b	3 c	4 a	4 b	4 c	5 a	5 b	5 c	6 a	6 b	6 c	7 a	7 b
P-126	遺土																				
P-127	遺土																				
P-128	遺土																				
P-129	遺土																				
P-130	遺土																				
P-131	遺土																				
P-132	遺土																				
P-133	遺土																				
P-134	遺土																				
P-135	遺土																				
P-136	遺土																				
P-137	遺土																				
P-138	遺土																				
P-139	遺土																				
P-140	遺土																				
P-141	遺土																				
P-142	遺土																				
P-143	遺土																				
P-144	遺土																				
P-145	遺土																				
P-146	遺土																				
P-147	遺土																				
P-148	遺土																				
P-149	遺土																				
P-150	遺土																				
P-151	遺土																				
P-152	遺土																				
P-153	遺土																				
P-154	遺土																				
P-155	遺土																				
P-156	遺土																				
P-157	遺土																				
P-158	遺土																				
P-159	遺土																				
P-160	遺土																				
P-161	遺土																				
P-162	遺土																				
P-163	遺土																				
P-164	遺土																				
P-165	遺土																				
P-166	遺土																				
P-167	遺土																				
P-168	遺土																				
P-169	遺土																				
P-170	遺土																				
P-171	遺土																				
P-172	遺土																				
P-173	遺土																				
P-174	遺土																				
P-175	遺土																				
P-176	遺土																				
P-177	遺土																				
P-178	遺土																				
P-179	遺土																				
P-180	遺土																				
P-181	遺土																				
P-182	遺土																				
P-183	遺土																				
P-184	遺土																				
P-185	遺土																				
P-186	遺土																				
P-187	遺土																				
P-188	遺土																				
P-189	遺土																				
P-190	遺土																				
P-191	遺土																				
P-192	遺土																				
P-193	遺土																				
P-194	遺土																				

[illegible]

調査区	測点	地形・地質					水文・地質					地質調査					地質調査					地質調査				
		位置	経度	緯度	標高	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深	水深
P	P-101	調査区																								
	P-102	調査区																								
	P-103	調査区																								
	P-104	調査区																								
	P-105	調査区																								
	P-106	調査区																								
	P-107	調査区																								
	P-108	調査区																								
	P-109	調査区																								
	P-110	調査区																								
	P-111	調査区																								
	P-112	調査区																								
	P-113	調査区																								
	P-114	調査区																								
	P-115	調査区																								
	P-116	調査区																								
	P-117	調査区																								
	P-118	調査区																								
	P-119	調査区																								
	P-120	調査区																								
	P-121	調査区																								
	P-122	調査区																								
	P-123	調査区																								
	P-124	調査区																								
	P-125	調査区																								
TP	TP-1	調査区																								
	TP-2	調査区																								
	TP-3	調査区																								
	TP-4	調査区																								
	TP-5	調査区																								
	TP-6	調査区																								
	TP-7	調査区																								
	TP-8	調査区																								
	TP-9	調査区																								
	TP-10	調査区																								
Ps	Ps-1	調査区																								
	Ps-2	調査区																								
	Ps-3	調査区																								
	Ps-4	調査区																								
	Ps-5	調査区																								
	Ps-6	調査区																								
	Ps-7	調査区																								
	Ps-8	調査区																								
	Ps-9	調査区																								
	Ps-10	調査区																								
	Ps-11	調査区																								
	Ps-12	調査区																								
	Ps-13	調査区																								
	Ps-14	調査区																								
	Ps-15	調査区																								
	Ps-16	調査区																								
	Ps-17	調査区																								
	Ps-18	調査区																								
	Ps-19	調査区																								
	Ps-20	調査区																								
F	F-1	調査区																								
	F-2	調査区																								
	F-3	調査区																								
	F-4	調査区																								
	F-5	調査区																								
	F-6	調査区																								
	F-7	調査区																								
	F-8	調査区																								
	F-9	調査区																								
	F-10	調査区																								
	F-11	調査区																								
	F-12	調査区																								
	F-13	調査区																								
	F-14	調査区																								
	F-15	調査区																								
	F-16	調査区																								
	F-17	調査区																								
	F-18	調査区																								
	F-19	調査区																								
	F-20	調査区																								

[illegible]

測点区	観測項目					観測項目					観測項目					観測項目					計
	水深	流速	流向	水位	水温	水深	流速	流向	水位	水温	水深	流速	流向	水位	水温	水深	流速	流向	水位	水温	
F	F-100	観測																			10
	F-101	観測																			10
	F-102	観測																			10
	F-103	観測																			10
	F-104	観測																			10
	F-105	観測																			10
	F-106	観測																			10
	F-107	観測																			10
	F-108	観測																			10
	F-109	観測																			10
	F-110	観測																			10
	F-111	観測																			10
	F-112	観測																			10
	F-113	観測																			10
	F-114	観測																			10
	F-115	観測																			10
	F-116	観測																			10
	F-117	観測																			10
	F-118	観測																			10
	F-119	観測																			10
F-120	観測																			10	
H	H-101	観測																			10
	H-102	観測																			10
	H-103	観測																			10
	H-104	観測																			10
	H-105	観測																			10
	H-106	観測																			10
	H-107	観測																			10
	H-108	観測																			10
	H-109	観測																			10
	H-110	観測																			10
	H-111	観測																			10
	H-112	観測																			10
	H-113	観測																			10
	H-114	観測																			10
	H-115	観測																			10
	H-116	観測																			10
	H-117	観測																			10
	H-118	観測																			10
	H-119	観測																			10
	H-120	観測																			10

[illegible]

調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	2017年度調査結果												GIR	J																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
																								調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g			R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a	I b	I c	R a	R b	R c	R d	R e	R f	R g	R h	R i	R j	R k	R l	R m	R n	R o	R p	V	J	GIR	調査区	地層	I a

[illegible]

[illegible]

国名	年	主 要										対外関係									
		対米	対中	対日	対英	対仏	対独	対意	対露	対印	対米	対中	対日	対英	対仏	対独	対意	対露	対印		
1900	0.0																				
1901	0.0																				
1902	0.0																				
1903	0.0																				
1904	0.0																				
1905	0.0																				
1906	0.0																				
1907	0.0																				
1908	0.0																				
1909	0.0																				
1910	0.0																				
1911	0.0																				
1912	0.0																				
1913	0.0																				
1914	0.0																				
1915	0.0																				
1916	0.0																				
1917	0.0																				
1918	0.0																				
1919	0.0																				
1920	0.0																				
1921	0.0																				
1922	0.0																				
1923	0.0																				
1924	0.0																				
1925	0.0																				
1926	0.0																				
1927	0.0																				
1928	0.0																				
1929	0.0																				
1930	0.0																				
1931	0.0																				
1932	0.0																				
1933	0.0																				
1934	0.0																				
1935	0.0																				
1936	0.0																				
1937	0.0																				
1938	0.0																				
1939	0.0																				
1940	0.0																				
1941	0.0																				
1942	0.0																				
1943	0.0																				
1944	0.0																				
1945	0.0																				
1946	0.0																				
1947	0.0																				
1948	0.0																				
1949	0.0																				
1950	0.0																				
1951	0.0																				
1952	0.0																				
1953	0.0																				
1954	0.0																				
1955	0.0																				
1956	0.0																				
1957	0.0																				
1958	0.0																				
1959	0.0																				
1960	0.0																				
1961	0.0																				
1962	0.0																				
1963	0.0																				
1964	0.0																				
1965	0.0																				
1966	0.0																				
1967	0.0																				
1968	0.0																				
1969	0.0																				
1970	0.0																				
1971	0.0																				
1972	0.0																				
1973	0.0																				
1974	0.0																				
1975	0.0																				
1976	0.0																				
1977	0.0																				
1978	0.0																				
1979	0.0																				
1980	0.0																				
1981	0.0																				
1982	0.0																				
1983	0.0																				
1984	0.0																				
1985	0.0																				
1986	0.0																				
1987	0.0																				
1988	0.0																				
1989	0.0																				
1990	0.0																				
1991	0.0																				
1992	0.0																				
1993	0.0																				
1994	0.0																				
1995	0.0																				
1996	0.0																				
1997	0.0																				
1998	0.0																				
1999	0.0																				
2000	0.0																				
2001	0.0																				
2002	0.0																				
2003	0.0																				
2004	0.0																				
2005	0.0																				
2006	0.0																				
2007	0.0																				
2008	0.0																				
2009	0.0																				
2010	0.0																				
2011	0.0																				
2012	0.0																				
2013	0.0																				
2014	0.0																				
2015	0.0																				
2016	0.0																				
2017	0.0																				
2018	0.0																				
2019	0.0																				
2020	0.0																				
2021	0.0																				
2022	0.0																				
2023	0.0																				
2024	0.0																				
2025	0.0																				
2026	0.0																				
2027	0.0																				
2028	0.0																				
2029	0.0																				
2030	0.0																				
2031	0.0																				

知

[illegible]

遺跡名	期別	土 器														石 器									
		1 a	1 b	1 c	2 a	2 b	2 c	3 a	3 b	3 c	4 a	4 b	4 c	5 a	5 b	6 a	6 b	6 c	7 a	7 b	7 c	8 a	8 b	8 c	9
P1	P1P-2011 01.1																								
	P1P-2011 01.2																								
	P1P-2011 01.3																								
	P1P-2011 01.4																								
	P1P-2011 01.5																								
	P1P-2011 01.6																								
	P1P-2011 01.7																								
	P1P-2011 01.8																								
	P1P-2011 01.9																								
	P1P-2011 01.10																								
	P1P-2011 01.11																								
	P1P-2011 01.12																								
	P1P-2011 01.13																								
	P1P-2011 01.14																								
	P1P-2011 01.15																								
	P1P-2011 01.16																								
	P1P-2011 01.17																								
	P1P-2011 01.18																								
	P1P-2011 01.19																								
	P1P-2011 01.20																								
P2	P2P-2011 02.1																								
	P2P-2011 02.2																								
	P2P-2011 02.3																								
	P2P-2011 02.4																								
	P2P-2011 02.5																								
	P2P-2011 02.6																								
	P2P-2011 02.7																								
	P2P-2011 02.8																								
	P2P-2011 02.9																								
	P2P-2011 02.10																								
P3	P3P-2011 03.1																								
	P3P-2011 03.2																								
	P3P-2011 03.3																								
	P3P-2011 03.4																								
	P3P-2011 03.5																								
	P3P-2011 03.6																								
	P3P-2011 03.7																								
	P3P-2011 03.8																								
	P3P-2011 03.9																								
	P3P-2011 03.10																								
P4	P4P-2011 04.1																								
	P4P-2011 04.2																								
	P4P-2011 04.3																								
	P4P-2011 04.4																								
	P4P-2011 04.5																								
	P4P-2011 04.6																								
	P4P-2011 04.7																								
	P4P-2011 04.8																								
	P4P-2011 04.9																								
	P4P-2011 04.10																								
P5	P5P-2011 05.1																								
	P5P-2011 05.2																								
	P5P-2011 05.3																								
	P5P-2011 05.4																								
	P5P-2011 05.5																								
	P5P-2011 05.6																								
	P5P-2011 05.7																								
	P5P-2011 05.8																								
	P5P-2011 05.9																								
	P5P-2011 05.10																								

[illegible]

[illegible]

458

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

品名	単位	1 目										2 目										3 目										4 目										計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1000-01	0.01																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

1042

調査区	施設	土 器											2000年代									
		1a	1b	1c	2a	2b	2c	3a	3b	3c	4a	4b	5a	5b	5c	6a	6b	6c	7a	7b	7c	8a
B区	B01-101																					
	B01-102																					
	B01-103																					
	B01-104																					
	B01-105																					
	B01-106																					
	B01-107																					
	B01-108																					
	B01-109																					
	B01-110																					
	B01-111																					
	B01-112																					
	B01-113																					
	B01-114																					
	B01-115																					
	B01-116																					
	B01-117																					
	B01-118																					
	B01-119																					
	B01-120																					
	B01-121																					
	B01-122																					
	B01-123																					
	B01-124																					
	B01-125																					
	B01-126																					
	B01-127																					
	B01-128																					
	B01-129																					
	B01-130																					
	B01-131																					
	B01-132																					
	B01-133																					
	B01-134																					
	B01-135																					
	B01-136																					
	B01-137																					
	B01-138																					
	B01-139																					
	B01-140																					
	B01-141																					
	B01-142																					
	B01-143																					
	B01-144																					
	B01-145																					
	B01-146																					
	B01-147																					
	B01-148																					
	B01-149																					
	B01-150																					
C区	C01-1																					
	C01-2																					
	C01-3																					
	C01-4																					
	C01-5																					
	C01-6																					
	C01-7																					
	C01-8																					
	C01-9																					
	C01-10																					
	C01-11																					
	C01-12																					
	C01-13																					
	C01-14																					
	C01-15																					
	C01-16																					
	C01-17																					
	C01-18																					
	C01-19																					
	C01-20																					
	C01-21																					
	C01-22																					
	C01-23																					
	C01-24																					
	C01-25																					
	C01-26																					
	C01-27																					
	C01-28																					
	C01-29																					
	C01-30																					
	C01-31																					
	C01-32																					
	C01-33																					
	C01-34																					
	C01-35																					
	C01-36																					
	C01-37																					
	C01-38																					
	C01-39																					
	C01-40																					
D区	D01-1																					
	D01-2																					
	D01-3																					
	D01-4																					
	D01-5																					
	D01-6																					
	D01-7																					
	D01-8																					
	D01-9																					
	D01-10																					

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又搬入10-10の2棟(分庫分2棟) 搬入10-10の2棟(分庫分2棟)

通称名	調査区	掘上パターン	略名	土色	マンセル	土性	堅硬度	混入物/備考
SP-134	T37b	A	1	灰褐色	10YR4/2	硬土	—	細中～中ロームブロック25%
			2	にぶい黄褐色	10YR4/3	硬土	—	細中～大ロームブロック・硬土ブロック50%、中～大炭化材1%
			3	暗褐色	10YR3/3	硬土	—	中硬土ブロック1%
SP-135	U36c	A	1	暗褐色	10YR3/4	硬土	—	中硬土・ロームブロックを多量に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			3	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-136	X36a	A	1	にぶい黄褐色	10YR4/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			2	褐色	7.5YR4/4	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			3	暗褐色	7.5YR3/4	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-151	V35b	A	1	褐色	7.5YR4/4	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-158	V37c	B	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			2	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			3	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-159	V37d	A	1	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			2	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			3	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-160	V37d	A	1	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-161	V37d	D	1	黒色	10YR1/1	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-162	V37d	A	1	黒色	10YR1/1	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-163	V37d	D	1	黒色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-164	V37a	A	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			2	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
SP-165	V37a	C	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	軟	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			2	暗褐色	10YR2/2	硬土	軟	炭化材・硬土粒・ロームを多量含む
			3	黄褐色	10YR5/5	硬土	軟	黒褐色土を数珠状に含む
SP-166	V37a	B	1	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	ローム粒を数珠状に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-167	V37a	B	1	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	ローム粒を少量含む
			2	暗褐色	10YR3/4	硬土	堅	ローム粒を少量含む
			3	暗褐色	10YR3/4	硬土	堅	ローム粒を少量含む
SP-168	U37b	D	1	黒色	10YR1/1	硬土	堅	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR3/4	硬土	堅	ローム粒を少量含む
			3	暗褐色	10YR1/1	硬土	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-169	U37b	B	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-170	U37b	B	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-171	U37b	D	1	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-172	U37b	D	1	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-173	U37b	A	1	暗褐色	7.5YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-174	U37c	B	1	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-175	U37c	B	1	暗褐色	10YR2/3	硬土	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-176	U37b	D	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームブロックを含む
SP-177	U37a	B	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-178	V37d	A	1	暗褐色	10YR4/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を含む
SP-179	V37a	B/C	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-180	V37a	D	1	暗褐色	10YR2/2	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ローム粒を中量含む
SP-181	V36d	—	1	暗褐色	10YR3/3	硬土	堅	炭化材・硬土粒・ロームブロックを多量含む

通称名	調査区	植土パターン	樹名	土色	マンセル	土性	粘性	堅密度	選入物/備考
SP-182	U35b	B	1	黒褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を中量含む、土層片混入
SP-183	U35c	C	1	黒褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	炭化樹少量、ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-184	U36c	D	1	黒褐色	10YR2/2	堆積土	弱	堅	炭化樹・ロームブロックを少量含む
SP-185	U35d	C	1	暗褐色	10YR3/4	堆積土	弱	堅	ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-186	U36d	C	1	黒褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	炭化樹・ローム粒を少量含む
SP-187	U36d	A	2	暗褐色	10YR3/4	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ロームブロックを少量含む
SP-188	U36d	C	1	暗褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	炭化樹少量、ローム粒・ロームブロックを中量含む
SP-189	U36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	堆積土	弱	堅	炭化樹少量、ロームブロックを多量、黒色土を少量含む
SP-190	U36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-211	U37c	C	2	黒褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-212	U37d	C	1	黒褐色	10YR2/3	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-213	X35b	E	1	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・ローム粒・骨粉を少量含む
SP-214	X35b	E	2	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	暗褐色土を炭化に含む
SP-215	X35b	E	2	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	暗褐色土を炭化に含む
SP-216	X35a	B	3	暗褐色	10YR4/3	—	—	堅	炭化樹・ローム粒・骨粉を少量含む、土層片混入
SP-217	X35b	C	1	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-218	X35b	C	1	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-219	X35b	C	1	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-220	X35b	B	2	黒褐色	10YR2/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-221	X35b	E	1	暗褐色	10YR5/4	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-222	X35b	E	1	暗褐色	10YR5/4	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-223	Y35a	D	2	黒色	10YR1/1	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-224	Y35d	C	1	暗褐色	10YR4/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-225	X35c	B	2	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-226	X35c	B	1	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-227	Y35a	G	2	暗褐色	10YR3/2	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-228	X35b	B	2	暗褐色	10YR3/3	堆積土	弱	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-229	Y35a	F	2	暗褐色	10YR5/6	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-230	X35c	F	1	暗褐色	10YR4/4	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-231	X35c	C	2	暗褐色	10YR3/3	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む
SP-231	X35c	C	2	暗褐色	10YR5/6	—	—	堅	炭化樹・樺土粒・ローム粒を少量含む

通称名	調製区	国土・パターン	貯名	色	土色	マンセル	土性	堅硬度	混入物／備考
SP-232	X36 c	C	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	しゅう	ローム粒を微量に含む
SP-233	X36 c	C	2	褐色	10YR4/4	—	強	軟	暗褐色土を微量に含む
SP-234	X36 c	C	2	暗褐色	10YR3/4	—	中	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-235	X36 a	B	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	しゅう	炭化粒・ローム粒を微量に含む
SP-236	X36 a	B	2	暗褐色	10YR5/6	—	強	堅	暗褐色土を微量に含む
SP-237	X36 a	B	1	黒褐色	10YR2/2	—	中	しゅう	炭化粒・ローム・フロックを少量、骨粉を含む、小礫混入
SP-238	X36 c	—	1	暗褐色	10YR3/4	—	中	しゅう	炭化粒・焼土粒・ローム粒・骨粉を含む、小礫混入
SP-239	X36 b	B	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土礫片混入
SP-240	X36 c	—	1	灰黄褐色	10YR4/2	—	強	しゅう	ローム粒を含む
SP-241	X36 c	—	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	軟	わずかな暗褐色土を微量に含む
SP-242	X36 c	B	1	黒褐色	10YR2/2	—	中	軟	ローム粒を含む
SP-243	X36 c	B	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	軟	ローム粒を微量に含む
SP-244	X36 d	B	2	暗褐色	10YR4/4	—	強	軟	炭化粒・ローム粒を微量に含む、土礫片・小礫混入
SP-245	X36 b	E	2	ぶい、黄褐色	10YR4/3	—	中	堅	暗褐色土を微量に含む
SP-246	X36 d	E	1	黄褐色	10YR5/6	—	中	すこぶる堅	暗褐色土・黒色土を微量に含む
SP-248	X36 b	E	1	暗褐色	10YR3/3	—	強	しゅう	炭化粒・ローム・フロックを少量含む
SP-249	U37 d	D	2	黒褐色	10YR5/6	—	強	堅	暗褐色土を微量に含む
SP-250	U37 c	C	1	黄褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
SP-251	U37 c	C	1	黒褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・ローム粒・ローム・フロックを含む
SP-252	U37 c	C	1	黒褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・ローム粒・ローム・フロックを含む
SP-253	U37 c	C	2	黒褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・焼土粒・ローム粒・ローム・フロックを含む
SP-254	U37 c	D	2	黒褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-255	U37 d	C	2	黒褐色	10YR1/1	—	強	堅	炭化粒・ローム・フロックを多く含む
SP-256	U37 d	C	1	黄褐色	10YR2/2	—	強	堅	炭化粒・焼土粒・ローム・フロックを含む、土礫片混入
SP-257	U37 d	D	2	黄褐色	10YR3/3	—	強	堅	ローム粒を多く含む
SP-258	U37 d	C	2	ぶい、黄褐色	10YR2/2	—	強	堅	ローム粒を多く含む
SP-259	U37 d	C	1	ぶい、黄褐色	10YR4/3	—	強	堅	炭化粒・焼土粒を含む
SP-260	T37 c	B	2	黒褐色	10YR3/2	—	強	堅	暗褐色土をわずかに含む
				黄褐色	10YR3/2	—	強	軟	中ローム1%、小礫化材3%
				黒褐色	10YR3/2	—	強	軟	中ローム5%、小礫化材3%

遺構名	調査区	遺土パターン	層名	土色	マンセル色	土性	特性	堅硬度	透入物/備考
SP-261	U37a	B	1	黒褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黒褐色	10YR2/2	塊状土	弱	すこぶる堅	ローム
SP-262	T37b	C	1	にがい黄褐色	10YR4/3	塊状土	弱	堅	ロームブロック10%
			2	黄褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	暗褐色土を散状に含む
			3	黄褐色	10YR3/3	砂状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-263	T37b	B	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	軟	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	軟	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	軟	黄褐色土を散状に含む
			4	褐色	10YR4/4	塊状土	弱	軟	黄褐色土を散状に含む
			5	褐色	10YR4/6	塊状土	弱	軟	黄褐色土を散状に含む
SP-264	T37b	C	1	暗褐色	10YR3/3	砂状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	砂状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/3	砂状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-301	U37d	D	1	黒褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	黒褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	褐色	10YR4/7	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			4	黒色	10YR1/1	塊状土	弱	すこぶる堅	ローム
SP-302	U37d	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	ロームブロック1%
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	ロームブロック1%
			3	暗褐色	10YR2/2	塊状土	中	堅	黄褐色土を散状に含む
			4	暗褐色	10YR3/4	塊状土	中	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-303	U37a	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-304	U37a	B	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-305	U37a	B	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-306	U37d	B	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-307	T37c	B	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-308	T37c	B	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-309	T37c	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-310	T37c	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-311	T37d	B	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-312	T37d	B	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR2/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-313	T37d	B	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	暗褐色	10YR3/2	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
SP-314	T37d	C	1	にがい黄褐色	10YR4/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			2	にがい黄褐色	10YR4/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む
			3	にがい黄褐色	10YR4/3	塊状土	弱	堅	黄褐色土を散状に含む

遺構名	調査区	電土・ターン	層名	土色	土色 色	マセキ	土性	粘性	実密度	混入物・備考
SP-315	T37 d	D	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ロームブロック 7 %
			2	黒褐色	10YR 2/4	硬土	硬土	弱	堅	ローム 25 %
			3	にぶい黒褐色	10YR 2/3	硬土	硬土	弱	堅	ローム 25 %
SP-316	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			4	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-317	T37 d	C	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-318	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-319	T37 d	C	1	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-320	T37 d	D	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-321	T37 d	C	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-322	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-323	T37 a	B	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-324	U37 b	C	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-325	X35 d	A	1	黒褐色	7.5YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-326	T37 c	D	1	黒褐色	10YR 1/1	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-327	T37 c	C	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-328	T37 c	D	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-329	T37 c	C	1	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-330	T37 c	B	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-331	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-332	T37 d	C	1	黒褐色	10YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-333	T37 d	C	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			3	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-334	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-335	U36 c	B	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 2/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-406	X36 b	C	1	灰黒褐色	10YR 4/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	灰黒褐色	10YR 4/2	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-407	X36 b	B	1	黒褐色	10YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
			2	黒褐色	10YR 5/6	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-408	X36 a	—	1	黒褐色	10YR 3/3	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %
SP-409	X35 c	B	1	褐色	10YR 4/4	硬土	硬土	弱	堅	極小～小ローム・骨粉 3 %

通称名	調剤区	顔土パターン	顔名	土色 色 マンセル	土性	粘性	密度	混入物/備考
SP-410	X35 c	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	しろう	炭化粒・ローム粒を含む、土層片混入
			2	褐色 10YR4/4	—	弱	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-411	X35 d	—	1	暗褐色 10YR2/3	—	弱	しろう	炭化粒・ローム粒を含む
			2	にぶい黄褐色 10YR2/3	—	弱	軟	暗褐色土を顕状に含む
			3	暗褐色 10YR2/2	—	弱	しろう	暗褐色土を顕状に含む
SP-468	X36 b	B	1	暗褐色 10YR5/1	砂土	なし	しろう	暗褐色土がにじみ、小礫を多量に混入
			2	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
SP-469	X35 b	D	1	黄褐色 10YR5/6	—	弱	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-470	X35 b	D	1	黄褐色 10YR5/6	—	弱	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-471	Y35 a	C	1	黄褐色 10YR3/3	—	弱	軟	ローム粒を少量に含む、小礫混入
SP-601	X35 a	E	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	ローム粒を少量に含む、土層片混入
SP-602	X35 a	D	1	暗褐色 10YR5/6	—	弱	軟	ローム粒を少量に含む
SP-603	X35 a	C	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-604	X35 a	C	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	しろう	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
SP-605	X35 a	D	1	暗褐色 10YR2/2	—	弱	軟	炭化物・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-606	X35 a	C	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	しろう	ロームブロックを含む
SP-607	X35 d	B	1	—	—	—	—	ローム粒を含む、土層片混入
			2	—	—	—	—	注記もれ
SP-608	X35 b	B	1	暗褐色 10YR2/2	—	弱	軟	ロームブロックを顕状に含む
SP-609	W35 c	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む、下半のみ確認
			2	暗褐色 10YR3/3	—	弱	しろう	炭化粒・ロームブロックを多量に含む、土層片混入
SP-612	W36 b	F	1	暗褐色 10YR5/6	—	弱	しろう	暗褐色土を顕状に含む
			2	黄褐色 10YR5/6	—	弱	すこぶる堅	暗褐色土を顕状に含む
			3	明黄褐色 5YR4/6	—	弱	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を少量に含む
SP-613	W36 b	B	1	赤褐色 5YR4/8	—	弱	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を少量に含む
			2	暗褐色 10YR3/3	—	弱	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を少量に含む
SP-615	W35 c	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・ローム粒を少量に含む
			2	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・ローム粒を少量に含む
SP-616	X35 d	—	1	暗褐色 10YR4/6	—	弱	軟	炭化粒・ローム粒を少量に含む
			2	褐色 10YR5/6	—	弱	しろう	暗褐色土を顕状に含む
SP-617	W35 d	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・ローム粒を少量に含む
			2	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化物・焼土粒・ローム粒を含む
SP-618	W35 d	B	1	暗褐色 10YR4/6	—	弱	軟	炭化粒を含む
SP-619	W36 a	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	ローム粒を少量に含む
SP-620	W36 a	B	1	にぶい黄褐色 10YR4/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒を少量に含む
SP-621	W36 a	B	1	暗褐色 10YR2/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
SP-622	W36 a	C	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ロームブロックを含む
SP-623	W36 b	B	1	暗褐色 10YR3/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ロームブロックを含む
SP-624	W36 c	D	1	暗褐色 10YR2/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
			2	暗褐色 10YR5/6	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
SP-625	W36 c	D	1	暗褐色 10YR2/3	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む
			2	褐色 10YR4/6	—	弱	軟	炭化粒・焼土粒・ローム粒を含む

[illegible]

通称名	調査区	覆土パターン	断面	土色		土性	粘性	堅固度	混入物・備考
				色	マンセル				
SP-659	V36b	B	1	黒褐色	10YR2/3	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒をごく微量含む
SP-660	V36b	C	1	黒褐色	10YR2/3	埴土	—	しよう	炭化樹・焼土粒・ローム粒を微量含む
			2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒を微量含む
			3	褐色	10YR4/6	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒を微量含む
SP-661	V36b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化樹・ローム粒を少量含む、小礫を多量に混入
			2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化樹・ローム粒を少量含む、小礫を多量に混入
			3	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-662	V36b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-663	V36b	D	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-664	V36a	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-665	V36d	B	2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-666	T37b	B	1	黒褐色	10YR2/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-668	T37b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-669	T37b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-670	T37b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-671	V35a	C	1	褐色	10YR4/4	埴土	—	しよう	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-672	X35b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化樹・ローム粒を微量含む
			2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化樹・ローム粒を微量含む
			3	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	すこぶるしよう	炭化樹・ローム粒を微量含む
			4	暗褐色	10YR4/6	埴土	—	しよう	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-673	X35a	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-675	W35b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-676	W35b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-678	X35c	—	1	暗褐色	10YR4/3	埴土	—	すこぶるしよう	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-679	X36b	—	1	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	しよう	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-680	X35b	—	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-681	W35d	—	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化樹・ローム粒を微量含む
SP-711	T38d	B	1	黒褐色	10YR2/3	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			2	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			3	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-712	T38d	D	2	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			3	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-713	T38a	D	1	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-714	S35b	C	1	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-715	S35b	C	1	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-716	S35b	C	1	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	しよう	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-717	S35b	B	2	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			3	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-718	S35c	C	2	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	しよう	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			3	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	しよう	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-719	S35c	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-720	S35c	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
			2	暗褐色	10YR4/6	埴土	—	堅	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入
SP-721	T38d	B	1	暗褐色	10YR1/1	埴土	—	軟	炭化樹・焼土粒・ローム粒、まんべんなく黒色土を食み、土器片混入

遺跡名	調査区	遺土パターン	層名	土色	マンセル	土性	粘性	堅硬度	混入物・備考
SP-722	S38 c	C	1	黒褐色	10YR 2/2	増殖土	—	すこぶる堅	炭化粒・骨粉・炭粒、ローム粒を少量含む
SP-723	S38 b	B	1	黒褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・骨粉を中量含む
SP-724	S38 c	B	1	黒色	10YR 2/1	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム・プロックを含む
SP-725	S38 c	B	1	黒褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	ローム・プロックを含む
SP-726	S38 c	B	1	黒褐色	10YR 3/3	増殖土	—	すこぶる堅	ローム・プロックを含む
SP-727	S38 c	D	1	黒褐色	10YR 3/2	増殖土	—	軟	ローム・プロックを含む
SP-728	S38 c	C	2	黒褐色	10YR 5/6	増殖土	—	すこぶる堅	暗褐色土を中量含む
SP-729	S38 c	C	2	黒褐色	10YR 2/2	増殖土	—	堅	ローム・プロックを少量含む
SP-730	S38 c	C	4	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・骨粉を中量含む、土器片・中量混入
SP-731	S38 b	B	1	黒褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・骨粉を含む
SP-732	S38 b	B	1	黒褐色	10YR 2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・骨粉を含む
SP-733	S38 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・ローム・プロック・骨粉を含む
SP-734	S38 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	砂増殖土	—	すこぶる堅	ローム・プロックを含む
SP-735	S38 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	砂増殖土	—	すこぶる堅	ローム・プロックを含む
SP-736	S38 d	B	2	褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉・白色粘土を含む、土器片混入
SP-737	S38 a	C	2	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・ローム粒を含む、土器片・中量混入
SP-738	S38 a	D	2	褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム・プロックを含む
SP-739	S38 a	C	2	褐色	10YR 2/2	増殖土	—	軟	暗褐色土を中量含む
SP-740	S38 b	C	2	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム・プロックを含む
SP-741	S37 c	C	1	暗褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉・炭粒、ローム粒を少量含む、土器片混入
SP-742	S37 c	D	1	黒色	10YR 2/1	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム・プロックを含む
SP-743	S38 d	C	1	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉を中量含む、土器片混入
SP-744	S38 d	B	2	暗褐色	10YR 2/3	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉を含む
SP-745	S37 c	D	1	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉を含む
SP-746	S38 b	D	2	暗褐色	10YR 2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉を含む
SP-747	S38 a	E D	2	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・ローム粒・ローム・プロックを含む
SP-748	S38 d	C	2	褐色	10YR 4/6	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・ローム粒を含む
SP-749	S38 a	B	2	暗褐色	10YR 3/3	増殖土	—	軟	炭化粒・炭土粒・骨粉を中量含む、土器片混入
			3	暗褐色	10YR 3/4	増殖土	—	軟	炭土粒・骨粉・ローム・プロックを含む
			4	灰黄褐色	10YR 5/6	増殖土	—	軟	ローム粒をごく微量含む

通称名	調剤区	富士パターン	色 マンセル	土性	粘性	堅固度	混入物/備考
SP-750	S38a	B	1 暗褐色 10YR3/3	壤土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-751	S38a	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-752	S38d	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR3/3 3 暗褐色 10YR4/6 4 褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-753	S38a	D	1 暗褐色 10YR2/2 2 暗褐色 10YR2/2 3 暗褐色 10YR2/2	壤土	—	すこぶる堅 しろう	暗褐色土を顕状に含む
SP-754	S38a	F	1 暗褐色 10YR2/2 2 暗褐色 10YR2/2 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	すこぶる堅 しろう	炭化材・ローム粒・ロームブロックを微量含む、土層片混入
SP-755	S37d	B D	1 におい、黄褐色 10YR4/3 2 におい、黄褐色 10YR4/3 3 褐色 10YR4/6 4 褐色 10YR1/1	壤土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-756	S37d	D	1 におい、黄褐色 10YR4/3 2 暗褐色 10YR2/2 3 暗褐色 10YR2/2	壤土	—	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-757	S37d	C	1 暗褐色 10YR3/4 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR5/6	壤土	—	軟	炭化材・焼土粒・骨粉・白色土・ロームブロックを含む
SP-758	S37d	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR2/3	壤土	—	軟	暗褐色土を少量含む
SP-759	S37d	C	1 暗褐色 10YR2/3 2 暗褐色 10YR4/3	壤土	—	軟	暗褐色土を少量含む
SP-760	S37d	F	1 におい、黄褐色 10YR4/3 2 褐色 10YR4/6 3 褐色 10YR1/1	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・焼土粒を含む、小礫混入
SP-761	S37a	D	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・焼土粒を含む
SP-762	S37a	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・焼土粒を含む
SP-763	S37c	D	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・砂粒を含む、土層片混入
SP-764	S37c	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-765	S37c	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-766	S37a	C	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・土層片混入
SP-767	T38d	D	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・土層片混入
SP-768	S37a	B	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土層片・中礫混入
SP-769	S37c	B	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土層片・中礫混入
SP-770	S37c	B	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6	壤土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土層片混入
SP-771	S37d	B	1 暗褐色 10YR3/3 2 暗褐色 10YR4/6 3 暗褐色 10YR4/6 4 暗褐色 10YR1/1	壤土	—	すこぶるしろう 軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む

遺構名	調査区	電土パターン	層名	土色		土質	粘性	堅硬度	埋入物/備考
				色	マッセル				
SP-772	S37 a	D	1	黒色	10YR 3/1	塊状土	—	堅	粘土・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-773	S37 a	D	2	暗褐色	10YR 3/3	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・炭土粒・ローム粒を含む、土器片埋入
SP-774	S37 a	C	1	褐色	10YR 4/6	塊状土	—	軟	暗褐色土を顕状に含む
SP-775	S37 a	C	2	暗褐色	10YR 3/3	塊状土	—	堅	ローム粒・ロームブロックを多量に含む、小礫埋入
SP-776	S37 a	C	3	暗褐色	10YR 3/3	塊状土	—	堅	炭化材・ロームブロックを多量に含む、小礫埋入
SP-777	T38 d	D	2	褐色	10YR 4/6	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-777	S37 a	C	2	暗褐色	10YR 3/3	塊状土	—	堅	暗褐色土を顕状に含む
SP-778	S37 a	C	2	暗褐色	10YR 3/3	塊状土	—	堅	ロームブロック多量、炭化粒・炭土粒を多量に含む
SP-779	S37 c	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-780	S37 a	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	暗褐色土を顕状に含む
SP-781	S36 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	ロームブロックを含む
SP-782	S36 c	B	1	—	—	—	—	すこぶる堅	黒色土を顕状に含む
SP-783	S36 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-784	S37 c	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-785	S37 c	B	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-786	S36 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-787	T38 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-788	S36 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-789	S37 a	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-790	S37 a	B	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-791	S37 a	B	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-792	S37 a	B	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-811	S36 d	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-812	S37 c	C	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-813	S40 c	G	2	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
SP-814	S40 c	G	3	暗褐色	10YR 4/6	塊状土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入

項 名	調査区	地土・パターン	層名	土色		土性	粘性	堅硬度	混入物・備考
				色	マンセル				
SP-815	S40a	G	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	軟	ロームブロックを微量含む
SP-816	S40a	G	2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	しよう	ローム粒・ロームブロックを少量、炭化粒を微量含む、土層片・中層混入
SP-841	T38a	D	1	黒色	10YR2/1	塊状土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む、土層片混入
SP-842	T38a	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを含む、小層混入
SP-843	T38a	AD	2	にぶい暗褐色	7.5YR4/4	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む、土層片混入
SP-844	T38a	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	ローム粒を微量含む
SP-845	T38b	C	2	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒を多量に含む、土層片・小層混入
SP-846	T38a	B	2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒を多量に含む
SP-847	T38b	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒を多量に含む
SP-848	T38b	D	2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	しよう	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-849	T38b	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒を多量に含む
SP-850	T38b	A	1	褐色	7.5YR4/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒を多量に含む
SP-851	T38b	D	2	暗褐色	10YR3/4	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-852	T38b	B	2	暗褐色	10YR4/6	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-853	T38b	D	2	暗褐色	10YR1/1	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-854	T38b	D	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-855	T38b	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-856	T38b	D	2	暗褐色	10YR7/1	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-857	T38b	D	3	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-858	T38b	D	2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-859	T38b	C	1	暗褐色	10YR2/1	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-860	T38b	B	2	暗褐色	10YR4/6	塊状土	—	すこぶる堅	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-861	T38b	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-862	U38a	B	2	暗褐色	10YR2/3	塊状土	—	軟	炭化粒・塊状土・ローム粒・ロームブロックを多量に含む

遺跡名	調査区	瓦土パターン	別名	土色		土性	粘性	堅硬度	混入物/備考
				マンセル	色				
SP-663	T33 b	D	1	10YR 7/2	黒褐色	腐土	—	固結	ローム粒を少量、ロームブロックを含む
SP-664	T33 b	B	1	10YR 1/2	黒褐色	腐土	—	しよう	炭化粒・腐土粒・ローム粒を含む、土器片混入
			2	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	暗褐色土を断片に含む
			3	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	ロームブロックを多量に含む
			4	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	ローム粒を少量、土器片混入
SP-665	T33 b	D	2	10YR 2/1	黒褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒・ローム粒を含む
			3	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	ロームブロックを多量に含む
			4	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	ローム粒を少量、土器片混入
SP-666	T33 b	B	5	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	白色粘土・炭化粒・ローム粒を含む
			6	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	ロームを断片に含む
SP-667	T33 b	A	2	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-668	U33 a	D	3	5 YR 4/6	赤褐色	砂質土	—	しよう	炭化材・ローム粒をごく微量含む
			4	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	暗褐色土を中量、炭化粒・骨物をごく微量含む
SP-669	U33 a	B	1	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒微量
			2	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	暗褐色土を断片に含む
			3	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	暗褐色土を断片に含む
SP-670	U33 a	D C	1	10YR 7/2	黒褐色	腐土	—	堅	ロームを断片に含む
			2	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-671	U37 c	B	1	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	小ロームを断片に含む
SP-683	U37 d	B	1	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒・ローム粒を含む
SP-684	U37 d	B	2	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒・ローム粒を含む
			3	10YR 1/1	黒色	腐土	—	堅	暗褐色土を断片に含む
SP-685	U33 a	B	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	ロームを断片に含む
			2	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を中量、骨物をごく微量含む、土器片混入
SP-686	U33 a	D C	1	10YR 7/2	黒褐色	腐土	—	堅	ローム粒を少量、中層を上層の腐れ込んでいる
			2	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-687	U33 a	C	3	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒・骨物を微量、ロームブロックを中量含む、土器片混入
SP-688	U33 a	B C	1	10YR 2/2	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を微量含む
			2	10YR 2/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒微量、ロームブロックを中量含む
			3	10YR 2/3	暗褐色	腐土	—	堅	ローム粒微量、土器片・小腐れ混入
SP-689	U33 a	D	2	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を中量含む、土器片混入
SP-690	U33 a	D	3	10YR 2/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を中量含む、土器片混入
SP-691	U33 a	D	1	10YR 2/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を中量含む、土器片混入
SP-692	U33 c	C	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒を微量、ロームブロックを中量含む、土器片混入
			2	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒を微量、ローム粒を含む
SP-903	U33 b	C	3	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒を微量、ローム粒を含む
			4	10YR 4/6	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・腐土粒を微量、ローム粒を含む
SP-904	U33 b	D C	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒を少量、ロームブロックを断片に含む
			2	10YR 4/4	褐色	腐土	—	堅	ロームブロックを断片に含む、小腐れ混入
SP-905	T36 d	B	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-906	U33 b	D	2	10YR 1/1	黒色	腐土	—	しよう	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
			3	10YR 3/4	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-907	T37 a	B	1	10YR 4/4	褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-908	U37 d	C	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-909	T36 d	B	1	10YR 3/3	暗褐色	腐土	—	堅	炭化材・ローム粒を微量含む、土器片混入

道標名	標高区	間土パターン	地名	色	土色	ワンセル	土性	粘性	堅硬度	混入物／備考
SP-810	Y36d	G	1	黒色	10YR17/1	塊状土	強	堅	堅	
			2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	強	堅	堅	
			3	暗褐色	10YR3/3	シルト質塊状土	強	堅	堅	ロームブロックを面状に含む
			4	黒色	10YR2/1	塊状土	強	堅	堅	ローム粒20%
SP-811	Y39a	G	1	黒褐色	10YR2/2	塊状土	強	堅	堅	ロームを面状に含む (15%)
			2	黒褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	
SP-812	X39c	G	1	黒褐色	10YR2/1	塊状土	強	堅	堅	炭化粒2%
			2	黒褐色	10YR2/1	塊状土	強	堅	堅	ロームを面状に含む (15%)
			3	黒褐色	10YR2/1	塊状土	強	堅	堅	褐色土を面状に含む (20%)
SP-813	X39b	G	1	黒褐色	10YR17/1	塊状土	強	堅	堅	ローム粒25%
			2	黒褐色	10YR2/2	塊状土	強	堅	堅	
SP-814	X39b	G	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、アスファルト・小礫混入
			2	黒褐色	10YR2/1	塊状土	強	堅	堅	暗褐色土をわずかに含む
SP-815	T37b	B	1	赤褐色	5YR4/2	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、小礫混入
			3	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ローム粒を含む、小礫混入
SP-816	T37b	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ローム粒を含む、小礫混入
SP-817	S39a	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ローム粒を含む、小礫混入
SP-818	S39a	B	1	暗褐色	10YR3/4	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ローム粒を少量含む、土器片・小礫混入
SP-819	S39a	D	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	生土
SP-820	S37a	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ロームブロック混入
SP-821	S36d	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ロームブロックを中量含む、小礫・中礫混入
SP-822	S36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ロームブロックを含む、土器片混入
SP-823	S36d	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・ロームブロックを含む、小礫混入
SP-824	W36d	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-825	W36d	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-826	W36c	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	ロームブロック・黒色土を含む
SP-827	W36b	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-828	W36d	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-829	W36d	B	1	にぶい黄褐色	10YR4/3	塊状土	強	堅	堅	ローム粒を含む、土器片混入
SP-831	W36c	B	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR5/6	塊状土	強	堅	堅	暗褐色土を面状に含む
SP-832	W36c	B	1	褐色	10YR4/4	砂状土	強	堅	堅	炭化粒微量、ローム粒を中量含む、小礫混入
			2	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂状土	強	堅	堅	暗褐色土を面状に含む
			3	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化粒微量、ローム粒を中量含む、小礫混入
			4	黒褐色	10YR2/2	塊状土	強	堅	堅	ローム粒を中量含む
SP-833	W36c	C	1	にぶい黄褐色	10YR4/3	塊状土	強	堅	堅	炭化粒微量、ローム粒中量、ロームブロックを面状に含む、土器片混入
SP-834	W36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒・骨粉微量、ローム粒を少量含む
SP-835	X36d	B	1	暗褐色	10YR4/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒微量、ローム粒を少量含む
			2	にぶい黄褐色	10YR4/3	塊状土	強	堅	堅	炭化材・焼土粒を含む
SP-836	W36a	C	1	にぶい黄褐色	10YR4/3	塊状土	強	堅	堅	暗褐色土を面状に含む
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	強	堅	堅	暗褐色土・ローム粒を含む、土器片混入

道標名	調査区	覆土パターン	層名	土色		土質	粘性	堅硬度	埋入物/備考
				色	マンセル				
SP-937	W36 b	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒少量、ローム粒を中量含む、土部片混入
			2	褐色	10YR 4/4	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒少量、埴埴土を中量含む
			3	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒少量、ローム粒を中量含む
			4	暗褐色	10YR 3/6	埴埴土	—	固結	埴埴土を中量含む
SP-938	W36 b		1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	弱	軟	炭化材・埴土粒少量、ローム粒を中量含む
SP-939	Y39 b		1	暗褐色	10YR 3/2	埴埴土	強	堅	ロームブロック30%
SP-940	Y39 b		1	暗褐色	10YR 3/2	埴埴土	強	堅	ロームブロック30%
SP-941	W36 b	D	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-942	W36 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	埴埴土を中量含む
			2	暗褐色	10YR 3/6	埴埴土	—	堅	ロームブロックを含む
			3	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
			4	暗褐色	10YR 3/2	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ロームブロックを含む、一部に埴土を中量含む
SP-944	X35 b	B	1	暗褐色	10YR 3/2	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む、一部に埴土を中量含む
SP-945	X35 b	B	1	暗褐色	10YR 3/2	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む、一部に埴土を中量含む
SP-946	S37 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	砂埴土	—	固結	ロームブロックを多量に含む、中量混入
SP-947	S37 c	C	1	暗褐色	10YR 3/3	砂埴土	—	固結	炭化材・ローム粒を多量に含む、中量混入
SP-948	S37 d	C	1	暗褐色	10YR 2/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-949	S37 a	D	1	暗褐色	10YR 4/3	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-950	S37 a	D	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-951	S37 a	D	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-952	S36 d	C	1	暗褐色	10YR 4/3	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-953	S36 d	C	1	暗褐色	10YR 4/3	埴埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-954	S36 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	ロームブロックを含む
SP-955	S38 a	C	1	暗褐色	10YR 2/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-956	S37 a		—	—	—	—	—	—	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-957	U36 b	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む、土部片混入
SP-958	U36 a	B	1	暗褐色	10YR 3/4	埴埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む、土部片・大礫 (SSS220) 混入
SP-960	U37 a	D	1	暗褐色	10YR 2/3	埴土	—	しよう	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR 2/3	埴土	—	しよう	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			3	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			4	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
SP-961	U36 a	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			3	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			4	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
SP-963	U36 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-964	U36 a	E	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-965	U36 b	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-966	U36 b	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-967	U36 b	C	1	暗褐色	10YR 4/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
SP-968	V36 d	D	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量含む
			3	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			4	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
SP-969	U37 a	C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる固結	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む、ミニチュア土部・小埴土混入
SP-970	T36 c	D	1	暗褐色	10YR 4/6	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
SP-971	U36	C o - A C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			3	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
			4	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む
SP-972	U37 a	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる固結	炭化材・埴土粒・ローム粒を中量含む、土部片・中量混入

通称名	調査区	植土・バスターン	顔名	土色	マンセル	土性	粘性	堅密度	透入物/備考
SP-973	S39d	D	1	黒色	10YR1.7/1	塊状土	—	軟	下部にローム粒を多量に含む
SP-974	S39d	C	1	黒褐色	10YR3.2/2	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・骨片を含み、土部片混入
SP-975	S39d	—	2	黒色	10YR2.1/1	塊状土	—	軟	ローム粒を少量含む
SP-976	S39d	—	2	褐色	10YR4.4/4	塊状土	—	軟	ローム粒を多量に含む
SP-977	S39d	—	1	黒色	10YR1.7/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-978	S39d	—	1	黒褐色	7.5YR3.2/2	塊状土	—	軟	ローム粒を多量に含む
SP-979	S39d	—	1	黒色	10YR2.2/2	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-980	S39b	C	1	黒褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片混入
SP-981	S39b	D	2	黒色	10YR5.6/6	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片混入
SP-982	S39b	C	1	暗褐色	10YR3.3/3	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片混入
SP-983	S39b	B	1	暗褐色	10YR3.2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を中量に含む、土部片・中硬土
SP-984	S39b	B	1	暗褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片・中硬土
SP-985	S39c	D	1	黒色	10YR1.7/1	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片・中硬土
SP-986	S39c	G	2	褐色	10YR2.1/1	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-987	S39c	D	1	黒色	10YR4.4/4	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-988	S39d	D	1	黒色	10YR1.7/1	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-989	S39d	D	1	黒色	10YR2.2/2	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片・中硬土
SP-990	S39d	D	2	褐色	10YR4.4/4	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-991	S39d	C	2	褐色	10YR3.3/3	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-992	S39d	G	1	暗褐色	10YR2.1/1	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-993	S39a	B	1	暗褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-994	S39a	C	2	暗褐色	10YR2.1/1	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-995	S39c	C	1	暗褐色	10YR1.7/1	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-996	S39d	B	1	暗褐色	10YR3.3/3	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-997	S39d	G	1	暗褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-998	S39d	G	1	暗褐色	10YR3.3/3	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-999	T37a	B	2	暗褐色	10YR5.6/6	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1000	T38b	D	2	黒色	10YR1.7/1	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1001	T38b	D	2	黒褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1002	T38b	D	1	黒色	10YR2.1/1	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片混入
SP-1003	T38b	B	1	暗褐色	10YR3.3/3	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片・中硬土
SP-1004	U38a	A	1	暗褐色	10YR2.2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1005	S37b	A	2	褐色	7.5YR3.4/6	砂状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む、土部片・中硬土
			3	暗褐色	10YR3.4/4	塊状土	—	硬	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
			4	にぶい、黄褐色	10YR4.3/4	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む
			5	褐色	10YR4.6/6	塊状土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を少量含む

遺構名	調査区	遺土パターン	層名	土色	マンセル色	土質	粘性	堅硬度	埋入物/備考
SP-1041	T37 a	-	1	褐色	10YR 7/5	埴土	-	軟	暗褐色土をまばらに含む。立石 (SSS133) あり
			2	暗褐色	10YR 3/1	埴土	-	軟	ローム粒・ロームブロックを含む。大礫混入
			3	黒色	10YR 2/1	埴土	-	軟	炭化材・ロームブロックを含む
SP-1043	S39 a	C	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	固結	ローム粒・ローム粒・ロームブロックを含む。土部片混入
SP-1044	S39 a	C	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	すこぶる堅	ローム粒を含む
SP-1045	S39 a	B	1	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む。土部片・中礫混入
SP-1046	S39 d	C	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片・中礫混入
SP-1047	S39 d	C	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片・中礫混入
SP-1048	S39 d	D	1	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	軟	ロームを含む
SP-1049	S39 d	D	1	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1050	S39 c	B/C	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	軟	炭化材・ローム粒・埴土粒を含む。土部片混入
SP-1051	S39 b	C	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	すこぶる堅	黒色土を散在に。炭化材をわずかに含む
SP-1052	S39 b	D	1	暗褐色	10YR 4/4	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・埴土粒・ローム粒・ロームブロックを中礫含む
			2	褐色	10YR 4/4	埴土	-	しよう	暗褐色土を散在に含む。土部片・小礫混入
			3	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	すこぶる堅	ロームを含む
SP-1053	S39 b	D	2	暗褐色	10YR 4/4	埴土	-	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む。土部片混入
SP-1054	S39 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を中礫含む
SP-1055	S39 b	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1056	S39 b	C	2	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片混入
SP-1057	S39 b	C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片混入
SP-1058	T39 a	B	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片混入
			2	暗褐色	10YR 4/6	埴土	-	堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を含む
SP-1059	T39 a	暗褐色	3	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	しよう	暗褐色土を散在に含む
SP-1060	T39 a	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片混入
SP-1061	T39 d	D	2	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を含む。土部片混入
SP-1062	S39 c	G	1	暗褐色	10YR 4/4	埴土	-	堅	暗褐色土を散在に含む
			2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	-	堅	炭化材・ロームブロックを含む
SP-1063	S39 a	C	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	しよう	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1064	S39 d	G	1	暗褐色	10YR 2/3	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒・ローム粒を少量含む
SP-1065	T39 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR 7/1	埴土	-	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1066	T39 d	黄褐色 L B	2	暗褐色	10YR 5/6	埴土	-	すこぶる堅	黒色土を散在に含む
			3	暗褐色	10YR 7/1	埴土	-	軟	炭化材・埴土粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1067	T39 c	黄褐色	2	暗褐色	10YR 5/6	埴土	-	軟	炭化土を散在に含む
			3	暗褐色	10YR 3/3	埴土	-	堅	炭化材・ローム粒・ローム粒・ロームブロックを多量に含む
SP-1068	T39 c	D	2	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	しよう	ロームを散在に含む
			3	暗褐色	10YR 2/2	埴土	-	堅	炭化材・埴土粒・ロームブロックを含む
SP-1069	T39 c	D	2	暗褐色	10YR 2/1	埴土	-	しよう	炭化土を散在に含む
			3	暗褐色	10YR 3/4	埴土	-	堅	炭化土を散在に含む
SP-1070	T39 d	D	4	暗褐色	10YR 5/6	埴土	-	堅	炭化土を散在に含む
SP-1071	T39 d	D	1	暗褐色	10YR 2/1	埴土	-	軟	炭化材・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR 2/1	埴土	-	堅	炭化材・ローム粒を含む

通称名	調製区	和土パターン	略名	土色 マンサレ 色	土性	粘性	要密度	通入物・備考
SP-1072	T40a	灰褐色LB	1	黒色 10YR2/1	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1073	T39d	G	2	黒褐色 10YR7/6	焼土	—	しよう	炭化材を面状に含む
SP-1074	T39d	B	1	黒褐色 10YR7/1	焼土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、中微入
SP-1075	T39a	D	2	黒褐色 10YR3/2	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土部片・小微入
SP-1076	T39a	D	2	黒褐色 10YR4/6	焼硬土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒を面状に含む
SP-1077	S39b	C	1	黒褐色 10YR3/2	焼硬土	—	しよう	炭化材・焼土粒を少量、ローム粒を多量に含む
SP-1078	T40d	D	2	黒褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを中微含む
SP-1079	T40d	G'	1	黒褐色 10YR4/4	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土部片・小微入
SP-1081	T41b	G'	1	黒褐色 10YR2/2	焼土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1082	T41a	G'	1	黒褐色 10YR3/2	焼硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1083	T41a	—	2	赤褐色 10YR5/6	焼硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1084	T39a	A	2	赤褐色 7.5YR3/2	焼硬土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1085	T39a	C	1	赤褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1086	T39a	B	2	赤褐色 10YR2/1	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロック・骨粉少量、ローム粒を中微含む
SP-1087	T39a	C	1	赤褐色 10YR5/6	焼硬土	—	堅	炭化材・炭化材・焼土粒を多量、ローム粒を中微含む
SP-1088	T39a-39	D	1	赤褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1089	T39d	D	2	黒褐色 10YR2/2	焼土	—	堅	炭化材・焼土粒・ロームブロックを含む
SP-1090	T39d	C	2	黒褐色 10YR4/4	焼土	—	—	ローム
SP-1111	T39d	D	1	黒褐色 10YR2/2	焼土	—	しよう	炭化材・ローム粒を含む、小微入
SP-1112	T39d	C D	1	黒褐色 10YR5/6	焼土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1113	T39d	D	2	黒褐色 10YR2/2	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む、土部片・小微入
SP-1114	T39d	D	1	黒褐色 10YR3/2	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1115	T39c	B	2	黒褐色 10YR5/6	焼土	—	しよう	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土部片・小微入
SP-1116	T39a	C	2	黒褐色 10YR3/2	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1117	S39a	C	1	黒褐色 10YR5/6	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1118	S39a	C	1	黒褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・骨粉少量、焼土粒・ローム粒を中微含む
SP-1119	S39d	C	1	黒褐色 10YR3/4	焼硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1120	S39d	C	1	黒褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1121	T39d	C	1	黒褐色 10YR3/3	焼硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1122	S39c	C	1	黒褐色 10YR3/3	焼硬土	—	しよう	炭化材・焼土粒・ローム粒を多量に含む

遺構名	調査区	電土パターン	層名	土色	土色 マンセル	土性	粘性	堅固度	混入物/備考
SP-1123	S38d	D	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-1124	S38d	B	2	褐色	10YR 4/5	埴土	—	すこぶる堅	黒褐色土を断片に含む
SP-1125	S39b	黒	1	黒色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-1126	S39b	B	2	褐色	10YR 4/4	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒・埴土粒を含む
SP-1127	S39b	C黒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	しよう	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-1128	S39b	C黒	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを中層・埴土粒をやや多量に含む
SP-1129	S39a	B	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	しよう	炭化材・ローム粒・埴土粒を含む
SP-1130	S39b	D	1	黒褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む、土断片混入
SP-1131	S39b	C	2	褐色	10YR 4/5	埴土	—	堅	黒褐色土を断片に含む
SP-1132	S39b	C	2	褐色	10YR 4/4	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む、土断片混入
SP-1133	T39d	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	ローム粒を多量に含む
SP-1134	T39d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-1135	T39d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1136	T39d	黒	1	黒色	10YR 1/1	埴土	—	軟	炭化材・埴土粒を含む
SP-1137	T39d	D	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1140	T39d	D	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1141	S39b	B	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を少量含む
SP-1142	S39b	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1143	S39b	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1144	S39b	—	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む、土断片混入
SP-1146	T39a	—	2	褐色	10YR 4/4	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む
SP-1147	S39a	—	2	褐色	10YR 4/6	埴土	—	すこぶる堅	暗褐色土を断片に含む
SP-1148	S39a	—	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	しよう	炭化材・埴土粒・ローム粒を中品含む
SP-1149	S39a	—	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・埴土粒を少量含む、土断片混入
SP-1150	S39a	—	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1151	S39d	—	1	黒色	10YR 2/2	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1153	S39c	—	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土断片・小破面入
SP-1156	T39c	—	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1158	T39a	—	2	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土を断片に含む
SP-1159	T39a	—	2	暗褐色	10YR 2/1	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ロームブロックを含む
SP-1160	S37c	D	2	暗褐色	10YR 4/6	埴土	—	しよう	炭化材・埴土粒・ロームブロックをやや多量に含む
SP-1161	T39c	B	1	黒色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・埴土粒・ローム粒を含む、土断片・中層で充填されている
SP-1162	T39a	—	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1163	T39a	—	2	暗褐色	10YR 4/6	埴土	—	堅	炭化材・埴土を少量含む、黒褐色土を断片に含む
SP-1164	T39a	—	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を少量含む
SP-1165	T39a	—	3	暗褐色	10YR 3/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を断片に含む
SP-1166	T39a	—	1	褐色	10YR 4/4	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を断片に含む

遺構名	調査区	堀土パターン	原名	土色	マンセル	土性	粘性	堅密度	埋入物/備考
SP-1164	T38a	B○B○B	1	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化材・焼土・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土器片埋入
			3	黒色	10YR2/1	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片・中継埋入
			4	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			5	黒色	10YR2/1	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
			6	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	すこぶる堅	黒褐色土を埋状を含む
SP-1165	T38a	暗褐色	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒・焼土・骨片を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	すこぶる堅	暗褐色土をやや多量に含む、土器片埋入
SP-1166	T38c	C'	1	黒色	10YR1/1	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土・ローム粒・骨粉を含む、土器片・中一火燧埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	黒色土を埋状を含む
SP-1167	T38d	G'	1	黄褐色	10YR3/2	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、一部にロームブロックの層もあり
			2	黄褐色	10YR3/2	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片・中継埋入
SP-1168	T38c	D	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片・中継埋入
SP-1169	T38c	G'	1	黄褐色	10YR3/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土・ローム粒・ロームブロックを含む、小継埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片埋入
SP-1170	T38c	G'	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、小継埋入
SP-1171	S37c	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片埋入
SP-1172	S37c	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土・ローム粒を含む、土器片埋入
SP-1173	S37c	D	1	黒色	10YR2/1	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1174	S37b	C	1	褐色	10YR4/4	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1175	S37b	C	1	褐色	10YR4/4	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1176	S37b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1177	S36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1178	S36c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1179	T38c	—	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1180	T38c	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1181	S38b	G'	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1182	S38c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1183	S37c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1185	S37b	D	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1186	S37b	D	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1187	T38c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1188	T38b	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	暗褐色土を埋状を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片・中継埋入
SP-1189	T38c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
SP-1190	T38c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
SP-1202	T38c	D	1	黒色	10YR2/1	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
SP-1203	T38b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
SP-1204	T38b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入
			2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒・骨粉を含む、土器片埋入

遺跡名	調査区	復土パターン	層名	土色	マンセル色	土質	粘性	堅硬度	埋入物/備考
SP-1205	T39 b	G'	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む、土層片・小礫混入
SP-1206	T39 b	B	2	黒褐色	10YR 3/6	粘土	—	すこぶる堅	黒褐色土を多数含む
			1	黒褐色	10YR 3/6	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む、土層片混入
			2	褐色	10YR 4/4	粘土	—	堅	黒褐色土を多数含む
			1	黒色	10YR 1/1	粘土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1207	T38 c	D	2	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	軟	ローム粒を含む
			3	黒褐色	10YR 2/3	粘土	—	しやう	ローム粒を含む
			4	暗褐色	10YR 3/6	粘土	—	堅	黒褐色土を多数含む
SP-1208	T38 d	-	1	黒色	10YR 1/1	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR 3/6	粘土	—	軟	黒褐色土を多数含む
			1	にない黄褐色	10YR 4/3	粘土	—	すこぶる堅	ローム粒 1%
SP-1209	S38 b	-	2	褐色	10YR 4/4	粘土	—	堅	炭化材・大ローム・ロームプロック 30%
			3	黒褐色	10YR 3/2	粘土	—	しやう	ローム粒 3%
SP-1210	T38 c	B C	1	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	すこぶる堅	炭化材・粘土・ローム粒・ロームプロックを含む
SP-1211	T37 d	B	1	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒・ローム粒を含む
SP-1212	V37 c	B	1	黒色	10YR 1/1	粘土	—	軟	ロームを多数含む
SP-1213	V37 c	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む、土層片・小礫混入
SP-1214	V37 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1215	V37 c	B	1	黒色	10YR 1/1	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1216	V37 c	B	1	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1217	V37 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1218	V37 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	しやう	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1219	V37 c	B	2	褐色	10YR 4/4	粘土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1220	V37 c	B	1	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む、土層片混入
SP-1221	V37 c	D	2	褐色	10YR 4/4	粘土	—	しやう	炭化材・粘土・ローム粒を含む、土層片混入
SP-1222	V37 c	B	1	黒褐色	10YR 2/2	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1223	V37 c	E	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1224	V37 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1225	V37 b	C	2	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒・骨粉を含む
			1	暗褐色	10YR 4/4	粘土	—	すこぶる堅	ローム粒を含む
SP-1226	V37 a	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む、小礫混入
SP-1227	V37 d	D	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1228	V37 d	D	1	黒色	10YR 1/1	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1229	V37 c	D	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1230	V37 c	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒・骨粉を含む
SP-1231	V37 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒・ロームプロックを含む
SP-1232	V37 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	軟	炭化材・粘土・ローム粒・ローム粒を含む
SP-1233	W37 d	D	2	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
			1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1234	W37 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1235	W37 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1236	W37 d	D	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1237	W37 d	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1238	W37 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1239	W37 c	C	2	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
			1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む
SP-1240	W37 b	C	1	暗褐色	10YR 3/3	粘土	—	堅	炭化材・粘土・ローム粒を含む

道標名	標高区	頂上パターン	地名	土色		土性	粘性	堅固度	混入物・備考
				色	マンセル				
SP-1241	T39a	B 0	1	黒褐色	10YR2/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1242	X38a		2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	すこぶる堅	黒褐色土を含む
SP-1243	X38a	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む、小礫混入
SP-1244	X38d	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1245	X38d	D	1	暗褐色	10YR2/1	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片・小礫混入
SP-1246	X38d	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1247	X38d	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、小礫混入
SP-1248	X38d	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、小礫混入
SP-1249	X38d	B	1	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片・小礫混入
SP-1251	X38c	B	1	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1252	T39a	B	1	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1253	T39a	B	1	暗褐色	10YR2/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1254	T39b	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1255	T39a	B	1	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1256	T39a	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1257	T39a	D	2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1258	T39a	B	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒・骨粉を含む
SP-1259	T39d	B	2	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片・小礫混入
SP-1260	T39a	A	2	褐色	7.5YR4/6	埴土	—	堅	黒褐色土を顕状に含む
SP-1261	T39d	C	2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロック・暗褐色土を含む
SP-1262	T39d	B C	2	暗褐色	10YR5/6	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-1263	T39d	B	2	暗褐色	10YR5/6	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを少量含む
SP-1264	T39c	フカフカ	1	黒色	10YR1/1	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1265	T39c	D	1	黒褐色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1266	T39c	フカフカ	1	黒色	10YR2/2	埴土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを多量に含む、土器片・小礫混入
SP-1267	T39b	B 焼土粒	2	暗褐色	10YR2/3	埴土	—	軟	炭化材・土器片・ローム粒・ロームブロックを多量に含む、土器片・小礫混入
SP-1268	T39c	B	2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、小礫混入
SP-1269	T39c	C	1	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1270	U38d	D	2	黒色	10YR1/1	埴土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む、下層にロームブロックが多い
SP-1271	U38d	B C	2	黄褐色	10YR5/6	埴土	—	すこぶる堅	黒色土を顕状に含む
SP-1272	U38d	B	2	褐色	10YR4/6	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1273	U38d	B C	2	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1274	U38a	B	2	暗褐色	10YR3/3	埴土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1275	U38a	B	2	暗褐色	10YR3/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1276	U38a	B	2	暗褐色	10YR2/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を多量に含む
SP-1277	U38a	B	2	褐色	10YR4/4	埴土	—	すこぶる堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む、土器片混入

遺跡名	調査区	観土パターン	層名	土色		土性	粘性	堅硬度	混入物/備考
				色	マンセル				
SP-1276	U38 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	凝硬土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1277	U38 d	B	2	黒褐色	10YR 2/3	凝硬土	—	軟	炭化材・骨角こく微量、ローム粒を含む
SP-1278	U38 d	B	1	暗褐色	10YR 3/3	凝硬土	—	軟	炭化材・骨角こく微量、ローム粒を含む
SP-1279	U39 a	D	1	黒色	10YR 1/1	凝硬土	—	堅	炭化材・焼土粒・ローム粒を含む
SP-1280	U39 a	B	1	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1281	U39 a	C	1	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1282	U39 a	B	2	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	—	軟	炭化材・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1283	U38 d	C	1	黒褐色	10YR 3/2	凝硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1284	U38 d	B C	1	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1285	U38 d	B	2	暗褐色	10YR 4/6	凝硬土	—	堅	炭化材・ローム粒を含む
SP-1286	W39 d	G	1	暗褐色	10YR 3/3	砂質土	弱	軟	砂重じり
SP-1287	V40 b	G	2	黒色	10YR 1/1	凝硬土	弱	軟	ローム粒 5%
SP-1288	V40 b	G	3	黒褐色	10YR 2/3	凝硬土	弱	軟	ロームブロック 50%
SP-1289	V40 b	G	4	暗褐色	10YR 4/4	凝硬土	弱	堅	ロームブロック 50%
SP-1290	V39 c	G	2	黒色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ロームブロック 50%
SP-1291	U39 d	—	3	暗褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ロームブロック 5%
SP-1292	U39 a	D	2	暗褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ローム粒 10%
SP-1293	U39 a	B	2	暗褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ローム粒 5%
SP-1294	U39 a	C B	3	暗褐色	10YR 2/1	凝硬土	弱	堅	ローム粒 5%
SP-1295	U39 a	B	1	黒色	10YR 1/1	凝硬土	弱	軟	ローム粒 1%
SP-1296	T38 c	B	1	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	しよう	ローム粒 3%
SP-1297	T39 a	B	1	黒褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	しよう	ローム粒 50%
SP-1298	T39 b	B	2	暗褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ロームブロック 50%
SP-1299	T39 a	C	1	暗褐色	10YR 2/2	凝硬土	弱	堅	ロームブロック 5%

遺跡名	調査区	瓦片パターン	器名	土色		土質	粘性	堅固度	混入物/備考
				色	マンセル				
SP-1354	W39 d	G	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	ローム粒を含む
SP-1355	X40 a	黒ロ粒	2	黒色	10YR 2/1	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を散見含む
SP-1356	X40 a	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	軟化粒	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む、ブロック状の黒色土が散在
SP-1357	X39 d	G	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1358	X40 a	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1359	X40 a	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1360	W40 b	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1361	X40 a	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1362	W40 b	黒ロ粒	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1363	X40 d	H43埴土	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1364	X39 a	焼アモル・黒アモル	1	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			2	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			3	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			4	黒褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			5	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	すこぶる堅	焼土と黒色土が1:1の割合で混合
			6	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	焼土と黒色土を含む、小礫混入。黄褐色土の一部は炭化土、赤化している
SP-1365	Z40 b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	ローム粒を含む
SP-1366	Z40 b	暗褐色ロブ	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・焼土粒ごく微量、黒褐色土・ロームを含む
SP-1367	Z40 b	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を散見含む
SP-1368	Z40 b	暗褐色ロブ	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を散見含む
SP-1369	Z39 d	黒ロ黒ロ粒	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1370	Z39 c	暗褐色ロブ	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1371	Z39 c	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1372	Z40 a	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1373	Z39 d	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1374	Z40 b	G	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1375	Z40 b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1376	W40 a	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/2	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1377	V38 b	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/3	埴土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む

通称名	調査区	建土パターン	階名	土色 マンセル 色	土性	粘性	堅密度	混入物/備考
SP-1378	V38b	黒ロブ	1	黒褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1379	V38c	黒ロブ	1	黒褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1380	V38c	黒ロブ	1	黒褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1381	V38b	暗褐色	1	褐色 10YR4/4	埴土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを散状に含む
SP-1382	V38b	G	1	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	軟	
SP-1383	V38a	暗褐色	1	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1384	V38a	黒ロブ	2	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1385	V38a	黒ロブ	3	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む、土器片・小礫混入
SP-1386	V38a	黒ロブ	4	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
SP-1387	V38d	D	1	黒色 10YR2/1	埴土	—	しゅう	炭化粒・埴土・土器片・ロームブロック・暗褐色土を含む、土器片・小・中礫混入
SP-1387	V38a	暗黒ロブ	1	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1388	V38a	黒ロブ	2	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1389	V38a	黒ロブ	2	暗褐色 10YR4/4	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒・骨粉を含む
SP-1389	V38a	黒ロブ	2	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1390	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1391	V38c	黒ロブ	2	暗褐色 10YR5/5	埴土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1391	V38c	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	黒色土を散状に含む
SP-1392	V38c	黒ロブ	2	暗褐色 10YR5/4	埴土	—	軟	ローム粒を少量含む
SP-1392	V38c	黒ロブ	2	にじみ下褐色 10YR5/4	埴土	—	軟	黒褐色土を散状に含む
SP-1393	U38d	黒ロブ	2	暗褐色 10YR5/5	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1394	V38c	黒ロブ	1	暗褐色 10YR2/1	埴土	—	軟	ローム粒を散状に含む
SP-1395	V38c	黒ロブ	1	暗褐色 10YR1/1	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を少量含む
SP-1395	V38c	黒ロブ	1	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	しゅう	炭化粒・ローム粒・骨粉を含む
SP-1395	V38c	黒ロブ	1	暗褐色 10YR5/5	埴土	—	しゅう	炭化粒・ローム粒を散状に含む
SP-1396	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	しゅう	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1396	V38b	黒ロブ	4	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	しゅう	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1396	V38b	黒ロブ	5	暗褐色 10YR5/5	埴土	—	しゅう	炭化粒・ローム粒を散状に含む
SP-1397	V38b	黒ロブ	1	暗褐色 10YR4/4	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1397	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を散状に含む
SP-1398	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・埴土・ローム粒を含む
SP-1399	V38b	黒ロブ	1	暗褐色 10YR1/1	埴土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1400	V38b	黒ロブ	1	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を散状に含む
SP-1401	V38b	G	2	暗褐色 10YR3/3	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1402	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1403	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR2/2	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1404	V38b	黒ロブ	1	暗褐色 10YR2/3	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を少量含む、小礫混入
SP-1404	V38b	黒ロブ	2	暗褐色 10YR5/5	埴土	—	軟	炭化粒・ローム粒を散状に含む

遺跡名	調査区	現土パターン	層名	土色	土質	粘性	堅硬度	混入物/備考
SP-1405	V39 b	黒褐色	1	暗褐色	10YR 5/3	—	軟	焼土粒・ローム粒を含む
SP-1406	V39 a	黒褐色	2	黄褐色	10YR 5/6	—	軟	暗褐色土を混状に含む
SP-1407	V39 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	—	しよう	炭化粒・ローム粒を少量含む、土器片混入
SP-1408	V39 d	黒褐色	1	黒褐色	10YR 3/2	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1409	V39 d	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/3	—	すこぶる堅	ロームブロックを含む
SP-1409	V39 d	黒ロブ	1	黄褐色	10YR 5/6	—	すこぶる堅	暗褐色土を混状に含む
SP-1410	V39 d	黒ロブ	2	黒褐色	10YR 4/1	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1410	V39 d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 4/2	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1411	V39 c	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/4	—	堅	暗褐色土を混状に含む
SP-1411	V39 c	黒ロブ	1	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	ローム粒を含む
SP-1412	V39 b	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	すこぶる堅	暗褐色土を混状に含む
SP-1413	V39 b	黒褐色ロブ	1	黒褐色	10YR 2/1	—	すこぶる堅	炭化粒・焼土粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1414	V39 a	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/3	—	軟	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1415	V39 b	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/3	—	軟	ローム粒を含む
SP-1416	V39 b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR 2/3	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1417	V39 a	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1418	V39 d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/4	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロック・香粉を含む、土器片混入
SP-1419	V39 d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/3	—	軟	ローム粒を含む
SP-1420	V39 a	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1421	V39 b	黒ロブ	1	黒褐色	10YR 2/1	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1421	V39 b	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1421	V39 b	黒ロブ	3	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1422	V39 a	黒ロブ	4	暗褐色	10YR 3/3	—	しよう	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1422	V39 a	黒ロブ	1	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1422	V39 a	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/2	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1423	V39 a	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR 3/3	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1423	V39 a	暗褐色ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒を含む
SP-1424	V39 a	黒褐色ロブ	3	褐色	10YR 4/6	—	堅	炭化粒を含む
SP-1424	V39 a	黒褐色ロブ	1	黒褐色	10YR 2/1	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1425	V39 a	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1426	V39 a	黒ロブ	1	黒褐色	10YR 1/1	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1427	V39 a	黒ロブ	2	暗褐色	10YR 3/3	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1427	V39 a	黒ロブ	1	黒褐色	10YR 2/1	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1427	V39 a	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1428	V39 d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 1/1	—	堅	炭化粒を含む
SP-1429	V39 a	黒褐色	2	褐色	10YR 4/6	—	堅	炭化粒を含む
SP-1430	V39 c	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 3/2	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1431	V39 a	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/3	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1432	V39 a	黒ロブ	1	暗褐色	10YR 2/2	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1433	V39 d	暗褐色	1	暗褐色	10YR 3/3	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1434	V39 d	黒ロブ	2	黄褐色	10YR 5/6	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む

道庁名	調査区	地土パターン	地名	土色	マンセル	土性	粘性	堅密度	選入物/備考
SP-1455	V39d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	褐色	10YR2/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1456	V39d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR4/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1457	V39d	黒ロブ	1	褐色	10YR2/1	塊状土	—	軟	黒色土を顕状に含む
SP-1458	V39a	黒ロブ	1	黒色	10YR2/1	塊状土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1459	V39a	黒ロブ	1	暗褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	黒褐色土を顕状に含む
			2	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	黒褐色土を顕状に含む
			3	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	黒褐色土を顕状に含む
SP-1460	V39b	黒	1	黒色	10YR1/1	塊状土	—	堅	ローム粒を含む
SP-1461	U39b	SM4 類似	1	黒褐色	10YR3/2	塊状土	—	堅	灰化性・ローム粒・ローム殻・骨粉を含む、FS48の石炭層
SP-1462	U39b	SM4、黒褐色	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	堅	灰化性・ローム粒・ローム殻・骨粉を含む、土層片・小塊混入
SP-1463	U39c	暗褐色	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	堅	灰化性・ローム粒・白色粘土を含む
SP-1464	U39b	暗褐色	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ローム殻・骨粉を含む、土層片混入
SP-1465	U39b	暗褐色	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒を含む
SP-1466	U39b	暗褐色骨片	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒を含む、土層片混入
			2	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	堅	灰化性・ローム粒を含む、土層片混入
SP-1467	U39b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1468	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR2/2	塊状土	—	すこぶる堅	灰化性・ローム粒を含む、土層片混入
			2	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	灰化性・ローム粒を含む、土層片混入
SP-1469	U39a	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	堅	灰化性・ローム粒を含む
			2	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	灰化性・ローム粒を含む
SP-1470	U39b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	軟	ローム土を顕状に含む
SP-1471	U39b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒を含む
SP-1472	U39c	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1473	U39c	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR2/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1474	U39d	黒ロブ	1	暗褐色	10YR3/2	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1475	U39d	黒ロブ、ロブ	1	暗褐色	10YR5/6	塊状土	—	すこぶる堅	暗褐色土を顕状に含む
			2	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	堅	暗褐色土を顕状に含む
			3	黄褐色	10YR5/6	塊状土	—	堅	暗褐色土を顕状に含む
SP-1476	U39c	暗褐色	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒を含む
SP-1477	U39c	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1478	U39c	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1479	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1480	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1481	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1482	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1483	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1484	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1485	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1486	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1487	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1488	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1489	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1490	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1491	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1492	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1493	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1494	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1495	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1496	U39d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/3	塊状土	—	軟	灰化性・ローム粒・ロームブロックを含む

通称名	調査区	掘土パターン	断面	土色		土質	粘性	堅硬度	混入物/備考
				色	マンデル				
SP-1467	X40 c	黒ロブ	1	黒色	10YR17/1	増殖土	—	すこぶる堅	炭化粒・ローム粒を微量に含む
			2	黒色	10YR2/1	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1468	X40 a	黒、黒褐色ロブ	1	黒褐色	10YR3/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黒褐色	10YR3/6	増殖土	—	すこぶる堅	黒褐色土を顕状に含む
SP-1469	X40 b	黒ロブ	1	黒褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒・ロームブロック・暗褐色土を含む
SP-1470	X40 a	黒ロブ	1	黒褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	暗褐色土を顕状に含む
SP-1471	X40 b	黒ロブ	1	黒褐色	10YR2/1	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ロームブロックを含む
			3	暗褐色	10YR3/3	増殖土	—	堅	ローム粒・ローム粒を含む
SP-1472	X40 b	黒ロブ	1	黒色	10YR17/1	増殖土	—	しよう	炭化粒・ローム粒を含む
			2	黒色	10YR2/1	増殖土	—	しよう	黒色土を顕状に含む
SP-1473	X39 c	黒褐色ロブ	3	黄褐色	10YR5/6	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を微量に含む
SP-1474	A1-38d	暗褐色ロブ	1	黒褐色	10YR3/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1475	Y39 a	黒ロブ	2	黒色	10YR17/1	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
			3	暗褐色	10YR3/4	増殖土	—	堅	炭化粒・黒色土を含む
SP-1476	X39 c	黒褐色ロブ	1	黒色	10YR2/1	増殖土	—	軟	炭化粒・黒土粒・骨粉・白色粘土を含む、土器片混入
SP-1477	X39 c	黒褐色ロブ	1	黒褐色	10YR2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒をごく微量含む
SP-1478	X39 b	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR3/4	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1479	Y39 d	暗褐色ロブ	1	暗褐色	10YR2/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1480	Y39 d	黒褐色	1	黒褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1481	Y39 a	暗褐色ロブ	2	暗褐色	10YR2/3	増殖土	—	すこぶる堅	黒褐色土を顕状に含む
			3	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1482	Y39 d	暗褐色ロブ	2	にがい黄褐色	10YR4/3	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1483	Y40 a	黒褐色ロブ	2	黒褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1484	Y39 c	黒褐色	1	暗褐色	10YR3/3	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1485	Y40 a	黒	2	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む
SP-1486	Y40 a	暗褐色	2	褐色	10YR4/6	増殖土	—	堅	炭化粒を少量含む
			3	暗褐色	10YR3/2	増殖土	—	堅	炭化粒・ロームブロックを含む
SP-1487	X39 a	G	1	黒色	10YR2/1	増殖土	—	軟	黒褐色土を多量に含む
			2	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む
			3	暗褐色	10YR4/4	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
			4	黒色	10YR2/1	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを顕状に含む
SP-1488	W39 b	G	2	黄褐色	10YR5/6	増殖土	—	堅	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
			3	黄褐色	10YR2/2	増殖土	—	堅	黒色土を顕状に含む
			4	黄褐色	10YR5/6	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒・ロームブロックを含む
			5	にがい黄褐色	10YR2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を顕状に含む
SP-1489	W39 b	G	2	黒色	10YR4/3	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む、土器片混入
			3	黒色	10YR2/1	増殖土	—	軟	ローム粒・ロームブロック・黒褐色土を含む
			4	暗褐色	10YR3/3	増殖土	—	しよう	ローム粒を含む、暗褐色土がブロック状で散在する
SP-1490	Z39 d	黒	5	暗褐色	10YR2/1	増殖土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1491	Z39 d	G	1	黒色	10YR17/1	増殖土	—	軟	炭化粒・黒土粒・ローム粒を含む
			2	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を少量含む
SP-1492	Z39 d	黒ロブ	1	黒色	10YR2/1	増殖土	—	しよう	ローム粒を多量に含む、土器片・中瀬混入
			2	暗褐色	10YR2/2	増殖土	—	軟	炭化粒・ローム粒を含む

遊機名	調査区	遊土パターン	遊名	土色	土色	マンセル	土性	粘性	堅硬度	混入物/備考
SP-1493	Y38c	暗褐色ロコ 黒褐色ロコ	1	暗褐色	10YR3/3	マンセル	粘土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	黒褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	ローム粒を少量含む
SP-1494	Y38c	G	1	黒色	10YR2/1		粘土	—	しよう	炭化材・ローム粒を少量含む
			2	黒褐色	10YR2/3		粘土	—	軟	黒色土をまみれなく含む
			3	黒褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を少量含む
SP-1495	Z39a	暗褐色ロコ	1	黒色	10YR2/1		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒を少量含む、土部片混入
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材を多数含む
SP-1496	Z39a	G	1	暗褐色	10YR3/3		粘土	—	軟	黒色土を多数含む
			2	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	黒色土を多数含む
SP-1497	Z39a	黒ロコ	1	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1498	Z39c	黒ロコ	1	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土部片混入
SP-1499	Z39c	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・骨粉を含む
SP-1500	Z39c	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	下層にロームを含む
SP-1501	X40c	黒ロコ	1	黒色	10YR1/1		粘土	—	軟	ローム粒をごく微量含む
SP-1502	X40c	黒ロコ	1	黒色	10YR1/1		粘土	—	軟	ローム粒をごく微量含む
SP-1503	W41b	黒褐色ロコ	2	暗褐色	10YR2/1		粘土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
			3	暗褐色	10YR3/3		粘土	—	軟	暗褐色土を多数含む
SP-1504	W41c	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR3/3		粘土	—	軟	ローム粒・黒色土を含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材を微量含む
			3	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を多数含む
SP-1505	W41c	黒褐色ロコ	4	暗褐色	10YR3/2		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
			5	黒色	10YR2/1		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
			6	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ロームブロックを含む
			7	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を微量含む
SP-1506	V41b	黒ロコ	1	暗褐色	10YR1/1		粘土	—	しよう	炭化材を多数含む
			2	暗褐色	10YR4/6		粘土	—	軟	黒色土を多数含む
SP-1507	V41b	黒ロコ	1	暗褐色	10YR1/1		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
			2	暗褐色	10YR4/6		粘土	—	軟	炭化材を微量含む
SP-1508	S41b	G	1	暗褐色	10YR1/1		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1509	U41b	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
			3	暗褐色	10YR1/1		粘土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1510	U41d	クラック入る黒	1	暗褐色	10YR4/3		粘土	—	軟	明褐色土を多数含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
SP-1511	U41a	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
SP-1512	S41d	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR1/1		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
SP-1513	U41d	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR3/3		粘土	—	軟	ローム粒を微量含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
SP-1514	T42b	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR5/6		粘土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む
			2	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材を多数含む
SP-1515	T42b	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR4/6		粘土	—	軟	炭化材を多数含む
SP-1516	T40d	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	炭化材を多数含む
SP-1517	S41c	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を多く含む
SP-1518	V39a	暗褐色ロコ	1	暗褐色	10YR2/2		粘土	—	軟	ローム粒を含む

遺構名	調査区	掘土パターン	層名	土色	マンセル色	土質	粘性	断面図	埋入物/備考
SP-1519	U38 b	黒褐色	1	黒色	10YR 2/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む、土層片混入
SP-1520	U38 c	黒褐色	1	黒色	10YR 2/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1521	U38 a	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1522	U38 a	黒ロロ	1	黒色	10YR 1/1	塊状土	—	しよう	ローム粒を含む、土層片・小礫混入
SP-1523	U38 a	黒ロロ	1	黒褐色	10YR 2/1	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1524	X37 b	暗褐色	2	黒褐色	10YR 5/6	塊状土	—	軟	黒褐色土を顕状に含む
SP-1525	X37 c	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・黒土粒・ローム粒を含む、土層片混入
SP-1526	Y37 a	G	2	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	ローム粒を中層含む
SP-1527	Y37 d	G	3	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロック・骨粉を含む、土層片混入
SP-1528	X37 c	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	しよう	炭化材・黒土粒・ローム粒を含む、中層混入
SP-1529	X38 b	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1530	X38 b	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	しよう	ローム粒を含む
SP-1531	X38 c	黒褐色ロロ	2	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	しよう	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1532	X38 a	暗褐色ロロ	2	黒褐色	10YR 5/6	塊状土	—	軟	ローム粒・ロームブロックを含む、土層片混入
SP-1533	X37 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	しよう	黒色土を顕状に含む
SP-1534	X37 d	暗褐色ロロ	2	黒褐色	10YR 5/6	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒・ロームブロックを含む、土層片混入
SP-1535	Y37 a	暗褐色ロロ	2	黒褐色	10YR 3/3	塊状土	—	しよう	炭化材・ローム粒を含む
SP-1536	Y38 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1537	W37 c	黒ロロ	1	黒褐色	10YR 1/1	塊状土	—	軟	ローム粒を含む
SP-1538	W37 c	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	ローム粒を含む、土層片混入
SP-1539	W37 c	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を多量に含む、土層片・小礫混入
SP-1540	W37 c	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む、土層片・小礫混入
SP-1541	W37 c	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1542	W37 c	黒褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1543	W38 b	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1544	W38 b	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	ローム粒・白色粘土を含む、土層片混入
SP-1545	W38 b	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・骨粉・炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1546	W38 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・骨粉・炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1547	W38 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・骨粉・炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1548	W38 a	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・骨粉・炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1549	W38 a	暗褐色ロロ	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ロームブロックを含む、土層片・小礫混入
SP-1550	W38 a	G	1	黒褐色	10YR 2/2	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1551	W38 a	黒ロロ	1	黒褐色	10YR 4/6	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む
SP-1552	W38 d	G	2	黒褐色	10YR 2/1	塊状土	—	しよう	ローム粒を多量に含む
SP-1553	W38 d	黒ロロ	2	黒褐色	10YR 5/6	塊状土	—	軟	炭化材・ローム粒を含む

通称名	通称記号	初モノパターン	原色	マンセル	土性	堅密度	混入物/備考
SP-1554	W38 d	暗褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	塊状土・ローム粒を含む、大礫が立石層に混入
SP-1556	W38 b	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	塊状土・骨粉微量、ローム粒を多数含む
SP-1557	X38 a	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/3	塊状土	—	塊状土・ローム粒・ローム片・ロームブロックを含む
SP-1558	X37 d	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/1	塊状土	—	ローム粒を含む
SP-1559	W38 a	暗褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を含む
SP-1560	W38 c	黒褐色ロ粒	—	—	—	—	注記漏れ
SP-1561	塊土・黒褐色ロ粒	—	—	—	—	—	注記漏れ
SP-1562	W38 c	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	ローム粒・ロームブロックを含む、土部片混入
SP-1563	W38 c	黒褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む
SP-1564	W38 c・d	黒褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む、土部片混入
SP-1565	W38 d	黒褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む
SP-1566	W38 d	黒褐色ロ粒	1 黒色	10YR1/1	塊状土	—	ロームブロックを含む、小礫混入
SP-1567	W38 b	黒褐色ロ粒	1 黒色	10YR1/7/1	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を微量含む
SP-1568	W38 a	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	暗褐色土を顕状に含む、塊状土・ローム粒・骨粉を含む
SP-1569	W38 a	黒褐色ロ粒	1 黒色	10YR2/2	塊状土	—	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1570	W38 a	黒褐色ロ粒	2 暗褐色	10YR3/4	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む
SP-1571	W38 a	黒褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	ローム粒を含む、小礫混入
SP-1572	W38 a	黒褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む
SP-1573	W38 a	黒褐色	1 黒色	10YR1/1	塊状土	—	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1574	W38 a	黒褐色	2 暗褐色	10YR1/7/1	塊状土	—	ローム粒・ロームブロックを含む
SP-1575	W38 b	G	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	黒褐色土を顕状に含む
SP-1576	W38 b	暗褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	ローム粒を含む
SP-1577	W38 b	暗褐色ロ粒	2 褐色	10YR4/6	塊状土	—	ローム粒を含む
SP-1578	W38 d	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	炭化材微量、ローム粒を含む
SP-1579	W38 d	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/3	塊状土	—	炭化材微量、ローム粒を含む
SP-1580	W38 d	黒褐色ロ粒	1 黒褐色	10YR2/3	塊状土	—	炭化材微量、ローム粒を含む
SP-1581	W38 c	黒褐色ロ粒	1 黒色	10YR2/1	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を含む、土部片・石部混入
SP-1582	W38 c	黒褐色ロ粒	1 黒色	10YR2/1	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を含む
SP-1583	V38 c	—	1 黒色	10YR2/1	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を含む
SP-1584	W38 a	—	1 黒色	10YR1/1	塊状土	—	炭化材・塊状土・ローム粒・骨粉を微量含む
SP-1585	W38 d	—	1 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	注記もれ
SP-1586	X37 b	黒ロ粒	2 黒褐色	10YR2/2	塊状土	—	骨粉微量、炭化材・ローム粒を含む、小礫混入
			3 黒色	10YR2/1	塊状土	—	ロームブロックを含む
			1 黒色	10YR2/1	塊状土	—	炭化材・ローム粒を含む、小礫混入

通称名	調査区	電土パターン	層名	土色 マンゼッセル 色	土質	粘性	堅硬度	混入物/備考
SP-1587	W38 d	-	1	黒色 10YR17/1	塊状土	-	堅	ロームブロックを含む
			2	暗褐色 10YR13/3	塊状土	-	すこぶる堅	ローム粒を含む、上層にロームブロックあり
SP-1588	W39 a	-	1	黒色 10YR17/1	塊状土	-	堅	ローム粒を含む
			2	暗褐色 10YR13/3	塊状土	-	堅	ロームを散状に含む
SP-1589	W39 a	-	1	暗褐色 10YR13/3	塊状土	-	軟	ローム粒を多量に含む
SP-1590	V40 b	-	1	黒色 10YR17/1	塊状土	-	すこぶる堅	ローム粒・ロームブロックを含む、上層に骨あり
SP-1591	Y38 a	G	1	黒褐色 10YR2/3	塊状土	-	すこぶるしろう	ローム粒を少量含む
			2	暗色 10YR4/6	塊状土	-	しろう	ローム粒を多量含む
SP-1592	V40 a	-	1	暗褐色 10YR3/3	塊状土	-	すこぶるしろう	黒色土を含む
			2	暗褐色 10YR3/3	塊状土	-	軟	ローム粒を多量に含む
SP-1593	V40 a	-	1	暗褐色 10YR3/3	塊状土	-	すこぶる堅	黒色土・ロームを含む
SP-1594	V40 a	-	1	暗褐色 10YR3/3	塊状土	-	すこぶるしろう	ロームブロックを含む
SP-1595	V40 d	-	1	黒色 10YR17/1	塊状土	-	軟	ローム粒を含む
			2	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	すこぶる堅	黒色土を散状に含む
SP-1597	V40 b	-	1	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	すこぶるしろう	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	堅	ローム粒を多量に含む
SP-1598	U40 c	-	1	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	堅	黒色土を散状に含む
			2	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	堅	ローム粒を多量に含む
SP-1599	U40 c	-	1	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	堅	ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	軟	ローム粒を含む
SP-1600	U40 c	G	1	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	堅	黒色土を散状に含む、小礫混入
			2	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	すこぶる堅	ローム粒を含む
SP-1608	U40 b	-	1	暗褐色 10YR17/1	塊状土	-	堅	ロームブロックを含む
			2	暗褐色 10YR17/1	塊状土	-	堅	ロームブロックを含む
SP-1609	U40 b	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒・ローム粒を中層、骨粉微量を含有、小礫混入
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	しろう	炭化材・ローム粒を含有、土層片混入
SP-1610	U40 a	-	1	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	堅	黒色土を散状に含む
			2	暗褐色 10YR4/6	塊状土	-	堅	炭化材を多く含む、ローム粒を含む
SP-1611	U40 d	-	1	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	しろう	炭化材を多く含む、小礫混入
			2	暗褐色 10YR2/2	塊状土	-	堅	ローム粒を含む
SP-1612	U40 d	-	1	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	ローム粒を含む
			2	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	しろう	炭化材・ローム粒・骨粉を多く含む、ロームブロックを多量に含む
SP-1613	T40 d	-	1	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	ローム粒を含む
			2	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	ローム粒を含む
SP-1614	T40 a	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1615	T40 a	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1616	T40 d	-	1	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1617	S40 c	-	1	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1618	S40 d	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1619	S40 d	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1640	S40 a	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1642	S40 b	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1643	S40 b	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1644	U40 d	-	1	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/1	塊状土	-	堅	炭化材・ローム粒を多量に含む
SP-1645	W39 b	-	1	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	しろう	炭化材・ローム粒を多量に含む
			2	暗褐色 10YR2/3	塊状土	-	しろう	炭化材・ローム粒を多量に含む

道標名	調査区	掘土パターン	地名	土色	土質	粘性	堅密度	混入物／備考
				色	マンサール			
SP-1646	W39 b	—	1	黒色	10YR 5/1	—	すこぶるしろう	骨粉ごく微量、ローム粒をわずかに含む
			2	暗褐色	10YR 3/3	—	すこぶるしろう	ローム粒を含む
			3	暗褐色	10YR 2/1	—	軟	黒色土を混入含む
SP-1647	X39 a	—	1	黒色	10YR 5/1	—	軟	炭化材・焼土粒・骨粉ごく微量、ローム粒を含む、小溝混入
			2	黒色	10YR 4/6	—	軟	ローム粒を混入含む
			3	暗褐色	10YR 3/3	—	しろう	ローム粒を含む
SP-1648	X38 c	—	1	暗褐色	10YR 3/3	—	すこぶるしろう	ローム粒を含む、土部片混入
SP-1653	X38 c	—	1	暗褐色	10YR 3/3	—	軟	炭化材ごく微量、ローム粒を中量含む
SP-1659	X38 c	—	1	暗褐色	10YR 2/2	—	すこぶるしろう	炭化材ごく微量、ローム粒を含む、土部片混入
SP-1660	X38 c	—	1	暗褐色	10YR 2/2	—	しろう	黒褐色土を混入含む
			2	暗褐色	10YR 4/6	—	しろう	黒褐色土を混入含む
SP-1694	W39 d	—	1	黒褐色	10YR 3/1	—	すこぶるしろう	炭化材微量、ローム粒をまばゆなく含む
SP-1696	Y41 c	—	2	黒色	10YR 1/1	—	堅	ローム粒をごく微量含む
			1	暗褐色	10YR 1/1	—	堅	ローム粒を含む
SP-1697	Y41 c	—	2	黒色	10YR 1/1	—	堅	ローム粒をごく微量含む
			1	黒色	10YR 4/6	—	堅	黒色土を混入含む
			2	黒色	10YR 1/1	—	堅	ローム粒をごく微量含む
SP-1698	Y41 c	—	2	暗色	10YR 4/6	—	堅	黒色土を混入含む
			1	暗色	10YR 4/6	—	堅	ローム粒をごく微量含む
SP-1699	A1-41 a	—	—	—	—	—	—	エレベ
SP-2059	SP-2059	—	—	—	—	—	—	—
SP-2071	Y38 c	G	1	黒褐色	10YR 3/1	—	堅	ローム・黒B層と同一
			1	黒色	10YR 1/1	—	堅	SM-ⅢB層と同一
SP-2073	W40 a	G	2	黒色	10YR 1/1	強	軟	ロームブロック20%
			3	黒色	10YR 1/1	強	しろう	ロームブロック15%
			1	黒褐色	10YR 3/2	強	軟	中炭化物・ローム粒5%
SP-2072	W39 d	—	2	暗褐色	10YR 2/2	強	しろう	焼土粒・ローム粒7%

東SP-2059~2070・2114の土層注記なし

表XI-11 出土遺物點數一覽表 (包含層)

[illegible]

調査区	管製石製品			磨石製品					石製品			陶器		民製品		土製品		計
	地区	石井	計	磨石	磨石	石製・磨石	石製	石製	石製	計	石製	石製	計	民製品	計	民製品	計	
N15	地区																	1
N16	地区																	1
N17	地区																	1
N18	地区																	1
N19	地区																	1
Q20	地区																	1
Q21	地区																	1
Q22	地区																	1
Q23	地区																	1
Q24	地区																	1
Q25	地区																	1
Q26	地区																	1
Q27	地区																	1
Q28	地区																	1
Q29	地区																	1
Q30	地区																	1
Q31	地区																	1
Q32	地区																	1
Q33	地区																	1
Q34	地区																	1
Q35	地区																	1
Q36	地区																	1
Q37	地区																	1
Q38	地区																	1
Q39	地区																	1
Q40	地区																	1
Q41	地区																	1
Q42	地区																	1
Q43	地区																	1
Q44	地区																	1
Q45	地区																	1
Q46	地区																	1
Q47	地区																	1
Q48	地区																	1
Q49	地区																	1
Q50	地区																	1
Q51	地区																	1
Q52	地区																	1
Q53	地区																	1
Q54	地区																	1
Q55	地区																	1
Q56	地区																	1
Q57	地区																	1
Q58	地区																	1
Q59	地区																	1
Q60	地区																	1
Q61	地区																	1
Q62	地区																	1
Q63	地区																	1
Q64	地区																	1
Q65	地区																	1
Q66	地区																	1
Q67	地区																	1
Q68	地区																	1
Q69	地区																	1
Q70	地区																	1
Q71	地区																	1
Q72	地区																	1
Q73	地区																	1
Q74	地区																	1
Q75	地区																	1
Q76	地区																	1
Q77	地区																	1
Q78	地区																	1
Q79	地区																	1
Q80	地区																	1
Q81	地区																	1
Q82	地区																	1
Q83	地区																	1
Q84	地区																	1
Q85	地区																	1
Q86	地区																	1
Q87	地区																	1
Q88	地区																	1
Q89	地区																	1
Q90	地区																	1
Q91	地区																	1
Q92	地区																	1
Q93	地区																	1
Q94	地区																	1
Q95	地区																	1
Q96	地区																	1
Q97	地区																	1
Q98	地区																	1
Q99	地区																	1
Q100	地区																	1

[illegible]

調査区	図記	土 層										測り方									
		1a	1b	2a	2b	3a	3b	4a	4b	5a	5b	6a	6b	7a	7b	8a	8b	9a	9b	10a	10b
W37	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W38	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W39	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W40	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W41	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W42	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W43	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W44	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
W45	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X25	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X26	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X27	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X28	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X29	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X30	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X31	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X32	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X33	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X34	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X35	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X36	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X37	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X38	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X39	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X40	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
X41	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				
	埋込																				

調査区		図位	全 面										測り右面										計
			1a	1b	2a	2b	3a	3b	4a	4b	5a	5b	6a	6b	7a	7b	8a	8b	9a	9b	10a	10b	
X-01	掘																						
	長尺		6																				
	短尺																						
X-02	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-03	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-04	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-05	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-06	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-07	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-08	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-09	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-10	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-11	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-12	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-13	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-14	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-15	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-16	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-17	掘																						
	長尺																						
	短尺																						
X-18	掘																						
	長尺																						

調査区	調査点	割製石産出		採石産出						石製品		調査	石製品		石製品		石製品		計
		石	産	産	産	産	産	産	産	産	産		産	産	産	産	産	産	
X42	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計	1	1																113
X43	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
X44	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
X45	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y26	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計																		113
Y27	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y28	調査点	2	2																113
	計	2	2																113
	調査点																		113
	計																		113
Y29	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y30	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y31	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y32	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y33	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y34	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y35	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計																		113
Y36	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y37	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y38	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y39	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y40	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y41	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y42	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y43	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計																		113
Y44	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y45	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計																		113
Y46	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Y47	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113
Z39	調査点	1	1																113
	計	1	1																113
	調査点																		113
	計																		113
Z40	調査点																		113
	計																		113
	調査点																		113
	計																		113

河内区	地区	土 層										地質・地層										石積	計
		1a	1c	2a	2b	2c	2d	2e	2f	2g	2h	2i	2j	2k	2l	2m	2n	2o	2p	2q	2r		
Z-41	掘削													23	2								1
	1													95	2								1
	2													777	13								2
	3													1,080	40	10							14
Z-42	掘削													62	2								1
	1													2,451	54	15							80
	2													36	1								4
	3													84	2								4
Z-43	掘削													671	27	32							14
	1													551	24	24							40
	2													52	1								2
	3													102	10	25							47
Z-44	掘削													2	1								1
	1													809	86	25							32
	2													34	1								3
	3													363	53	12							10
Z-45	掘削													409	16	15							29
	1													9									1
	2													436	30	31							30
	3													34	1								3
Z-46	掘削													479	31	24							30
	1													103	4	4							3
	2													115									3
	3													290	16	11							20
Z-47	掘削													14	2								2
	1													453	29	20							40
	2													2									1
	3													66	1	3							1
Z-48	掘削													36	7	2							1
	1													2									1
	2													86	8	13							1
	3													1									1
AI-38	掘削													24	2	4							2
	1													656	35	52							40
	2													301	5	11							18
	3													239	5	6							20
AI-39	掘削													1,376	43	49							87
	1													652	26	1							56
	2													3,535	101	200							177
	3													977	31	30							106
AI-40	掘削													5,046	146	269							266
	1													141	5	40							12
	2													142	14	11							1
	3													749	27	42							41
AI-41	掘削													213	8	7							56
	1													1,403	51	67							100
	2													28	6	2							4
	3													817	29	40							43
AI-42	掘削													12	6	2							5
	1													559	32	44							101
	2													266	2	3							26
	3													133	11	7							8
AI-43	掘削													335	12	21							45
	1													165	9	30							16
	2													1,229	29	47							85
	3													50									5
AI-44	掘削													14									1
	1													513	26	12							44
	2													190	7	3							10
	3													819	27	16							86
AI-45	掘削													14									1
	1													128	4	7							7
	2													206	11	7							9
	3													7									1
AI-46	掘削													377	16	14							31
	1													44	5	4							4
	2													208	18	2							14
	3													25	1								3
AI-47	掘削													279	23	8							22
	1													27	2								1
	2													591	8	11							17
	3													526	8	14							18
AI-48	掘削													142	2	2							2
	1													152	6	10							26
	2													148	8	12							20
	3													5									1
AI-49	掘削													2,674	85	135							143
	1													418	13	16							29
	2													42	1	6							6
	3													42	1	6							6
AI-50	掘削													42	1	6							6
	1													42	1	6							6
	2													42	1	6							6
	3													42	1	6							6

調査区	割別石割				砕石割				石製品				所産				主製品				計				
	単位	石	計	砕石	砕石	石製品・台石	石製品	砕石	石製品	石製品	計	砕石	計	砕石	計	砕石	計								
Z41	割別						1	1			1							27							
	I						1	1			1							108							
	II						1	1			1							401							
	III			4	3	1	36	30	2	41		30	3				1	1,151							
Z42	割別						4	20	2	47		4	4				4	2,753							
	I						4	1	1	6								45							
	II						4	1	1	6								101							
	III						4	1	1	6								1,051							
Z43	割別						1	9	10	1	20		5	5			5	1,167							
	I						1	1	1	3								41							
	II						1	1	1	3								890							
	III						1	1	1	3								3							
Z44	割別						1	1	1	3								42							
	I						1	1	1	3								403							
	II						1	1	1	3								805							
	III						1	1	1	3								1							
Z45	割別						1	2	3	6								635							
	I						1	1	1	3								41							
	II						1	1	1	3								867							
	III						1	1	1	3								17							
Z46	割別						1	1	1	3								120							
	I						1	1	1	3								366							
	II						1	1	1	3								68							
	III						1	1	1	3								581							
Z47	割別						1	1	1	3								31							
	I						1	1	1	3								33							
	II						1	1	1	3								6							
	III						1	1	1	3								84							
不明	割別						1	1	1	3								111							
	I						1	1	1	3								963							
	II						1	1	1	3								235							
	III						1	1	1	3								120							
A1-38	割別						1	1	1	3								1,688							
	I						1	1	1	3								30							
	II						1	1	1	3								908							
	III						1	1	1	3								4,720							
A1-39	割別			1	1	2	3	1	3	8								767							
	I						1	1	1	3								10							
	II						1	1	1	3								56							
	III						1	1	1	3								206							
A1-40	割別						1	1	1	3								280							
	I						1	1	1	3								816							
	II						1	1	1	3								271							
	III						1	1	1	3								1,623							
A1-41	割別						1	1	1	3								63							
	I						1	1	1	3								974							
	II						1	1	1	3								65							
	III						1	1	1	3								1,098							
A1-42	割別						1	1	1	3								163							
	I						1	1	1	3								728							
	II						1	1	1	3								191							
	III						1	1	1	3								1,468							
A1-43	割別						1	1	1	3								101							
	I						1	1	1	3								17							
	II						1	1	1	3								435							
	III						1	1	1	3								221							
A1-44	割別						1	1	1	3								963							
	I						1	1	1	3								154							
	II						1	1	1	3								376							
	III						1	1	1	3								463							
A1-45	割別			1	1		4	2	6	8								50							
	I						1	1	1	3								106							
	II						1	1	1	3								279							
	III						1	1	1	3								7							
A1-46	割別						1	1	1	3								42							
	I						1	1	1	3								835							
	II						1	1	1	3								317							
	III						1	1	1	3								20							
A1-47	割別						2	1	2	7								181							
	I						2	1	2	7								2							
	II						2	1	2	7								806							
	III						2	1	2	7								7							
不明	割別						2	2										3,314							
	I						2	1	2	7								10							
	II						2	1	2	7								325							
	III						2	1	2	7								325							
不明	割別						1	1										1							
	I						1	1										181							
	II						1	1										325							
	III						1	1										325							
計		80	30	51	34	106	3	170	9	201	31	9	302	1	1	378	378	3	1	3	300	514	841	1,607	212

報告書抄録

ふりがな		ほくとし たてのいせき						
書名		北斗市 館野遺跡(2)						
副書名		高規格幹線道路函館江差自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書						
シリーズ名		北海道埋蔵文化財センター調査報告書						
シリーズ番号		第282集						
編著者名		佐川俊一・中山昭大・富永勝也・福井淳一・山中文雄・立川トマス						
編集機関		北海道埋蔵文化財センター						
所在地		〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地 1 TEL (011) 386-3231						
発行年月日		西暦2012年3月26日						
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ふりがな 館野遺跡	ふりがな 北海道北斗市 館野3-3	01335	B-06 15	41度 48分 01秒	140度 37分 00秒	20030506 20031031	5,750㎡	高規格幹線道路函館江差自動車道建設に伴う事前調査
所収遺跡名		種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		
館野遺跡	配石・盛土遺構	縄文時代後期初頭	配石遺構 (CSS)		1 (配石244)		縄文土器：川汲（日計）式、アルトリ式、サイベ沢Ⅶ式、見晴町式、榎林式、大安在B式、涌元1式、涌元2式、トリサキ式、大津式、大洞A式。	
			外周配石(NSS・SSS)		869			
			盛土遺構(NM・SM)		2(北盛土・南盛土)			
	縄文時代中期中葉 後期初頭	集落跡	中央配石張り石畳(CSSP)		111		石器：石刃鎌、石錐、つまみ付きナイフ、スクレイパー、Uフレイク、Rフレイク、フレイク、石斧、たたき石、石鋸、砥石、石皿、台石、原石、加工痕のある礫、石棒、北海道式石冠。	
			配石下ビット(UP)		311			
			中央広場小ビット(CP)		407			
			竪穴式住居跡(H)		19			
			土坑(P)		173			
			落し穴(TP)		4			
			石囲炉(Fs)		37			
			焼土(F)		196			
			小柱穴状ビット(SP)		1,876			
			埋設土器(Po)		10			
			小礫(遺物)集中(Ca)		9			
			竪穴状遺構(X)		2			
			溝状遺構(D)		1			
			室町時代		敵状遺構			
要約		縄文時代中期中葉から後葉にかけての集落と、後期初頭の集落、後期初頭の配石・盛土遺構を調査した。遺物では道南で現在最古段階の縄文時代早期の押型文期の川汲式が出土した。石器では北海道の最南端で石刃鎌が出土した。土製品では北海道で始めて双角状土製品が出土した。なお調査区内で活断層を確認している。						

北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第282集

北斗市 館野遺跡(2)

高規格幹線道路函館江差自動車道建設工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

〔第 5 分冊〕

発行 平成24(2012)年 3 月26日

編集 財団法人 北海道埋蔵文化財センター

〒069-0832 江別市西野幌685番地 1

TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238

印刷 中西印刷株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来 3 条 1 丁目 1 -34

TEL (011)781-7501 FAX (011)781-7516